

# The Philatelist Magazine

第 12 号 (2016 秋号)



日本 1922 4 銭普通切手 異物を載せた状態の用紙上に印刷 (三号連続富士鹿特集 その1)

## The Philatelist Magazine

当誌は、無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社が運営する「スタンペディア日本版」の会員向け機関誌です。機関誌は年 4 回 PDF で発行され、年会費 (2,000 円) を納めた会員には発行の都度登録 E メールに通知があり「マイ・スタンペディア」よりダウンロードできます。また印刷して読みたいという要望に応えコピーしホチキスで綴じた紙版をお送りするサービスも提供中です。

# 当誌の読み方・使い方

## 当誌の位置づけ

当誌は無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社が運営する「スタンペディア日本版」の会員向け機関誌です。機関誌はPDFで発行され、年会費を納めた会員には、発行の都度登録Eメールに通知があり「マイ・スタンペディア」(右図)よりダウンロードできます。



## PDFの保存方法

ダウンロードしたPDFは、パソコンやスマホ等に保存できます。一旦保存するとそれ以降はいつでも好きな時にPDF版をご利用(閲覧、印刷など)頂けます。

## PDF版をご自分で印刷して読む方へ

当誌の購読者は、PDF版をご自分の閲覧用に印刷することができます。3ページの刊行趣旨と編集方針の為ページ数が多いので、全てのページを印刷するよりは興味あるページのみを印刷する方法をオススメいたします。また視力の弱い方にも十分楽しんで頂ける様に、文字サイズや図版が大きくなるよう編集しています。**視力の良い方は『2 in 1』(プリンターの機能で、1枚の用紙に2ページ分印刷する方法)等をご活用頂いても十分読むことが可能です。**

## PDF版の興味ある記事だけを印刷して読む方法

目次が4ページにありますので、興味のある記事を見つけ、印刷を行ってください。本文をざっと流し読みして、印刷してじっくり読む記事を見つけるというやり方もあると思います。なお当誌では表紙を1ページ目としてページの割り付けを行っております(ページ番号は各ページのフタに表示しています)ので、印刷に指定するページ番号も目次のページ番号と一致しております。

## PDF版をパソコン、iPadで読む方法(オススメ)

PDF版は、Adobe Reader等のPDF閲覧アプリを用いてご覧頂くことを推奨しており(右の画面)、WEBブラウザでの閲覧はオススメしておりません。

左側にある、しおりマーク(→→)を押すと目次が表示され、各タイトルをクリックすることで、主画面が読みたい記事の内容に変わります。

iPad, iPad miniでも快適にご覧いただけます。



## 紙版をご覧の方へ

当誌はPDFで読むことを前提とした新しいスタイルの郵趣雑誌です。このやり方により幅広い記事の取り扱いが可能となり、質・量ともに十分な総合郵趣雑誌が提供できるようになりました。また次ページの様な刊行趣旨と編集方針の為、ページ数が結果として多くなっています。

一方、PDF雑誌を発行する中で、有料で良いので内容をそのまま紙に印刷して欲しいとのご要望が寄せられる事が多くありました。

ご自宅のパソコンで印刷するよりもそちらの方が便利だからという理由であり、その様なご要望にお応えする為、コピーしホチキスで綴じた紙版をお送りするサービスも提供を始めました。このような位置づけでよろしければご注文ください。

「フィラテリストマガジン」第13号(2016/12/15発行予定)以降の予約購読を希望される方へ

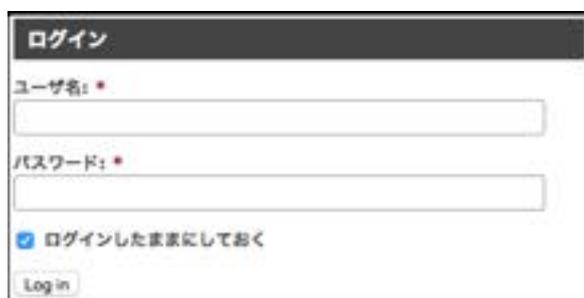
- 紙に印刷された冊子を購読希望の場合は、モノクロ10,000円、カラー20,000円をご送金ください。(2017年12月31日までの期間に、3ヶ月に一度発行される通常号(付録含まず)5回分を郵送します)
  - PDFによる購読を希望される場合は、4,000円をご送金の上、電子メールをご連絡ください。(2017年12月31日までの間、2016, 2017年に発行される通常号・号外すべてのPDFをダウンロードできます)
- 郵便振替:00100-6-323638 (加入者名 吉田敬)[申込マ 2016年12月5日]

## 新しい郵趣のポータルサイト マイ・スタンペディアの使い方

「ザ・フィラテリストマガジン」のダウンロードはもちろんのこと「スタンペディア日本版」会員の各種特典をご利用頂くために、「マイ・スタンペディア」という新しい郵趣のポータルサイトにアクセスしてください。 <http://my.stampedia.net/ja>

情報量の少ないPDFを電子メールに添付する事は難しくありませんが、スタンペディアの目指す大容量の情報のPDF配信を可能にする為、また対価をお支払い頂いている会員にのみサービスを提供する為に構築した情報配信システムがマイ・スタンペディアです。

「IDやパスワードを用いるサイトは面倒くさい」というご意見を伺う事も多い為、課題点を検証し、最終ログインから百日以内であれば、一々IDとパスワードを入力しなくても自動ログインできる機能を作りました。(右図) 機関誌の発行間隔が約90日であることを考えますと、当該課題は解決できていると思います。



ログイン画面で「ログインしたままにしておく」のチェックを外さない事により実現

また機関誌のダウンロード以外に利用権利が提供される

各種サービスへの入口もこの「マイ・スタンペディア」となります。現時点で次の2サービスがご利用いただけます。

- ・日本切手図入りリーフ (2014年, 2015年)
- ・エコー葉書データベース
- ・郵趣記事データベース

将来的には(しかも近い将来)会員サービスを利用するだけの場所ではなく、地域ごとの郵趣イベントカレンダーを表示する等のフィラテリストの交流ができるような仕掛けも作って行きたいと思っていますのでどうぞご期待ください。



上から「機関誌ダウンロード」「郵趣データベース」「図入りアルバムリーフのダウンロード」と並ぶサービス類。2015年は会員は無料で利用できる。(順次拡大)

以前毎号掲載していた「刊行趣旨と編集方針」は、現在ホームページに掲載しております。

# The Philatelist Magazine 第12号 クリッカブル目次

\* PDF で目次をクリックすると各ページにジャンプします

当誌の読み方・使い方、マイ・スタンペディアの使い方		P.02-03
2017年のメンバーシップについて		P.06-07
郵趣界重大ニュース		P.08-11
郵趣カレンダー		P.14-29
切手市場	高崎 真一	P.16-17
スタンプショウかごしま2016	JPS 鹿児島支部	P.18
第19回千葉切手展	千葉県郵趣連合・市川郵趣会	P.19
MELBOURNE2017 作品募集	長島 裕信	P.20
PHILA TAIPEI 2017		P.21
第4回ヨーロッパ切手展	アルプス・ヨーロッパ切手部会	P.22-23
第7回世界の植物切手展	JPS 植物切手部会	P.25
第2回製造面勉強会		P.26
「地域等切手サークル発行の書籍・雑誌の紹介」の開始について		P.28
地域等切手サークル発行の書籍・雑誌の紹介 第1回 市川郵趣会・会報「市川郵趣」		P.29
私の発見・私の報告		P.30-35
レターパックの新種発見	木戸 裕介	P.30
新潟中央のローラー印「ほくろ新潟」について	伊藤 和彦	P.31
インクジェット式機械印の新仙台・東京北部局における使用開始	鈴木 盛雄、藤田俊則	P.32-25
謎解き郵趣		P.37-40
答え合わせ：輸出用に、脇付き葉書の様に偽加刷が施された、脇なしハガキ	古畑 健三郎	P.38-39
出題：南方占領地フィリピンのカバー	鎗木 顕	P.40
寄稿記事・郵趣論文		P.41-115
世界のクラシック切手第9回 英領ケープ植民地 (Cape of Good Hope) 切手について (下)	池田 健三郎	P.42-56
世界のセミクラシック切手第1回 ラトビアの地図切手	石田 徹	P.57-61
クリミアにおける郵便事情		
著作：ゲナディー・ベルマン、ドミトリー・チズマコフ、監修：荒木寛隆、伊藤文久		P.62-78
日本のコイル切手～昭和コイル切手を中心に～	伊藤 純英	P.79-102
和欧文機械印トピックス (第10回)	水谷 行秀	P.104-107
農地委員会選挙郵便	行徳 国宏	P.108-113
切手別納郵便制度への追記	行徳 国宏	P.114-115
コレクションの作り方		P.116-133
国際展初攻略大作戦		P.117-125
リーフの作り方	重山 優	P.126-133

郵趣活動の記録		P.134-158
Thailand2016		P.135
全日本切手展 2016 受賞記録抜粋		P.136-137
全日展 2016 参観記	長野 行洋	P.138-146
古今東西郵趣文献書評 最近の情報 150 号記念 (小判振舞処)	木戸裕介	P.148
ジャパスタンプ オークションニアレポート	鯛 道治	P.150-158

#### 広告一覧

無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社 [ P.27, 36, 103, 147, 149, 160 ]

JPS アルプス・ヨーロッパ切手部会 [P.24] 委託販売広告 [ P.12-13 ]

付録 Melbourne2017 IREX 内容抜粋及び全日本切手展 2016 出品作品より 6 作品を全リーフ掲載  
 小判5厘切手 (長野行洋) 小判往復はがき (石代博之) Small OX stamps issued in Grand Duchy  
 of MECKLENBURG-SCHWERIN (吉田敬) うなぎ (吉田敬) 第一次昭和切手 (菊地恵実) 第三次動  
 植物国宝切手 (吉田敬)

\* 号外および付録は年間紙版オプション申込による予約配送品の対象外となります。紙版をご希望の方は以下をご覧ください。

#### スタンペディア日本版 2016 年会費 [2016/1/1-12/31 に有効] をお支払い済みの方の特典

- 機関誌「ザ・フィラテリスト・マガジン」2016 年発行分 PDF の無料ダウンロード権利  
 3/15, 6/15, 9/15, 12/15 の発行を予定しています。
- オンライン郵趣データベースの使用権利  
 郵趣記事やエコ葉書のデータベースを無料で使用できるサービスです。
- 函入りアルバムリーフ (PDF) の無料ダウンロード権利  
 日本切手等の函入りリーフを提供します。
- 紙版オプション等の特別価格での予約購入権利  
 機関誌を PDF に加えて印刷された状態でも読みたい会員へのサービスです。  
 機関誌通常号 (付録含まず) を当社でコピー・ホチキス製本した冊子を有償で提供いたします。  
 年間予約された場合に限り、ページ数が 100 を超える大冊の場合も追加料金を頂きません。  
 モノクロオプション 6,000 円 / 年, カラー・オプション 14,000 円 / 年
- 通常、製造販売していない付録の紙版の一部やバックナンバーについて、実費 + α で簡易製本してお届けします。100 ページあたり、モノクロ 1,000 円 / 冊, カラー 3,000 円 / 冊 (送料別) 程度での提供となります。お問い合わせください。

#### 号外紙版等自動発送制度および預託金システムのご案内

- 紙版オプションを申し込んでも発送対象とならない、機関誌「ザ・フィラテリスト・マガジン」号外の紙版 (年 4-5 回の発行です) および年一回刊行の Stampedia Philatelic Journal を、預託金のある限り自動発送する制度です。
- 号外自動発送予約された場合に限り、ページ数が 100 を超える大冊の場合も追加料金を頂きません。  
 モノクロ 1,500 円 / 号, カラー 3,500 円 / 号 (ともに送料共)
- お申し込みは、ご送金と共に、「号外自動発送制度希望」とご連絡ください。
- 「号外自動発送制度」希望の有無に関わらず、預託金システムを準備しておりますので、ご活用ください。

## [ 会員向け ] スタンペディア日本版 会費更新のご案内 2017年のメンバーシップについて

スタンペディア日本版会員各位

改めてのご挨拶となりますが、「スタンペディア日本版」の2016年分会費をご納入くださいましてありがとうございます。おかげさまで当誌は400名近くの会員を抱える郵趣雑誌として、残り数ヶ月となった2年目も無事終えることができる見込みです。

一月半後の11月には、来年の会費の更新を開始いたしますので、その詳細を予めご案内いたします。

年会費： 2,000 円

会費有効期間：2017年1月1日-12月31日

更新会費の支払受付開始日：11/11（予定）

### 会員特典

1. 機関誌「ザ・フィラテリスト・マガジン」2017年発行分PDFの無料ダウンロード権利  
3/15, 6/15, 9/15, 12/15 の4回の発行を予定しています。

2. オンライン郵趣データベースの2017年中の使用権利  
郵趣記事検索やエコー葉書のデータベースを無料で使用できます。

3. 図入りリーフ (PDF) の無料ダウンロード権利  
様々な図入りリーフを制作し、ダウンロードして使用できるようにしております。  
日本切手2016年分についても年内に提供開始予定です。

4. 機関誌 (紙版) の特価予約権利  
年間予約された場合に限り、ページ数が100を超える大冊の場合も追加料金を頂かず、  
一号あたりモノクロ1,500円、カラー3,500円で販売いたします。(送料・発送料込み)

\*なお紙版の提供価格は、ページ数100を前提として決定した価格です。皆様ご承知の通り、本年発行号の平均ページ数は200ページに近く正直大幅に値上げをさせていただきたい気持ちもございます。ただまだ本発行してから3年目であることから、誌代の大幅な値上げは、皆様に過重なご負担になるだろうと考え、この価格とさせていただきました。どうぞご理解の上、将来的な紙版の値上げがあるであろうことをご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

## 会費更新方法

(1) 郵便振替

ゆうちょ振替口座 00100-6-323638 加入者名 吉田 敬

(2) 銀行送金

楽天銀行 ロック支店 普通7027345

加入者名 無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

(3) Paypal

kaimono@kitte.com

(4) 現金で支払う (以下4つの会場で時間限定で現金による支払いをお受けする予定です)

11/12 切手市場 10:00-14:00

11/16 いずみ切手研究会 10:00-12:00

11/27 ジャパンスタンプ東京下見会 10:00-15:00

12/4 大阪駅前切手バザール2日目 10:00-13:00

更新会費の支払い受付開始日は2016年11月11日の予定です

詳細につきましては、電子メールニュースおよびフィラテリストマガジン第13号でご案内差し上げますので、そちらをお待ちください。

「スタンペディア日本版」会員になることを検討されている方向けのご案内

「フィラテリストマガジン」第13号(2016/12/15発行予定)以降の予約購読を希望される方へ

- 紙に印刷された冊子を購読希望の場合は、モノクロ10,000円、カラー20,000円をご送金ください。(2017年12月31日までの期間に、3ヶ月に一度発行される通常号(付録含まず)5回分を郵送します)
  - PDFによる購読を希望される場合は、4,000円をご送金の上、電子メールをご連絡ください。(2017年12月31日までの間、2016, 2017年に発行される通常号・号外すべてのPDFをダウンロードできます)
- 郵便振替:00100-6-323638 (加入者名 吉田敬)[申込済 2016年12月5日]

# 郵趣界重大ニュース

2016年6月～2016年9月

## 1 モーリシャス ポストオフィス 唯一の混貼りカバーが約 4.2 億円で販売される

チェコ共和国の英字新聞「Prague Daily Monitor」が8月18日に報道したところによれば、英領モーリシャスの一番シリーズで、「Mauritius Post Office」の愛称で知られる1ペンス切手と2ペンス切手を貼ったカバーがチェコ人と思われる不特定の人物により約4.2億円で落札されたと報じました。

モーリシャスのポストオフィス切手は、研究の結果、センサス（戸籍）が作られており、同カバーは「No.XXI and XXII」に該当し、唯一の二種貼りです。かつて所有したフィラテリストは、リヒテンシュタイン氏、アーサー・ハインド氏、モーリス・ヴェルス氏、金井宏之氏等となっています。

このカバーはスイスの切手商デビッド・フェルドマンが取り扱っていた商品で、以前国際展で価格を尋ねた折りには、約5.5億円でしたので、報道が正確であれば、思惑よりもだいぶ安い価格で販売されたこととなります。

なおこのカバーは、2018年8月にプラハで開催される国際切手展 Prague 2018 で展示予定です。



Prague Daily Monitor Web サイトより

## 2 JPS の会員数減少が下げ止まる

公益財団法人日本郵趣協会は、7月、2015年度決算報告書をインターネット上に発表し、会員数が8,052名に減少したことを発表しました。会員数は対前年で524人のマイナスで、この点だけを見れば悲観的になる方もいらっしゃると思いますが、私はむしろ以下の点で、昨年度は大善戦し、本年度は復活へのターンに期待できると考えています。

1. この4年間の会員数の減少は以下の通りであり、減少数も減少率も最も良いポイントである。

- 2012年度 -584人
- 2013年度 -603人
- 2014年度 -624人
- 2015年度 -524人

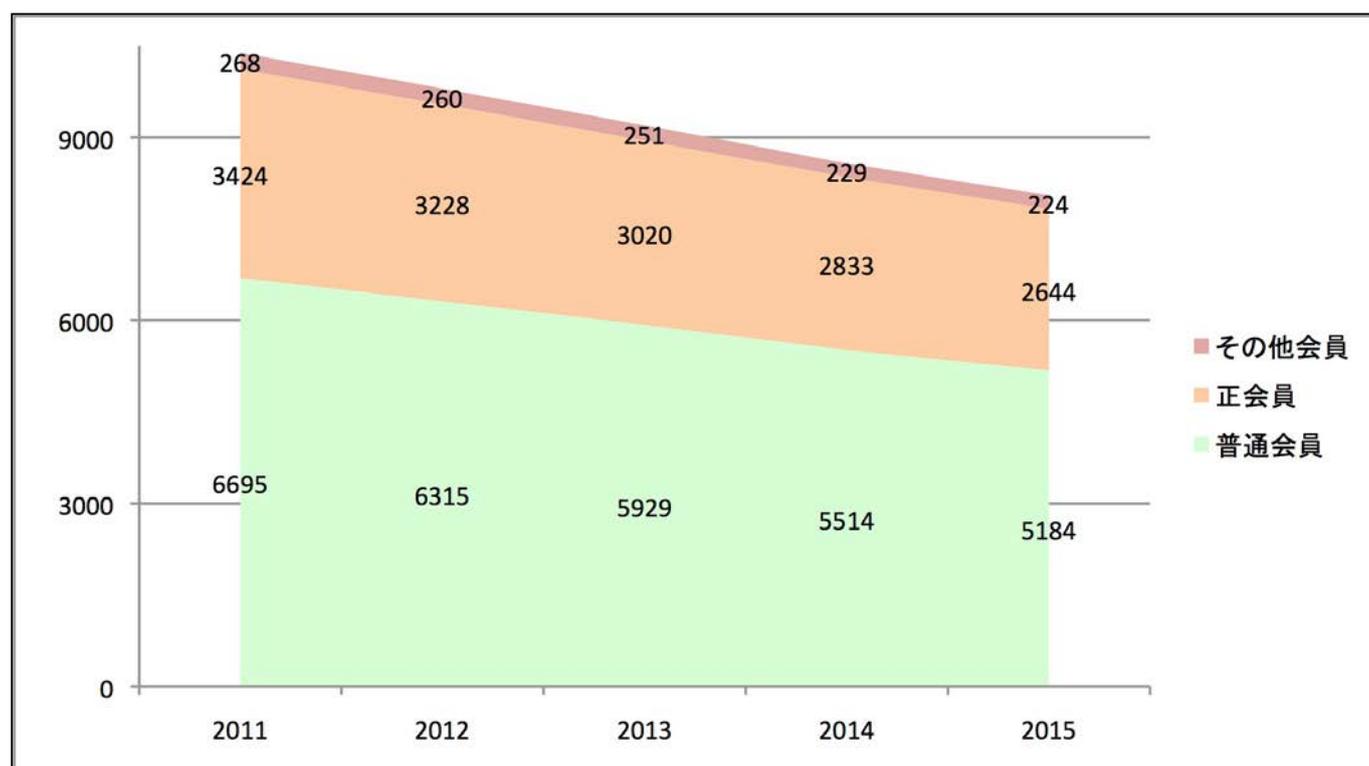
2. 一昨年の会費値上げで、本来であれば昨年の会員減少は例年水準の維持すら難しいはずだった。

3. これに加えて2016年度は「郵趣を購読せず、会費も割安なWEB会員制度」を導入しており、新規会員の増加を期待できる。また図らずも、機関紙「郵趣」に価値を見出さないフィラテリストへの代替手段を提供したと言える。

なお、この結果は私が「フィラテリストマガジン」の「重大ニュース」昨年9月15日号（第8号）に書いた記事の予測に非常に近く、良い結果を先取りできたことに満足しています。

日本郵趣協会に対しては色々な感情をお持ちの方もいらっしゃると思いますが、私は現在の日本の郵趣を成立させている個人・団体の中で第一級の功労者の一つであると考えています。中でも同法人なくしては存立し得ない、(1) 二大競争展の一つである JAPEX と、(2) 年間を通じて開催されるミニペックスは重要で、それなくしては日本の郵趣は大きく後退してしまいます。従って私は日本郵趣協会は「なくては困る」と考えており、一昨年より少しでも財政の健全化のお役に立てればと考え維持会員になっております。

もちろん郵趣信仰は他力本願や口先だけではダメだと私は思います。なので上記と並行して、日本郵趣協会がなくなった場合にフィラテリストの郵趣活動が立ち行かなくならぬよう「JPSがなくなったら困る事リスト」を数年前にまとめて、それを一つずつ潰してきているつもりではあります。その成果が表れている部分もありますが、全部そろうにはまだ数年はかかると思いますので、それまでは日本郵趣協会を維持会員として絶対に支えたいと考えています。



公益財団法人日本郵趣協会の会員数の推移（2011年～2015年）数値は同法人のホームページより

### 3 第1回 製造面勉強会 開催、64名の参加を集める

無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社は、第1回製造面勉強会という日本フィラテリーの勉強会を、東京都中央区の綿商会館5階で、7月2日に開催し、64名の方が参加されました。

講演を主な内容とする同勉強会の初回講師は魚木五夫氏と長田伊玖雄氏で以下講演が行われました。

「収集家から見た製造技術」 魚木五夫氏

「小判切手製造面調査研究の足跡」 長田伊玖雄氏

会費 2,000 円を支払い参加する勉強会であるため、参加者も真剣で、いずれの講義にも質問が相次いだほか、休憩時間には、講師が展示したビニールフレームの前に人が集まり、郵趣談義に多くの方が参加されておられました。また休憩時間のみ開店する製造面を中心とした特別即売（エージェントスタンプほか）も多くの方に好評でした。第1回勉強会の好評を受けて、今後の定期的な開催（1月と7月）が決定しております。

次回は、来年正月あけの2017年1月7日（土）に、東京都中央区の綿商会館1階で開催され、すでに参加者の募集が始まっていますので、参加希望者はご案内をご覧ください、ご応募ください。

なお、首都圏以外の地域からの参加者も多いため、2時間といった短時間の開催でなく、1日を通じた勉強会の運営を行い、講演の時間と本数を確保するように改善いたしました。講義同士の間には十分な休憩時間を確保し、お弁当もお出しいたしますので、一日を通じてゆったりとフィラテリーの勉強をする機会と捉えていただければ幸いです。



「収集家から見た製造技術」を講演し、質疑応答を行う魚木五夫氏（左）

#### 4 日本郵趣協会に新しい部会が誕生。

公益財団法人 日本郵趣協会の新しい部会として、「アルプス・ヨーロッパ切手部会」が設立されました。JPS の部会認定を目指して 2014 年 6 月に設立された「アルプス・ヨーロッパ切手の会」は、同月に JPS に対して部会設立を申請しました。この申請が 2 年 2 ヶ月の期間を経て、2016 年 8 月に同法人の理事会の決議にて無事承認されたものです。

日本郵趣協会に新しい部会が設置されるのは久しぶりのことです。手元にある「郵趣」2004 年 1 月号をみたところ、少なくとも現存する部会はすべて 2004 年には設立されていました。従いまして、現存する部会でこの 12 年間に設立されたものはないようです。

同部会は、アルプス・ヨーロッパの諸国（フランス、イタリア、スイス、オーストリー、スロベニア、リヒテンシュタイン、モナコ、サンマリノ、バチカン）を中心とした国々の、伝統郵趣、郵便史、カタログコレクションを楽しむフィラテリストのサークルで、第 4 回ヨーロッパ切手展 (10/29-30) および JAPEX2016(11/4-6) の会期より会員募集を開始します。

なお、現在の同会会員全員の収集範囲を重ね合わせると、ヨーロッパのすべての国を網羅できるため、上記以外のヨーロッパの国々の内、JPS に部会の存在しない国々（例えば、ポルトガルやギリシャなど）の切手を収集しているフィラテリストの入会も歓迎するとのことでした。

#### \* 重大ニュースから漏れた主なニューストピックス

##### 日本郵便、次々とレターブックを発売

My 旅切手 (2,000 円 2 万部) ぽすくまおたよりセット (980 円 2 万部) など、額面以上の価格で販売する切手が隔月か毎月に近いペースで発行されるようになりました。

##### 平成 29 年用「年賀お年玉小型シート」の一般販売

お年玉くじ 3 等商品として当選引き換えが実施されるほか、切手 SHOP (インターネット通販) での一般販売が実施されることになりました。(2017/1/16 発行)

##### ポストパケットの廃止とゆうパケットの拡充

日本郵便の小型物品配達サービス「ポストパケット」(360 円) が 9 月 30 日で廃止され、翌日の 10 月 1 日からこれまで大口向けサービスとされてきた「ポストパケット」が個人向けにも提供されるようになります。(運賃三段階 250, 300, 350 円)

##### 天皇陛下が、8 月 8 日に、生前退位をにじませたお気持ちを表明

元号法第 2 条「元号は、皇位の継承があつた場合に限り改める。」により、近い将来に、日付印の元号が再度「1」に戻る可能性が出てきました。

前号でのご好評を受け再度のご案内 限定2組！  
人気の高い速達郵便史の大コレクションを特別提供

## 70年にわたる「速達郵便史」5フレーム80頁 競争展仕様 超弩級コレクション 初期～昭和末期

*Postal History of Express Delivery in Japan*

国際的にも評価の高まる、日本の速達郵便史。  
そのエッセンスを一括入手できる千載一遇の好機。

近年国際切手展における上位入賞テーマとして急速に評価が高まりつつある、日本の急速郵便史（別配達・速達）。飛脚時代の急速便に始まり、別配達・別仕立に続いて速達制度導入以降は地域拡充と全国化に至ります。そして戦禍による機能不全と復興を経て戦後の新郵便法時代へ。郵便史、そして通信発達史としての重要性や複雑性、そして多くの希少なマテリアルの存在から、収集対象としての魅力は極めて高いと言えます。

近年、その面白さから愛好者も増加し、キー・アイテムの争奪戦は熾烈を極めています。当然、難所・急所も少なくないため、一つのコレクションとしてまとめ上げることはもちろん、ベース・コレクションを作り上げることも決して容易なことではありません。

本誌前号では、選りすぐりのマテリアルで構成され、競争展出品をも考慮して高度な構成と専門的な書き込みを施した、飛脚・別配達・別仕立を含む急速郵便史の大河コレクションを特別提供いたしましたところ、大きな反響をいただきました。ご提供数1組のみということで、厳正な抽選を経て頒布いたしました。抽選に漏れた方々には大変申し訳なく存じます。

そこで今号では、前号でのご好評を受け、前回ご提供品と同じコンセプトで作られたコレクションを2組限定でご案内できることとなりました。前号ご案内のように高価で入手困難な「別配達」は含まれず、「速達」に限定したコレクションとなっておりますが、初期から昭和末期までの全ての速達料金を網羅した構成となっており、別配達が含まれない分だけ、お求めやすい価格でのご提供が可能となりました。1リーフあたり3,000円を切る特別価格でのご提供でございます。

ベーシック・ラインをしっかりと押さえ、さらに付加価値の高いアイテムを追加したコレクションは、このままでも既に全国レベル競争展への出品に堪える水準をクリアしておりこれに個々のコレクターのエッセンスを加味してさらに充実をはかることにより、将来的に極めて優れた郵便史専門コレクションへの発展が可能となります。

この水準のコレクションの形成は、長年にわたるマテリアルの入手努力に加え、郵便史の広範な知識やノウハウの習得に長期間を要すると考えられる困難な道程ですが、このコレクションにより専門知識も含めたマテリアルの一括入手が可能となることから、その「知識習得と個々のアイテムを丹念に蒐集するに要する時間を一挙に飛び越えられる」バリューは計り知れません。このチャンスにこの大コレクションを入手し高度な郵便史専門収集への第一歩を踏み出してみませんか？

二点限り  
特別提供  
抽選販売

# 100年間の急速郵便史 垂涎の大河コレクション

コレクションの一例 (全リーフはウェブで閲覧可能です。)

**速達郵便史**  
1924-81

この展覧会に出品された速達郵便物の多くは、大正期から昭和初期にかけてのものです。この時代の速達郵便物は、航空郵便の普及と共に、急速に発展しました。この展覧会では、この時代の速達郵便物の歴史を、年表と写真を通じて紹介します。

年	郵便物	備考
1924	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1925	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1926	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1927	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1928	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1929	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1930	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1931	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1932	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1933	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1934	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1935	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1936	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1937	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1938	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1939	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1940	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1941	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1942	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1943	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1944	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1945	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1946	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1947	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1948	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1949	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1950	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1951	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1952	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1953	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1954	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1955	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1956	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1957	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1958	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1959	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1960	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1961	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1962	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1963	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1964	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1965	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1966	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1967	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1968	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1969	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1970	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1971	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1972	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1973	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1974	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1975	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1976	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1977	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1978	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1979	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1980	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及
1981	東京府内 同 郵便区内相互間書状	航空郵便の普及

**速達郵便史**  
1924年12月

東京府内 同 郵便区内相互間書状

航空郵便の普及

## 大正期-1981年まで70年余の速達郵便史コレクション一括

A・B共に展覧会用にライトアップ(カラー印刷リーフ)アルバム2冊に収納した大コレクション。全5フレーム80頁構成。この間の速達基本使用例+αを全て網羅(航空含まず)、大正・昭和初期・昭和8-12年(地域限定速達時代)1フレーム、速達全国化後終戦まで2フレーム、戦後2フレームの計5フレーム構成でございます。

※AB各々の全ページの画像をご覧いただくことができるホームページを9/19より用意しますので、ご覧の上ご検討下さい。  
ホームページを見たい場合は以下の赤い文字それぞれをクリックしてください。

**[A] 価格 238,000円 (消費税別)**

**[B] 価格 238,000円 (消費税別)**

全国化前時代(料金6銭・12銭時代)7通(東京→横浜2区間書状、大阪→京都2区間書状含む)、同(料金8銭時代)8通(京阪神地区3通、東京市内便封緘葉書1通含む)、全国化以降69通(戦前31、戦後38)の計84通+他1点。初期使用例など貴重なアイテムを含みます。

### 【購入者特典】

A組・B組ともに購入者ご本人が希望される場合は、無料世界切手カタログ・スタンペディア(株)より速達郵便史の専門家をご紹介します、コレクション形成や競争展出品等について無料でアドバイスをお受けいただけます。

本ページで案内する商品の販売は10月15日(土)までにご注文の方の中から抽選とさせていただきます。  
注文先: 102-0083 海事ビル内郵便局留置 吉田敬 もしくはorder@stampedia.net までご連絡下さい

# 郵趣カレンダー

2016/9/15 ~ 2016/12/14 の郵趣イベント

## 国際郵趣連盟の規則に基づいて審査が行われる競争切手展

開催日	切手展名称	会場	備考
2016/10/21-26	World Stamp Championship PHILA TAIPEI 2016	台北ワールドトレードセンター (台湾、台北)	国際切手展 * 出品締切済み
2016/11/4-6	JAPEX2016	東京都立産業貿易センター台東館 (東京、浅草)	二大国内競争展 *9/20 出品締切
2016/12/2-6	CHINA2016	南寧コンベンションセンター (中国、広西チワン族自治区)	アジア国際切手展 * 出品締切済み
2017/3/30-4/2	MELBOURNE2017	コーフィールド競馬場 (オーストラリア、メルボルン)	アジア国際切手展 *10/15 出品締切
2017/7/15-17	全日本切手展 2017	すみだ産業会館 (東京、錦糸町)	二大国内競争展 * 出品要項未発表
2017/8/ 3-7	BANDUNG2017	Trans Studio Convention Center (インドネシア、バンドン)	国際切手展 * 出品要項未発表
2017/10/24-29	BRASILIA2017	Ulysses Guimarães Convention Center (ブラジル、ブラジリア)	国際切手展 * 出品要項未発表
2017/11月 (予)	DUBAI2017	未定	アジア国際切手展 * 出品要項未発表
2018/8/15-8/18	PRAGA2018	Clarion Congress Hotel Prague (チェコ、プラハ)	国際切手展 * 出品要項未発表
2018/12月 (予)	MALAYSIA2018	未定	国際切手展 * 出品要項未発表
2020/5/2-5/9	LONDON2020	Business Design Center (英国、ロンドン)	国際切手展 * 出品要項未発表

## 一般切手展

開催日	切手展名称	会場
9月30日(金)～10月2日(日)	星に向かって！宇宙切手部会展★ AERO / COSMOPEX2016・JPS 航空部会展 2016	切手の博物館
10月1日(土)～10月2日(日)	スタンプショウかごしま 2016	サンブラザ天文館
10月7日(金)～10月9日(日)	第19回千葉切手展	市川市文化会館
10月7日(金)～10月9日(日)	第13回震災切手と震災郵趣展	切手の博物館
10月12日(水)～10月15日(土)	鉄道切手部会展鉄道切手展 Railpex2016	切手の博物館
10月15日(土)～10月16日(日)	スタンプショウはかた 2016 第34回全九州ジュニア切手展	TKP カンファレンスシティ博多
10月22日(土)～10月23日(日)	音楽切手部会展 2016	切手の博物館
10月29日(土)～10月30日(日)	第4回ヨーロッパ切手展	切手の博物館
11月10日(木)～11月13日(日)	第7回世界の植物切手展	切手の博物館

※切手の博物館で開催される切手展の開催時間は特記ない限り 10:30-17:00 です。

## 国内4大フロアオークション

開催日	主催者	回	事前下見日	備考
9月18日	タカハシ・スタンプ・オークション	600		メールの部あり
10月16日	タカハシ・スタンプ・オークション	601		メールの部あり
11月5日	JPS オークション	506	10月29日	メールの部あり (11/8 正午 入札締め)
11月6日	ジャパNSTAMPオークション	94	11月5日	
11月20日	タカハシ・スタンプ・オークション	602		メールの部あり
12/3-4	ジャパNSTAMPオークション	95	11月27日	メールの部あり (11/29 午前9時 入札締め)
12月4日	スターオークション	37		大阪開催

※事前下見日および備考は、判明している物のみを掲載しています。またジャパNSTAMPの事前下見日については東京開催のみを掲載しています。

## 切手のフリーマーケット、即売会

開催日	曜日	名称	回	備考
9/24-25	土日	切手バザール	85	切手の博物館 (目白)
10月1日	土	切手市場	139	日本橋富沢町 綿商会館 9:00-17:00
11月12日	土	切手市場	140	日本橋富沢町 綿商会館 9:00-17:00
11/19-20	土日	切手バザール	86	切手の博物館 (目白)
12月3日	土	切手市場	141	日本橋富沢町 綿商会館 9:00-17:00
12/3-4	土日	大阪駅前第三ビルバザール	51	大阪駅前第三ビル 17 階 10:00-17:00

## 郵趣講演

開催日	講演タイトル	講演者	主催者
9/18	沖縄第2次通常 50 銭切手	新井紀元	関東郵趣大会 2016in 杉並
9/23	『リオデジャネイロ歴史紀行』刊行記念トークイベント	内藤陽介	えにし書房(会場:駐日ブラジル大使館)
10/1	切手収集をもっと楽しくートピカル収集の勧めー	長島裕信	中部スタンプショー 2016in 金沢
10/2	横浜フランス局 5118 印	小林彰	郵便史研究会総会
10/2	熊本郵便局にみる明治前期の郵便	立山一郎	郵便史研究会総会
10/8	切手事始め・英国領事館郵便	村岡安廣	中島水原賞受賞記念講演
2017/01/07	昭和切手の版式別の版別研究 ---- 総論	新井紀元	第2回製造面勉強会
2017/01/07	グラビア普通切手の製造面収集 (仮)	桑野博	第2回製造面勉強会
2017/01/07	手彫り切手と手彫り印紙の共通点や類似点についての勉強 (仮)	長谷川純	第2回製造面勉強会
2017/01/07	文化人切手を通じて理解する戦後初期の凹版印刷 (仮)	宮崎幸二	第2回製造面勉強会

※各講演の聴講にあたっては、会費や登録などの制限が設けられている場合がございます。条件については、それぞれの主催者にご確認ください

## いずみ切手研究会

開催日	曜日	会場 / 備考
9月18日	日	練馬区立勤労福祉会館 / 例会
10月16日	日	練馬区立勤労福祉会館 / 例会
11月20日	日	練馬区立勤労福祉会館 / 例会
12月18日	日	練馬区立勤労福祉会館 / 例会
2017/01/09	日	新年会

**郵趣カレンダーおよびピックアップイベントへの掲載方法**  
 フィラテリストマガジンでは、郵趣を活性化させるイベントを開催・運営される方を宣伝の観点からお助けします。地方郵趣会や特定サークルの切手展であっても、展示物に自信があるイベントを主催されていらっしゃる方、是非ピックアップイベントに掲載してみませんか。展示作品、フレーム数、出品者名等を明記の上、tpm@stampedia.net までご連絡ください。  
 切手展以外のイベントの宣伝もまずは電子メールでご相談ください。tpm@stampedia.net

## 切手市場

切手市場管理人 高崎 真一

フィラテリストマガジン読者の皆様いつもご来場有り難うございます。本誌に連載を書かせていただいた効果もあってここ数ヶ月間で更にご出店ご来場共に増えている状況です。

正直会場は多少手狭になってきて先を考えなくてはならない状況ではありますが、ご来場は午前中がピークで午後は空いてくる傾向ですので数時間の混雑時のために今の会場レイアウトを取り崩すのは難しいです。

また出店については既存のショップ様の増卓に対応しつつ新規の方も増えているので満席の状況がしばらく続きます。暫定的に引き受けてきました増卓も来年初めなどのタイミングでいったん整理させていただくことも考えています。

ご来場の伸び以上にテーブル数が増えても、懸案の午前午後のご来場バランスの均一化にはつながらずこちらを少々抑えて需給バランスを整えていきたいと思っております。

7月にはスタンペディア社さんの運営で第1回製造面研究会が同じ会場の綿商会館で開催され夕刻からのスタート前に切手市場にも多数お立ち寄りいただきました。有り難うございます。こうした融合イベントが誕生して下さると時間帯によっては双方ともに良い結果をもたらしてくれる場合が多く今後も同研究会様をはじめイベントが集まって下さることを祈っております。綿商会館の予約手順など私のほうで多少お役に立てることもあると思っております。お気軽にご相談下さい。



7月から3ヶ月間限定で毎月やっているチャリティオークションを熊本地震義援金付の特別イベントとして開催させていただきました。以前同様のチャリティイベントはやらせていただいたことはあるのですが、今回は切手を通じた社会貢献をテーマに手持ちの郵趣品が次なる方の手に渡り社会のためにも役立つプロセスを皆様と一緒に体験出来ればと考えてみました。金額的には小さなものですが多くの方々の御協力のもと収益金を生み寄付を行えるという実感から切手市場が社会的に存在意義のあるイベントなんだなという感想をもたせていただくことができました。

さて10月は静岡のsumi&ダミーさんがそれぞれ静岡価格のジャパン未済・外国未をテーブルいっぱいに並べて下さいます。静岡の郵趣活動に熱心なsumiさんは地元からの委託品やイベントの開催

情報をいっぱい抱えていつもアンテナショップの役割も果たしていらっしゃいます。

実際に切手市場で知り合って静岡のイベントに足を運ぶようななった方も多く年数回ながら10年に渡り出店を続けてこられた実績は大きなものになりつつあります。



外国訳あり未使用のダミーさんは単独出店も増やして切手市場の欠かせないメンバーになりつつあります。訳ありとは言ってもヒンジ跡はナシの未使用を今回はスコットの何掛での感じでOPPに細いペンで丁寧に値付しています。品作りがキレイで上手いそして掲示板での予告と当日のトークが絶品な代わりに準備に時間がかかり前夜に日本橋界隈のホテルで値付がギリギリまで行われているのは誰にもナイショの話です。

細いマッキーでスコットナンバーと電卓をパチパチして1円単位まで書かれているのは明らかな切手好きな証拠ですし売って利益どうかとうより何度も切手を見返して調べて更に知識深くなるのがご自身も楽しいようで掲示板の予告と当日の楽しい寅さんトークに表れています。今後ともご活躍下さい！



11月はニシノミヤさん、12月はMガレージさんが出店予定です。どうぞご期待下さい！



# スタンプショウかごしま2016

10/1～2 サンプラザ天文館 3階会議室

日本郵趣協会鹿児島支部 永吉秀夫

南九州最大の切手展として、毎年秋に開催されていますが、本年は会場が「サンプラザ天文館」(市電天文館通電停より徒歩3分)に変更となりました。

本年も一般市民向けのコレクション展示を柱として、切手収集に関する相談や切手の鑑定会を開催するほか、鹿児島東郵便局臨時出張所を開設し、切手の販売と小型印(下図)の押印を受け付けます。切手商ブースも設置されます。



## 展示予定作品(作品、出品者名、括弧内はフレーム数)

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 切手と文様        | 今井節子 (1)  |
| 切手と文様パート2    | 今井節子 (1)  |
| 皇室切手の文様と皇室文化 | 今井節子 (2)  |
| 世界の一番切手      | 谷之口勇 (2)  |
| ムーミンで郵趣!     | 岩重弘文 (1)  |
| 初期の文通週間切手    | 永吉秀夫 (1)  |
| 日本のエログラム     | 永吉秀夫 (1)  |
| 鳥とともに        | 川原啓一郎 (1) |
| その他2フレーム予定   |           |

## 切手商ブース

アオヤマスタンプ、松本敏明

## 問い合わせ先

永吉秀夫 (hmkj\_nezu49@yahoo.co.jp)



**たのしい切手の文化祭**  
**スタンプショウかごしま2016**  
 入場 無料

**日時** 10月1日(土)・2日(日)  
 10:30-17:00 9:00-15:30

**場所** サンプラザ天文館3階会議室  
 鹿児島市東千石町2-30 TEL 099(224)6639  
 (昔年と異なります)

様々な題材の切手コレクションを展示  
 企画展示「切手と文様」  
 特別展示「世界の一番切手」  
 その他、日本をはじめ世界各国の切手を展示

- 展示作品解説(随時)
- 切手の鑑定
- 使用済み切手のつかみ取り
- 鹿児島東郵便局・臨時出張所
- 切手商、郵趣会ラウンジ

無料配布品もいろいろあります!

主催:公益財団法人日本郵趣協会九州・沖縄地方本部  
 日本郵趣協会鹿児島支部  
 後援:日本郵便九州支社、南日本新聞社、NHK鹿児島放送局、MBC、KTS、KKB、KVT、エフエム鹿児島、鹿児島シャイエフエム

連絡先:永吉 秀夫(ながし ひでお)  
 電話:080-6445-9558 メール:hmkj\_nezu49@yahoo.co.jp  
 ホームページ:http://kaba49.my.coocan.jp

# 第19回千葉切手展

10/7~9 市川市文化会館

千葉県郵趣連合・市川郵趣会

会場：市川市文化会館 TEL：047-379-5111

会期：10月7日（金）～9日（日）

時間：10月7日（金） 12:00～17:00

10月8日（土） 10:00～17:00

10月9日（日） 10:00～16:00

臨時出張所開設、会場内での小型押印可能



市文振使用許諾 第016-001

## 特別展示

郵便印に見る市川局140年の軌跡ほか（7フレーム予定）県内フィラテリスト有志による合作

## 第1部：日本切手部門（括弧内は予定フレーム数）

下総国二重丸印 KG 型 (4) / 浅木福夫 (茂原ひめはる)

下総国 葛飾郡の二重丸印 (2) / 飯塚悟朗 (柏)

大型ボタ印にみる年賀状 (1) / 房村秀徳 (柏)

小判青1銭はがき印刷局銘の使用例 (1) / 斎藤 環 (メイト会員)

菊切手時代の下総国丸一印 (4) / 渡辺博行 (メイト会員)

日本の手押標語印 (2) / 矢嶋基之 (市川)

樺太庁発行の記念絵葉書 (3) / 原田昌幸 (メイト会員)

旧日本統治地の郵便 (3) / 鈴木光男 (市川)

太平洋戦争 外国郵便と外地との郵便1941-1948 (3) / 加瀬嘉文 (メイト会員)

30銭五重塔 (4) / 廣嶋宏治 (佐倉)

千葉県の図入り年賀印 (2) / 橋浦芳朗 (千葉)

67年シリーズ初期改色改版切手 (2) / 宮崎幸二 (佐倉)

鶴岡局の郵便印 1872-1945(戦前編) (5) / 冨樫敏郎 (市川)

第三種郵便 (1) / 畑山俊一 (茂原ひめはる)

著名人の年賀状 (1) / 房村秀徳 (柏)

つながる切手 (1) / 柳原 正 (成田)

日本の童謡・唱歌 (2) / 伊藤俊治 (千葉)

切手の花屋さん (3) / 橋本礼男 (佐倉)

日本の城 (1) / 林 果林 (千葉)

競馬の移り変わり (5) / 中村雅喜 (千葉)

日本の山 (1) / 相川徳雄 (君津)

南極地域観測 (5) / 檜垣廣政 (習志野)

マイ郵便局 原局 (1) / 原 信次郎 (市川)

東北大震災被災県の366日 (2) / 野村伸弥 (市川)

私の郷里「滋賀と千葉」 (2) / 中尾英雄 (市川)

ふるさと切手 - 民営化以前 (4) / 河村正明 (成田)

## 第2部：外国切手部門

旧ソ連・ロシアの記念切手 (3) / 大見國敷 (佐倉)

中国の郵政開発附加費証紙 (2) / 大塚 章 (茂原ひめはる)

オーストリアの切手 (2) / 高階吉生 (成田)

中国からの郵趣の手紙 (5) / 永原 昇 (千葉)

スウェーデンの切手 (2) / 斎藤 純 (千葉)

世界のバラ (2) / 宝田嘉久男 (市川)

世界のキノコ (茸) (3) / 村井勝彦 (習志野)

アジアの鳥 (3) / 間中通康 (柏)

# MELBOURNE2017 作品募集

申込期限：2016/10/15

MELBOURNE2017 日本コミッショナー 長島 裕信



メルボルン市中心部遠景（実行委員会ホームページより）

MELBOURNE2017 は、2017年3月30日から2017年4月2日までオーストラリアのメルボルンで開催されるアジア国際切手展です。この開催でアジア国際切手展は第34回目となります。

会場：Caulfield Racecourse, Caulfield, Melbourne, Australia

期間：2017年3月30日から2017年4月2日まで（合計4日間）

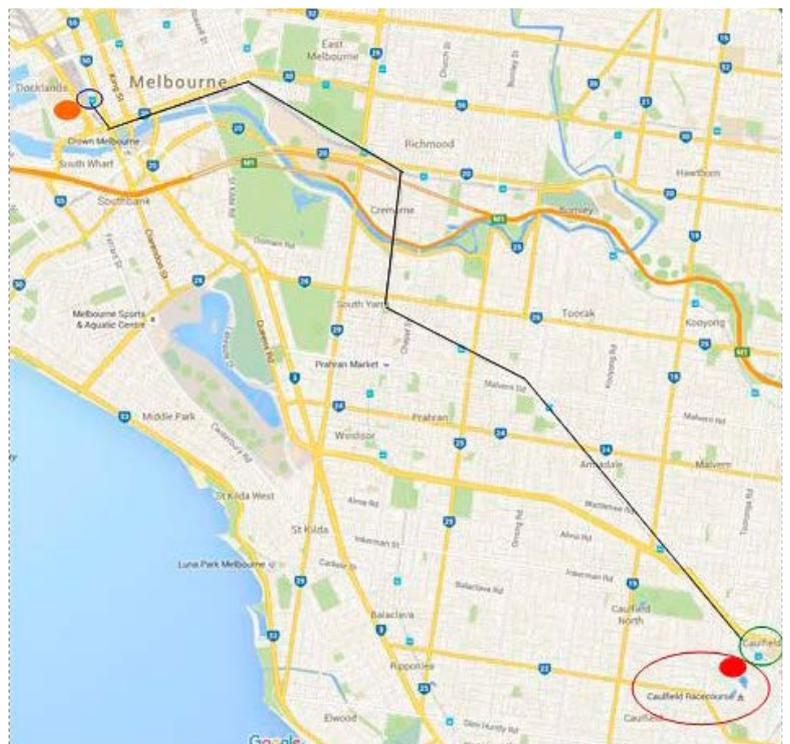
同切手展の特別規則 (IREX) が明らかになりましたので、フィラテリストマガジン第12号の付録に日本語による内容抜粋を再録し、出品作品を募集します。なお、出品を申し込む方は、必ず原文の特別規則 (IREX) にも目を通してください。

## < コミッショナー連絡先 >

長島 裕信 (ながしま ひろのぶ)

E-mail: nagashima.hironobu@nifty.com

住所：〒411-0044 三島市徳倉 734-28



オフィシャルホテル（左上のオレンジの楕円）と会場（右下の赤の楕円）の間には、鉄道が通っています。（トロリー？）

# PHILA TAIPEI 2017

開催期間：2016/10/21-26

会場：World Stamp Championship PHILA TAIPEI 2016

公式 HP：<http://taipei2016.post.gov.tw/post/taipei2016/en/Default.jsp>

日本からは文献部門を除いて、23 作品 154 フレームが出品されます。

近年の国際展では NY2016 の 162 フレームに次ぐ規模です。

ワールドチャンピオンシップ展で、海外からの素晴らしい出品が多数あります。隣国ですので、HP で一覧をご覧の上、是非ご参観ください。



10/21-26

## 同切手展に日本から出品される作品の一覧

出品部門	展示フレーム番号	作品	F	出品者
チャンピオン	10017-10024	Japanese Post and Foreign Postal Activities in Korea 1876-1909	8	Inoue Kazuyuki
伝統 (AOA)	22061-22065	Japan Showa Issue 1937-1947	5	Wada Teruhiro
伝統 (AOA)	22066-22070	Ryukyus Air Mail Stamps 1950-60	5	Ishizawa Tsukasa
伝統 (AOA)	22071-22075	Japan Chrysanthemum Series 1899-1910	5	Murayama Kousuke
伝統 (AOA)	22076-22083	Chrysanthemum Issue of Japan	8	Hatanaka Tamidou
伝統 (AOA)	22084-22091	Siam Classic	8	Iwasaki Zenta
伝統 (AOA)	22092-22099	Japan Old Koban Series 1876-1879	8	Kouno Ryoichi
伝統 (AOA)	22100-22107	Hand Engraved Stamps of Japan (1871-1876)	8	Ota Katsumi
伝統 (アメリカ)	24067-24071	Nova Scotia Pence & Cents Issues 1851 - 1867	5	Tada Yuichi
伝統 (アメリカ)	24072-24079	Hawaii	8	Yamazaki Fumio
郵便史 (中国)	31001-31008	The Opening of China 1745-1897	8	Ohba Mitsuhiro
郵便史 (AOA)	32071-32075	A Franco-Japanese Postal History 1860-1899, from opening ports to treaty revision	5	Kobayashi Akira
郵便史 (AOA)	32076-32083	The Japanese Couriers 1601-1873	8	Yamazaki Yoshiyuki
郵便史 (AOA)	32084-32091	Prompt Delivery in Japan as Nationwide Services	8	Ikeda Kenzaburo
郵便史 (AOA)	32092-32096	Postal History of the Japanese Military Mail 1928-1945	5	Tamaki Jun-ichi
郵便史 (AOA)	32097-32101	Japanese Military Post from Sino-Japanese War to Russo- Japanese War	5	Shimizu Masaaki
郵便史 (AOA)	32102-32106	The US Forces and Postal Censorship by General Headquarters in Japan	5	Ando Gensei
郵便史 (ヨーロッパ)	33110-33117	German Inflation 1922-1923	8	Ito Fumihisa
ステーショナリー	40050-40054	Stamped Envelopes of Japan 1873-1908	5	Sugihara Masaki
ステーショナリー	40055-40062	Postal Cards of China 1897-1912	8	Fukui Kazuo
テーマティック (テクノロジー)	63068-63075	A History of the Telephone - Telegraph to Digitalization	8	Katsui Akinori
印紙	70061-70068	The Hand Etched Documentary Revenue Stamps of Japan 1873-1874	8	Hasegawa Stephen Jun
文献 (単行本)		International Exhibition History 1965-2004		Shoda Yukihiro
文献 (単行本)		Hiroyuki Kanai "Classic Japan 1871-1876"		The Philatelic Culture Museum
文献 (単行本)		The Japanese Rail Road Cancellations		Narumi Co
文献 (単行本)		Courier in Japan		Yamazaki Yoshiyuki
文献 (カタログ)		Encyclopedia The Japanese Showa Stamps		Narumi Co
文献 (カタログ)		Visual Japanese Stamp Catalog Vol 1, Vol 2, Vol 3, Vol 4		Japan Philatelic Society, Foundation
文献 (カタログ)		New Year's Mails and History of the Greeting Stamps		Japan Philatelic Society, Foundation
文献 (カタログ)		Japanese Revenue Stamp Catalogue		Narumi Co
モダンフィラテリー	11031-11035	Japan Definitives: 1980 - 1988	5	Sudani Nobuhiro

## 第4回ヨーロッパ切手展

アルプス・ヨーロッパ切手部会

ヨーロッパ切手展は、2013年より毎年一回開催されている非競争の切手展です。毎回テーマを一つ決め、展示者を募集する形で運営しており、過去に「黒海」「スイス」「バルト三国」を取り上げました。

第4回となる本年は、会員の中に熱烈な収集家が多く、以前から開催テーマにすることが期待されていた「フランス」をテーマにしたコレクション約40フレームを展示いたします。

主催者：公益財団法人日本郵趣協会 アルプス・ヨーロッパ切手部会

後援：在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本、公益財団法人日仏会館

協賛：Cartor Security Printing、無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

日程：2016/10/29-30(土日)

場所：切手の博物館(目白)

### 展示内容

レギュラー部門：フランスに関連する切手コレクション

ワンリーフ部門：アルプス・ヨーロッパ切手部会員によるワンリーフ展

文献部門：フランス切手の収集に関する文献



### レギュラー部門展示予定作品(作品、出品者名、括弧内はフレーム数)

Ceres in the Nineteenth Century	吉田 敬 (2)
Napoleon non laure France 1852-1862	有吉 伸人 (5) *全日展 2016 グランプリ
パケットで作る 20 世紀フランス通常切手コレクション	菊地 恵実 (1)
パストゥール・タイプ	榎本 一彦 (5) *JAPEX05 グランプリ
ドイツ/フランス占領地区の切手	木戸 祐介 (3)
お気に入りのフランス凹版切手	甲斐 正三 (1)
在中国フランス郵便局	有吉 伸人 (1)
カンボジア	長野 行洋 (1)
フランスのプレスタンプカバー	竹上 幸浩 (1)
フランス・クラシックの日付印	有吉 伸人 (2)
日仏郵便史	小林 彰 (5) *TAIPEI2016 出品予定作品
フランス客船 東洋航路の八角形船内印	鈴木 光男 (1)
アニメ「ベルサイユのばら」	内田 雄二 (2)
カルトゥール製造の切手	カルトゥール (1)
日本・ベルギー 150 周年記念切手 分色シート	カルトゥール (1)

\*展示は予定であり、追加・変更の可能性がございます。

## 併設イベント「Marche de Timbre」のご案内

公益財団法人日本郵趣協会 アルプス・ヨーロッパ切手部会 会員が切手の重品を持ち寄り、会場にて「パリの切手市」を再現いたします。フランス切手を中心とする郵趣マテリアルを購入できるほか、パリの切手市を描いた映画「シャレード」を会場で上映いたします。

また、協賛企業である、Cartor Security Printing 様が、この切手市への出店を決定。昨年シンガポールで開催された国際切手展 Singapore2015 の会場で来場者に配布した、シール式 P-stamp を、東京で初めて配布いたします。(写真下はサンプルです。無料。一人一部)「シール式 P-stamp」とは、カメラで撮影した人物の写真などをその場で刷り込んで印刷した切手状のシールのことです。同社は当該技術を用いて、世界中の郵政にオリジナル切手の製造装置を提供しており、今回のシールは公式に使用されるのと全く同一の機会を用いて製造される貴重な郵趣周辺マテリアルです。

(発行部数：1000部。シートサイズ：148.5 \* 210.0 mm、切手状の6片の周囲に目打穿孔あり。両日共先着 500 名さまに無料で提供いたします。)

本展覧会に協賛しているスタンペディアは、10月中旬に、同展覧会の参観ガイドをフィラテリストマガジンの号外として発行する予定です。どうぞご都合を合わせてご参観ください。



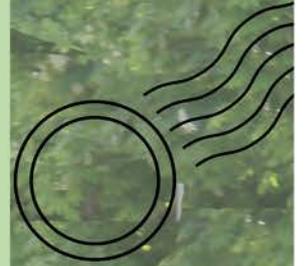
第4回ヨーロッパ切手展

テーマ「フランス」

2016.10.29-30

切手の博物館（目白）

アルプス・ヨーロッパ切手の会



4ème exposition philatélique européenne  
samedi & dimanche, Octobre 29-30, 2016

**特報**

毎日先着500名様に  
カルトウール社製「シール式 P-stamp」  
を無料配布

展示予定作品（抜粋）

日仏郵便史（8） 小林彰 \*TAIPEI2016 出品予定作品  
パストゥール・タイプ（5） 榎本一彦 \*Japex05 グランプリ  
Napoleon non lauré France 1852-1862（5） 有吉伸人  
ドイツ／フランス占領地区の切手（3） 木戸祐介  
フランス客船 東洋航路の八角形船内印（1） 鈴木光男  
アニメ「ベルサイユのばら」（3） 内田雄二  
カンボジア（1） 長野行洋

CARTOR

# 第7回世界の植物切手展

JPS 植物切手部会世話人 羽賀 正雄

開催期間：11月10日(木)～13日(日)、10:30～17:00

会場：切手の博物館F3 (目白)

本年、第7回を迎えた「世界の植物切手展」を植物切手部会主催で開催します。JAPEX直後の会期です。植物関連のトピカルやテーマチック主体の切手展となりますが、伝統やゼネラルの方々にも楽しめるようアーカイブやバラエティ、使用例などを盛り込んだ作品も展示されます。

全国切手展上位入賞作品にさらに磨きをかけたものもあり、守備範囲の広い方には十分楽しめます。また、植物は一般になじみやすく関心を持たれる方も多いと思いますので、フィラテリストのみならず一般の方々もお誘いの上ご観覧ください。



ゴクラクチョウカ proof

小型印：10日(木/初日)、12日(土)の2日間使用予定(デザインは「郵趣」11月号に掲載)

豊島区臨時出張所開設時間 10:30～17:00 (12:00～13:00は昼休み)

記念カバー販売予定他、展示作品解説、植物切手文献案内や収集相談等

## 主要展示内容 (予定、括弧内はフレーム数)

日本切手カタログー花切手編	奥田 重俊 (4)	果物が持つ驚異の健康効果	宝田 嘉久雄 (2)
ショウガ亜綱	石田 徹 (4)	果物の樹	三宅 秀雄 (2)
ツツジとシャクナゲ	奥田 重俊 (1)	世界で愛される薬用植物	谷 覺 (1)
バラ科の植物	山田 精一 (1)	蝶の幼虫の食餌植物	澤口 尚子 (2)
バラの世界	山田 精一 (2)	ウエットランドの自然	奥田 重俊 (3)
ロイヤルメール (チューダーローズ)	山田 精一 (1)	バオバブ/サバナの巨人探訪	羽賀 正雄 (1)
奇木バオバブを知る	羽賀 正雄 (1)	シエクスピアの花	小林 和子 (1)
ツンベリーと仲間たち	大畑 紀子 (3)	マツ林に生育するキノコ	山田 昌弘 (1)
アンドレ・ブザンの描く花	今井 郁 (1)	レアーなキノコ切手	石川 博之 (1)
植物切手でみるチェコスロヴァキア	市川 敏之 (1)	MC デザインの魅力	羽賀 正雄 (1)
花卉園芸：ヨーロッパから世界へ	嘉ノ海 暁子 (5)		

## 第2回製造面勉強会

無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

当社の主催により、2016年7月2日(土)に開催した「第1回製造面勉強会」は、64名の参加者(スタッフ・講師を含む)を迎え、大変な盛会となりました。アンケートを取ったところ、参加者の評判も良く、同勉強会を「日本のフィラテリーの製造面の研究発展」の為に継続して開催することにいたしました。

「第2回製造面勉強会」については、当初は本年10月の開催を検討しておりましたが、アンケートにおけるご要望をもとに、(1)講演の本数と時間をそれぞれ倍増させ、(2)一日イベントに進化させるため、十分な準備時間を取り来年正月明けに開催することにいたしました。

会合名：第2回製造面勉強会

日時：2017.1.7(土) 10:00AM-18:00PM (開場 09:30AM)

会場：綿商会館(東京都中央区日本橋富沢町8-10 TEL 03-3662-2251)

会費：4,000円(昼食の弁当付き)

申込：スタンペディア(yoshida@kitte.com)もしくはエーエージェントスタンプ(03-3995-4317)

### 講演内容・講師(50音順)

「昭和切手の版式別の版別研究 --- 総論」新井紀元氏

「グラビア普通切手の製造面収集(仮)」桑野博氏

「手彫り切手と手彫り印紙の共通点や類似点についての勉強(仮)」長谷川純氏

「文化人切手を通じて理解する戦後初期の凹版印刷(仮)」宮崎幸二氏

\*講師及び講演内容は変更の可能性がございます。

\*一講演は90分で、講演および質疑応答で構成されます。

\*講演の間には30分の休憩時間を設けます。(ランチ休憩のみ60分とします)

\*休憩時間のみ、切手商ブース(エーエージェントスタンプ等)が開設されます。

\*本勉強会は、参加にあたり事前申込が必要です。



講演後の質疑応答風景



休憩時には、製造面即売会も行われました



空席が見当たらない程の盛況ぶり

<広告>

日時:

2017.1.7 (土) 10:00AM-18:00PM (開場 09:30AM)

会場: 綿商会館 (東京都中央区日本橋富沢町 8-10 Tel. 03-3662-2251)

会費: 4,000 円 (昼食の弁当付き)

# 第

# 二

# 回

# 製造面

# 勉強会

講演内容・講師 (50 音順)

「昭和切手の版式別の版別研究 ---- 総論」 新井紀元氏

「グラビア普通切手の製造面収集 (仮)」 桑野博氏

「手彫り切手と手彫り印紙の共通点や類似点についての勉強 (仮)」 長谷川純氏

「文化人切手を通じて理解する戦後初期の凹版印刷 (仮)」 宮崎幸二氏

- \* 講師及び講演内容は変更の可能性があります。
- \* 一講演は 90 分で、講演および質疑応答で構成されます。
- \* 講演の間には 30 分の休憩時間を設けます。(ランチ休憩のみ 60 分とします)
- \* 休憩時間のみ、切手商ブース (エージェントスタンプ等) が開設される他、同日、同会館 4 階では切手のフリマ「切手市場」が開催されています。
- \* 本勉強会は、参加にあたり事前申込が必要です。(スタンペディア郵趣文献ショップでお申込みいただけます。)
- \* 勉強会終了後に新年会を開催いたします。



# 一月七日

## 「地域等切手サークル発行の書籍・雑誌の紹介」の開始について

日本で発行されているフィラテリー雑誌の内、200部以上の発行実績が確認されるものを、現時点で判明した発行部数で区分すると以下の表のようになります。

10,000部超	フィラメイト、スタンプマガジン、stamp club
5,000-10,000部	郵趣
1,000-5,000部	郵趣ウィークリー、ジャパNSTAMPオークション、スタンペディアフィラテリックジャーナル
200-1,000部	郵趣研究、フィラテリストマガジン、たんぶるぼすと、JPSオークション、スターオークション、IZUMI

\* 本表は当該発行部数の雑誌を網羅したものではありません。発行部数の情報を継続して求めております。

\* 発行実績は、紙による購読が可能であることを条件とした上で、PDF配信のみの購読者数を加えています。

一方で発行部数が十数部から200部未満の地域等切手サークル発行の雑誌は、まだまだ日本でたくさん発行されており、その正確な発行実績や内容の把握は郵趣界全体として行われておりません。これらの雑誌の中には、上記に示した発行部数200部以上の雑誌で報じられない貴重な寄稿記事があるものが少なくありません。啓発記事であればまだしも、独自研究や新発見などがあった場合に、その報告が郵趣界全体として共有されないのは、日本のフィラテリーの損失だと感じています。

この思いをもとにフィラテリストマガジンでは、昨年、東京都練馬区で毎月会合を行いながら素晴らしいフィラテリーの雑誌を刊行する「いずみ切手研究会」の会報「IZUMI」のPDF配信を開始いたしました。同雑誌の昨年までの購読者数は約100名でしたが、この一年間でPDF配信と紙で購読する会員が100名増加すると共に、独自記事満載の会報「IZUMI」がより多くの方の目に触れるようになりました。

将来的には更に多くのPDF配信のお手伝いができればと考えておりますが、それ以外にも現時点でできることを考え、当方が購読もしくは献本された地域等切手サークル発行の書籍・雑誌の内、是非広く皆様に知っていただきたい媒体を毎号一冊紹介したいと考えるに至りました。

コーナーとしては、創刊号以来、巻末で連載してきた郵趣文献記事と類似しますが、対象をより限定した新たに連載記事として始めることにいたしましたので、どうぞご期待ください。

第1回は先月、第200号を発行した「市川郵趣」(市川郵趣会・会報)をご紹介します。(次ページ)

## 地域等切手サークル発行の書籍・雑誌の紹介 第1回

# 市川郵趣会・会報「市川郵趣」

毎年精力的な切手展を主催している千葉県郵趣連合に加盟し、その活動を支えている市川郵趣会のフィラテリストは、12名と決して多くありません。しかし特筆すべきはその全員参加の精神です。毎月の例会は原則としてほぼ全員参加。記念誌である「市川郵趣」第200号にも例会に参加している全員が記事を執筆しています。

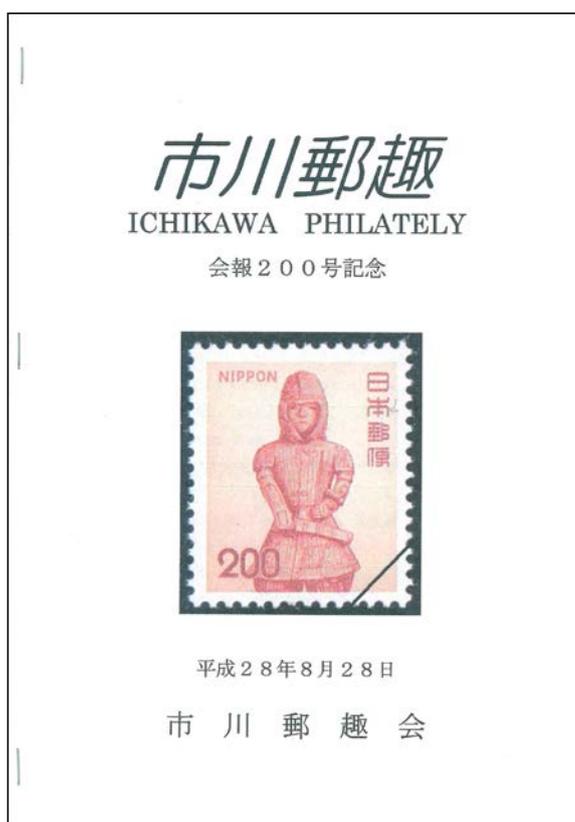
「全員執筆」というのは文字にすれば容易いかもかもしれませんが実現は難しいと思います。会長にリーダーシップがあるだけではダメで、優秀な会報担当者の存在が必要不可欠でしょう。その両方を兼ね備えた市川郵趣会の会報200号は注目すべき内容が複数含まれていますで一覧と共にご紹介します。

Washington2006等にWestern Australiaを出品していた根岸氏の記事は初めて読みました。松戸郵趣会の会長でもある鈴木光男氏の記事では田辺卓弥拓躬氏との出会いの話が興味深いです。中村雅喜氏の印字切手エラーの寄稿内容は、同切手の製造面の貴重な資料であり、当該分野の収集家にとっては必見の内容です。

中尾英雄氏の寄稿からは、郵趣振興を当社が行うにあたり、ヒントとなるアイデアをいくつもいただきました。紙幅の関係で全ては紹介できませんが、ご紹介させていただきました。

当地に持ち込まれた、紅梓一銭葉書の使用例	吉田 敬
ブラックスワンと旅した日々	根岸 昭二
郵趣の迷路に泣き笑い	鈴木 光男
トピカル収集の醍醐味	印南 博之
市川郵趣会 素晴らしい先輩に恵まれ幸せです	野村 伸弥
いま、蒐集で思うこと	中尾 英雄
切手との出会いによる嬉しい思い出	宝田 嘉久男
切手と消印ー思い出とこれからー	矢嶋 基之
私の切手事始め	原 信次朗
入手したエラー印字切手	中村 雅喜
標語印「ぜひ / 標札を / 掲げませう」	山田 克興

雑誌名	市川郵趣(市川郵趣会・会報)
発行	市川郵趣会(会長 富樫 敏郎, 1998年設立)
会報担当	宝田 喜久雄
創刊	1998.8.23
会員数	12名
発行部数	60部(通常号は35部)
発行間隔	月刊(原則として毎月第4日曜日)
体裁	B5判(182*257mm)
印刷	カラーコピー
製本	ホチキス止め
購読方法	原則として例会に参加できる会員のみが購読できる(年会費:1,500円)
例会開催日	催事ない限り、毎月第4日曜日



# 私の発見・私の報告

## レターパックの新種発見

報告者：木戸 裕介

現在郵便局で販売されている、レターパックプラスおよびレターパックライトについて「ご依頼主様保管用シール」のフォントが本年5、6月より変更され、細くなっている事を発見しました。



変更箇所は、左側の「はがす」の文字および上部のフリーダイヤルから始まる二行で、これまで発行されてきたものに比べて細いフォントで印刷されたものが、本年5、6月ごろより販売されています。



小さな違いですが、毎日仕事で使っている身からすると、すぐに「あれっ」と、気になるほどの違いです。



また、レターパックプラス（赤）の新種については、追跡番号の数字の印字フォントがより明白に異なっています。



同様の違いをレターパックライト（青）で調べたところ、追跡番号の上4桁「3268」において、同様のフォントで印刷された物を発見しましたが、「はがす」等のフォントが新しい細いものとは必ずしも一致しないようで、今後の調査がさらに必要です。



商品名	色	太いフォントを確認できる追跡番号の上4桁	細いフォントを確認できる追跡番号の上4桁
レターパックライト	青	3264 まで	3265 以降 (2016.5.19)
レターパックプラス	赤	2276 まで	2278 以降 (2016.6.18)

\*カッコ内の数字は確認できる最初期です。

本記事を補筆するデータや解釈を募集します。木戸さんもしくは編集部までご連絡ください。

## 私の発見・私の報告

### 新潟中央のローラー印「ほくろ新潟」について

報告者：伊藤 和彦

和文ローラー印は、局名文字に大小などの変化があり、同じ局でも違いがあるように感じられます。そこで抜き取り調査を実施したところ、新潟中央郵便局のローラー印について、「新潟・中央」と点（ドット）が入るサンプルを発見いたしました。

特定郵便局で使用する和文ローラー印では、都道府県名と郵便局名の間に点（ドット）を入れる事が普通に行われていますが、新潟中央郵便局の局名はあくまで「新潟中央」であり、都道府県名の後に点（ドット）が入るのは正しくありません。そこで当初は単なる消印の汚れと考えましたが、複数のサンプルを発見しましたので、新種として捉える事にしました。

現在、平成2年の縦線入り旧ローラー印、同4年・5年の斜線入り新ローラー印を確認済みです。この消印はいつからいつ頃まで使用されたのでしょうか。郵政民営化で分社したり統合したりで局名表示もかわりましたが、現在の新潟中央では窓口部局は従来からの字体、集配部局は新字体のローラー印を使用しています。



本記事を補筆するデータを（特に新潟県のフィラテリストの皆様から）募集します。伊藤さんもしくは編集部までご連絡ください。

## 私の発見・私の報告

### インクジェット式機械印の新仙台・東京北部局における使用開始

報告者：鈴木 盛雄、藤田俊則（編集部取りまとめ）

本誌第10号で、大嶋篤二氏、小坂彰宏氏が、四日市西局におけるインクジェット式機械印の使用開始を報告した事を契機に、同第11号にて鈴木盛雄氏が、その後の調査並びに、同式の機械印が配備された大阪北局と博多北局の使用開始について報告しました。

ところが、7月以降、東京北部郵便局と新仙台郵便局でインクジェット式機械印が使用開始された事がわかりました。同機械印は試験段階を経て、拡大本配備がいよいよ始まったと言えると思いますので、鈴木さん、藤田さんによる速報を、今後の見通しも含めて編集部で取りまとめました。

#### 東京北部郵便局

2015.5.4 開業。

東京都内中部のゆうパック仕分け拠点として同日開業。局名に「東京」と付くが所在地は、埼玉県和光市新倉 5-2-5 (〒172-8799) である。建設中は「新西東京郵便局」という仮称がつけられていた。同局は、一般客向けの窓口業務を行わない郵便局である。

2016.7.25 (時間帯 12-18) より東京都の三鷹、調布、武蔵野、狛江郵便局管内の郵便物の集配を始めた。(図1) これに先立つ7月22日に試験運用が開始されたと言われているが、現物は確認されていない。

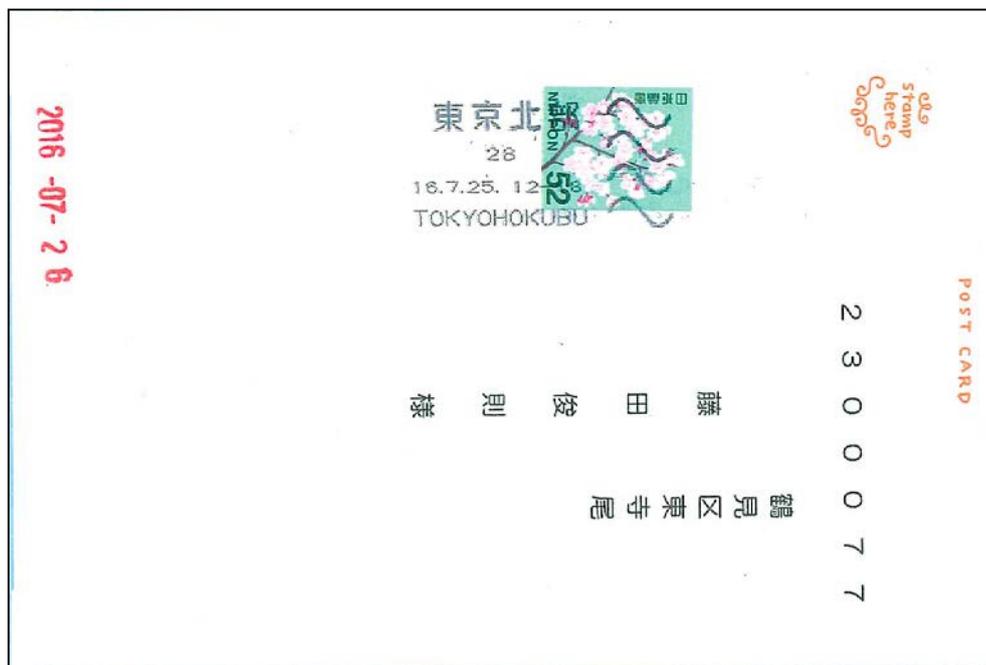


図1 (藤田俊則氏  
收藏品)

一般客向けの窓口業務を行わない上に、郵頼を受け付けない方針のため、初期使用例の収集にあたっては、収集家はポスト投函に頼らざるをえなかった。しかし投函しても必ずしもインクジェット式機械印が押されるとは限らず、他の消印（黒活印、和文機械印、和文ローラー印など）で抹消されることも多かった。（それはそれで郵便史的には意味のあることであるが）

この原因としては、収集してきた郵袋の中の郵便物の抹消処理開始時刻と、完了して次の作業に移らなければならない締め切り時刻の差から計算して、インクジェット式機械印のみでの作業では間に合わないと判断された場合には、他の抹消手段が併用されたためと推定されており、一緒にポスト投函された郵便物に対して異なる抹消印が使用されているケース（図2）も見つかっている。

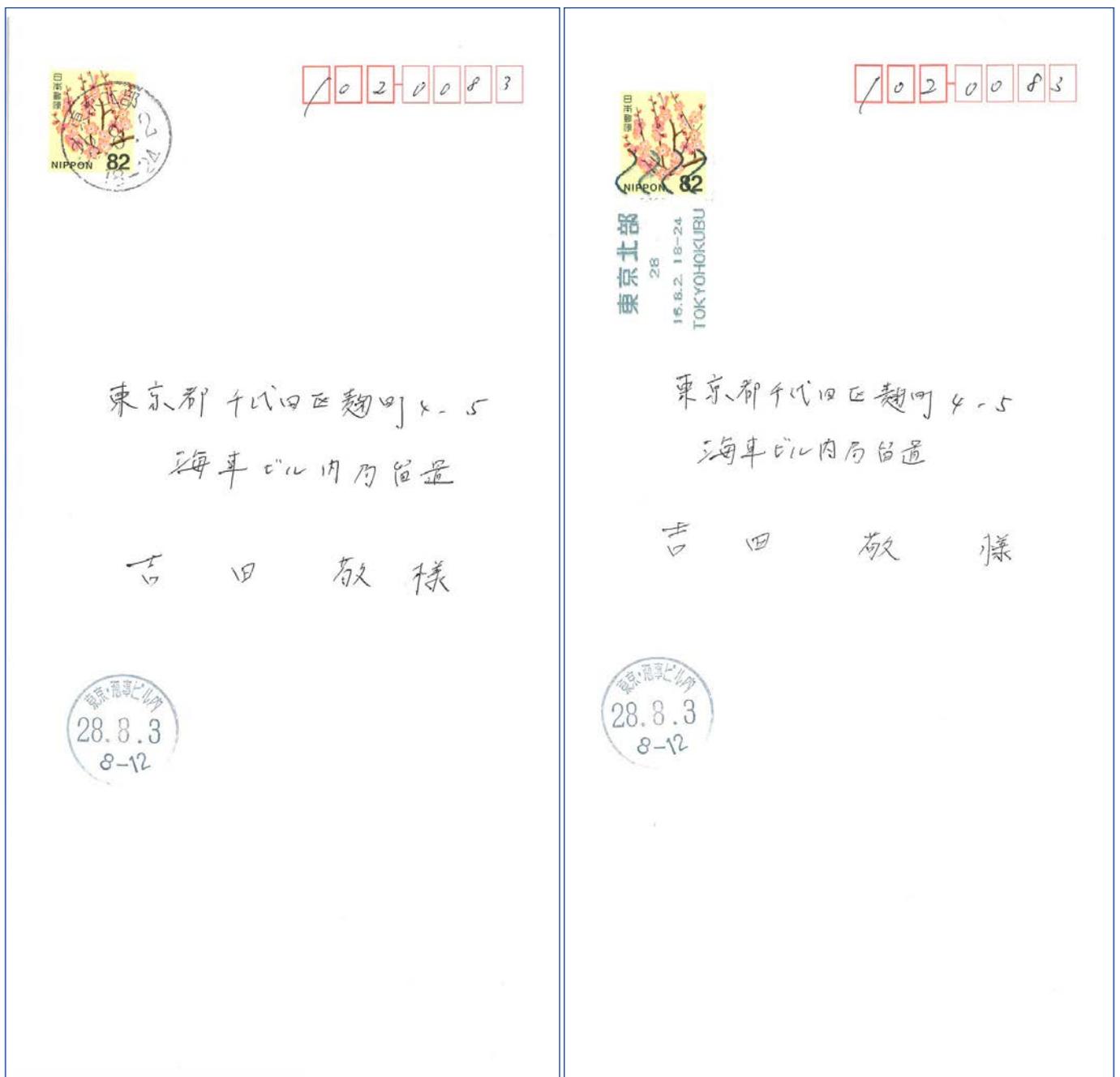


図2 同時刻に異なる消印で抹消された2通 東京北部 28.8.2 18-24

また、インクジェット式機械印には、「切手認識追尾機能」がついており、図1に見られるように、当初はこの機能が使用されていた。しかしながら8月前半までの一時期、同機能が使用されなかった時期があり、その結果として、「切手認識追尾機能」がついていれば十分抹消できる3枚ストリップが抹消しきれず、黒活印の追加抹消が施されている使用例も見られる。(図3) なお8月中旬以降は「切手認識追尾機能」が再び使用されているようだ。(図4)

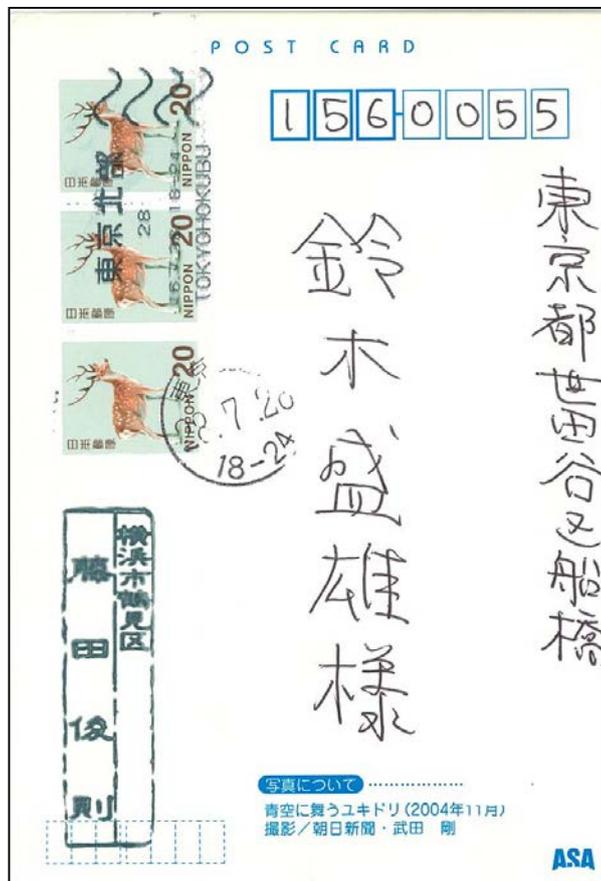


図3 鈴木盛雄さん收藏品 東京北部 28.7.28 18-24

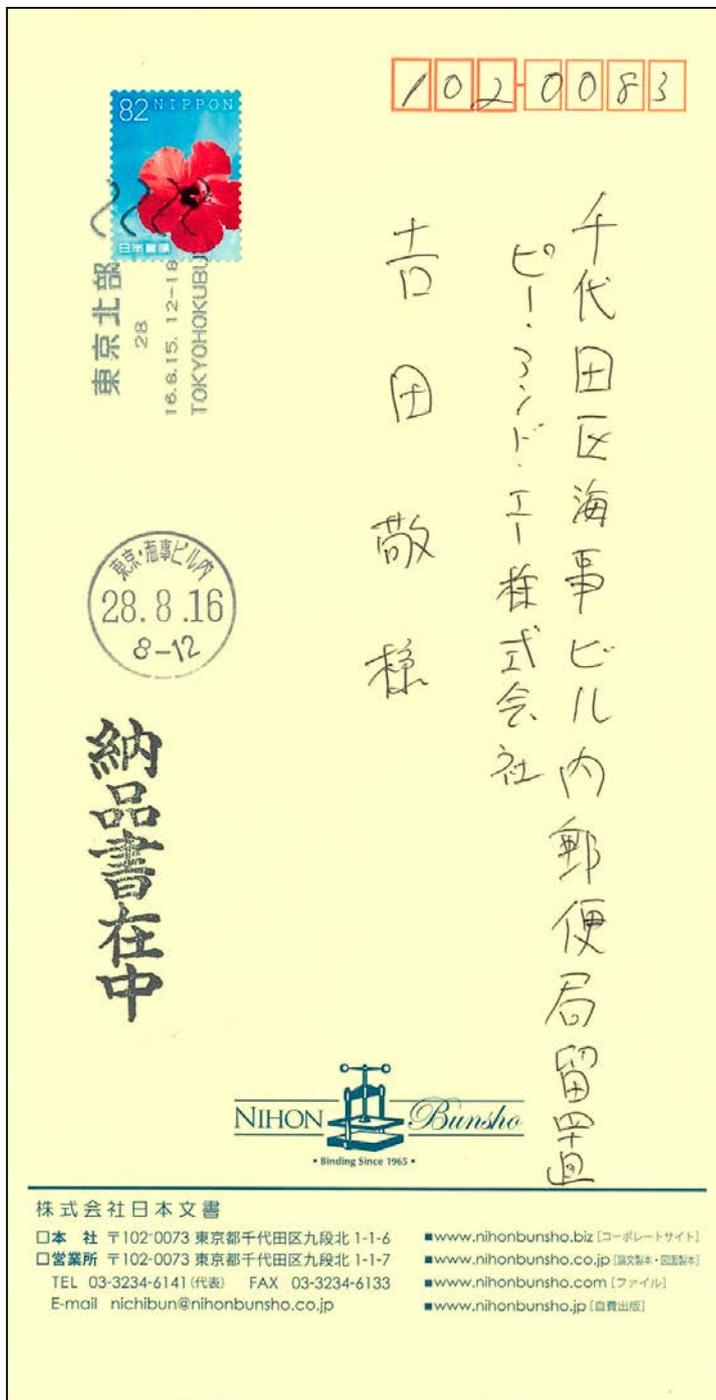


図4 東京北部 28.8.15 12-18

なお、東京北部郵便局による郵便物の収集エリアについては、その後、2016.8.8より、西東京郵便局管内も対象エリアに追加されたことがわかった。本件については、次号以降も引き続き、東京全体としてどうなるのか見ていきたい。

## 新仙台郵便局

2002.10.7 開業。

所在地は、宮城県仙台市太白区鉤取字谷地田 8 0 番 (〒 982-8799) である。

郵便事業専門の郵便局として(「郵便局事業」がないということ)開局したため、常設の窓口はないが、ゆうゆう窓口を持つ郵便局である。

2016.8.8(時刻表示 8-12)に集配郵便物の処理にインクジェット式機械印の使用を開始した。(図5)

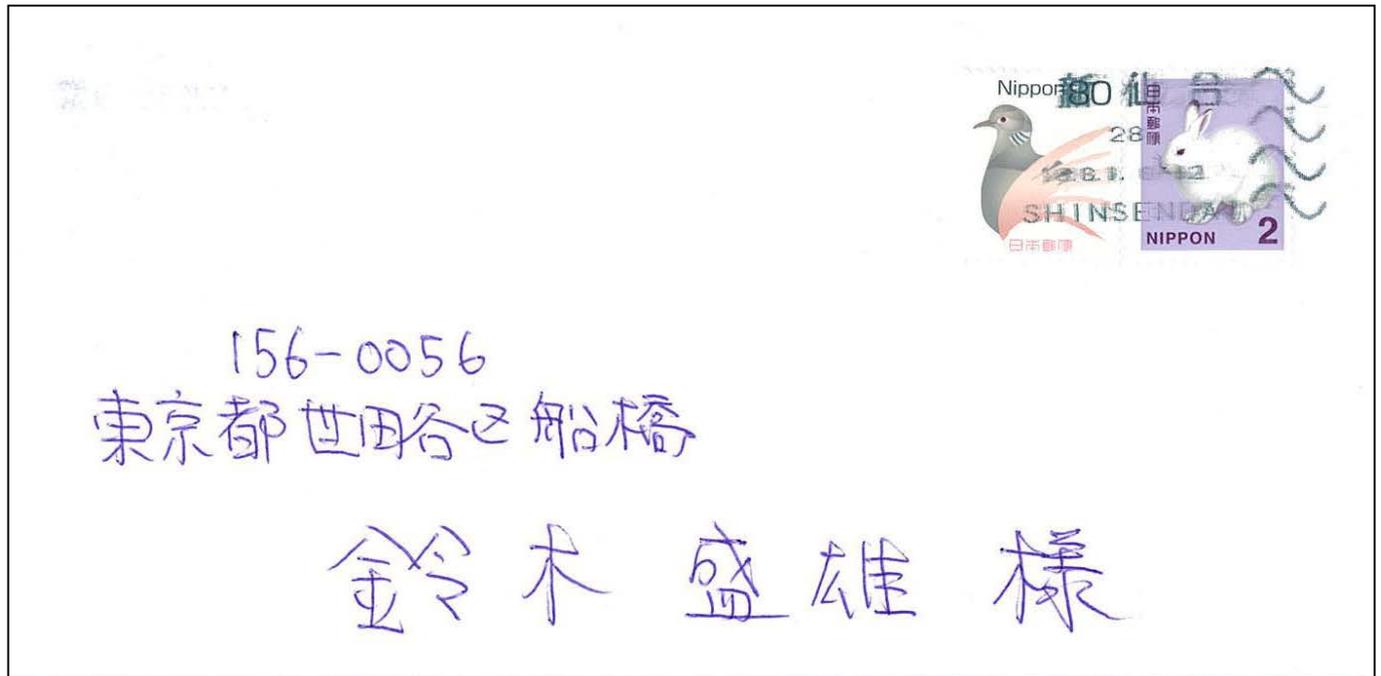


図5 鈴木盛雄さん收藏品 新仙台 2016.8.8 8-12

表 インクジェット式機械印一覧 (鈴木盛雄さん作成)

タイプⅠ	東京中央	平成 19 年 07.1.23 ~ 07.9.30
	銀座	平成 19 年 07.1.30 ~ 07.9.
	日本橋	平成 19 年 07.1.30 ~ 07.9
	渋谷	平成 19 年 07.1.30 ~ 07.9
タイプⅡ	丸の内	平成 19 年 07.10.1 ~ 閉局まで => 銀座局へ
	銀座	平成 19 年 9 月 25 日頃
	日本橋	平成 19 年 9 月 25 日頃
	渋谷	平成 19 年 9 月 19 日頃
	晴海	平成 22 年 10.3.23 晴海局開局 ~
タイプⅢ	銀座	平成 22 年 10.11.15 頃
	さいたま新都心	平成 27 年 15.3.10 頃
	四日市西	平成 28 年 16.2.12 頃
	大阪北	平成 28 年 16.3.11 頃
	博多北	平成 28 年 16.5.9 頃
	東京北部	平成 28 年 16.7.25
	新仙台	平成 28 年 16.8.8

タイプⅠ:縦2センチ×横5センチ(波部まで) タイプⅡ:縦1.8センチ×横3.8センチ(波部まで) タイプⅢ:縦2センチ×横3.8センチ(波部まで)

# 大名刺交換会 2017 開催決定！今からご準備ください！

## 謹賀新年

A Happy New York 2016

雨利加 太郎

今年2016年は、米国ニューヨークで国際切手展 World Stamp Show New York 2016が開催される年です。私、雨利加 太郎は、永年集めて参り、一昨年の国内競争展で金賞をいただいた、マルコフィリーコレクション「Wavy Lines Obliteration of Japan」5フレームを初めて国際展で展示いたします。

競争展ルールを勉強して、少しでも良いポイントを取れるよう頑張りたいと思いますが、それ以上に国内外の友人や現地で仲良くなる人々とお会いするのが楽しみです。どうぞよろしく願います。また同様にNY2016にご出品される皆さん、共に頑張りましょう！



Only Known Block of Four of 1966 20 Yen, with Wavy Lines Obliteration. World Rarity!

### 新年の抱負タイプ

新年明けましておめでとうございます。私は、初目手 太夫と申す、39歳のフィラテリストです。小・中学生の頃に熱心に切手を集めていましたが、大学生・社会人になるに連れて、切手とは疎遠な生活になってしまい、20年近く経過してしまいました。しかし今年の夏にふとしたことから切手収集を再開し、今は失われた時を埋めるべく、切手収集に勤しむ毎日です。

フィラテリストマガジン新年号外では、このような自己紹介も歓迎との吉田さんの言葉を受けて、本日は貴重な紙面を通して、自己紹介させていただくと共に、本年の私の抱負を書きたいと思っております。

氏 名：初目手 太夫 (ハジメテ タヨウ)  
生年月日：昭和51年12月5日  
あだ名：暫定君  
職 業：警察官 (国家公務員)  
収集範囲：スペイン一番シリーズ (1850年)  
所 属：アルプス・ヨーロッパ切手の会

昨年は20年ぶりに切手を楽しむことができた記念すべき年となりました。最初は小・中学生の頃集めていた新動物国産切手のカラーマークを大人買いしていましたが、昔とても手が出なかった、欧米のどこかのクラシック切手を集めたいと思い、JAPEXでアルプス・ヨーロッパ切手の会に入会し、会員の皆さんに相談した結果、スペインの一番シリーズに関心を持ちましたので、現在はその入手や勉強をしています。大変楽しませていただいております。



### 自己紹介タイプ

## あけましておめでとござります！

2016年 元旦 飯物 買太郎

旧年中は大変お世話になりました。恒例となりました、昨年入手マテリアル BEST3 をお届けします！

**第3位 英領モーリシャス 1、2番切手 混貼りカバー**

昔から欲しかったんですよねー。やっど買えました。

**第2位 改色桜切手6銭ヨ 使用済み**

昔から欲しかったんですよねー。やっど買えました。

**第1位 広告付き葉書 第1次宮城県版初日印**

昔から欲しかったんですよねー。やっど買えました。



今年も皆さんの初夢が叶いますように！

### 旧年中の入手品の披露タイプ

意外と少ない？

脇付き葉書の年賀使用例

御目出度多 次郎です。

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いたします。さて、お正月ということで、それにふさわしいマテリアルを。

二つ折りはがきの年賀状は、今やあまり珍しいものではなくなくなりました。紅梓はがきですら、かなりの枚数が見つかるのではないかと思います。そんな中、もっとも珍しいのは、脇付きはがきの使用例ではないかと思います。

桑名から三河に当てられた市外便ですが、文面には「新年」の文字が読み取れます。

私は二点しか確認できていないのですが、お持ちの方いらっしゃいましたらぜひ編集部までご一報ください。



### 年賀にからめたコラムタイプ

## 謎解き郵趣

### 答え合わせ

輸出用に、脇付き葉書の様に偽加刷が施された、脇なしハガキ

出題者：古畑 健三郎

### 出題

南方占領地フィリピンのカバー

出題者：鍋木 顕

「謎解き郵趣」は読者参加型の郵趣解説記事です。

回答への参加：出題された郵趣マテリアルについて、マイ・スタンペディアからリンクされるアンケートにてご回答ください。次号で出題者の模範解答と共に一つずつ詳しく読み解いて参ります。

出題者募集中：次号で掲載予定の郵趣マテリアルを募集中です。一筋縄ではいかない皆さんのひと味変わった郵趣マテリアルの画像を [tpm@stampedia.net](mailto:tpm@stampedia.net) までお送りください。

## 輸出用に、脇付き葉書の様に偽加刷が施された、脇なしハガキ

出題者：古畑健三郎

「フランスのネットオークションから入手したマテリアルです。皆様のご推察をお待ちしております。」との質問で始まった、今回の出題。7名もの回答があり、3名の方が見事に見破りました。(編集部)

「カナごとに複数の印面タイプがあるということですが、当方の知識はそこまでです。」(内田雄二)

「ハガキの書き方練習用ハガキ(?)」(田村 邦彦)

「消印なし?つまらない。」(豊田 陽則)

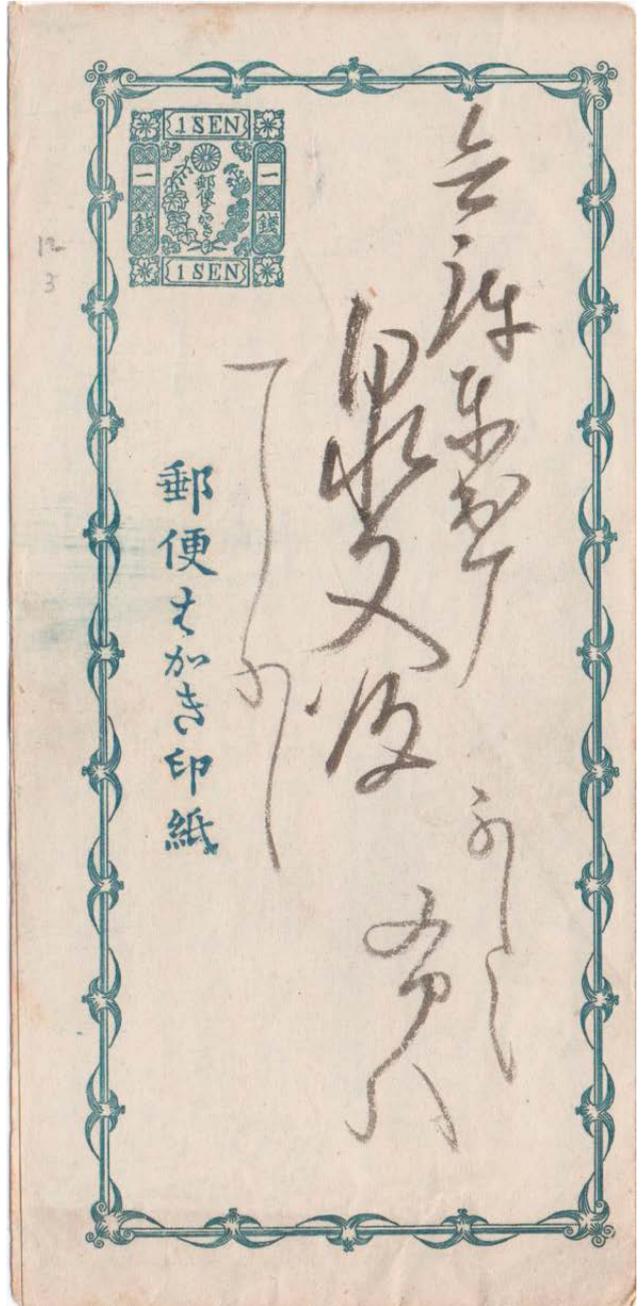
「脇つき青1銭葉書の仮名ヲがありましたかね、宛先書いてあるのに郵便局の引き受け印がない。まあ、長年見てるのにこんな葉書はじめてみた。偽物でない根拠示してくださいな。」(長田 伊玖雄)

「上部1銭の1の下部右側セリフが長い?下部は1の右側セリフが短い?下部両端の桜の葉が軽彫?」(大村 広志)

「一見、脇付はがきのようなのであるが、印面の1銭のカナが本来脇付であれば、カナ「イ」が本来のカナであるが、どういうわけかカナ(ヲ)になっている。また、印面の印字も「郵便切手」となっているべきものが、「郵便はがき」となっており脇付はがきではあるが、その脇なしの印面となっている。宛て先「泉又殿」の記載はあるものの実際の郵便には消印がないため、使用はしていない。

推察するに、このはがきは脇なしはがき1銭「ヲ」を使用し、脇付の部分「郵便はがき印紙」を後印刷したのか?あるいは、脇なし「ヲ」の印面部分をカットし、もともとの印面に貼りつけたのか?あるいは偽造なのか?それとも大発見なのか?確定的なものは判断がつかかねる。真偽が分からない場合は鑑定が必要であろう。」(山崎 文雄)

「一見すると二つ折り脇付き葉書のように見えますが、脇付きのカナは「イ」のみです。これは、二つ折り脇なし葉書に「脇(郵便はがき印紙)」を加刷した変造品ではないでしょうか。」(馬淵 直人)



出題者の古畑さんの回答は以下の通りです。

このマテリアルを見つけたのは某ネットオークションでした。この無抹消の葉書とともに、脇付1銭葉書の使用済が全部で3点組み合わせられたロットで、非常に廉価で出品されていました。

二つ折り葉書がこのようなネットオークションに出ても、ほとんどの場合は脇なし葉書であり、紅枠はもちろんです。脇付葉書が出品されることは非常に少ないと言ってよいでしょう。しかも、しっかりした使用済3点と、まかりなりにも、宛名書き込みがあるとはいえ、未使用一点が含まれています。カタログ評価を見ても一目瞭然ですが、脇付1銭葉書の未使用はかなりの希少品です。少し気張って入札をしましたが、結果はかなり入札額を下回る価格で落札し、内心ホクホクした思いをしたのを覚えています。

そして、しばらくして、この一連のマテリアルが海外より送られてきました。なかなか良い掘り出しをしたと、マテリアルを眺めていましたが、ふとカナに目を落とすと…。そのカナが「ヲ」だったり「ム」だったりしています。「脇付葉書でそんないろんなカナがあったかな…？」とカタログを見ると、「イ」しかありません。

「これはまさか、世紀の新発見?!」…とは悲しいかな思いませんでした…。さらによく見ると、だんだん違和感のはっきりしてきます。脇の文字色が葉書の刷色とやや違っている…。印面も、「郵便はがき」となっている…。そう、これは脇なし二つ折りはがきに「脇」を後からニセ加刷した真っ赤な偽造品だったのです。



まさか脇のニセ加刷があるとは…と、偽物を掴まされた以上に、そのようなマテリアルがあることに大いに驚きを覚えました。恐らくですが、本品は海外にあったところから見ても、かなり古い時期に輸出されたものではないかと考えています。想像の範囲ですが、海外への輸出品として、当時の切手、葉書類を準備する際に、大量にある脇なし葉書に対して、脇付葉書は非常に少なく、十分な用意が難しかったため、脇なし葉書に対して、木版で脇をわざわざ作成し、似た色で印刷し、脇付葉書として輸出したのだろうと推測します。

ある意味、脇付葉書の少なさを証左するようなマテリアルと言えるのではないのでしょうか。どこでこのようなものが作成されたかまで分かれば、さらに興味深いのですが、ここでは残念ながら、そこまでは追うことはできませんでした。いろいろご考察いただいた方には恐縮ですが、非常に単純な答えとなりました。素直に変造品と見ぬかれた馬淵さん正解です。

## [ 出題 ] 南方占領地フィリピンのカバー

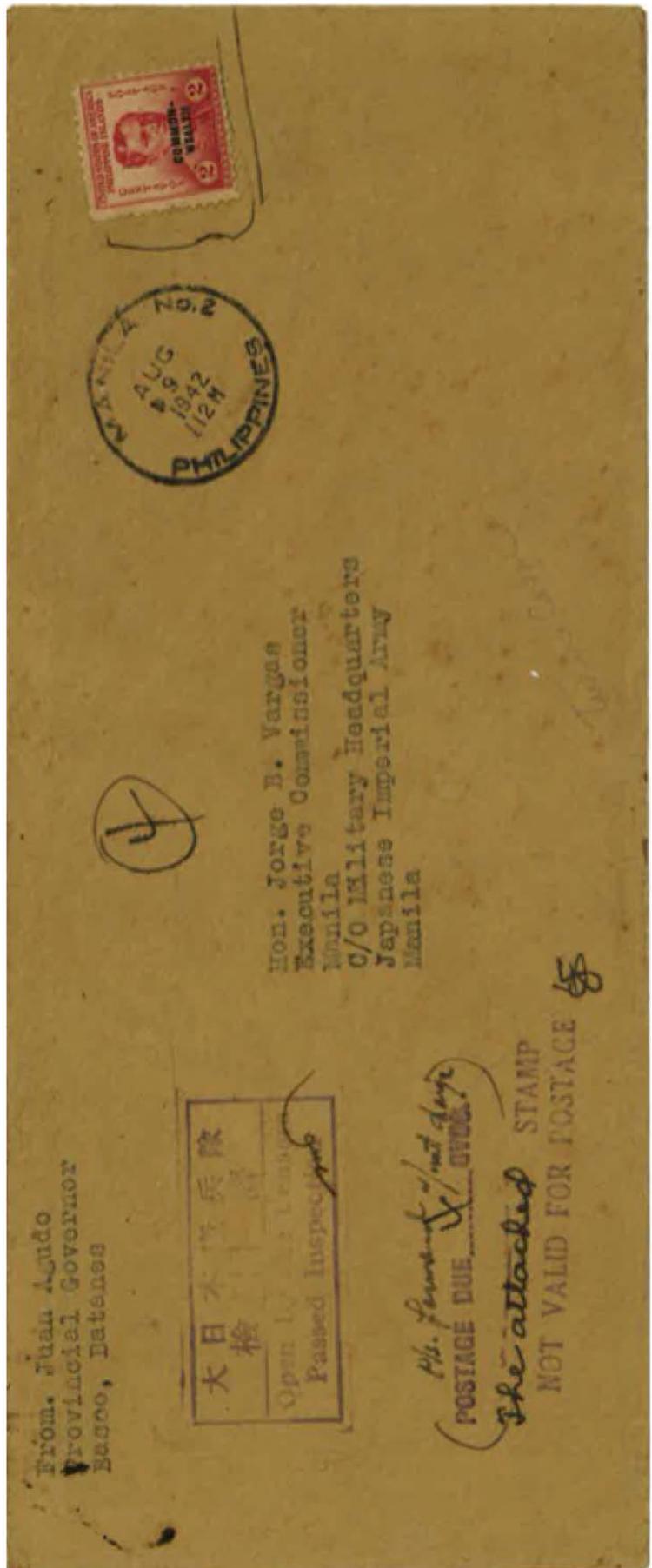
出題者：鏑木 顕

南方占領地フィリピンのカバーです。このカバーの素性を解読して下さい。

(編集部注：より大きい画像でご覧いただける様に縦方向に掲示いたします。)

なお表面に現れないデータとして、以下2点付記しておきます。

- ①. 封筒の裏面には特に素性解明につながる書き込みや郵便印等は何もありません。
- ②. 封筒は Ivana 郵便局から Provincial Governor / Basco, Batanes 宛の戦前米国保護領時代の無切手公用便(日付など無いので差し出し時期不明)の再利用です。占領フィリピンでは資材難から、封筒を裏返して再利用した例が散見され、再利用自体は特に珍しいものではありません。



「謎解き郵趣」は読者参加型の郵趣解説記事です。

回答への参加：出題された郵趣マテリアルについて、マイ・スタンペディアからリンクされるアンケートにてご回答ください。次号で出題者の模範解答と共に一つずつ詳しく読み解いて参ります。

## 寄稿記事・郵趣論文

世界のクラシック切手第9回

英領ケープ植民地 (Cape of Good Hope) 切手について (下)

池田 健三郎

世界のセミクラシック切手第1回

ラトビアの地図切手

石田 徹

クリミアにおける郵便事情

著作：ゲナディー・ベルマン、ドミトリー・チズマコフ

監修：荒木寛隆、伊藤文久

日本のコイル切手

～昭和コイル切手を中心に～

伊藤 純英

和欧文機械印トピックス (第10回)

水谷 行秀

農地委員会委員選挙郵便

行徳 国宏

切手別納郵便制度への追記

行徳 国宏

## 世界のクラシック切手第9回

# 英領ケープ植民地 (Cape of Good Hope) 切手について (下)

池田 健三郎

(本誌第9号より続く)

### 8. 四角切手の登場

無目打・凹版印刷の豪華な三角切手から、目打付・凸版印刷の四角切手への切り替えは1864年1月(四角切手の1番は、1 シリング緑 <SG26>)以降、徐々に進められました。これ以後は当然のことながら、無目打切手や三角切手が発行されることはなく、四角切手の発行が継続することとなります。

これらの四角切手は豪華な三角切手と比較すれば確かに見劣りのする出来映えであることは否定できませんし、市場価格も相対的には三角切手よりもかなり安価です。しかしながら、その収集上の魅力は三角切手に比肩すると筆者は考えています。

### 9. 四角切手のあらし

先述の三角切手と同様、喜望峰切手の基本分類について、世界のスタンダードはスタンレー・ギボンズ(以下、SGと略記)のカタログということになります。

それでも三角切手に比べると、分類が簡略化されたスコットカタログを用いている切手商も皆無ではありませんが、近年では四角切手の人気も高まっていることから、相対的にカタログ・バリューが低いスコットでは、ビジネス上の難点があるという事情もあって、世界中のオークションは勿論、切手商もその多くがSGの分類を採用しています。

SGのカタログをみますと、喜望峰の四角切手は、シェード等のバラエティをカウントしないメイン・ナンバーでSG23-78の全56種ということになります(ボア戦争絡みのマフェキングおよびフライバーグにおける臨時切手を除く)。

よって、以下ではその内容を時系列的に説明していきます。

初めに大雑把なところを申し上げておけば、この56種を完集することは、未使用やバラエティ等に拘らない限り、まったく難しいことではありません。ただ、同一図案や似たような切手が多く、分類・整理が面倒なこともあって、完集したコレクションをみることは滅多にありません。三角切手は熱心に収集する方でも、四角になるとブランク・リーフにまばらに切手が貼ってあるだけというケースも少なくないように思われます。

先述の通り、四角切手は三角切手よりもかなり安価に入手できる切手がほとんどですから、1種1枚のゼネラル・コレクションの場合、使用済で揃える際に少々難しい（カタログ評価が100英ポンド<邦貨約16,000円>を超える）のは2種のみ（SG45 = カタログ評価225ポンド、SG46 = カタログ評価130ポンド）です。

しかしこれら2種も、海外オークションなどを活用することにより入手可能ですから、全体としては取り組みやすい収集領域ではないかと思われます。

## 10. 四角切手の基本分類

メイン・ナンバー56種の四角切手を大きく捉えると、目打はすべて14で統一されており変化はありませんので、(1) 図案、(2) 透かし、(3) 加刷、の3つの要素が分類上の基本項目となっています。このうちとくに重要なのは(1) 図案と(2) 透かしの組み合わせということになります。なお四角切手の印刷所(台切手)は、すべてデラルー社です。

まず(1) 図案の流れですが、基本的に「希望の女神に寄り添う雄羊とブドウの木」(外枠有、外枠なし、外枠なし+額面数字入の3類型ある)で一貫しており、1893年に「テーブル湾を背景に立つ希望の女神」を描く2種が加わり、さらに1900年に「テーブル湾風景」1種が発行され、その後、1902年発行の最終シリーズ(9種)ではキングエドワード7世図案に切り替えられました。

次に(2) 透かしについてですが、当初は「王冠とCC」(56種中18種)が用いられ、次いで「王冠とCA」(同7種)、続いて「錨」(同31種)となっています。

続いて(3) 加刷についてですが、これは全56種のうち実に11種を加刷切手が占めていますので、四角切手全般における加刷切手のウェイトは高いといえましょう。詳細は後述します。

## 11. シリーズ毎の四角切手の概要

以上の基本分類を踏まえたうえで本稿では、メイン・ナンバー56種にバラエティ(シェード面のみで、エラー等の特殊品は除外)を加えた全83種を対象として、シリーズ別にSGカタログ順に説明していきます。

(1) 1864 - 77年シリーズ (図1)

四角切手最初のシリーズで、図案は「希望の女神に寄り添う雄羊とブドウの木：外枠あり」で、透かしは「王冠とCC」となっており、額面は1ペニー、4ペンス、6ペンス、1シリングの4額面あります。

このシリーズは4ペンスのシェード分類がやや難しく、カタログ価が最も高い ultramarine (SG24b) は分類が少々厄介です。6ペンスの紫色も一見すると分類が難しそうですが、deep lilac (SG25a) は後ほど出てくる加刷切手の台切手になっていきますので、間違えることはありません。他の2種はこれと比較することで、使用済でも分類に困ることはないでしょう。



図1 1864 - 77年シリーズ

## (2) 1868年シリーズ (図2)

(1) のシリーズの中の 6 ペンス deep lilac (SG25a) に額面改訂のために「Four Pence.」と朱色で加刷を施したもの（加刷はウッドブロックの製造所として知られる、ケープタウンのソウル・ソロモン社）です。この加刷には様々なバラエティがありますが、このリーフでは細かいバラエティは省略し、横バーが切手下部に 2 本あるものと、上下に分かれているものの 2 例を提示しています。

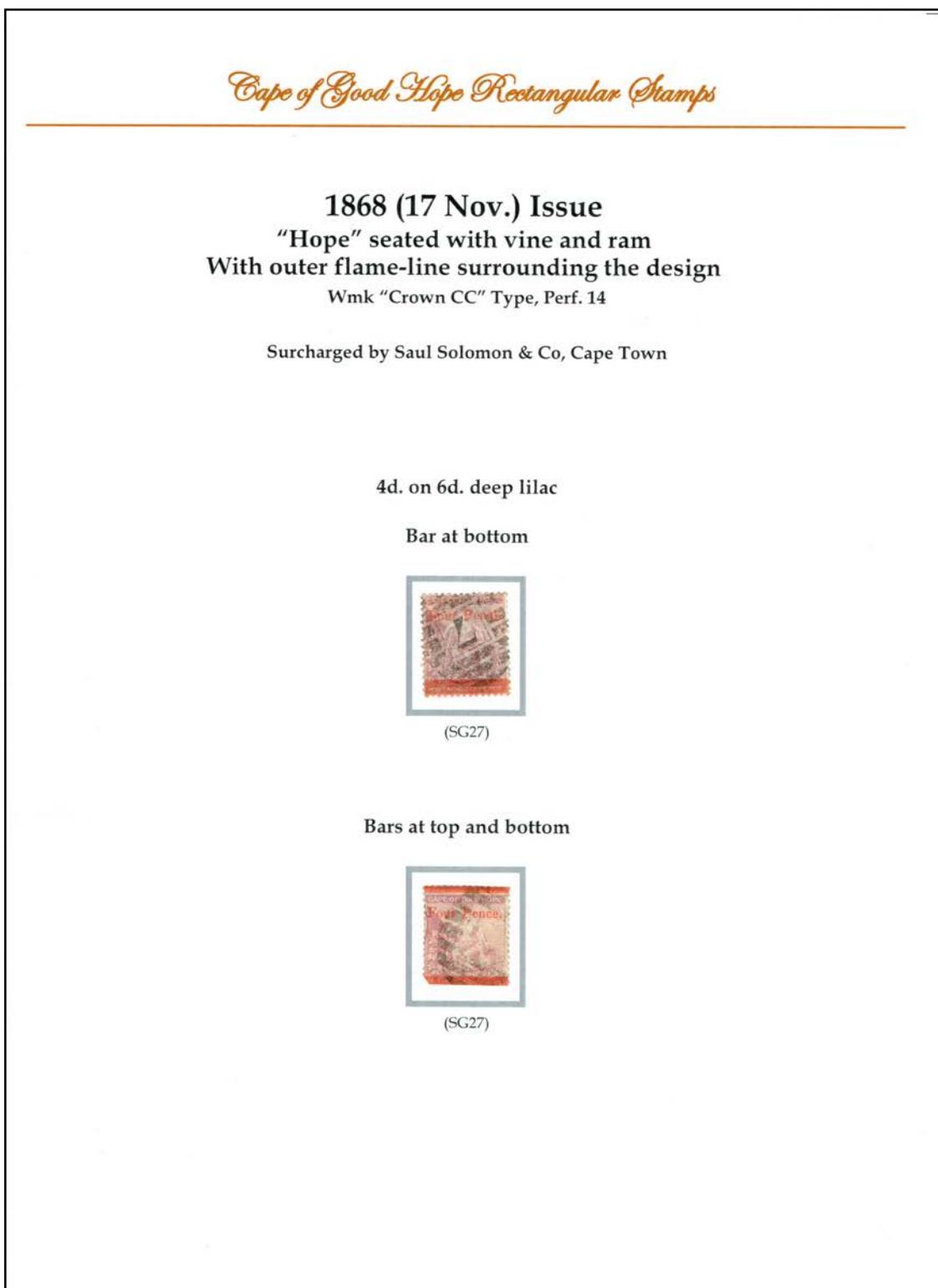


図2 1868年シリーズ

### (3) 1871 - 76 年シリーズ (図3)

このシリーズは、図案だけが「希望の女神に寄り添う雄羊とブドウの木：外枠なし」に代わり、透かしは引き続き「王冠と CC」の用紙が使用されました。額面は 1/2 ペニー、4 ペンス、5 シリングの 4 額面あり、ここで喜望峰最高額の 5 シリング額面が登場しています。

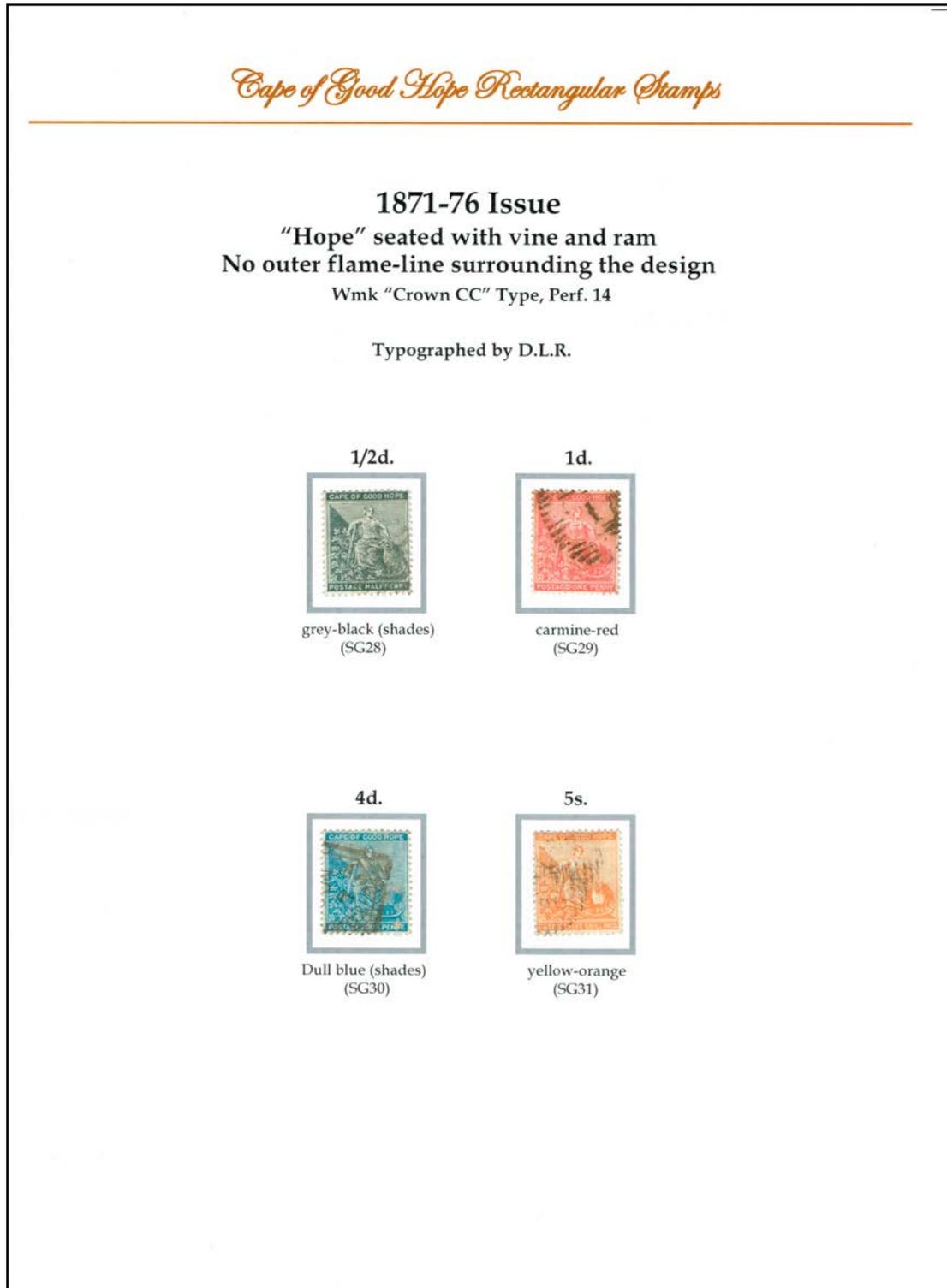


図3 1871 - 76 年シリーズ

#### (4) 1874 - 76 年シリーズ (図4)

加刷切手 2 種からなるシリーズです。SG32 は、1864 - 77 年シリーズの中の 6 ペンス deep lilac 上に「ONE PENNY」と朱色で加刷したもので、SG33 は、同じく 1864 - 77 年シリーズの中の 1 シリング green 上に「ONE PENNY」と黒で加刷したものです。

これらの加刷についても、ウッドブロックの製造所として知られる、ケープタウンのソウル・ソロモン社が請負いました。これら 2 種も加刷文字の欠けなど、専門収集を行う上では興味深いバラエティが豊富に存在します。

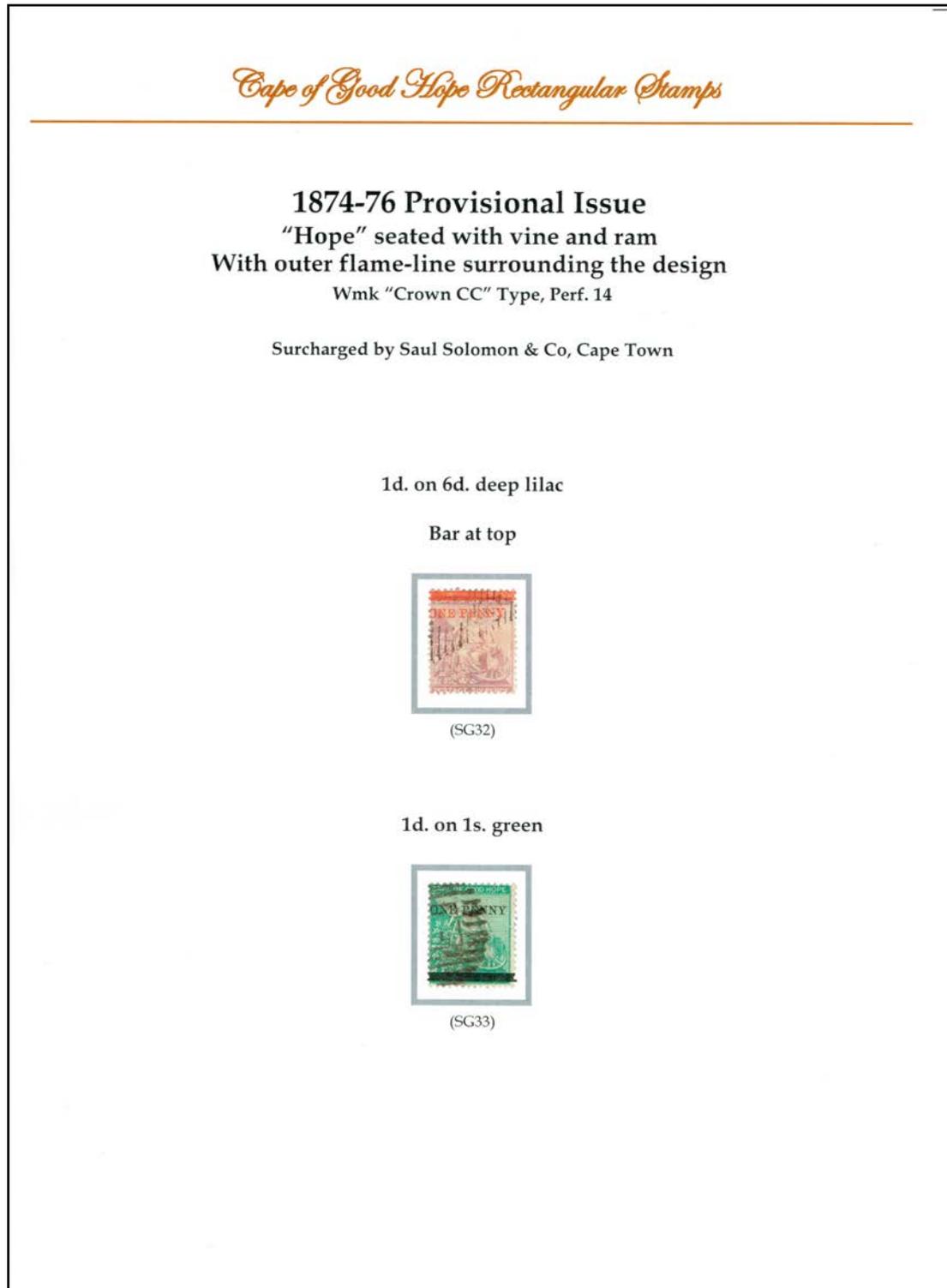


図4 1874 - 76 年シリーズ

(5) 1879 - 81 年シリーズ (図5)

加刷切手 4 種と無加刷切手 3 種の計 7 種からなるシリーズです。

SG34 は、1871 - 76 年シリーズの中の 4 ペンス (SG30) 上に「THREE PENCE」と朱色で加刷したもので、加刷のバラエティが豊富な切手です。

次に SG36 ですが、これは従来なかった新額面の 3 ペンス切手で、シェードは pale dull rose となっており、翌年発行の同額面シェード違いの SG39 (pale claret) とは明らかに印象が異なります。この SG36 に対して同額面を加刷したのが、SG35、SG37、SG38 の 3 種です。これらの加刷もバラエティが豊富に存在する興味深い収集対象です。

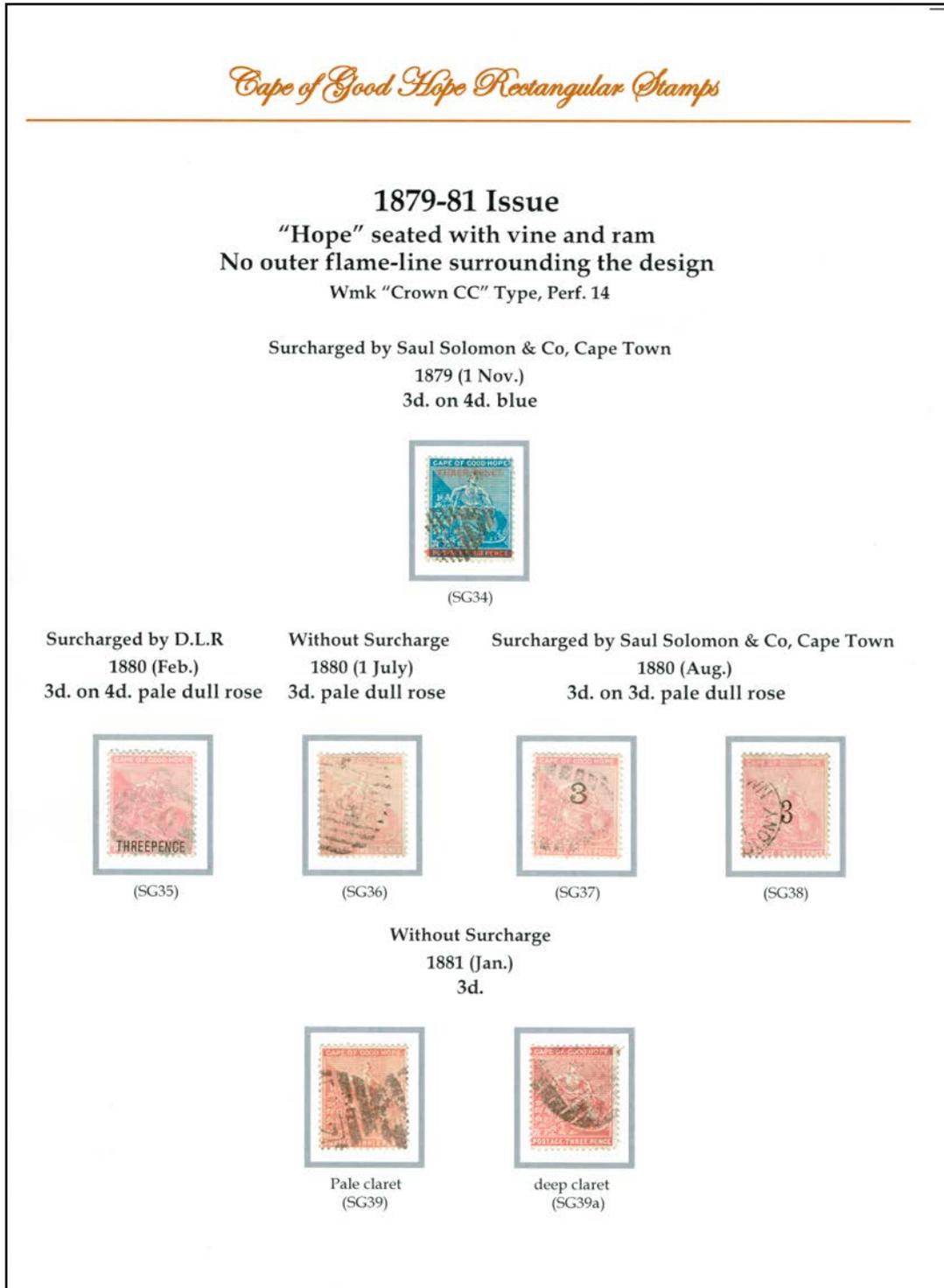


図5 1879 - 81 年シリーズ

(6) 1882 - 83 年シリーズ (図6)

このシリーズは、図案は「希望の女神に寄り添う雄羊とブドウの木：外枠なし」のままで、透かしだけが「王冠とCA」に切り替えられています。額面は 1/2 ペニー、1 ペニー、2 ペンス、3 ペンス、6 ペンス、5 シリングの 6 額面あります。この中の 5 シリング (SG45) は、先述の通り喜望峰四角切手でカタログ価が最も高額な切手で、これが貼ってあるアルバムでは、他の切手もみな揃っているケースが多いです。

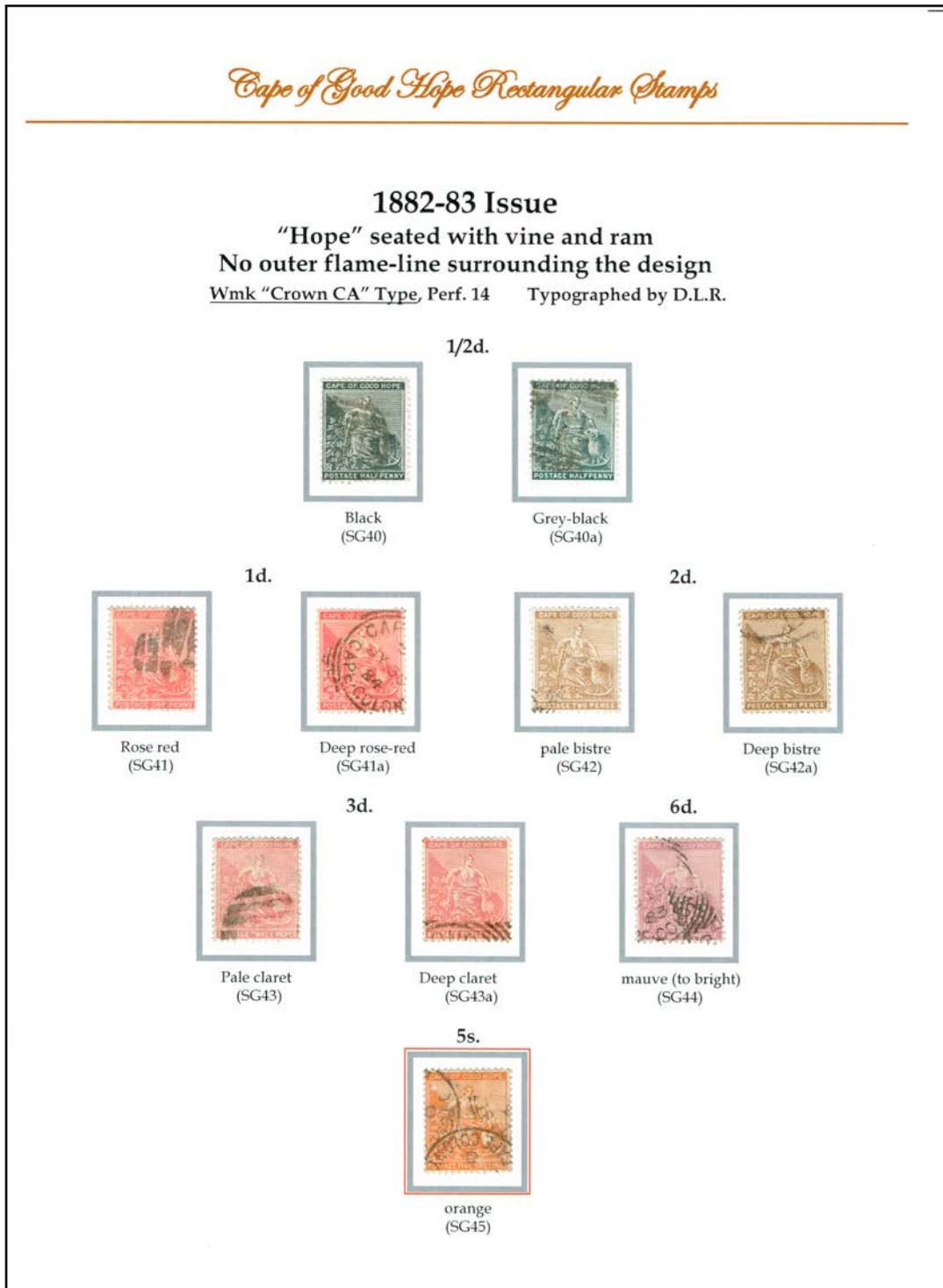


図6 1882 - 83 年シリーズ

## (7) 1882年シリーズ (図7)

加刷切手2種 (SG46 および SG47) からなるシリーズです。両切手共に3ペンスの切手上に「One Half-penny」と額面改訂を施していますが、外見上は区別がつかず、違いは透かしのみということになります。

これらは製造過程において、殆どが「王冠とCA」切手上に加刷されたことから、「王冠とCC」切手に加刷したものは圧倒的に数が少ないため、カタログ価は相当な差が付けられていますのでご注意ください。

これらの加刷についても、ウッドブロックの製造所として知られる、ケープタウンのソウル・ソロモン社が請負いました。これら2種も加刷文字の欠けなど、専門収集を行う上では興味深いバラエティが豊富に存在します。

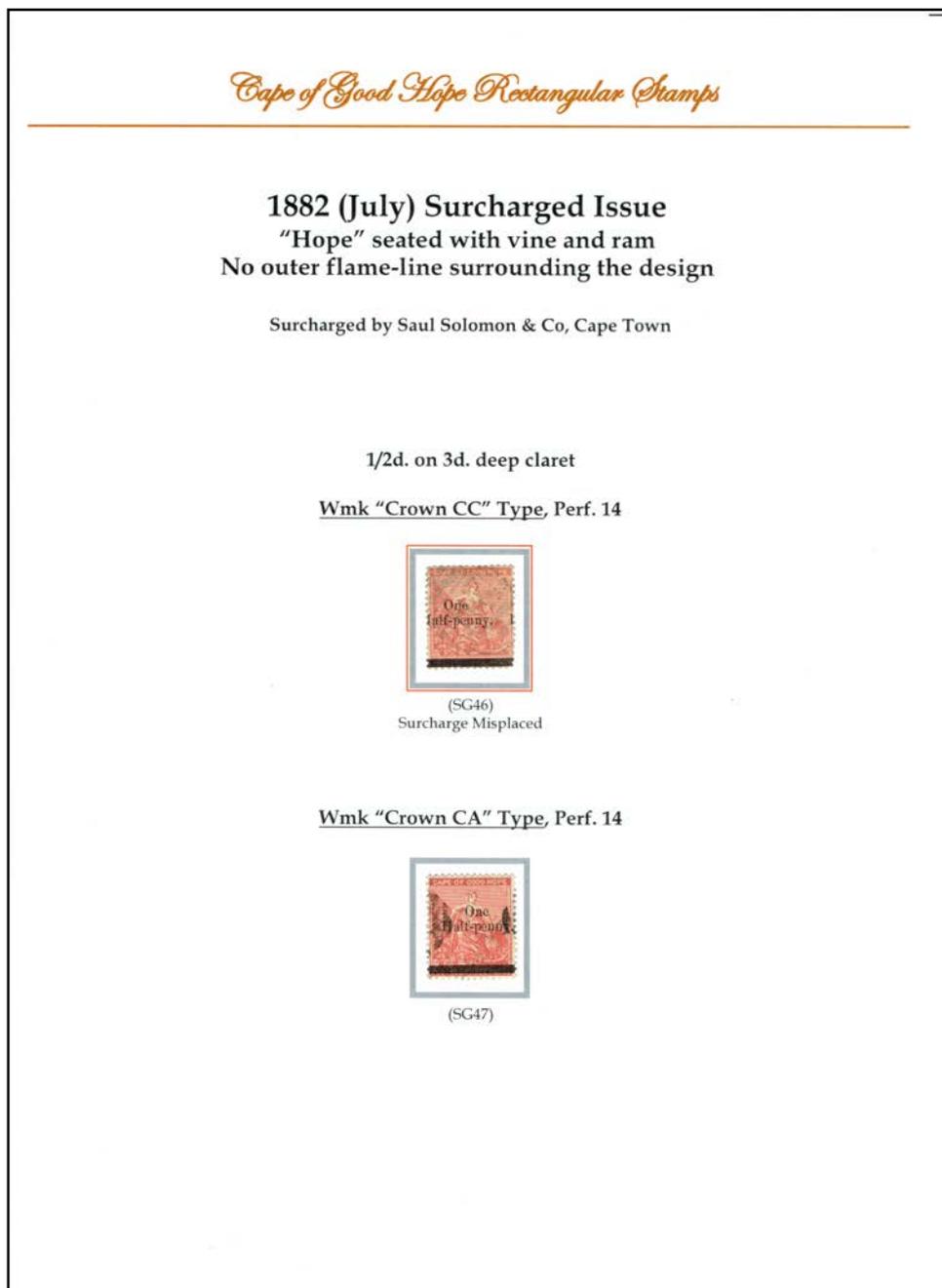


図7 1882年シリーズ

**(8) 1884 - 90 年シリーズ (図8)**

このシリーズは、図案は引き続き「希望の女神に寄り添う雄羊とブドウの木：外枠なし」のままで、透かしだけが「錨」に変更されました。額面は 1/2 ペニー、1 ペニー、2 ペンス、4 ペンス、6 ペンス、1 シリング、5 シリングの 7 額面から構成されます。

ポケットやロット買いのゼネラル・コレクションなどを購入した際に「喜望峰の切手」として含まれているのは、大抵このシリーズに属する切手であることが多いと思われます。シェード分類も慣れればさほど難しいということはないでしょう。

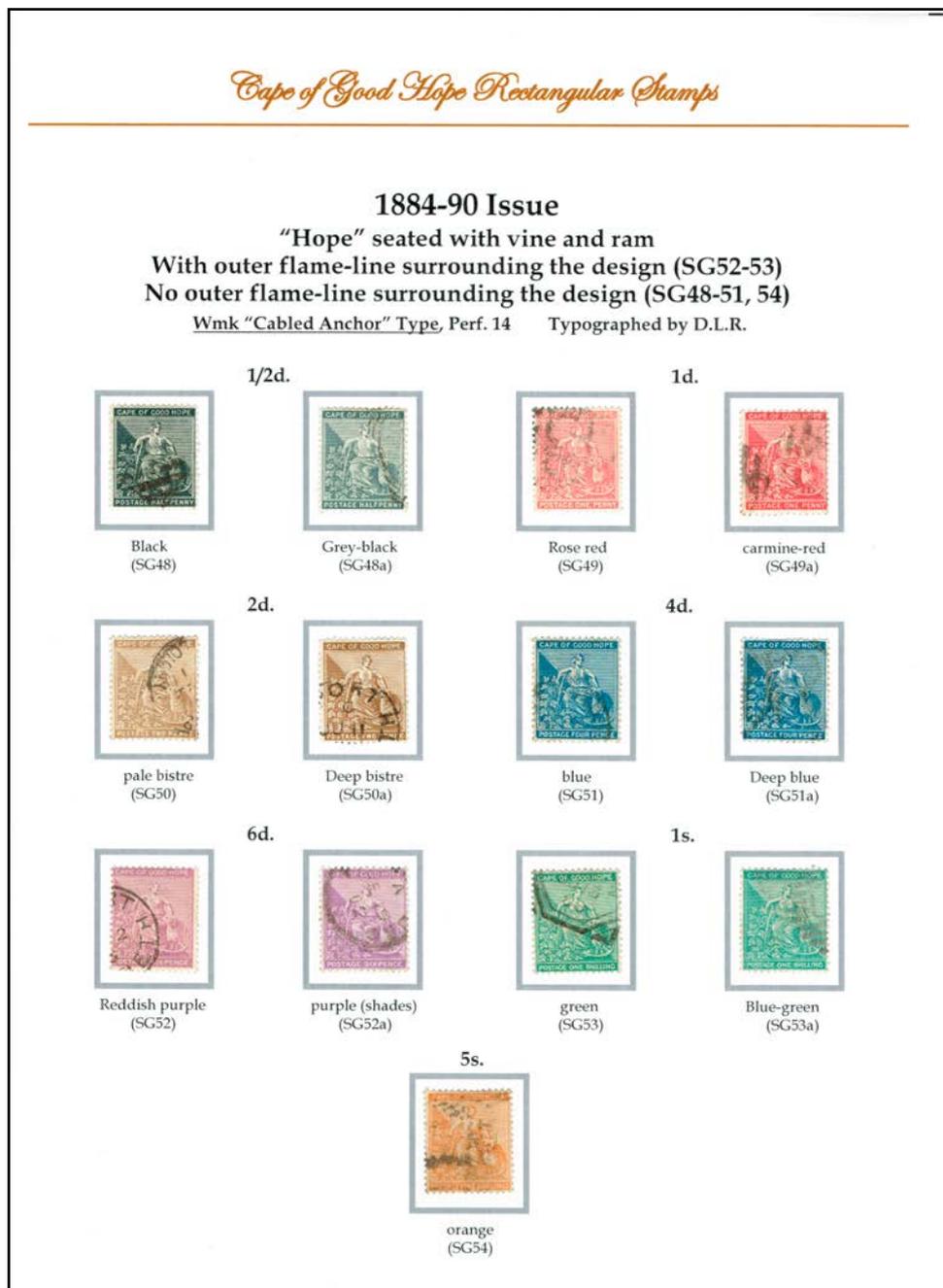


図8 1884 - 90 年シリーズ

**(9) 1891 年シリーズ (図9)**

加刷切手 1 種と正刷切手 1 種の計 2 種からなるシリーズで、図案は異なりますが、透かしは「錨」で共通です。

SG55 は、これまでなかった 3 ペンスの台切手の上に、さらに「2 1/2d」と黒色で加刷したもので、台切手のシェードの濃淡によってサブナンバーを含む 2 種に再分類されます。

SG56 は、図案が「希望の女神に寄り添う雄羊とブドウの木:外枠なし + 額面数字入」となっています。

*Cape of Good Hope Rectangular Stamps*

---

**1891 (Mar.) Surcharged Issue**  
 "Hope" seated with vine and ram  
 No outer flame-line surrounding the design  
 Wmk "Cabled Anchor" Type, Perf. 14    Typographed by D.L.R.

Surcharged by D.L.R.

2 1/2d. on 3d. pale magenta



pale magenta  
(SG55)



Deep magenta  
(SG55a)

**1892 (June) Issue**  
 "Hope" seated with vine and ram  
 No outer flame-line surrounding the design with boxed face value  
 Wmk "Cabled Anchor" Type, Perf. 14    Typographed by D.L.R.

Typographed by D.L.R.

2 1/2d.



Sage-green  
(SG56)



Olive-green  
(SG56a)

図9 1891 年シリーズ

**(10) 1893年シリーズと1893 - 1902年シリーズ (図10)**

1893年3月に発行された加刷切手 (SG57) は、1893 - 98年シリーズ2ペンス (SG50) を台切手として、その上に「ONE PENNY.」と黒色で加刷して発行されました。台切手のシェードの濃淡によってサブナンバーを含む2種に再分類されます。また、バラエティとして二重加刷やピリオド漏れの存在も知られています。

続く1893 - 1902年シリーズ (SG58-60) はこれまでの図案を「テーブル湾を背景に立つ希望の女神」を描くものに変更して発行され、額面は、1/2ペニー、1ペニー、3ペンスの3種となっています。このうち1ペニーについては、シェードが2種 (SG59と59a) ありますが、明らかに色彩が異なるため分類は容易です。



図10 1893年シリーズと1893 - 1902年シリーズ

(11) 1893 – 98 年シリーズ (図 11)

このシリーズは、1884 – 90 年シリーズの図案である「希望の女神に寄り添う雄羊とブドウの木：外枠なし」と透かし（錨）を引き継ぐ形で、シェードだけを変更し、1 ペニー切手を発行しない一方で 2 1/2 ペンスと 3 ペンスの 2 額面を追加して発行されました。もっとも、2 1/2 ペンスだけは、その図案を「希望の女神に寄り添う雄羊とブドウの木：外枠なし + 額面数字入」として発行されています。

よってこのシリーズは 1/2 ペニー、2 ペンス、2 1/2 ペンス、3 ペンス、4 ペンス、6 ペンス、1 シリング（シェードは緑と黄色の 2 種ある）、5 シリングの計 8 額面、9 種類の切手から構成されます。このシリーズに属する切手も、ポケットやロットもののなかによく含まれています。

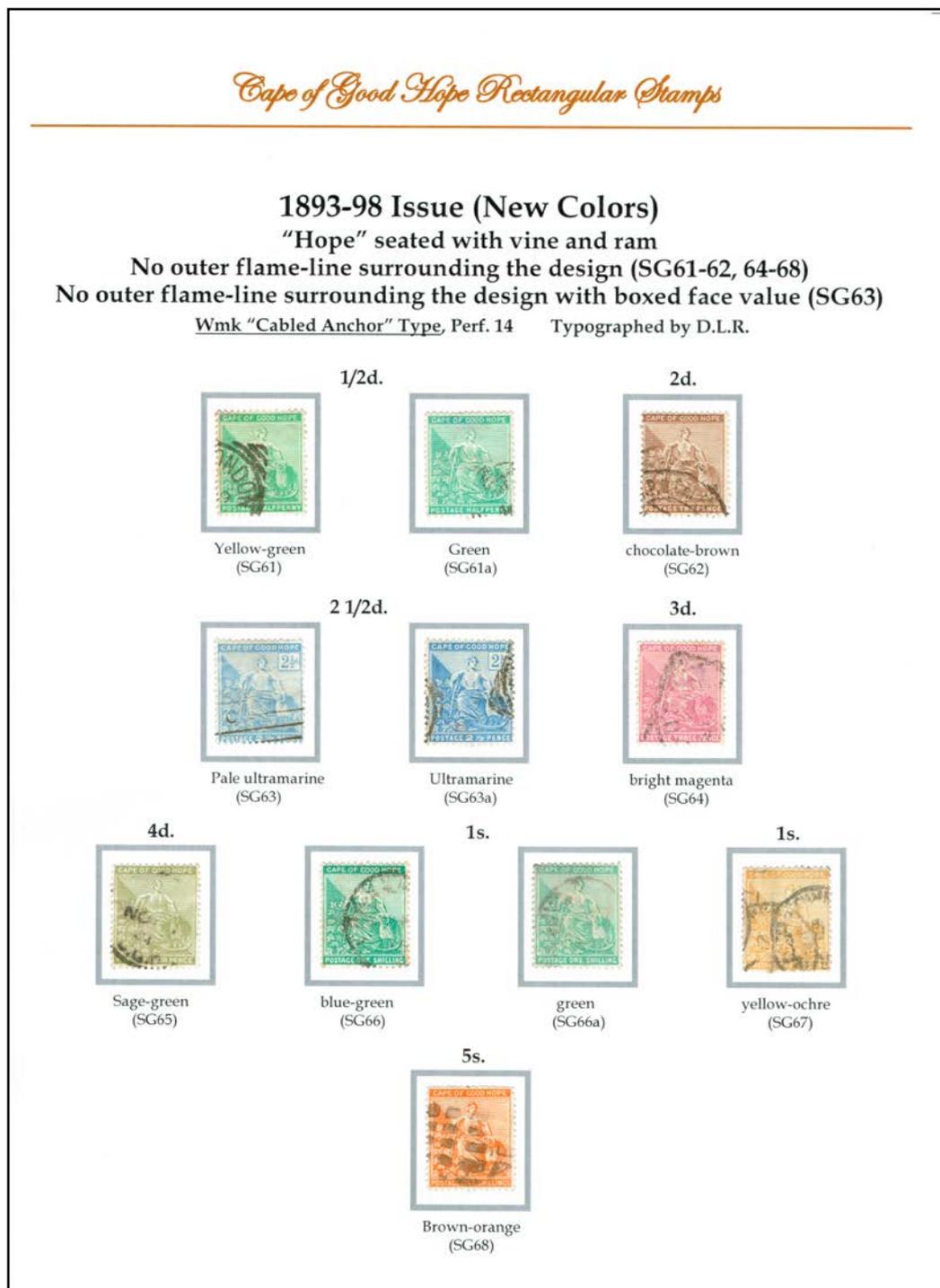


図 11 1893 – 98 年シリーズ

(12) 1900年シリーズと1902 - 04年シリーズ (図12)

長らく続いてきた「希望の女神」を描く図案もいよいよ終焉を迎えることとなり、1900年発行の1ペニー切手は、これまでにない図案（テーブル湾風景）で1種のみ発行されました。

20世紀になると、他の英領諸国に倣う形で「キングエドワード7世」図案に統一され、1902年以降、1/2ペニー、1ペニー、2ペンス、2 1/2ペンス、3ペンス、4ペンス、6ペンス、1シリング、5シリングの9額面が発行されました。

これが喜望峰としては最後の発行となり、この後、ケープ植民地は周辺の他の植民地と統合されて南アフリカ連邦に引き継がれ、喜望峰切手はこれで姿を消すこととなりました。

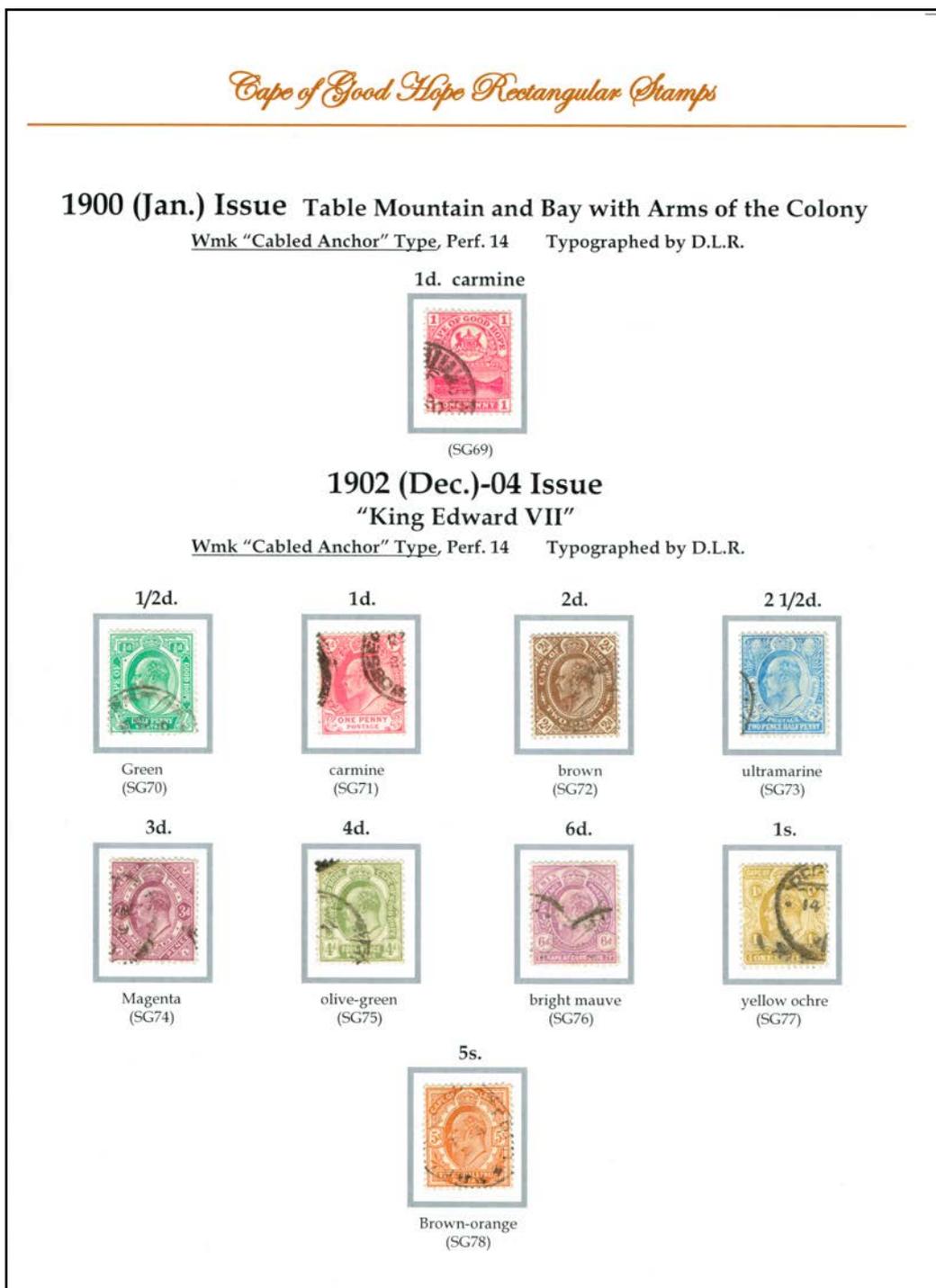


図12 1900年シリーズと1902 - 04年シリーズ

## 12. 結びにかえて

前々号から2回にわたって、喜望峰切手のアウトラインをご説明してきましたが、いかがでしたでしょうか。

本稿はページ制限のないフルカラー雑誌の記事という特色を活かし、なるべく多くの図版やリーフに整理した切手のシェードをみていただくようにしましたので、ゼネラル・コレクターの皆様にもお役に立つのではないかと自負しております。

最後になりましたが、この記事を契機に、喜望峰の切手に興味を持ってくださる方がひとりでも増えることを祈念して、筆を擱くことにします。

# 世界のセミクラシック切手第1回 ラトビアの地図切手

石田 徹

第一次世界大戦後に独立したバルト三国の一つラトビアの切手は特別な人気があり、かつては、その珍しさゆえに切手の本や雑誌など入門書レベルのものにもよく記載があったものだが、最近はこのらの記事を見かける事が少なくなり、その分だけ初心者にとっては郵趣の楽しみ方が狭くなり、現在の足元だけを見ているような情報提供が多くなっているため、その概略だけでも記述しておきたい。

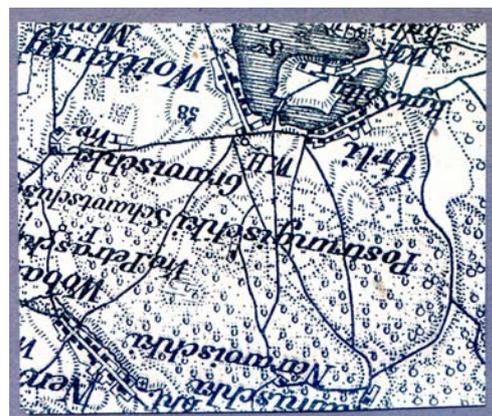
この切手を世界的に有名たらしめるもの、それは地図の裏に切手が印刷されていることである。第一次大戦後、ヨーロッパ各国は物資の欠乏に苦しめられ、中でも東欧では紙が不足し、ラトビアはその最たるものであったので、当然切手を印刷する紙も無かった。

そこで、大戦終了時にドイツ占領軍が残していった軍用地図の裏面に切手を印刷する事となった。地図

図には多くの種類があり、切手印刷面に対して地図は上下逆向きになったものもある。裏糊の付いているものと糊なしのものがあり、糊の色にも無色のものと褐色のものがある。目打については厚手の地図に穿孔している内に目打機が壊れてしまい無目打での発行となってしまったものもある。



目打有ブロックの表裏、褐色の糊つき。

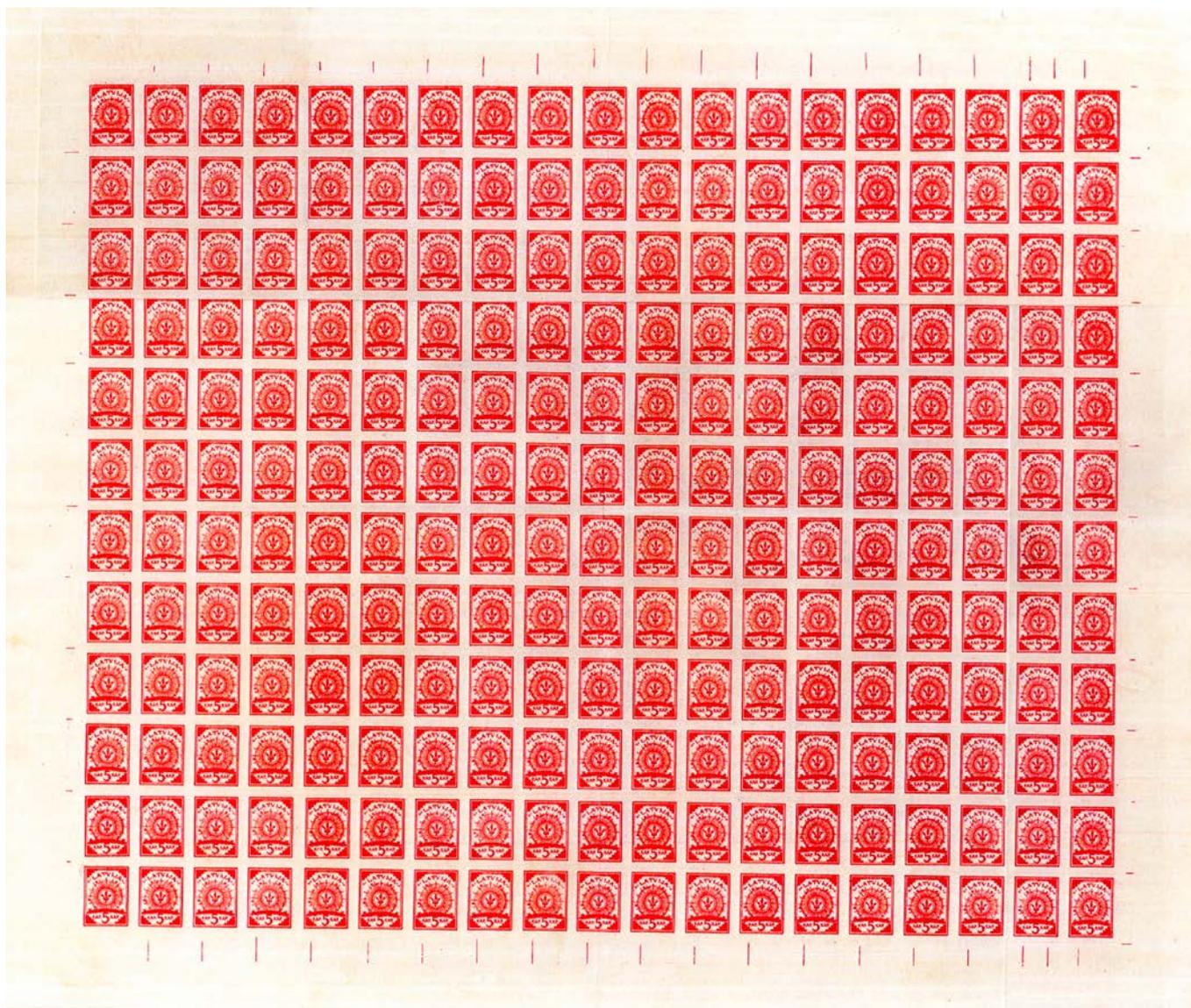


無目打のブロックの表裏、地図に対して上下逆に印刷、糊なし。

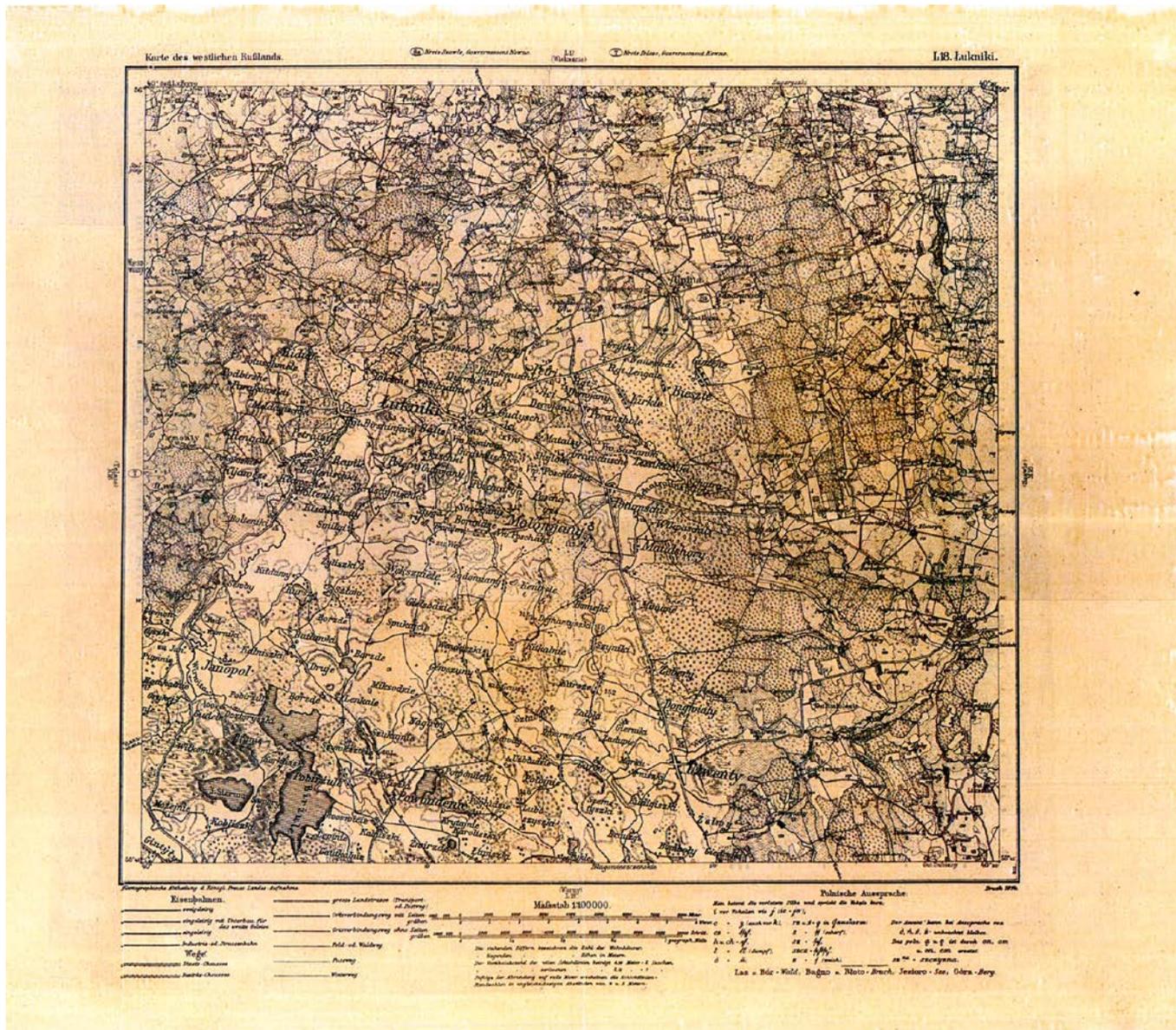
る。(右図)

その他のバラエティとしては、両面印刷、ノート状の罫線入用紙に印刷したもの、中間無目打がある。プルーフは商品ラベルの裏に印刷したものが知られている。発行は1918年12月だが日付ははっきりしていない、おそらく18日であろうとされている。切手の額面は5カペイカ、石版印刷で図案は太陽の中に3本の穀物が描かれており、これは同国の主要な民族を表わすものと言われている。

シート構成も特異で19×12枚の228枚という大型のシートである。これは地図の大きさ一杯に切手を印刷し紙を節約した結果だが、現在では大きなブロックやフルシートは極めて希少なものとなっ



無目打フルシート（19×12枚の228枚）の表



無目打フルシート（19 × 12 枚の 228 枚）の裏、地図はリトアニアの Lukniki が使用されている。

ている。それでも単片や小さなブロックはそれなりに残っているのでこちらの入手は難しくはない。独立宣言の後のラトビアではさらに内戦が起こり、これらの混乱の中で、1920年から1921年に発行した記念切手は未完成の紙幣、ドイツ語・ロシア語併記の10マルク不発行紙幣の裏紙に印刷して



紙幣の裏紙に印刷して発行された寄付金付切手の例。1920年発行。

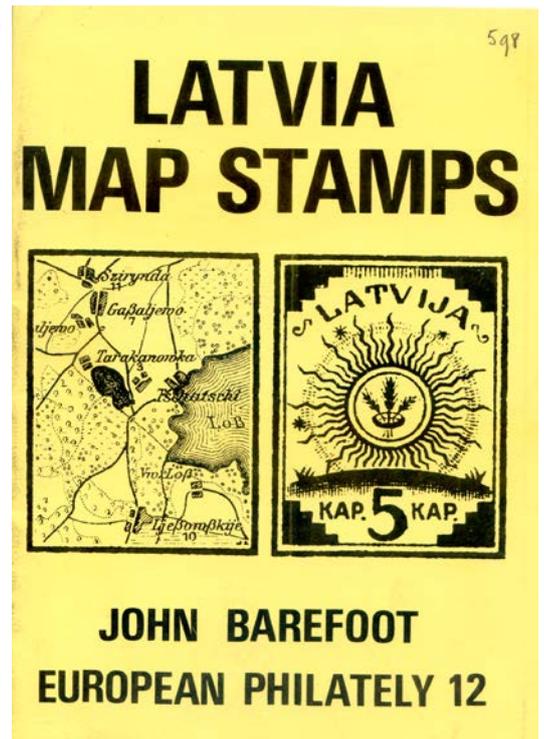


紙幣の裏紙に印刷して発行された寄付金付切手の例。1920年発行。

発行した。紙幣は反革命軍の一つ西軍が用意したものであった。

#### 参考文献

- \*1 LATVIA MAP STAMPS / JOHN BAREFOOT. -- (EUROPEAN PHILATELY ; 12). -- 1983
- \*2 ラトビアの地図切手について / 木村博海. -- (郵趣・赤れんが)
- \*3 地図・紙幣等の裏に印刷した切手 (ラトビア) / 荒巻裕一  
<http://www.aramaki.com/home/stamp/stamp5/ura.html>
- \*4 地図と紙幣の裏面に印刷された切手. -- (スタンプマガジン ; 2014.10)



文献 1

# クリミアにおける郵便事情

著作：ゲナディー・ベルマン、ドミトリー・チズマコフ

監修：荒木寛隆、伊藤文久

2014年2月以降、ウクライナのクリミア半島は、ロシア連邦の実効支配を受けています。報道されている事実ですので、皆さんご存知のことと思いますが、では、現地の郵便システムはどう変わったか？については、なかなか国内ではわかりません。今回、クリミア危機後の郵便事情について、執筆された論文を荒木寛隆さん、伊藤文久さん監修の下、翻訳いたしましたので、ご覧ください。（編集部）

## 政治的背景

クリミア半島の住民のほとんどはロシア系で、ウクライナ人、クリミア・タタール人は少数派です。危機の前まで、同地はクリミア自治共和国（Ukraine's Autonomous Republic of Crimea; ARC）とセヴァストポリ特別市で構成されていました。



図1 セヴァストポリ郵便局 出典：Wikimapia.org

危機は、ウクライナ革命の余波を受けて発生しました。2014年2月21日、ヴィクトル・ヤヌコヴィチ大統領がキエフから逃亡しました。翌日、ウクライナ議会は大統領を解任し、直ちに暫定的な大統領を任命して暫定政権を発足させました。

2月23日、親ロシア勢力が徐々にクリミア半島を掌握しはじめました。武装集団がクリミア議会庁舎を占拠する一方で、議会はクリミア政府を解散して首相を交代すること、及びクリミアの自治を問う住民投票を行うことを決議しました。

3月16日、住民投票でロシアへの編入の是非が問われました。公式発表では投票率83%となっていますが、結果として、有効投票率はクリミアで96.77%、セヴァストポリ特別市で95.6%でした。



図2 シンフェロポリ郵便局 出典：Poitwiki.org

3月17日、クリミア議会はウクライナからの独立を宣言し、ロシア連邦への編入を要請しました。

3月27日、国連総会は拘束力のない決議第68/262号を可決し、クリミア住民投票は無効であり、クリミアのロシアへの合併は違法であると明言しました。

4月15日、ウクライナ議会はクリミアがロシアに一時的に占拠されていることを明らかにしました。

## 郵便事情

クリミアにはウクライナ郵政『ウクルポシュタ (Ukrposhta)』の主要集配局が2か所ありました(前ページ、図1、2)。

外国郵便も含め、クリミアへのすべての郵便物は、キエフ中央郵便局、又は各地の集配局から、それぞれシンフェロポリとセヴァストポリの集配局に送られました。またクリミアには外国郵便の直接の交換所が存在しませんでした。

住民投票の後、クリミアの国内郵便事情は、以下に記述するように、4つの期間に大きく分けられます。

期間	使用可能切手	郵便料金体系	消印
第Ⅰ期：3/21～3/31	ウクライナのみ	ウクライナ	ウクライナ型
第Ⅱ期：4/1～4/30	ウクライナとロシア ウクライナの切手はクリミア 内部宛のみ郵便使用可能	ウクライナ	ウクライナ型
第Ⅲ期：5/1～9/30	ウクライナとロシア ウクライナの切手はクリミア 内部宛のみ郵便使用可能	ロシア(クリミア半島 内は特別郵便料金)	ウクライナ型とロシア型 ロシア型は7月18日にセヴァストポリ で導入。8月後半にクリミア全域導入。
第Ⅳ期：10/1～12/31	ロシアのみ	ロシア(クリミア半島 内は特別郵便料金)	ロシア型

### 第Ⅰ期：2014年3月21日～3月31日

全郵便局は3月21日までの危機の間も、通常通り業務を行っていました(図3、4)。

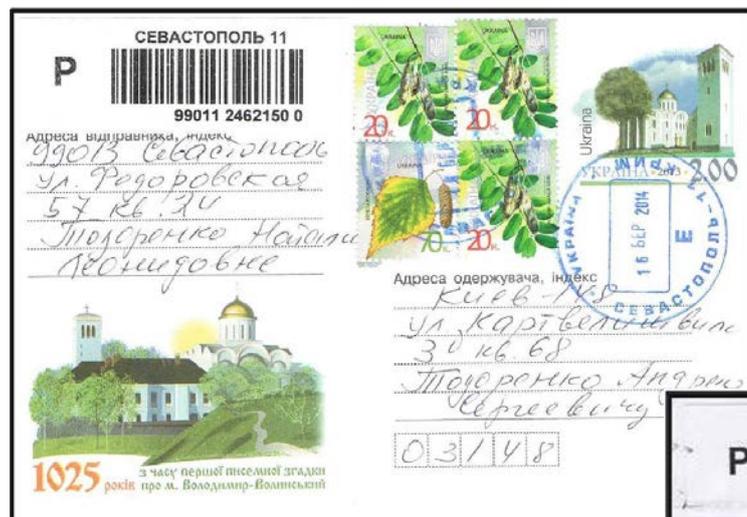


図3 危機勃発の3月16日、セヴァストポリからキエフへの書留



図4 3月21日、シンフェロポリからジャンコイ(クリミア)への書留

同日、ウクライナ郵政全てがロシア国営となり、クリミアの『クリムポシュタ (Krimpochta)』とセヴァストポリの『セヴァストポリポシュタ (Sevastopolpochta)』という2つの郵便事業者が誕生しました。3月27日、新しい郵政機関はウクライナからの郵便の直接受け取りを停止しました。同日以降、外国郵便を含めたすべての郵便物がロシア経由で送られるようになりました (図5～6)。



図5A 3月27日、セヴァストポリからキエフへの国内書留。ウクライナへ直接手紙を配送することはすでに不可能であったため、初めにモスクワへ送付。そこでロシアの書留票を貼付。モスクワから外国郵便としてウクライナに送付。ウクライナはクリミアがロシアに合併されたことを認めていないため、ウクライナでロシアの書留票が抹消されました。

Received: Moskva PCI-2  
Registered letter  
Without note

Operation	Date	Place		Operation attribute	Weight (kg)	Declared value (rub)	Payment on delivery (rub)	Addressed to	
		ZIP code	Post office name					ZIP code	Address
Processing	31.03.2014 22:38	104002	Moskva PCI-2	Arrived at international office of exchange	-	-	-		
Processing	06.04.2014 00:02	104006	Moskva PCI-6	Left the sorting center	-	-	-		
Export of international mail	06.04.2014 00:03	104006	Moskva PCI-6		-	-	-		Украина

図5B (下図)『ロシア郵政』ウェブサイトの追跡情報のスクリーンショット。図5Aの書状が外国郵便として処理されていたことが示されています。



図6 ハリコフからシンフェロポリへの書留。直接郵便が停止している旨の手書き通知をつけて差出人に返送。

とはいえ、ウクライナとの直接的な郵便の遣り取りは3月27日に完全に停止したわけではありませんでした。受取通知を含めて何通かの郵便は同日以降もウクライナから直接届きました（図7、8）。

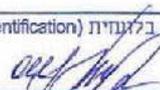
 Israel Postal Company Ltd www.israelpost.co.il		אישור מסירה/קבלה/תשלום/רישום <b>ADVICE OF RECEIPT/ OF DELIVERY/ OF PAYMENT/ OF ENTRY</b>		CN 07 (ancien C5 במקום)	
Office of posting	בית דואר המוצא	Date	תאריך	<b>A.R.</b> Par avion בדרך האוויר On postal service Stamp of the office returning advice בטיחות הדואר חתמת בית הדואר המחזיר את האישור	
Addressee of the item <b>Dmitriy Chizhakov</b> Vostochnaya 121/80 str Djankoy 96107 - Crimea AR UKRAINE					
Nature of the item <input type="checkbox"/> Lettre <input type="checkbox"/> Printed paper <input type="checkbox"/> small packet <input type="checkbox"/> Parcel		סוג דבר הדואר <input type="checkbox"/> חבילה <input type="checkbox"/> חבילת <input type="checkbox"/> חבילת			
No. of items <b>RA254321750 IL</b>		Insured <input type="checkbox"/>			
To be completed at the point of destination להשלים במקום היעוד					
The item mentioned above has been duly delivered <input type="checkbox"/> paid <input type="checkbox"/> credited to giro account <input type="checkbox"/>					
Date	תאריך	signature*		Return to	
22.03.2016				למילוי בידי השולח שם או שם החברה <b>Genady Berman</b>	
name of recipient in capital letters (or other clear identification) <b>ЧИЖАКОВ Д</b>					
* This advice may be signed by the addressee or, if the regulations of the contry of destinationso provide, by another authorized person (05.12/42-7113)				Return to Name <b>Genady Berman</b> Street and No <b>P.O.Box 440</b> Locality and country <b>Holon 58103 ISRAEL</b>	

図7 3月17日にイスラエルからジャンコイへ配達され、3月24日、ジャンコイからウクライナ経由でイスラエルへ返送された受取通知。

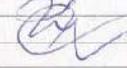
ДЖАНКОЙ 0 96100 0201935 0		Рекомендоване повідомлення про вручення поштового відправлення, виплату поштового переказу		Форма № 11.9
Місце подання <b>Берлін</b> Дата подання <b>27.03.16</b>		Найменування адресата <b>отдел ДРАЦБ СРСР Сумський обл</b> поштова адреса <b>у м. Берлін, тракт м. Буринь 41200</b>		
Вид та категорія поштового відправлення <input checked="" type="checkbox"/> Лист <input type="checkbox"/> Бандероль <input type="checkbox"/> Посилка <input checked="" type="checkbox"/> Рекомендоване <input type="checkbox"/> з оголошеною цінністю на _____ грн. Понтийовий переказ <input type="checkbox"/> Електронний		Підлягає поверненню Найменування відправника <b>Алексей Григорий Владимирович</b> номер телефону _____ поштова адреса <b>Берлін</b> <b>Чаїновського 68</b> <b>Росія</b>		
Заповнюється в об'єкті поштового зв'язку місця призначення <input checked="" type="checkbox"/> вручено <input type="checkbox"/> не вручено з причини _____ <input type="checkbox"/> особисто <input type="checkbox"/> за довіреністю <input type="checkbox"/> уповноваженому Розписка в одержанні*		Вицеазначено поштові відправлення, поштовий переказ <input type="checkbox"/> не вручено з причини _____ <input type="checkbox"/> відмови адресата від одержання <input type="checkbox"/> закінчення терміну зберігання <input type="checkbox"/> неправильно зазначена або відсутня адреса <input type="checkbox"/> інші причини _____		
Підпис працівника поштового зв'язку 		БУРИНЬ 0 41700 0075020 1		

図8 4月15日、受取通知。ウクライナのバーリンからクリミア宛

3月24日、ロシア通貨のルーブルがクリミアにおける法定通貨となり、ウクライナ通貨のグリブナと共に使用されるようになりました。3月25日にロシア郵政は同日以降すべてのクリミア宛て郵便物は国内郵便物として扱い、国内郵便料金を適用する旨を通知しました（図9）。



図9 3月25日、ロシア・カリニングラードからジャンコイへの書留。国内郵便料金が適用されています。

しかし、ロシア国内の全郵便局が直ちにこの通知に従ったわけではありませんでした（図10）。



図10 3月25日、モスクワからジャンコイへの書留。外国郵便料金を適用。

ロシア経由で送られた初めての郵便物が3月22日付であったことは、注目すべきことです。

第II期：2014年4月1日～4月30日

4月1日、ロシア通信省は指令第66号によりクリミアでのウクライナ切手の販売を禁止し、ロシア切手の販売を開始しました（図11）。



図11 クリミアからロシアへの外国書留。差立局にて書留の印を押印、ロシア仕分け施設にてロシアの外国書留バーコードラベルを貼付

本指令では、購入済のウクライナ切手は、クリミア内の宛先に限り、2015年1月1日まで使用可能でした。後にウクライナ切手の有効期限は2014年10月10日に変更となりました。更に、クリムポシュタは、ロシアを含めクリミア以外の宛先の全ての郵便に外国郵便料金を適用しました（図16、17）。

しかし、郵便局のコンピュータ・ソフトはルーブルとグリブナの2種の通貨を扱うことができず、また、おそらく何らかの技術的問題から、クリミアの郵便局では15年前のようにコンピュータ無しで対応を始めなくてはなりません。書留のソフトがすでに役に立たなかったため、多くの郵便局では書留番号を手書きで記入し、ウクライナのバーコードに代わって旧ウクライナ書留ゴム印を押しました。これは4月中旬に、新しいロシア型の書留バーコードラベルがクリミアの郵便局のほとんどで使用されるようになるまで行われていました（図11～15）。



図12 クリミアからウクライナへの外国書留。クリミアの差立局にて書留の印を押印、ロシア仕分け施設にてロシアの外国書留バーコードラベルを貼付



図13 クリミアでのロシア切手の使用初日2014年4月1日、シンフェロポリからジャンコイへの書留。ロシアの切手とウクライナの切手の混貼。書留バーコードに代わり、書留番号を手書きで記入



図14 ウクライナ切手貼ジャンコイの受取通知付クリミア地域内書留。バーコードの書留ラベルの代わりに旧ウクライナ書留ゴム印を使用



図15 2014年4月18日、アルシュタからジャンコイへの書留。アルシュタ及びいくつかの地域では特別な暂定書留票が使用されました

ウクライナの郵便料金は4月30日まで引き続き使用されていました。2種の通貨が同時期に使用されていたことから、政府はウクライナ通貨「グリブナ」とロシア通貨「ルーブル」との特別な換算レートを設定しました（右表）。

グリブナからルーブルへの換算レート  
(1ルーブル当りの倍率)

2014年1月1日	3.8
4月10日	3.1
4月17日	2.8
4月24日	3.1
5月16日	3

ロシア通信省指令第60号及び第61号に従い、4月1日、クリミアの新たな郵便番号が決められ、クリミアで使用していた旧ウクライナ郵便番号の先頭に単純に「2」を付記することとなりました。



図16 2014年4月14日、セヴァストポリからジャンコイへの書留。ロシアの書留バーコード



図17 2014年3月22日、セヴァストポリからジャンコイへ返送された受取通知。ウクライナとロシアの両方のバーコード書留ラベルが使用されている

第 III 期：2014 年 5 月 1 日～9 月 30 日

2014 年 5 月 1 日、ロシア国内及び外国郵便料金がクリミアに導入され、更にクリミア半島内特別郵便料金も制定されました（図 18）。同日から、ロシアへの郵便は、外国郵便ではなくなり、ロシア国内郵便となりました。

当初は、旧料金でポストに投函されたものは、料金不足を請求せずに受け入れられました（図 19）。2, 3 週間後、旧料金の郵便は差出人に返送され、料金不足分を貼り足すように要求されました（図 20）。



図 18 2014 年 5 月 23 日、ウクライナ切手貼書留。ロシアの新クリミア半島内特別郵便料金適用

『ロシア郵政新郵便番号制度となり、旧ウクライナの 5 ケタの郵便番号の頭部に「2』を加えている』（監修者注）

図 19 2014 年 5 月 10 日書状。旧ウクライナ郵便料金だが、通過

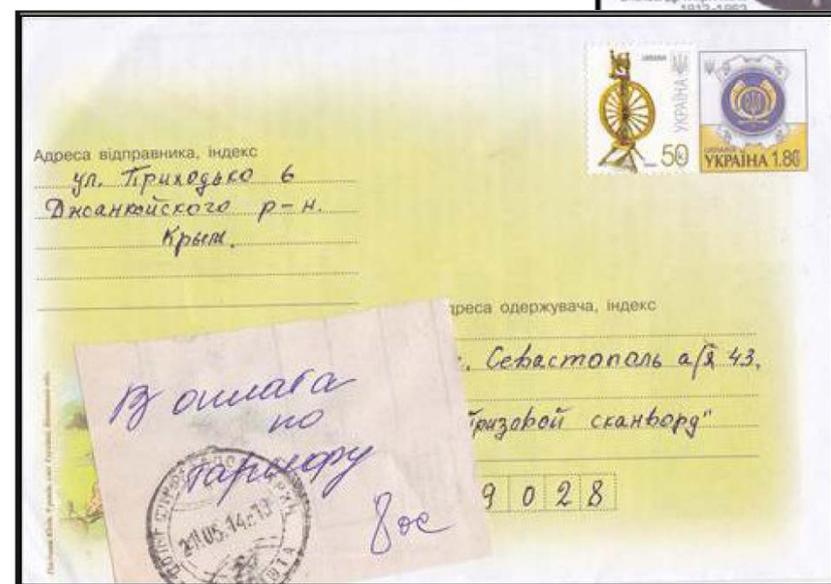


図 20 2014 年 5 月 31 日書状。旧ウクライナ郵便料金でなく、新ロシア料金で支払うよう記載し差出人に返送

2014年6月1日、受取通知の料金支払い規則がロシアの現行料金及び手続方式に変更されました。新規則では受取通知料金支払いは従来の様に他の郵便料金と合算して支払うのではなく、料金相当額の切手（又は、料金収納機械印紙）を直接受取通知カードに貼付することになりました（図21、22）。

6月と7月に第一弾のロシアの用紙がクリミアに到着し、受取通知票、郵袋タグ、受取通知様式類などが含まれていました。郵便局によっては新用紙が不足し、新たに供給されるまでウクライナやロシアの用紙をコピーして使用していました。ウクライナ製用紙は9月に急減し始めましたが、10月、11月、おそらくはそれ以降も使用されたと思われます。



図21 2014年8月6日、クリミア内書留の受取通知票。旧ウクライナ受取通知票使用、ロシア切手貼。消印はウクライナ型

図22 2014年9月19日、ロシア宛書留の受取通知票。旧ウクライナ受取通知票使用、ロシア切手貼。消印はロシア型



クリミア及びセヴァストポリ全局の新しい郵便日付印がロシアで作られました。主に、インク内蔵式ゴム印（タイプI）と旧式の金属印（タイプII）の2種類です。

ほとんどの郵便局で2種類の郵便日付印を受け取っていますが、タイプIはタイプIIよりもずっと広範囲で使用されていました。新郵便日付印が初めて導入されたのは2014年7月18日で、セヴァストポリとその周辺地域です。クリミアのその他の地域では、およそ3週間遅れでした。クリミア郵政当局が新郵便日付印に関する情報提供を拒否したので、私たちが苦労して集めた情報を表2に示します。



地域	ロシア型消印	ウクライナ型消印
	最初期使用	最後期使用
セヴァストポリ及び周辺地域	2014/7/18	2014/7/27
シンフェロポリ	2014/8/15	2014/8/27
マサンドラ	2014/8/15	-
エフパトリア	2014/8/12	-
ジャンコイ	2014/8/25	2014/8/28
ナウチニ	2014/8/22	2014/8/21
ケルチ	2014/8/15	-
機械印		
シンフェロポリ	2014/8/18	2014/12/22
セヴァストポリ	2014/8/6	2014/7/30
フェオドシヤ	?	2014/10/11

表2

『英雄都市』特印（監修者注：英雄都市とは、第二次大戦の独ソ戦に於いてドイツ軍等の侵略軍に対して激しく抵抗し、傑出した英雄的行為を見せたソ連の都市に対して贈られた名誉賞号。旧ソ連邦全体で12都市が名誉称号を与えられ、クリミアではケルチとセヴァストポリの2都市だけです。[出典：Wikipedia]はおそらく6月には使用停止となりました。

特印の最終使用例は2014年5月9日が確認されています。



すでに述べたとおり、市民個人や企業及び政府機関が所有しているウクライナ切手は、クリミア内の郵便にだけ使用できました。クリミア外宛の郵便にウクライナ切手を貼った場合はロシア切手を使用するよう記載されて差出人に返送されました（図 23）が、郵便局が見落して差出人へ返送されずに送付されたカバーも存在します。



図 23 2014年4月22日、ロシア宛書状。クリミア外宛でのウクライナ切手の使用を認められていなかったため、ウクライナ切手を使用した由で差出人に返送

2014年9月30日は、クリミア内でのウクライナ切手使用最終日でした（図 24）。



図 24 クリミア内ウクライナ切手使用最終日の2014年9月30日、マサンドラからセヴァストポリ宛書留。ロシアとウクライナ切手混貼

2014年10月1日からウクライナ切手は無効となり、仕分け時にウクライナ切手が見つかるたびに、ロシア切手で郵便料金を支払うよう記載された特別のラベルが貼付されて差出人に返送されました（図25）。しかし、中には気づかれずに送付されたものもありました（図26）。



図25 2014年10月20日、ジャンコイ市内書状。ロシアとウクライナ切手混貼。ロシア切手を使用するよう旨の付箋を貼って、差出人に返送



図26 2014年10月1日、ウクライナ切手貼書状。おそらく、ウクライナ切手を見落として通過

第IV期：2014年10月1日～12月31日

この期間はクリミア以外のロシアの郵便と見分けがつかなくなったので完全にロシア郵政と考えて良い（図27）。クリミア内の特別郵便料金はまだ存在していました。ウクライナ切手貼の郵便はすべて差出人に返送されました。クリミア全域にロシア郵政の用紙が行き渡ったにも関わらず、残っていた旧ウクライナ郵政の用紙だけでなく、そのコピーを郵便に貼付した事例も確認されています（図28、29）。

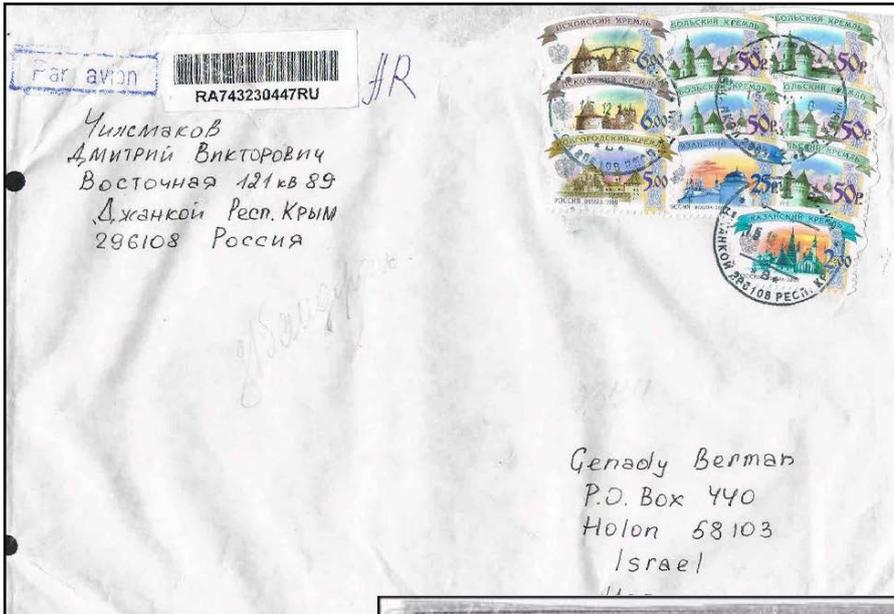


図27 12月、クリミアからイスラエル宛の受取通知付書留小包。クリミア外のロシア郵便と、一見して区別がつかない



図28 ウクライナ郵政の用紙をコピーした外国受取通知。8月クリミアからウクライナ宛、10月クリミアに返送



図29 イスラエルからクリミア宛普通封書。ウクライナ郵政の返送ラベルを貼付し、ロシア型郵便印を押印し差出人に返送

## 外国郵便

クリミア危機が発生したため、ウクライナ郵政は2014年3月18日に早くもクリミアへ郵便物を配達が出来ない旨を、世界中の郵政に通知しました。

しかし、既にご存知の通り、実際に3月26日まではクリミアとの郵便物の遣り取りは通常通り続いていました。3月27日以降、ウクライナ郵政当局はクリミアからのあらゆる郵便の受け取りを拒否し、ウクライナ経由のクリミアへのすべての郵便は一時的にキエフ、リヴィウ、オデッサの各外国郵便交換所に保管されました。

すでにクリミアに到着し、差出人へ返送しなくてはならない郵便はすべて、モスクワにあるロシアの外国郵便仕分け施設経由で返送されました(図30)。

保管している郵便物が全て配達できないことが明確になると、ウクライナはUPUに対し、追って通知があるまでクリミア宛の配達是不可能である旨告知するよう要請しました。これ

に応え、2014年4月28日、UPUは特別通達第71号(本記事末に掲載)を世界中の郵政に送りました。

その後、ウクライナで保管されている全ての外国郵便は特別な返送ラベルを貼付して差出人に返送されました(図31)。

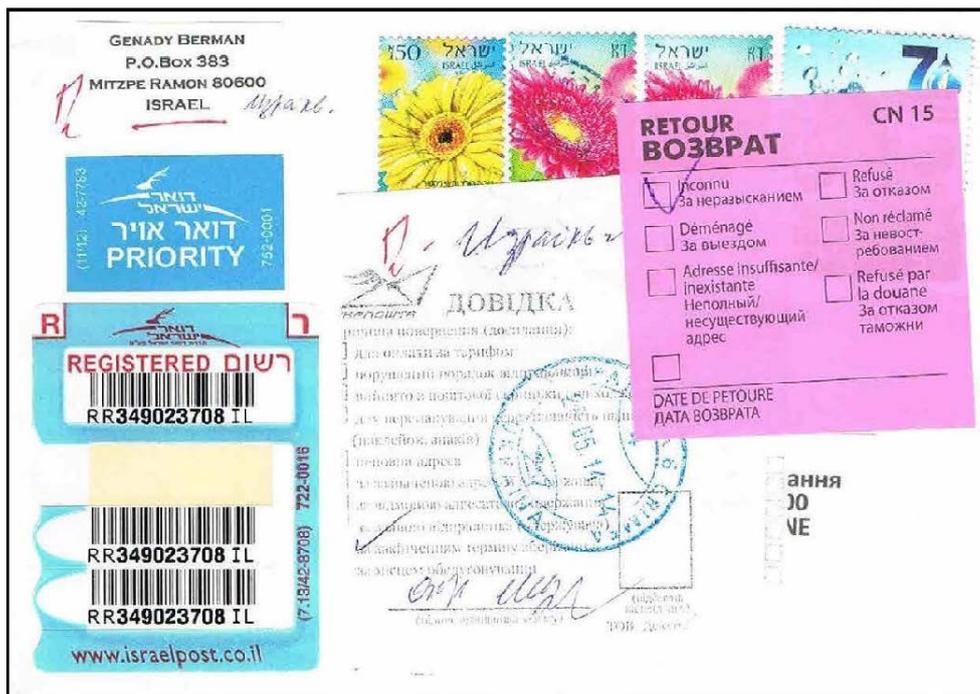


図30 イスラエルからクリミアのフェオドシヤ局留の書留。合併の前に送られ、モスクワにあるロシアの仕分け施設経由で5月に差出人に返送



図31 イスラエルからクリミアへの書留。合併後に送付され、キエフで保管、その後2014年5月4日にUPU IB 通達第71号に従い、差出人に返送。おそらく本通達に従って初めて返送されたカバーの一つ

各交換所には独自のラベルの型があるため、収集を更に面白くしています（図 32）。外国からウクライナ経由でクリミア宛の郵便はすべて、ウクライナで機械的に差出人に返送されました。UPU の通達にも関わらず、ほとんどの国ではクリミア宛の郵便物をいつも通り受け付けていました。

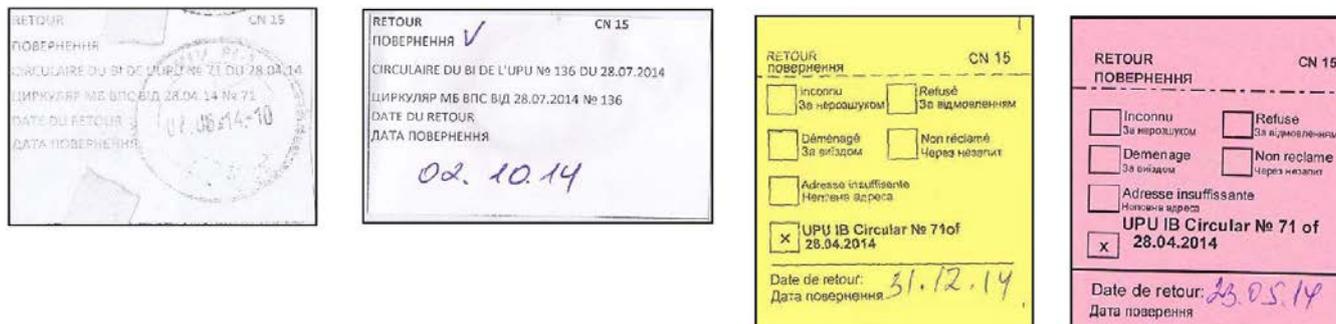


図 32 通達第 71 号の返送ラベル 4 種。オデッサ、リヴィウ、リヴィウ、キエフ

ロシアは、合併後すぐにロシア経由でクリミア宛ての郵便を引き受けるようになりました。2014 年 3 月 22 日、初めての郵便がモスクワからシンフェロポリへ配達されました。ここから定期的な郵便物の交換が行われるようになりました。ロシア経由クリミア宛てのすべての郵便物は、問題なく配達されました。

2014 年 6 月 19 日、ロシアは 2 種類の切手を販売し、新しい地域としてのクリミアとセヴァストポリであることを強調しました（図 33）。



図 33 クリミア共和国(左)とセヴァストポリ(右)を描いたロシア新切手

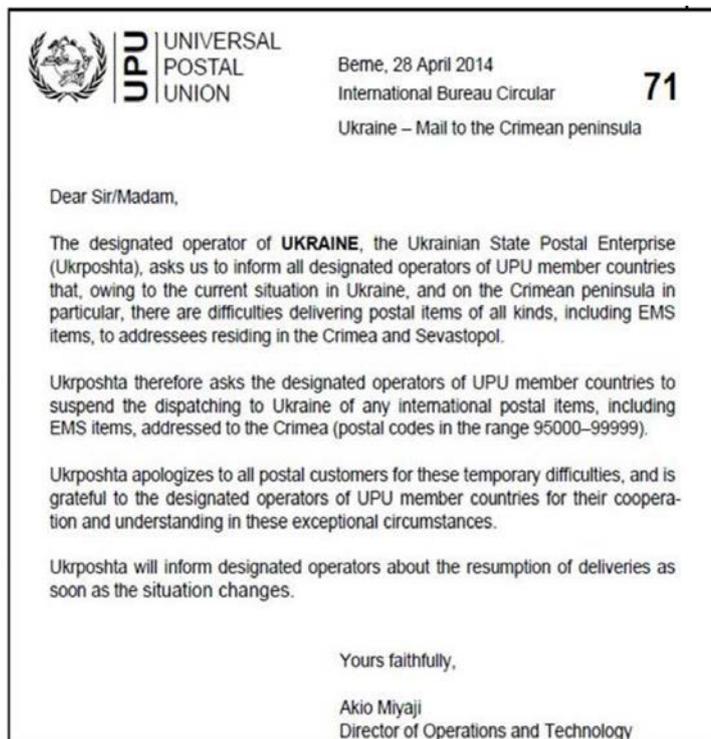
3 月 27 日、国連総会が拘束力のない決議第 68/262 号を可決し、その中でクリミア住民投票は無効であり、クリミアのロシアへの合併は違法であることを宣言しました。これを基に、ウクライナ

は同切手が万国郵便条約の第 8 章に違反しており、ウクライナ郵政による正式な郵便料金とは認められない、と拒否しました。2014 年 7 月 28 日、UPU の国際事務局は本件に関する特別通達第 136 号（本記事末に掲載）を発行し、すべての指定郵政事業者へ送りました。

ウクライナはこの種の切手を貼付した郵便を特別な返送ラベルを貼付して差出人に返送し始めました(図 34)。しかし、チェックが甘いためすべての同切手貼付の封書が返送されたわけでもありませんでした。返送ラベルに関しては、キエフとオデッサから送られたものが知られています。



図 34 ロシアからウクライナあての書留郵便封筒。『クリミア』切手貼付。UPU IB 通達第 136 号により差出人へ返送



UPU 通達第 71 号

## (資料) UPU 通達第 71 号 (左図) の内容

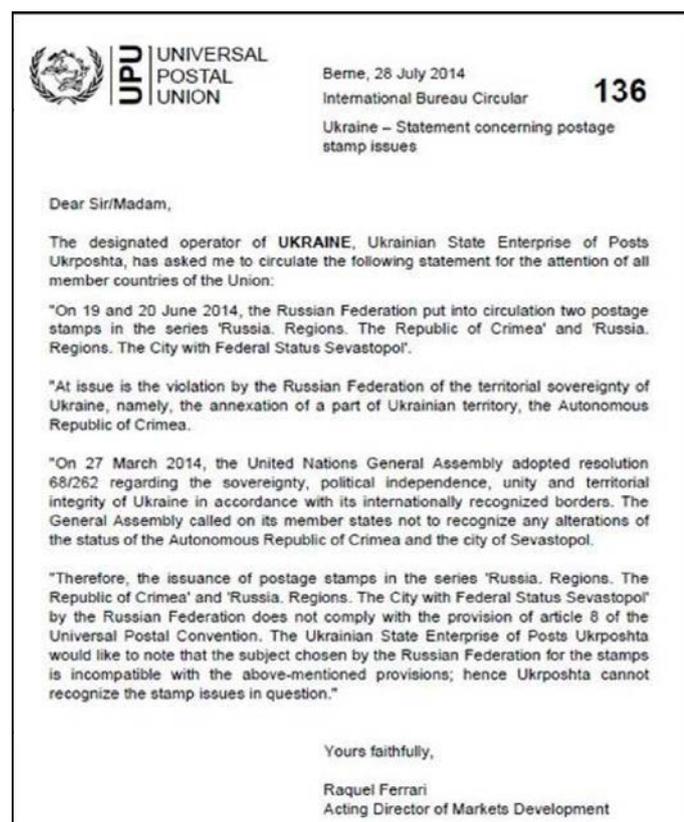
各位  
ウクライナの指定事業者、ウクライナ連邦郵便会社（ウクルポシュタ）からの要請により、ウクライナの現状、とりわけクリミア半島の状況に鑑み、UPU に加盟している国のすべての指定事業者に以下の通り通知するものとする。クリミア及びセヴァストポリに宛てたあらゆる郵便物は EMS を含め配達困難な状況にある。

このことから、ウクルポシュタは UPU 加盟各国の指定業者に対し、EMS を含めたすべて外国郵便物に関して、クリミア宛てのもの（郵便番号が 95000～99999 の範囲のもの）のウクライナへの送付を止めるよう要請する。

ウクルポシュタはこの一時的に困難な状況に関し、すべての郵便利用者に謝罪するとともに、この例外的な状況において UPU 加盟諸国の指定業者が協力し、理解してくれることを感謝する。

ウクルポシュタは状況が変わり次第、指定業者に通知する。

以上  
オペレーション技術部長 宮地章夫



UPU 通達第 136 号

## (資料) UPU 通達第 136 号 (左図) の内容

各位  
ウクライナの指定業者、ウクライナ連邦郵便会社（ウクルポシュタ）からの要請により、連合加盟各国に注意いただくよう、以下の声明を通達する。

「2014年6月19日及び20日、ロシア連邦は『ロシア/地域/クリミア共和国』及び『ロシア/地域/セヴァストポリ連邦市』という2種の切手を発行した。

問題となっているのは、ロシア連邦によるウクライナの領土主権の侵害、即ち、ウクライナ領土の一部であるクリミア自治共和国の合併である。

2014年3月27日、国連総会は決議第68/262号を承認し、ウクライナの主権、政治的独立、統一及び領土の完全性において、国際的に認識されている国境に従うものとした。本総会はクリミア自治共和国及びセヴァストポリ市に関する位置づけの変更を認めないよう、加盟各国に求めた。

このことから、ロシア連邦による『ロシア/地域/クリミア共和国』及び『ロシア/地域/セヴァストポリ連邦市』のシリーズの郵便切手発行は万国郵便条約第8章の規約に準じるものではない。ウクライナ連邦郵便会社、ウクルポシュタはロシア連邦が郵便切手に関して選択する案件は上記規約と相入れないものであることを言及したい。ゆえに、ウクルポシュタでは件の切手の発行を認められない。」

以上  
マーケティング部長代理 ラケル・フェラーリ

# 日本のコイル切手

## ～昭和コイル切手を中心に～

伊藤 純英

### はじめに

公益財団法人日本郵趣協会九州・沖縄地方本部では毎年7月に「筑後地方切手のつどい」というイベントを行っている。講演と盆回し・テーブルバザー・抽選会が中心の今では珍しくなった切手のつどいである。例年60～80名ぐらいの参加者がある。そこで本部長として講演を引き受けて今年で5回目となった。

- 2012 中国郵趣事情
- 2013 勅額切手物語
- 2014 無目打エラ一切手の系譜
- 2015 満洲郵便史
- 2016 日本のコイル切手

というものである。参加者の興味関心が様々なため、間口を広くした講演を心掛けている。今年の講演の中から、私の最も心を傾けて収集している昭和コイル切手について少々述べてみたい。

さて、大きな郵便局の前には、以前には普通に設置されていた切手の自動販売機であるが、もう見かけることがなくなってから久しい。調べてみると、2007年7月の郵政民営化に伴っての自動販売機撤去だったらしい。というわけでその自動販売機で売られていたコイル切手がなくなってから9年が経つことになる。

日本切手におけるコイル切手の位置づけは、郵政側からみれば「新切手ではない」というひとことに尽きる。そのため初期の切手においては初日カバーが積極的に作られることはなかったし、いわゆる「みほん切手」も存在していない。

収集家サイドから見れば、発売局が限定されており、いつでも買える切手ではないため、まず入手に苦労する切手であった。のみならず、未使用切手の入手もさることながら、それを使用した切手なり郵便物にいたっては極めて少ないという結果になるにいたった。

今回の講演では、1933年発行の田沢型コイル切手から平成切手のコイル切手までの33種類の切手について概観を述べてみた。中でも16番目の50円コイル切手からは、私が上京して実際に自動販売機から購入して切った切手群であり、今まで特に意識して整理してこなかったもので、それも兼ねて今回まとめてみたのである。

## 1、コイル切手とは

コイル切手（ロール切手）とは、自動販売機や自動貼付機に使うために特別に作られた長く帯状につながった切手のことである。

多くは500枚や1000枚がつながった形をしている。日本切手の場合は全て縦長につながっており、切手の両横の目打がストレートカットになっているのが特徴となっている。

諸外国においては、横長のもの、あるいは目打が4方向についたものなどがあり、単片になるとシート切手から切り離されたものと区別がつかなくなるため、シート切手が10×10の100枚で構成されたシートの場合は縦ならば10枚以上につながった状態、すなわち最低11枚のストリップ状態でないと区別できない。

そのため、諸外国の場合はコイル切手は11枚以上で集めようということになるわけだが、日本切手の場合はあてはまらない。単片切手1枚でも十分区別できるからである。

ただし、シート切手の両端の目打を切り離した変造品が古くからあるが、そうするとマージンが狭くなるため、容易に区別可能である。少し区別しにくいのが新大正切手の切手帳から切り離した単片で、片側がストレートエッジになった切手の、反対側の切手の目打を切り離した切手であるが、よく観察することにより、十分に区別可能である。これについては各論で紹介したい。



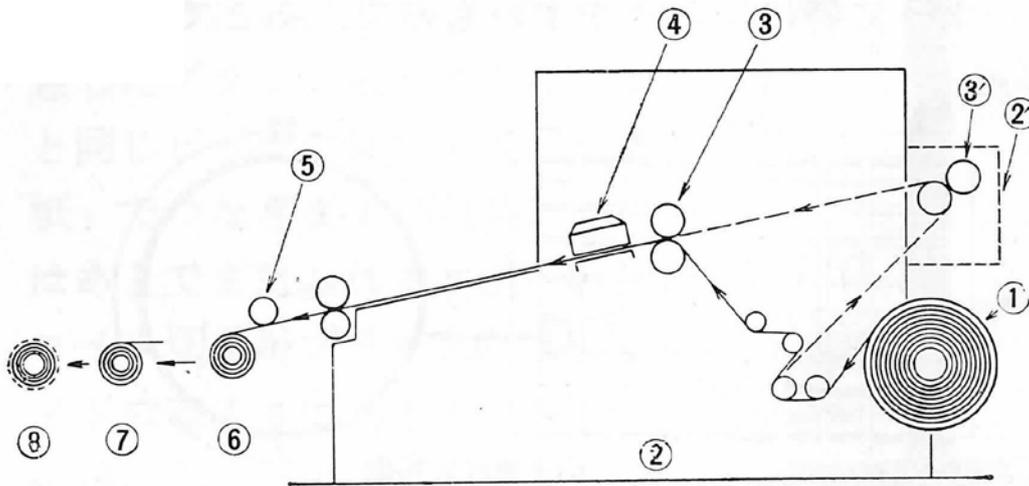
## 2、コイル切手の製造と使用

### (1) 製造法

コイル切手は縦に500枚なり1000枚つながった状態で製造する必要があるので、印刷形式は輪転版である。輪転版は大正末期にドイツのゲーベル社から輸入したものが最初であり、のちにこれを参考にして国産の輪転機が製作された。ながらくゲーベル印刷と呼ばれてきたが、これはゲーベルが会社名であるため、一般名詞の輪転版と呼ぶのが正しい。輪転版に対する語は平面版である。こちらにも平台と呼ばれてきたが平面版の呼称がふさわしいだろう。

ところで、コイル切手の製造方法であるが、輪転印刷機で印刷することになる。

版式は戦前と戦後の初期のみが凸版印刷であり、その後グラビア印刷で行われた。図1を見てもらえるとわかるように、両者の製造方法に大きな違いはない。



コイル切手製造工程概略（点線はグラビア印刷の場合）

図1

①から巻紙（幅が広く、すでに裏面に糊引きされ、これ自身が大きなコイル状のもの）が繰り出され②の輪転印刷機に入り、3の円筒状の実用版が回転して連続印刷を行う。④で単片切手にしたときの上下方向にのみ目打ちが打たれ、⑤のスリッターと称される回転刃物によって縦方向に一行ずつ切り分けられ⑥で各行に巻き取られるというわけである。

詳しくいうと、これは凸版印刷の場合で、グラビア印刷の場合は図の点線②'と③'のように外付けになる場合が異なっている。

ここで出てきた円筒状実用版というのは図2のように横方向に10行、円周方向に22列の合計

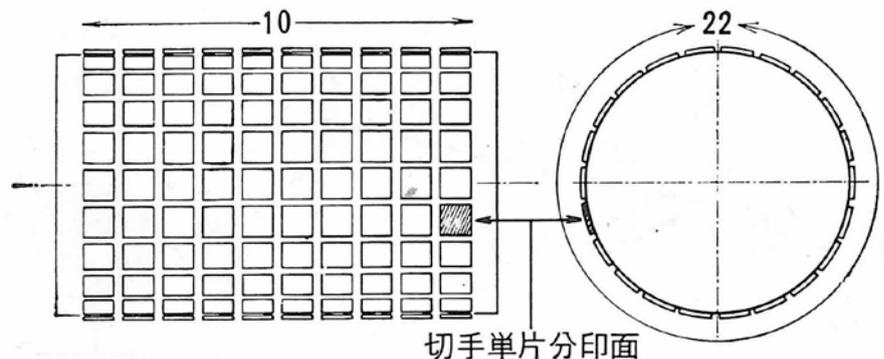


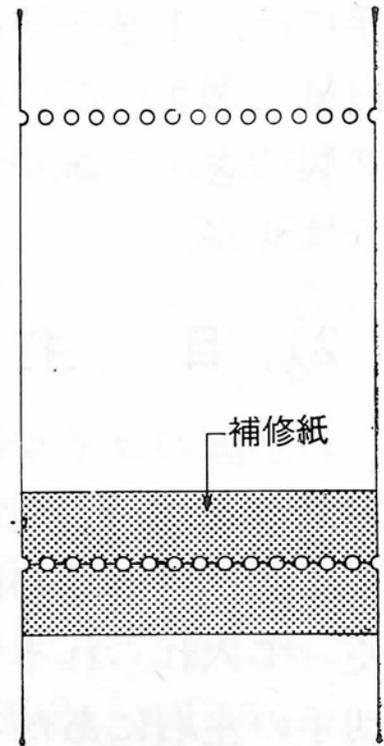
図2 円筒状実用版

220個の切手印面がついた版のことで、これが1回転すると一度に10行の幅で印刷が行われる。その能力は1時間につき単片切手換算で約40万枚とのこと。

さて、⑥で各行に一度巻き取られた切手は⑦で規定枚数を数えながらもう一度巻き直し、⑧で1巻ごとに包装・封印され最終製品となる。製造工程では細長いコイル切手は切れやすいため、そのような場合は、薄いグラシン紙に切手と同じ目打を施したもので補修することがあり(図3)、この紙は巻きはじめと巻き終わりにも使われた。

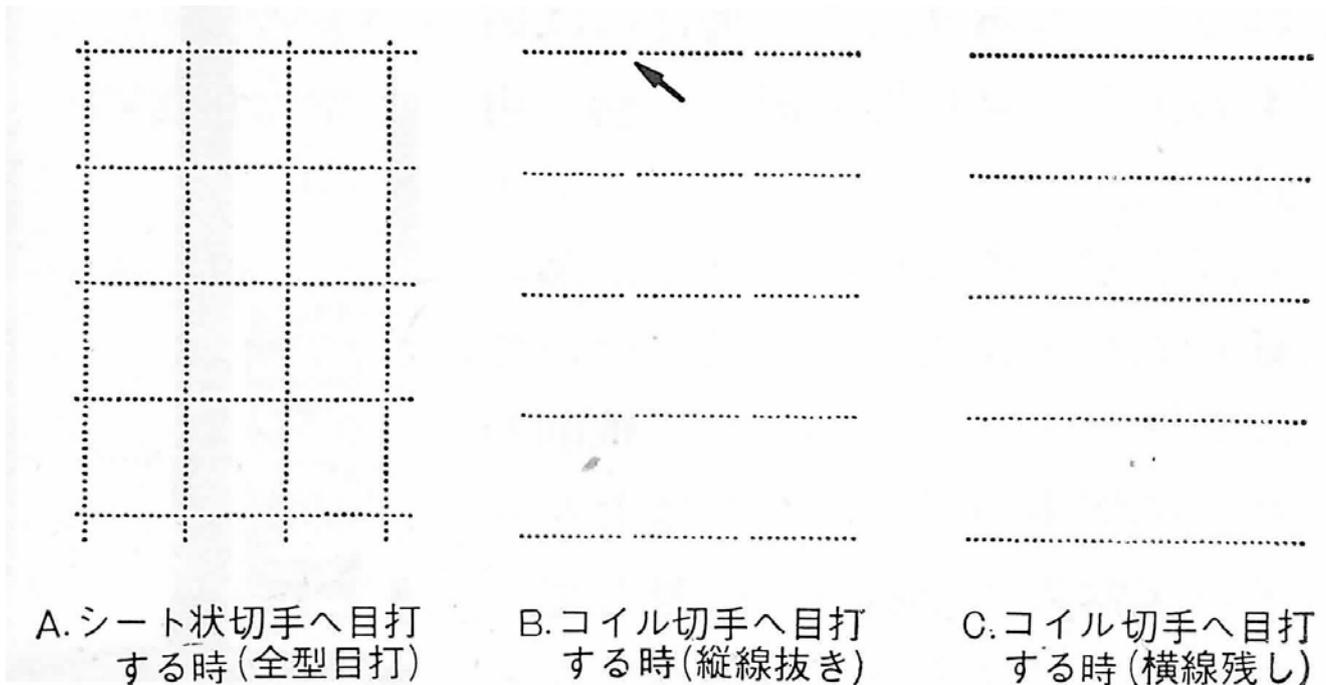
目打は、図1の④の工程で全型目打(図4のA形式)が打たれるのであるが、コイル切手を作る際には縦方向の目打を抜く必要がある。そのためその抜け方については次の図のように2種類が考えられ、日本のコイル切手については実際に2種類のコイル切手が存在する。

ただし、実際には図4のBの縦線抜きで製造されたコイル切手は、昭和コイルの5種類のみである。それ以外は図4Cの横線残しということになる。



補修部分(裏面)

図3



A. シート状切手へ目打する時(全型目打)

B. コイル切手へ目打する時(縦線抜き)

C. コイル切手へ目打する時(横線残し)

目打針の植え方(全型目打とその改造型)

図4

## (2) 使用面

日本のコイル切手は、実用的というより実験的な面が強く、郵便制度の面からいえば、郵便省力化の大きな歴史の面から考察する必要があるが、同じ機械化・オートメーション化を目指して、ついには郵便番号制度・自動読み取り装置により大量の湯便物を処理できるようになったことに比べると、コイル切手による自動販売機設置は結局実用的ではなかったということがいえる。

約10年前に終了した印字コイル切手は最終到達点といえるが、その後廃止されて以来絶えてしまったことから考えると、成功したとは言い難い。

しかし、逆に郵趣的に見た場合、発行数が少ないため、使用面からみると奥深い収集対象になる。

さて、発行された額面についてみると、最初のコイル切手から最後のコイル切手シリーズまで、郵便の基本額面、すなわち葉書と書状の2額面が基本になっているということである。シリーズによって補助的額面であるとか書留書状料金などがあるが、葉書と書状料金が主であるからこれらの1枚貼りが主たる使用例であろう。しかし収集が進んでくると、これに変化をつけたくなるのが収集家というものである。多数貼りや外信便などで変化をつけていくとおもしろいコレクションができる。

後に、筆者の国際切手展出品のリーフを参考までに掲げるので参考にしてほしい。

## 3、総論 - 日本のコイル切手のすべて

現在までに発行された日本のコイル切手についてリーフ3枚にまとめてみた。



実に33種類の切手が発行されてきたわけである。日本のコイル切手の特徴として、左右の目打がストレートエッジになっていて、縦に500枚ないし、1000枚つながった形であるということである。そのためよりコイル切手らしさを強調するためには、単片よりもペア以上のほうがのぞましい。

印刷は先述したように、輪転版で行われる。輪転版には実用版2面が巻きつけられ、通常は凸版印刷だと偶分割シートと奇分割シートに分けられる。

最近のカラーマーク付きシートだとカラーマークの上付きと下付きで区別できるものを指すが、コイル切手の印刷ではこの2つのシートの上に1段ずつの印刷素版が入ることになり、22枚で一連の印刷ということになる。

そこでその素版の継ぎ目で印面がずれたり、刷色が変わったりというバラエティが生まれることになる。以下の表に個々のデータを記した。

コイル切手一覧										
番号	シリーズ	額面	発行日	図案	原画作者	版式	用紙	透かし	用途	備考
1	田沢	1 1/2 銭	1933.11.01	田沢型	田沢昌言	凸版輪転版	大正毛紙	大正	葉書	一般販売 11.3
2	田沢	3 銭	1933.11.02	田沢型	田沢昌言	凸版輪転版	大正毛紙	大正	書状	
3	昭和	2 銭	1938.01.25	乃木大将	木村勝	凸版輪転版	昭和白紙	昭和	葉書	二連装・スタンパル
4	昭和	4 銭	1938.01.25	東郷元帥	木村勝	凸版輪転版	昭和白紙	昭和	書状	二連装・スタンパル
5	田沢	3 銭	1938.08.26	田沢型	田沢昌言	凸版輪転版	昭和白紙	昭和	印刷書状	第4種便・スタンパル
6	昭和	1 4 銭	1938.12.05	春日神社	加曾利鼎造	凸版輪転版	昭和白紙	昭和	書留書状	スタンパル
7	昭和	5 厘	1939.04.24	御朱印船	木村勝	凸版輪転版	昭和白紙	昭和	第3種	スタンパル
8	動植物	1 0 円	1959.01.20	法隆寺金堂壁画	山野内孝夫	凸版輪転版	白紙	なし	書状	書状 1 0 円料金時代
9	動植物	1 0 円	1961.04.25	そめいよしの	長谷部日出男	グラビア輪転	白紙	なし	書状	
10	動植物	5 円	1961.10.02	おしどり	木村勝	グラビア輪転	白紙	なし	葉書	
11	航空切手	3 0 円	1961.10.02	五重塔	渡辺三郎	グラビア輪転	白紙	なし	速達加貼	
12	動植物	3 0 円	1963.03.01	円覚寺舍利殿	木村勝	グラビア輪転	白紙	なし	速達加貼	
13	新動植物	1 5 円	1968.01.09	きく	東角井良臣	グラビア輪転	白紙	なし	書状	書状 1 5 円時代
14	記念・キャン ペーン	1 5 円	1968.07.01	郵便番号宣伝	久野 実	グラビア輪転	白紙	なし	書状	
15	新動植物	2 0 円	1972.02.01	まつ	大塚 均	グラビア輪転	白紙	なし	書状	書状 2 0 円時代
16	新動植物	5 0 円	1976.03.10	緑 観音	渡辺三郎	グラビア輪転	白紙	なし	書状	書状 5 0 円時代
17	新動植物	1 0 円	1979.4.2	しか	木村 勝	グラビア輪転	白紙	なし	葉書	
18	新動植物	1 0 0 円	1979.4.2	赤 丹頂鶴	長谷部日出男	グラビア輪転	白紙	なし	速達他	
19	新動植物	6 0 円	1981.1.20	平等院・鐘	森田基治	グラビア輪転	白紙	なし	書状	書状 6 0 円時代
20	新動植物	4 0 円	1981.4.1	菜の花と蝶	長谷部日出男	グラビア輪転	白紙	なし	葉書	
21	新動植物	1 0 円	1982.10.20	福寿草	東角井良臣	グラビア輪転	白紙	なし	補助額面	
22	新動植物	1 0 0 円	1982.10.20	銀 鶴	菊池吉晃	グラビア輪転	白紙	なし	速達他	
24	新動植物	4 1 円	1989.04.01	ヒオウギガイ	森田基治	グラビア輪転	白紙	なし	葉書	書状 6 2 円時代
23	新動植物	6 2 円	1989.04.01	オオイトカゲガイ	森田基治	グラビア輪転	白紙	なし	書状	
25	平成	5 0 円	1994.01.24	メジロ	森田基治	グラビア輪転	コート紙	なし	葉書	書状 8 0 円時代
26	平成	8 0 円	1994.01.24	ヤマセミ	森田基治	グラビア輪転	コート紙	なし	書状	
27	印字	5 0 円	1997.04.10	スズメと稲と椿	菊池 彰	グラビア輪転	コート紙	なし	葉書	
28	印字	8 0 円	1997.04.10	スズメと稲と椿	菊池 彰	グラビア輪転	コート紙	なし	書状	
29	印字	9 0 円	1997.04.10	スズメと稲と椿	菊池 彰	グラビア輪転	コート紙	なし	重量書状	
30	印字	1 3 0 円	1997.04.10	スズメと稲と椿	菊池 彰	グラビア輪転	コート紙	なし	定型外	
31	印字	2 7 0 円	1997.04.10	スズメとモミジと 椿	菊池 彰	グラビア輪転	コート紙	なし	速達加貼	
32	印字	1 2 0 円	1997.12.01	スズメと稲と椿	菊池 彰	グラビア輪転	コート紙	なし	定型外	コイル切手 2007.7 全廃
33	平成	1 0 円	1998.09.11	コアオハナムグリ	森田基治	グラビア輪転	ノンコート紙	なし	補助額面	書状 8 0 円時代

## 4、昭和コイル切手

### (1) 概要

講演では、ストックリーフに33種の切手とカバーを展示して概観を述べたが、さすがにストックリーフでは誌面に紹介ははばかれる。8月にタイで開催されたF I A P展に昭和切手を出品した際に新しく作成したリーフを中心に紹介して解説を加えてみたい。8フレーム128リーフの中で昭和コイル切手に使えるリーフ数は6リーフ。

実は、昭和切手4種類と昭和白紙切手3銭の1種類は同じグループに属する切手である。この5種類ではあるが、その使用状況から大きく2種類のグループに分けられる。

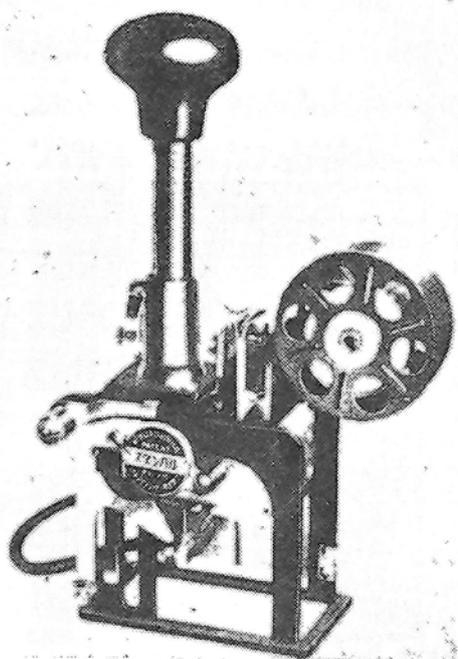
(1) 2銭・4銭の自動販売機グループと(2) 5厘・3銭・14銭のスタンプグループである。

スタンプというのは自動切手貼付機の商品名である。日本タイプライター株式会社が開発した製品で、ナンバーリング・マシンのような形をしていた。(図5) 通信省は一企業の商品のために専用の切手まで準備して協力したわけである。もちろん、自動販売機で販売された2銭・4銭切手も同社に納入された。

自動販売機グループの販売状況については、デパートなどの人が多く集まる場所に設置した点が、当局の自動販売機に対する自信と意気込みが伺われる。

この自動販売機は国産の機械で1台で2種類の切手を販売できた。

そのため、二連装自動販売機と呼ばれた。(図6)



スタンプ

図5



二連装自動販売機 (三越デパート北入口にて)

図6

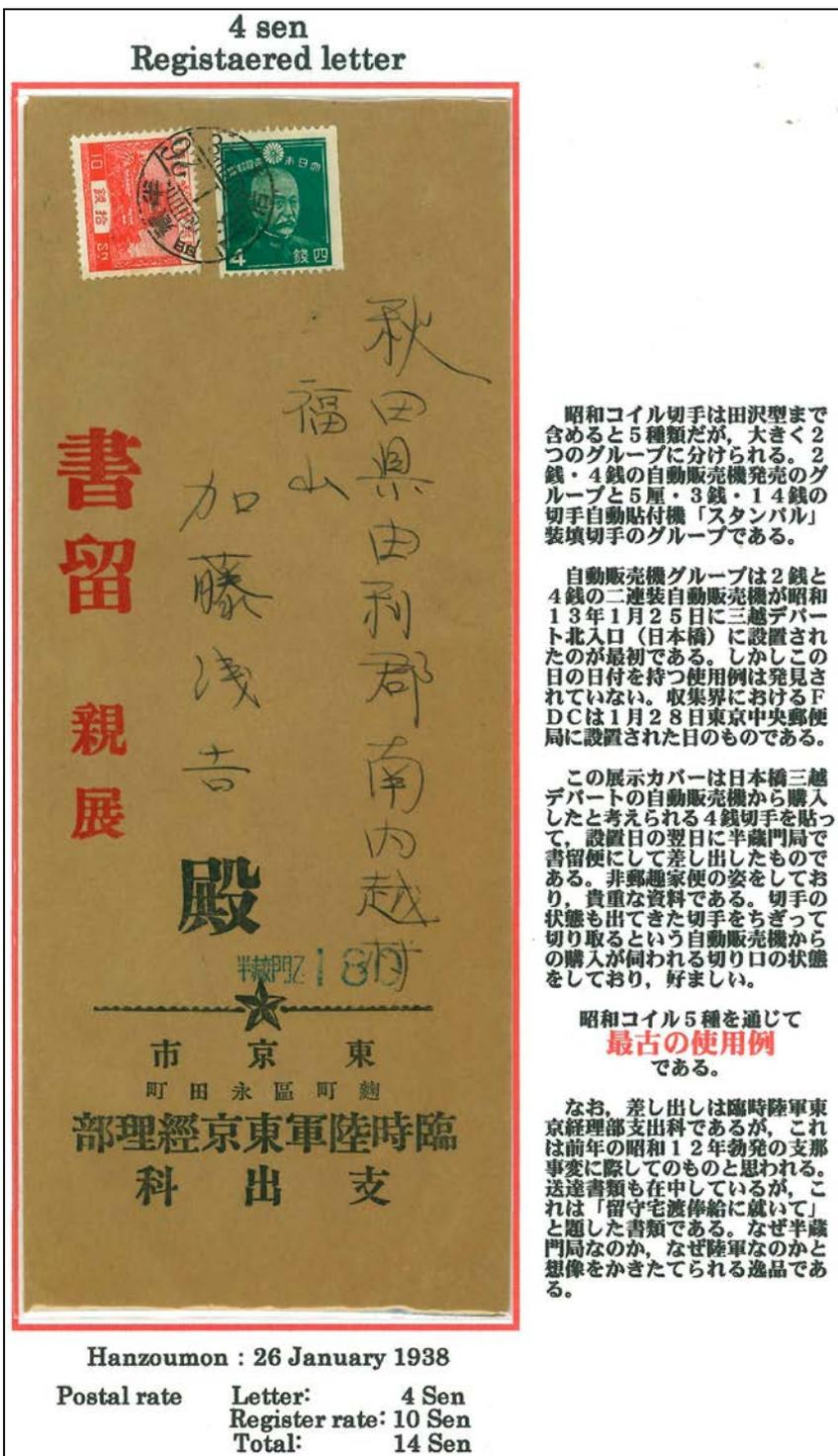
この機械の設置店を表にまとめた。気づくのは郵便局が2か所でデパート関係が4か所の計6か所ということである。昭和コイル切手のFDCなるものは1月28日付けの東京中央郵便局設置時のものしか残されていなかった。つまり1月25日販売されたであろう切手については確かに使用された例が皆無であったのだ。

設置年月日	設置場所
1938.1.25	三越デパート北入口(日本橋)
1938.1.28	東京中央郵便局
1938.2.1	松屋デパート正面入り口(銀座) 京浜デパート京浜線入口(品川)
1938.2.9	地下鉄ストア(上野) 京橋郵便局

昨年のJAPEX2015東京で行われたジャパンスタンプのフロアオークションに登場したのが図7のカバーである。なんと1月26日の日付を持つ。1月28日の東京中央のFDCと称するものより早い使用例。

このカバーを読み解くと、1月25日に設置された三越デパートの自動販売機から25日に購入して、郵便で差し出す際貼ってだしたものと考えられる。

切手部分の拡大図をよく見てもらいたい。特に4銭切手の切り口部分である。滑らかな切り口をしていないのは、この自動販売機の販売方法に起因する特徴が認められる。それはこの2連装自動販売機から切手を購入する際、購入者は切手を自分で破り取らなければならないということ



昭和コイル切手は田沢型まで含めると5種類だが、大きく2つのグループに分けられる。2銭・4銭の自動販売機発売のグループと5厘・3銭・14銭の切手自動貼付機「スタンプル」装填切手のグループである。

自動販売機グループは2銭と4銭の二連装自動販売機が昭和13年1月25日に三越デパート北入口(日本橋)に設置されたのが最初である。しかしこの日の日付を持つ使用例は発見されていない。収集界におけるFDCは1月28日東京中央郵便局に設置された日のものである。

この展示カバーは日本橋三越デパートの自動販売機から購入したと考えられる4銭切手を貼って、設置日の翌日に半蔵門局で書留便にして差し出したものである。非郵趣家便の姿をしており、貴重な資料である。切手の状態も出てきた切手をちぎって切り取るという自動販売機からの購入が伺われる切り口の状態をしており、好ましい。

昭和コイル5種を通じて  
**最古の使用例**  
である。

なお、差し出しは臨時陸軍東京經理部支出科であるが、これは前年の昭和12年勃発の支那事変に際してのものと思われる。送達書類も在中しているが、これは「留守宅渡傳給に就いて」と題した書類である。なぜ半蔵門局なのか、なぜ陸軍なのかと想像をかきたてられる逸品である。

Hanzoumon : 26 January 1938

Postal rate Letter: 4 Sen  
Register rate: 10 Sen  
Total: 14 Sen

図7 (左図は4銭コイル切手部分の拡大図)

である。切手収集家が切手を切り取る際によく折り目をつけてから切り離すのが一般的だと思われるが、そのようなことをせずに、切手を破ればどうなるか。このコイル切手の切断面を見て、その特徴をつかんでもらいたい。

かつて、私は後掲載するリーフ（図14）に貼られた4銭切手のカバーを見て、どうしてこんな上の切手が一部ついた状態で切手を貼ったのか疑問に思ったことがある。その解は、「自動販売機から買ったから」である。



図14の拡大図

のちにスタンプルを販売している日本タイプライター株式会社から1巻ごとに販売されたのを分割して収集家はアルバムに収めたのであるが、額面でてっとり早く買えるのはやはり自動販売機からであった。

消印の東山郵便局は京都の局であるので販売はされなかったが、東京の収友が自動販売機で入手したのを送ってもらったか、実際差出人が上京した折に自動販売機から購入したものかもしれない。

2銭切手に関しても、興味深い使用例が存在する。在京の中田実氏が奈良に住む収友の柳原友治（やなぎはらともじ）氏に差し出した葉書である。（図8）この柳原氏はスタンプル系の昭和コイル切手の発見に重要な働きをした人である。

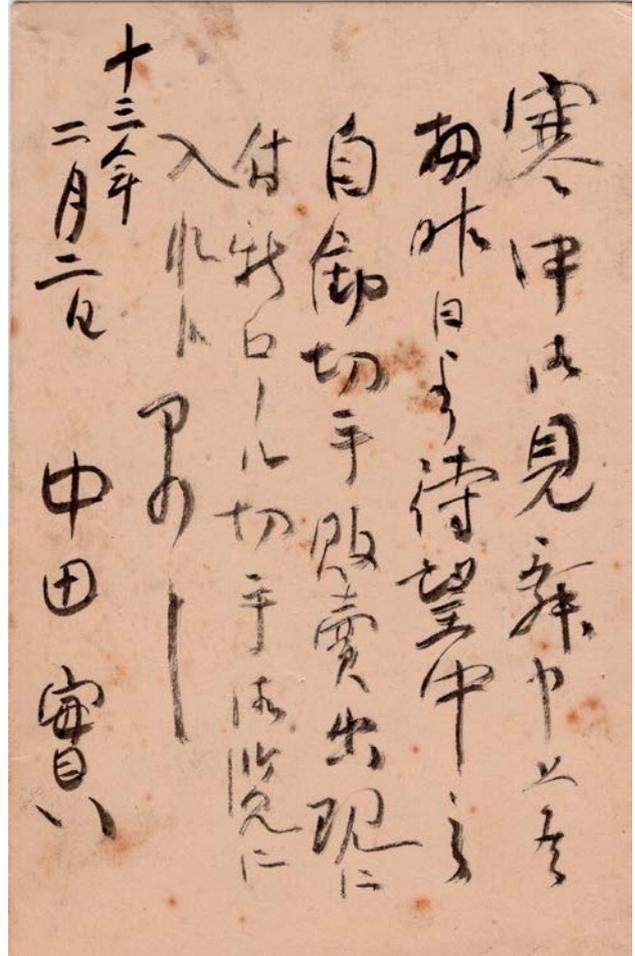
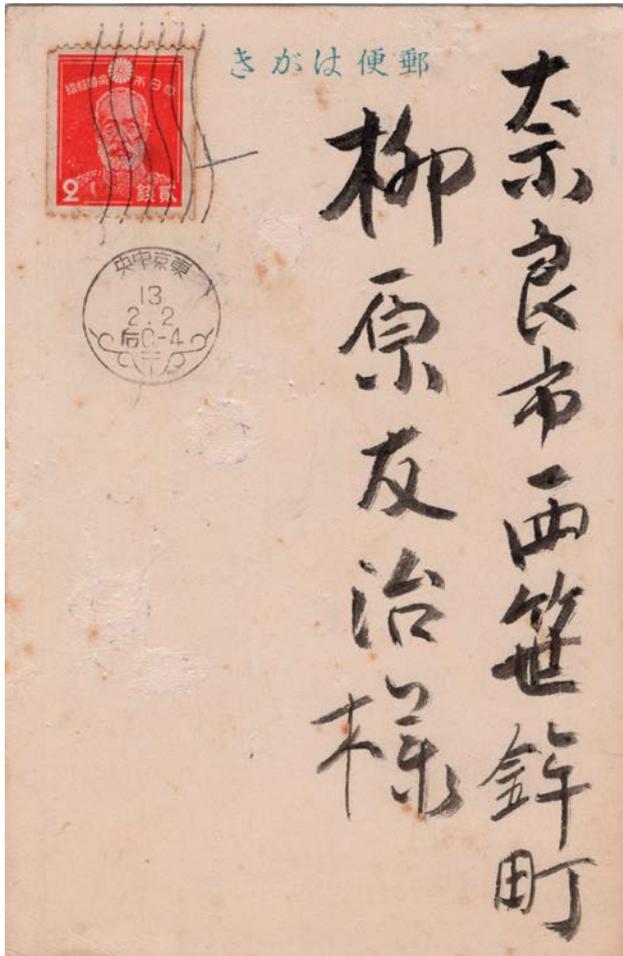


図8

スタンパル系のコイル切手の発見は、柳原氏が勤務する南都銀行に來た郵便物に貼られていた3銭切手であった。時期は1938（昭和13）年暮れのことだったらしい。

差出は日本タイプライター株式会社。氏はすぐさま未使用切手の入手を手配する一方、東京在住の松岡登（まつおかみのる）氏に告げ、松岡氏の調査で14銭切手の存在も明らかになった。切手カタログに記載の日付は、売渡局の京橋郵便局から日本タイプライター株式会社び納入された日が記載されている。

実際に残された日付で一番早い日付を確定する必要があるが、これまでそのような調査はなされてこなかった。あまりにも存在数が少なく、調査のしようがなかったためと思われる。しかし各種の文献や、最近はこの時代の切手を使用してきた世代の世代交代で市場にできるようになったので、現時点での早期使用を記録する。

3銭	13年暮れ（前掲柳原：未公開）
14銭	14年1月13日 品川山中（私蔵）
5厘	14年7月

14銭切手に関しては2番目に早い使用例が図9の14年3月27日である。この切手は同時使用多数使用例が存在するが、その一連の中でも最も早い使用例である。

下記は村田コレクション「日本切手 精集」のデータに国際展出品者のデータを加えてまとめたものである。

オードワイヤー宛の14銭コイル6連貼のカバーについては、昭和切手専門カタログ第3版によった。

14年3月27日	5枚連 TOKYO	私蔵（図9）
14年4月8日	3枚連3組 TOKYO	日本切手精集
14年5月8日	5枚連他 TOKYO	林国博コレクション
14年4月1x日	3枚連他9枚松澤	斎亨コレクション
14年4月12日	3枚連松澤	私蔵（後掲リーフ）
14年5月19日	6枚連他貼カバー	オードワイヤー宛

オフカバー・オンカバーを問わず多数貼は上のものだが、他には、戦時中のオンカバーがあったのを記憶している。



図9

1枚貼書留カバーは、後掲の私蔵のカバーのほかは、荒井國太郎氏が南洋の消印を郵頼した際に返信封筒として使った郵趣カバーが数通残っているほかは、三重郵票社差出のカバーが頭に浮かぶ。外信便としては、後掲の私蔵のカバーのほかは、同じく公園切手を多数貼った千葉の和文の消印を持つものが浮かぶ。オードワイヤー宛カバーのほかには、欧文印で消されたカバーは、極めて少ないのではないかと思われる。

## (2) 5厘コイル切手

この切手に関しては、初期使用の調査はまだ途上である。しかし、低額面であるため、使用済切手については昭和コイル切手の中では最も多く残っており、地道に調査していけば成果は得られると思っている。

この5厘コイル切手1枚貼カバーについてはながらく旧成田コレクションにあった某お寺宛のフロントカバーが唯一の使用例として君臨してきたが、2点目が1980年に発見された。折しも日本切手名鑑の構成中で昭和切手は私のコレクションがベースコレクションとして田辺猛氏に半年預けた経過がある。

たとえば50銭切手のページは半分が私の収取品である。その名鑑中で絶賛されたが、ひそかにこころよく思っていない人がいたのである。私が入手した場に居合わせて、入手できなくて悔しがった人である。

この切手の発見の経過は、カメラスタンプ商会の橘氏から「このような珍品は将来必ずニセモノという人が現れるから、発見の経過を文書に残したほうがいい」という勧めで、『スタンプレーダー』誌(同商会報)1981年2月号に寄稿した。次頁にそれを再掲する。(図10、次ページ)

果たして、橘氏の予言どおり、関係者が物故者になったあと、騒ぐ者たちが現れた。関係者とは、佐世保市内の書店から発掘して販売したUさんと、Uさんをよく知る佐世保郵趣界の長老藤下春敏氏である。実は藤下氏に、こんなことを言うものがあると亡くなる直前に相談したことがあり、その時に「Uさんは国家公務員を勤め上げた立派な方であり、偽物を作る動機もなければ、技術もないだろう」と太鼓判を押していただいた経過があった。

そのような事情もあり、さすがに藤下氏ご存命の頃は、面と向かって言い出せなかったようだが、お二人が亡くなるや否や、九州の某ライターがこの話題を察知してあやしげな図版を使ってそれとなく断じたのである。年号が平成に改まった頃のことである。九州の某ライターは文学的な表現を用いて、悪意に満ちた攻撃原稿を書いたのだが、それが掲載されたのが、『全日本郵趣』であった。(編集部注:当時の「全日本郵趣」を発行していた日本郵趣連合は、現在同名の雑誌を発行する全日本郵趣連合とは無関係の団体です。)平成の初めごろの話題である。忘れもしないのはこの時に編集長をつとめておられた編集長T氏のお名前である。深く私の心に刻まれている。

この某ライターは、当時『九州郵趣』に九州郵趣界の有力コレクターのご自宅訪問記事を連載しており、かなり強引なところもあったように聞く。熊本の小川正義氏からは、断っても断ってもしつこく、ついには自宅まで押しかけてきたので、玄関で塩をまいて追い払った、と直接ご本人からお伺いしたこともあった。その関係でY氏の自宅訪問の際、この話題を吹き込まれたようだ。

実は、その『全日本郵趣』で使われた単片（セコイことに使用済みのチョイ消）の印影と私蔵のカバーの印影は微妙に違っていたのだが、反論するのも馬鹿馬鹿しくて黙殺していた。

(41)

1981年2月号 スタンプレーダー

## 第一次昭和五厘コイル切手 単貼エンタニア二点目登場!

中央大学 伊藤純英

今まで現在一点といわれ、その希少性で、日本最初の切手、龍四十八文切手単貼エンタニアに比せられ、云々、と論議されてきた、五厘コイル単貼エンタニアの2通目が発見された。しかも幸福にも入手することができたのである。このエンタニアは、かねてより、もっと多数存在が確認されてもおかしくないと言われてきた使用例で、かえって今までみつからなかったのが不思議なくらいであった。

郵趣11月号巻末の日本切手名鑑「昭和」の折り込み広告にでていたので、御覧になられた方も多かろうと思う。ひとめみればわかるが、このエンタニアは、保存状態もきわめてよく、消印も鮮明で、かつ全影が明瞭に入っており、申し分のないナイスルッキングカバーである。欲を言えば封筒が大きすぎるということぐらいか。かえって不自然に感じられる程である。しかしそれも、おかしな消印が出まわっている昨今、無理からぬことである。以上記録の意味も兼ねて、入手の経過を記してみる。

今年の夏、ある切手の会に出席する機会を得、出席したところ、ちょっとしたオークションがあり、その中に出品されていたのがこれだった。私は一瞬、我が目を疑い、全身の血が逆流するのを感じた。それほどショックを受けた。その時といたら心臓はドキドキして、天にもものぼらんほどの興奮。しかしあくまでも外見は平静を装っていた。入札したいのだが、そこは学生の身、手元に金の持ちあわせのあるわけでもなく、後日の支払いということで、入札。開札まで、ひたすら天に祈ったせいか幸運にも落札することができた。その夜は夢にまでみる始末。夢というのは、このエンタニアが実は偽造品であると言うものだった。それ程に信じ難い出来事であ

った。翌日起きてみてホッと一安心。よくよくみてもコピーの粒子もみえないようだし(?)、インクをこすってみても、かすれたり手についたりしないようだし(?)、インクの色もその当時のものようだし、正真正銘のエンタニアである、ということが確認できた。それは何よりも中身があるので、その信憑性をより一層裏付けてくれる。この「皇国日本」という雑誌は、64ページのの小冊子で、軍用飛行機献納を目的に発行されていたようで、内容も皇国史観に基づく、歴史的事柄、人物のエピソード、上海、南洋といった当時の植民地の風物が記されており、まさに世界に冠たる日本を誇示せんとする雑誌である。

これらの出品者の弁によると、ある所から、この「皇国日本」の入った郵便物が、昭和14年から17年ぐらいまでの3年間分、30余通がみつかったということである。毎月一回の発行で、すべて五厘切手単貼、その中の2通がコイル切手貼だったという。消印は楕型あり、ローラーありで一定していなかったとのことで、30余通のうち半分以上は消印がよくなかったそうである。

さて気になるのはもう一通の五厘コイル切手単貼りの行方。先述の人によると、これは東京の方へ来ていたらしい。こんなものをこっそり持っていた人もいたのを知った次第。世の中は広いものだ。

なお、五厘コイル単貼エンタニアは、私の知人に、京都寸葉送付の封筒に貼られたものをみたという人があり、これを考えあわせれば、少なくとも4通は存在することになる。

とにかく、昭和切手は、まだまだ、これから出現する余地が充分にあると考える。それにしても、私の1980年に於ける最大の収穫であった。

(12)

図 10

極めつけは、私が切手展で展示するたび、大声でこのカバーのリーフの前で騒ぐのである。とうとうJAPEX出品の際に某審査員から「あのカバーはローラー印じゃないね」と告げられ、遠まわしにニセモノではと言われたのである。以後このカバーは封印していた。審査員からダメ出しを受けたからには使うわけにはいかない。

転機となったのは、図11の偽造カバーを入手してからである。これを入手して仔細に調べた結果、私蔵のカバーの真正性に自信を持った。と同時に「偽物を捏造してまで、貶めたい」という、常人には理解しがたい病んだY氏の精神構造に驚いたものであった。恐らく図11は私が反論した際に決定的な証拠として出すつもりで捏造したものだと思われた。多くの人は、A珍しくないもの、B珍しいものと同時に存在したら、Bを作られたものだと思われよう。Aを作るメリットはないからだ。

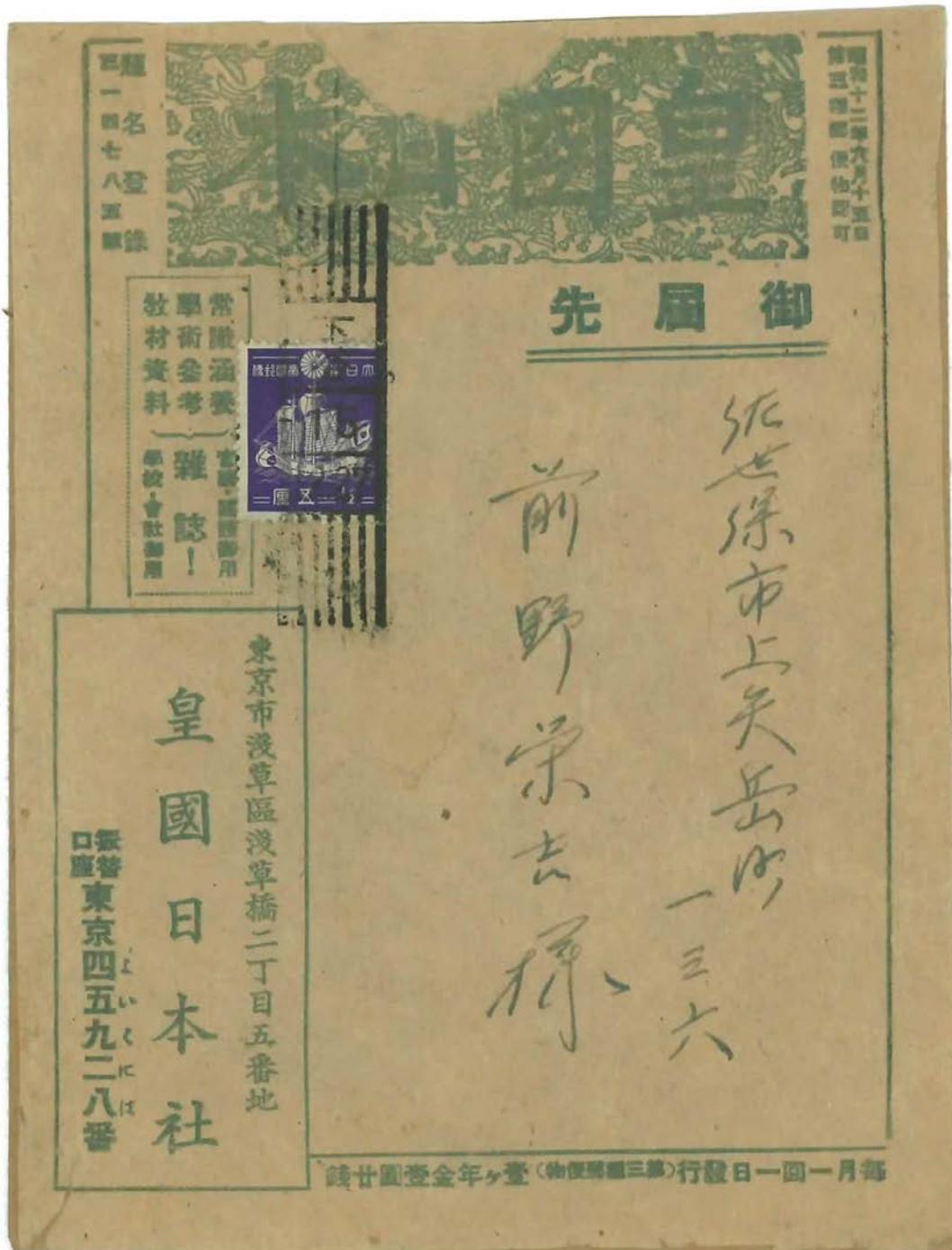


図 11

図11のカバーは、マスタンプの『identity』オークション誌にさりげなく出品されていた。私もさりげなく入札し、入手することができた。明るくした画像と問題になる点に番号をつけてみた。

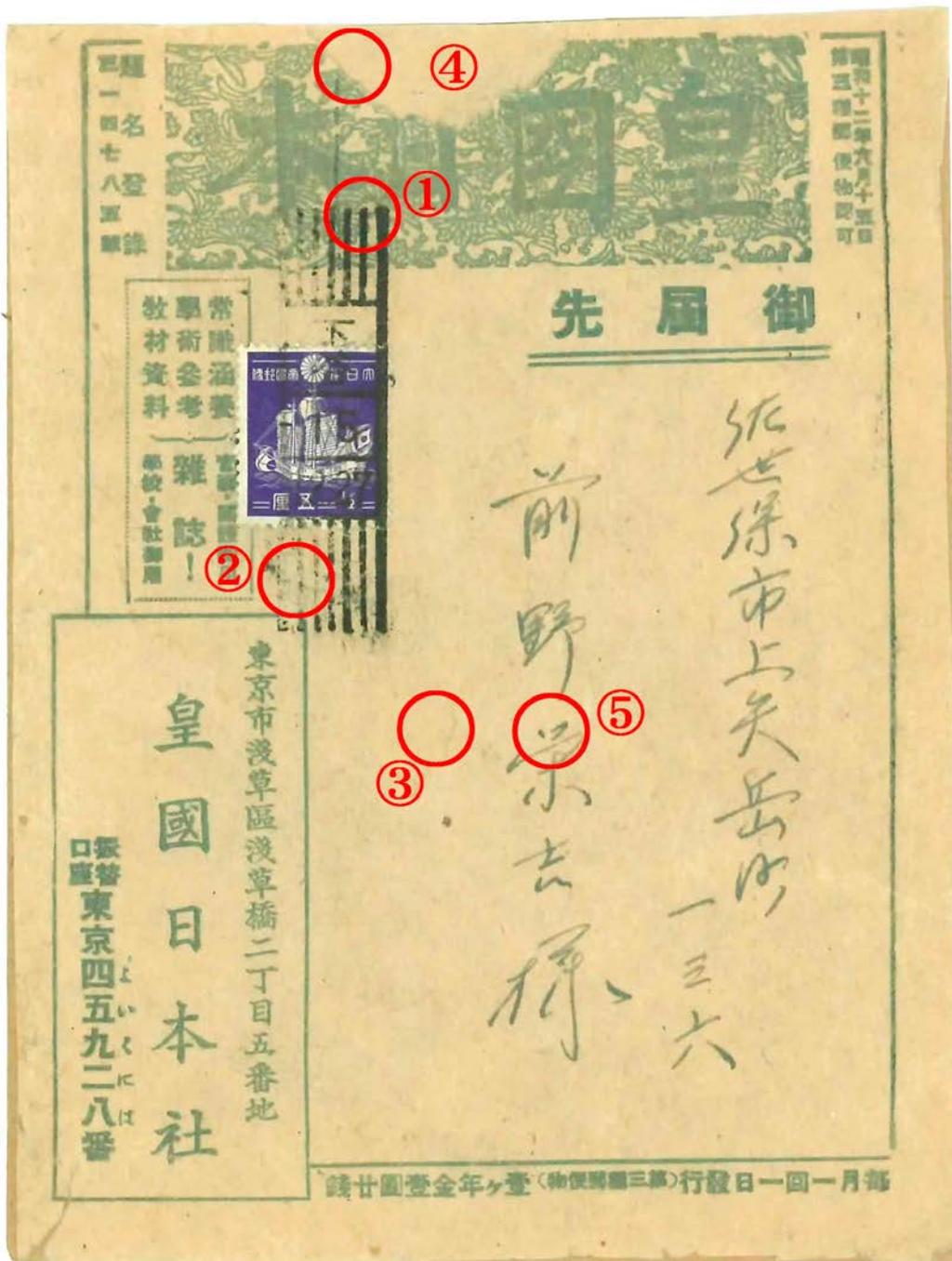


図11の解説

- ①.ローラー印は構造上、封筒から印が離れるとき先端は細くなるものだが、逆に太くなっている。先述某審査員の言を借りると「ローラー印じゃないね」。
- ②.ローラー印下部に印影の汚れが見られる。オリジナルの印影が残ったものか。
- ③.水濡れの汚れが広範囲にわたって見られる。オリジナルの切手をはがした際の汚れか。
- ④.上部が破れているが、下の台紙にはしっかり貼りついている。オリジナルから上の台紙をはがす際に破いたが、別の封筒に貼りつける際、必要以上に糊付けしたようだ。
- ⑤.「栄」の字体が新字体。コイル貼りのカバーは旧字体の「榮」。ただしこれは書き癖もあるので、決定的な証拠とはなりえない。

※全体的に台紙の印刷が不鮮明。印影が極端に黒すぎる。切手が5厘切手の初期印刷。13年ごろの平面版印刷。15年だと輪転版も一般的に使用されているし、平面版でももう少し印面があれており、目打ち抜けも悪い。

以上の点から一見して異様な感じがする。私の結論は、「この雑誌が送られた一連の封筒のうち、消印が不鮮明なものを使って、変造したもの」である。

恐らく、16年以後の粗雑な印刷の台紙の時期のもの。コイル貼りの台紙のそのままのコピーでなく、文言等が一部変わっているので、台紙自体はオリジナル。下の封筒は別の封筒であろう。

作成者の決定的なミスは、中の雑誌が入らないという点である。これが分かったとき、図11が偽造であることを確信し、同時に私蔵のカバーの方の真正性を確信した。雑誌の大きさは公表されていなかったのだから、作成者はこの点に気づけなかった。もしかしたら、16年以降に物資の不足により雑誌が小さくなったのかもしれない。しかし、15年末時点での雑誌が入らないのだからアウトである。

このY氏の昭和切手のコレクションは、生前第一郵趣会発行の『スタンプコレクター』で大部分処分されたようだが、死後残部を地元の切手商パインスタンプが一括して入手し、販売した。

他にも怪しげなものとしては3次昭和10銭富士桜の刷りだしと称する粗紙のごく薄い黄色印刷などがあった。意見を求められて「退色です」と回答。紙も粗紙にしてはヤケた印象。それ以外にも、1次昭和1銭の珍色も退色と思われた。『スタンプコレクター』誌では初登場の、3次昭和5銭の白紙青色が鮮やかな青色。「灰白紙」ならぬ「漂白紙」ではと意見を言ったものだ。紙は白いのだが、白紙の紙のコシの強さが無い不思議な紙。

今回、THAILAND2016に出品するにあたって、高額のマテリアルを数点鑑定に出すことにした。PHILANIPPON2011出品作品の長崎の外信便に消印と切手がタイしていないものがあり、次出すときには鑑定を取るようにとの指示があったのだ。だから、この際まとめて出すことにした。その中にこの5厘コイルのカバーも出してみたのである。

結果は「真正品」。長年の懸案事項が一つ片付いた。

### (3) 2銭コイル切手

図12の葉書は、ヤフーオークションで古物商出品のものを落札。自然な形の商業便。切手の目打不揃いも機械販売の証拠となるもの。

図13の葉書は、國島龍一氏宛の郵趣家便だが、同じく切手の目打部分が不揃いなのは、機械から購入したからだと推測される。昭和18年の時刻空欄の後期使用例。ただし葉書料金は2銭のままだった。

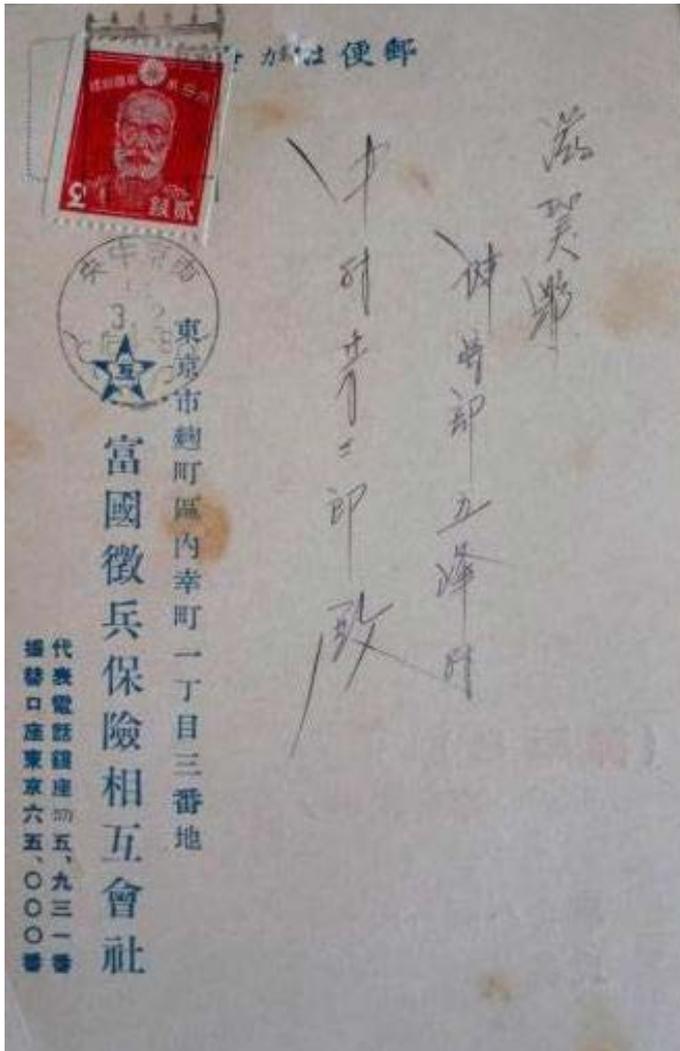


図12

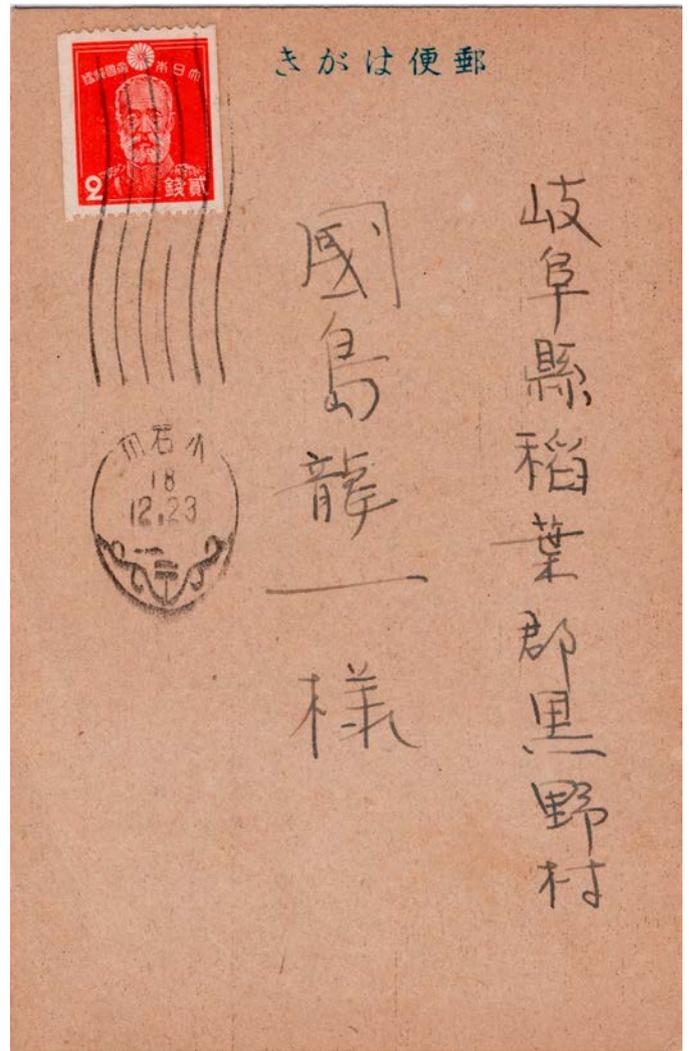


図13

(4) 4銭コイル切手

4銭コイル切手のカバーはとても少ない。2銭コイル切手と比べると10分の1ぐらいの体感差がある。なにしろ封書1枚貼りでさえ数えるぐらいの存在数。ましてや姿のよいものはほとんど存在しない。

図14のリーフはTHAILAND2016では6リーフからはみ出たリーフ。17年4月1日の料金改正で封書5銭時代の4種便・無封封書4銭料金の使用例もわずかに存在するが、これまた姿のいいものはほとんど無いといってよい。

外信印刷物に至っては、成田弘氏の名著『昭和切手の使用例』では未見となっている。ペアやストリップの形でもあまり存在しない。図15の5枚連は心眼で読めば、盛岡22年8月15日岩手県に相違ない。

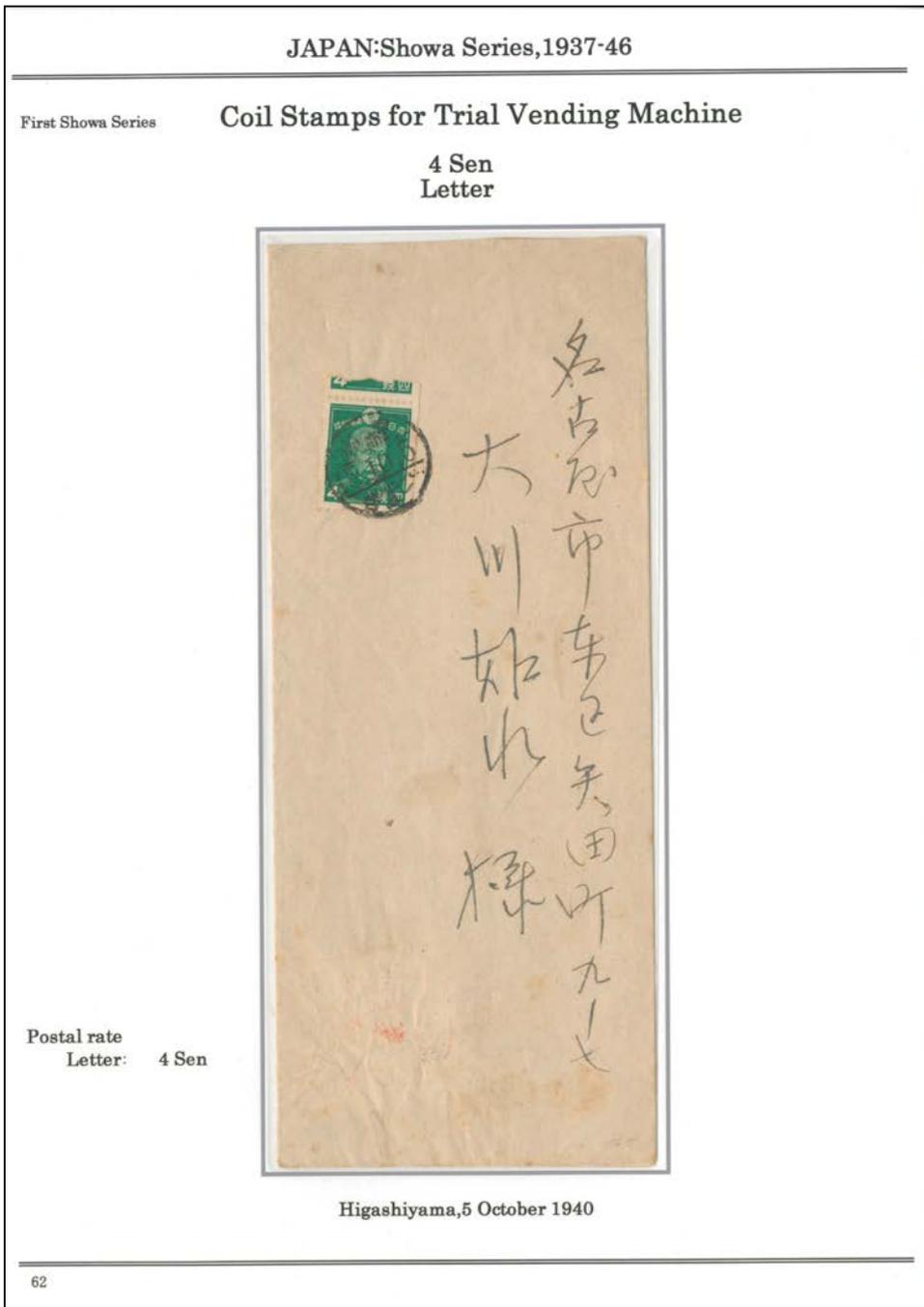


図14



図15

5、おわりに

THAILAND2016 でコイル切手の割り当ては6リーフ。そのリーフの解説をしてみたい。



**P.59** やはり未使用は省略するわけにはいかない。実は5厘・2銭・4銭もガッター間隔に違いがあるのだが、書き込みする時間がなかった。ツメが甘いのがGが取れない所以だろう。

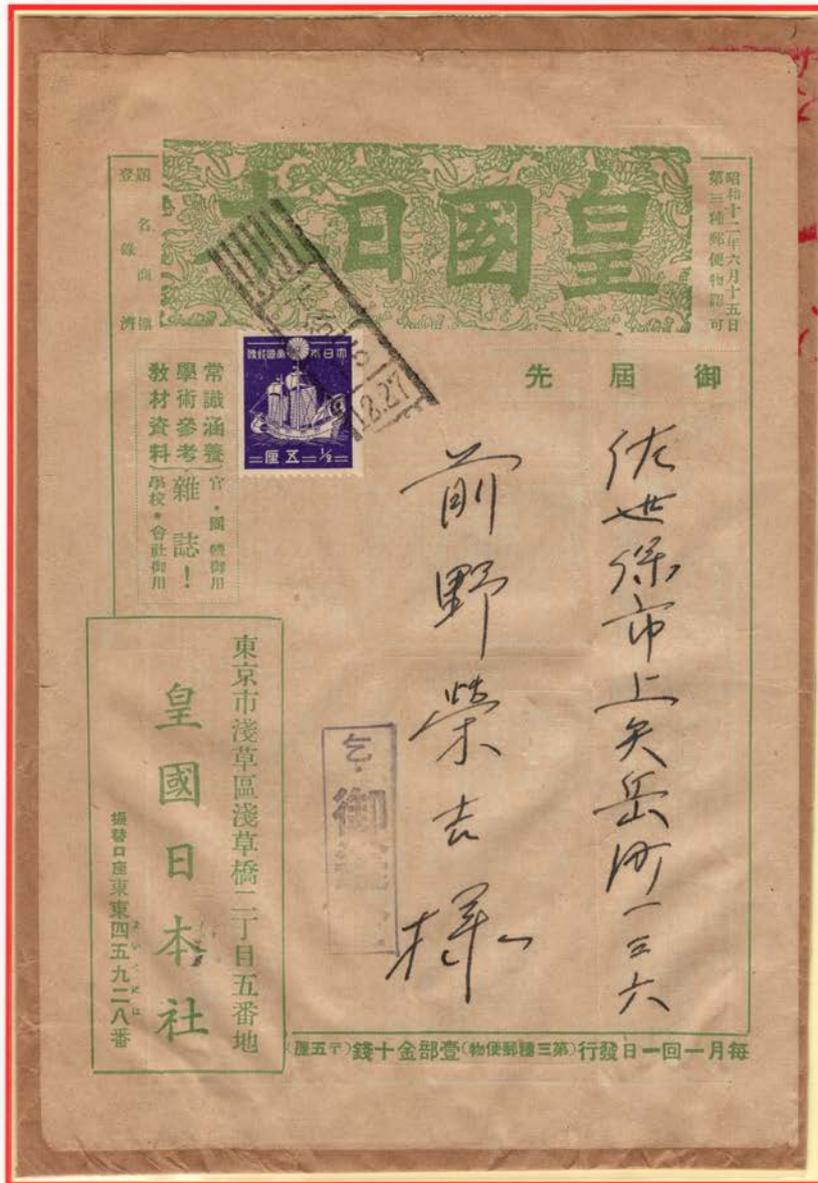
使用済もペアで揃えてみたかったが、14銭だけは単片と3枚連になった。固まりで使われた例が多いのでストリップは多いような印象を受けるが、6枚連がオンカバーで1組。オフカバーを国際展コレクションで見ると、5枚連が2組（伊藤・林）、3枚連（伊藤1、林3、精集3、斎2）、ペア（林4、斎2）という内訳になる。

JAPAN:Showa Series,1937-46

First Showa Series

Coil Stamps for Stampal(Stamp affixment Machine)

5Rin Third-class Mail



This cover was found in 1980. It was 2nd item of this use example. A monthly magazine was sent by third-class mail. This cover have contents pamphlet. Even issued "Gallery of Japanese stamps, Vol. 7- Showa Era" was acclaimed as a masterpiece. 2 items were found after that. But this item is the only one. I can show 3 reasons. (1) This cover have contents magazine. (2) This cover have expert committee opinion. (3) The envelope and the stamp and the cancellation are beautiful.



×0.4

monthly magazine,  
1 January 1941

Shitaya, 27 December 1940

(e)

Postal rate, Third-class Mail:5Rin

One of four existence known and best condition

**P.60** 5厘コイル切手の4通存在を確認したうちの唯一鑑定が取れたカバー。最近JPSオークションで1通、日本フィラテリックセンターオークションで1通売られたが、この2通とも別納印刷の上から5厘コイル切手が貼られており、おまけに1通は切手が横向きに貼ってあったりして、ルックスの面からあまり積極的にはコレクションに入れたくない姿をしていた。

JAPAN:Showa Series,1937-46

First Showa Series

Coil Stamps for Trial Vending Machine

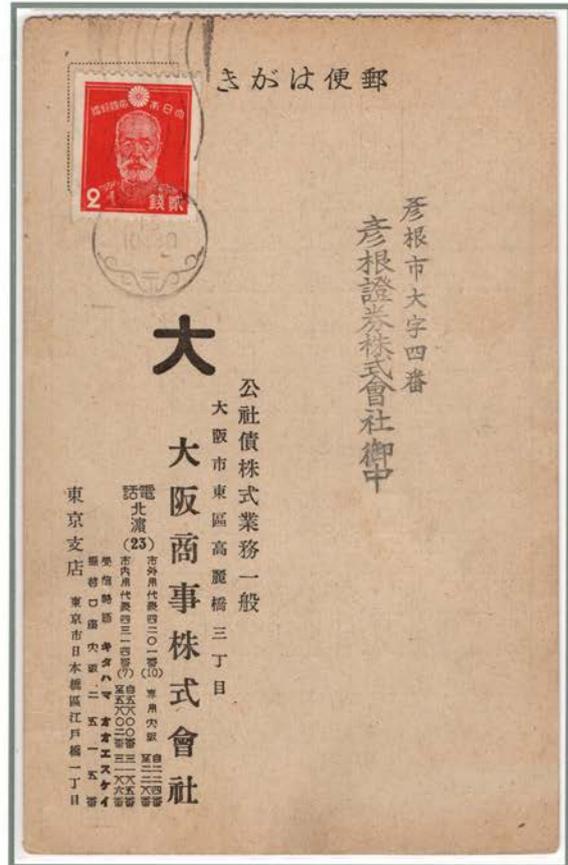
2 sen

Postcard,early usage

Business postcard



Tokyo,2 February 1938



Osaka,30 October 1943

Postal rate,Post card :2Sen

The vending machine which can buy a stamp of the face value of 2 kinds, 2 sen stamp and 4 sen stamp was installed in the north side entrance of the Mitsukoshi department store on January 25. 6 vending machines were being installed in after order. The list was indicated in the bottom. Early stage use example in the time when the left postcard is doing 6 of establishment.

The right postcard is the example a private company used for a postcard of business.

Installation date	Installation location(Post office , which is responsible)
1938.1.25	Mitsukoshi department store north entrance ( Nihonbashi )
1938.1.28	Tokyo Central Post Office
1938.2.1	Matsuya department store front entrance ( Ginza ) Keihin department store Keihin line entrance ( Shinagawa )
1938.2.9	Subway Store ( Ueno ) Kyobashi post office

61

P.61 左の2銭コイル切手貼葉書は、当局がコイル切手の自動販売機を設置している途中の期間の使用例である。十分初期使用と言える。右はありふれてはいるが、大阪商事の商用便である。非郵趣家便として1通は入れたいものである。下の書き込みは、コイル切手の設置状況を説明したものである。

JAPAN:Showa Series,1937-46

First Showa Series Coil Stamps for Trial Vending Machine  
4 sen  
Non-philatelic Registered letter

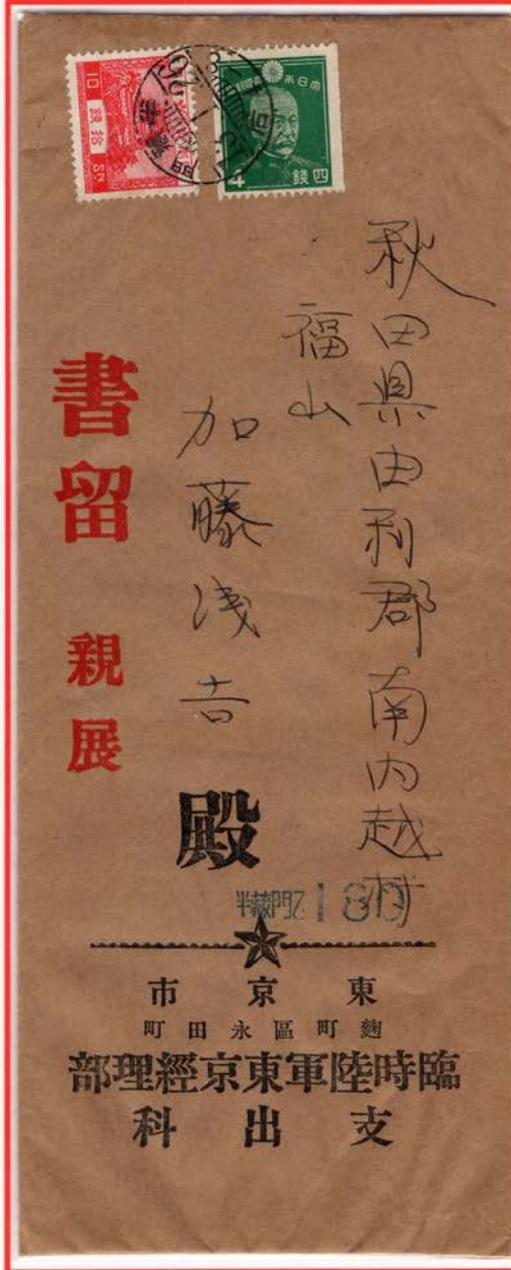


×1.5

irregular perforation



Stamp vending machine in Mitsukoshi department store,1938



(e)

Hanzoumon : 26 January 1938

Postal rate	Letter:	4 Sen
	Register rate:	10 Sen
	Total:	14 Sen

When Tazawa type is even included, it's 5 kinds, but a Showa coil stamp is shared with 2 groups. The group issued for a group of vending machine sale at 2 sen and 4 sen and a stamp automatic sticking machine "stampal" for 5 rin, 3 sen and 14 sen. A vending machine group was a coil stamp of 2 kinds, 2 sen and 4 sen, and the machine to which that's sold was installed. This was installed in Mitsukoshi department store North entrance (charge for Nipponbashi post office) on January 25, 1938 and is the beginning. And it was called a two reams wrap vending machine. But a use example with a date on this day isn't found. A FDC in the collection world is the one on a day installed in Tokyo Central Post Office on January 28.

I can think this exhibition cover 4 sen stamp have bought from a vending machine in Nipponbashi Mitsukoshi department store. That was made registered mail on the next day of the installation day by Hanzomon post office and it was tendered. It's a perfect non-philatelic cover and is valuable material. The reason I think so is irregular perforated stamp. Tear up the stamp of which the state of the stamp has also come out, am doing the state of the uneven perforating machine that purchase from the vending machine cut off.

It's the oldest use example through 5 kinds of Showa coil. Tendering is a special army Tokyo accounting department of expenses, but this seems on the occasion of the China incident of last year's breaking out in 1937. The documents sent by this envelope is also inside. This is the documents on which procedure about "the payment which hands it to the soldier's absent family" was written.

This cover was found newly last year. This cover is sold in public floor auction sale in Tokyo, and 2 upper collectors have fought and it is settled. Indeed it can be said a use example of miracle. Even a Japanese stamp exhibition had not been exhibited, and it was exhibited for the first time by Thailand 2016 stamp exhibition.

P.62 ここまで読まれた皆さんにはもう説明不要であろう。この講演をやるという原動力になった「2015年郵趣界最大の発見」である。といっても誰も賛同してくれないのが悲しい。オークション会場で下見をしたときから、「君に夢中」。オークションではハンマーの音がするまで手を挙げ続けてしまった。かなり長い時間だったような気がする。そんな思いこみで書いた格調高い日本文の書き込みを英文化して、どうにかリーフに収めたのだが、切手展会場では誰も読んでくれない悲しさ。

JAPAN:Showa Series,1937-46

First Showa Series

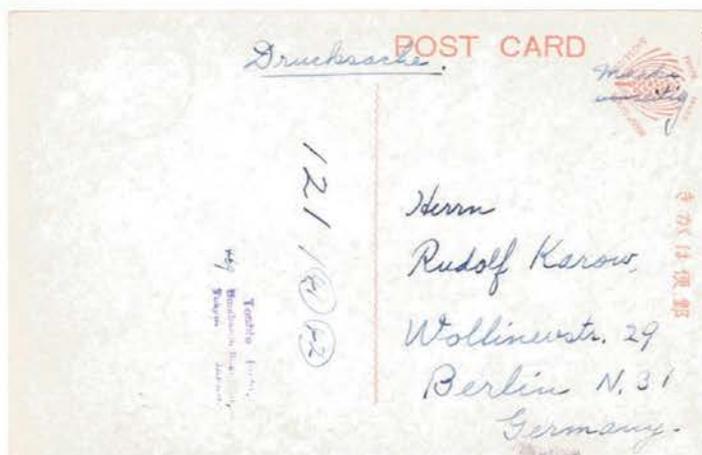
Coil Stamps for Trial Vending Machine

4 Sen

Printed matter for foreign mail



Cherry blossoms at the Sumida Park, Tokyo. 花櫻の園公園田隅 京東大



TOKYO,  
10 September 1938

Postal rate  
Printed matter :  
4 Sen

copy  
×0.8

4 sen stamp was a proper charge as the basic charge of the foreign printed matter charge besides the postal rate of the domestic letter charge (the first class mail). This is the one properly used as foreign printed matter to Germany. The message was not described to the picture postcard, and it presented it as printed matter. German "Drucksache" described in the center means printed matter, and German "Marke andere Seitig" described in upper right means the back was stamped. At that time, it was widely done to stick the stamp on the picture postcard side and to present it.

The domestic letter use of 4 sen coil stamp is a little. However, the usage used as foreign printed matter is fewer. In the current announcement, this is the only.

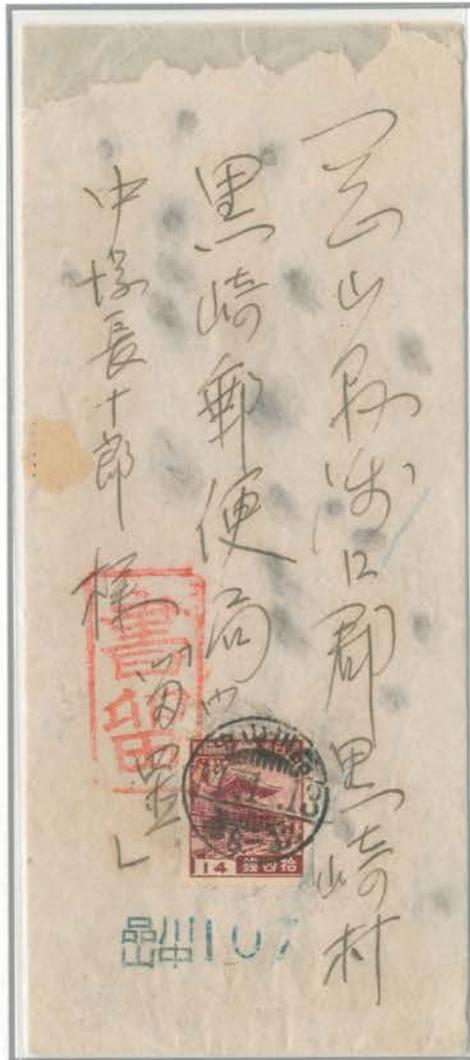
**P.63** ただの国内封書でさえも少ない4銭コイルの使用例。成田本では「未見」の珍品。これもヤフーオークション。その後ジャパンオークションで1点、国内にもう1点の3点が存在する。

JAPAN:Showa Series,1937-46

First Showa Series **Coil Stamps for Stampal(Stamp affixment machine)**

14 sen  
Registered letter

This stamp had been issued for "stampal". This is a automatic machine affixing stamps. This stamp was not sold in the post office. In general, the usage example is a little, because it was sold by one rolling and one stamp not sold. The non-philatelic mail is very rare.



Shinagawa yamanaka,13 January 1939

The earliest usage of this stamp

Postal rate

Letter:	4 Sen
Register rate:	10 Sen
Total:	14 Sen

**P.64** 旧成田コレクションの逸品。これが最古使用例だとは当のご本人もあまり言っておられなかったもので、周りも知るよしもない。発行日のない切手の最古使用は意図的なものでない自然な初日カバーに匹敵する。その信念のもと、私のコレクションでは意識して集めてきた。

ところで、もう1点紹介するのを忘れていた。14銭コイル切手の外信使用例である。

リーフを見てもらえばわかるように、かなり前のリーフである。はっきり言えば BANGKOK2007 の出品リーフである。審査員との対話。オーストラリアの主任審査員ベストン卿。オージー訛りのきつい英語。

このリーフを見て「このスク립トの字体は私は嫌いだ。減点はしてないけど。」と言って、他の出品者の作品の前に連れて行って「この字体がいい」。非常に親切である。

もちろん素直な私は、これ以後改めたことは言うまでもない。

もう一言。「フィラテリックカバーを使うべきではない。これは減点したよ。」



欧米の人には左上に書かれた「Philatelic Mail」が真っ先に目に入ったのだった。以後の国際展では2度と使うことはなかったのだが、よく考えるとおかしい。14銭コイルはフィラテリックな使用例しか残されていないからだ。オンカバーの欧文印で抹消された使用例はこの他には、オードワイヤー宛カバーぐらいなものではないか、というぐらい稀少。

なにか、最後はとりとめもない話になってしまったが、「作品が全て」である。今年11月浅草の地で、ベストワンフレーム賞を目指して、作品作りに精出すとしよう。

この文章をまとめるにあたり、約半世紀経てもなお色褪せることのない不朽の名著『日本のコイル切手』（郵趣新書：鈴木克彦著）より、データ・図版を引用させていただいた。感謝の念を捧げたい。

## 即日発送の郵趣文具、Amazon で販売開始

ヒンジ、フィラートコーナー、クリアハウイドマウントを取り扱い中（検索してみてください）



amazon.co.jp  
Amazonポイント: 232  
マイストア ギフト券 タイムセール Amazonで売る ヘルプ In English  
吉田敬さん アカウントサービス 今すぐ確認 プライム カート ほしい物リスト  
ホビー Amazonランキング フィギュア・ドール プラモデル ラジコン 鉄道模型 エアガン・モデルガン トレーディングカード アニメグッズ おもちゃ バーゲン

切手収集・整理用マウント (透明・ストリップタイプ) (55)  
ハウイド  
カスタマーレビューを書きませんか?  
価格: ¥ 1,300 ✓プライム  
残り4点 ご注文はお早めに 在庫状況について  
住所からお届け予定日を確認 既定の住所を使用 詳細  
3/16 水曜日にお届けするには、今から1分以内に「お急ぎ便」または「当日お急ぎ便」を選択して注文を確定してください (有料オプション。Amazonプライム会員は無料)  
この商品は、スタンペディアが販売し、Amazon.co.jp が発送します。返品については出品者のリンクからご確認ください。  
サイズ: 55

26 ¥ 1,100 ✓プライム	30 ¥ 1,100 ✓プライム	33 ¥ 1,100 ✓プライム	36 ¥ 1,300 ✓プライム
44 ¥ 1,300 ✓プライム	51 ¥ 1,300 ✓プライム	55 ¥ 1,300 ✓プライム	

・ 横210ミリのマウント。  
・ 透明です。

「地方に住んでるとねー、手持ちの郵趣文具が切れると、すっごく不安になるよ。

切手商も減ってるしね、街中に買いに行くにしても、それなりに時間がかかる。ましてや在庫があるかどうかははっきりしない。。

かといって東京に注文を出したとしても、発送してもらい届くにはそれなりの時間がかかるでしょ。一週間で届いたらラッキーだけど、切手展の直前だったらそれでも間に合わないよ。何とかならん？」

このようなフィラテリストの切実なニーズに対する従来の回答は「そのような事態にならないよう常日頃から、郵趣文具の在庫を十分に確保しなければ、フィラテリストとして一人前とは言えない」と言う信憑性の薄い精神論だけでした。そんな精神論に頼ってでは郵趣振興はできません！！（怒）

そこでスタンペディアでは12月から付属品を仕入れて、Amazonに倉庫スペースの一部を借り販売するサービスを開始しました。販売サイトにAmazonを選んだのは次の理由からです。

- ・ 国内送料が無料だから
- ・ 注文を受け即座に発送する代行サービスがあるから

Amazonに倉庫スペースを借りて発送代行してもらおうと、クラクラするような手数料を取られます。本事業で収益はあげていませんが、赤字にならないためこの分を販売価格に転嫁しており、正直いって定価より高めで販売しています。しかし送料無料で注目ください。実質的には他のECサイトで定価でお求めいただいたり、お店に買いに行くのと比べてお得ではないでしょうか！

販売：無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

# 和欧文機械印トピックス（第10回）

水谷 行秀

## 標語異順序使用（1）

これまでに紹介してきた通り、和欧文機械印には3種類の標語が存在し、

- ①「あて名には郵便番号を」
- ②「郵便番号をお忘れなく」
- ③「郵便番号はハッキリと」の順番で使用された。

途中で配備された局は①が使用されず②からというところもあった。また、②を飛ばして①→③とした局もあった。念のためパターンを列記すると①→②→③、①→③、②→③、③、の4パターンがある。

ところが今回紹介する横浜中央では、①→③→②→③と一旦①から③に移行した後に②を使用し、そのまた後に③に戻した。具体的に確認している年月日を入れてみよう。

横浜中央郵便局は、1968年12月1日に、最初に和欧文機械印を使用開始した9局の中の1局として①の標語で試用を始めた。そして1972年7月1日に③の標語に替えた。

ところが1973年7月に入って突然②の標語を逆行して使い始めた。そして2-3ヵ月経った1973年9-10月に③の標語に戻して落ち着いた。

横浜中央局での②の標語の使用はしばらくの間存在を知られていなかった。故丸島氏の「現行押印機使用状況」にもリストされていないくらいである。1998年になってから故野村紀夫氏が半影ながら初めてその存在を「SEVEN」誌に発表された。

その後私見では6点を確認しており、最も早い日付は1973年7月6日（図1）で最も遅い日付は同年8月25日（図2、次ページ）である。



図1 標語「郵便番号をお忘れなく」

この期間の前の6月16日(図3)と後の10月3日(図4)には③の標語を確認している。自動取り揃え押印機には先端末端2カ所に押印部があるため、簡単には標語別の使用期間を断定出来ないもどかしさがある。



図2

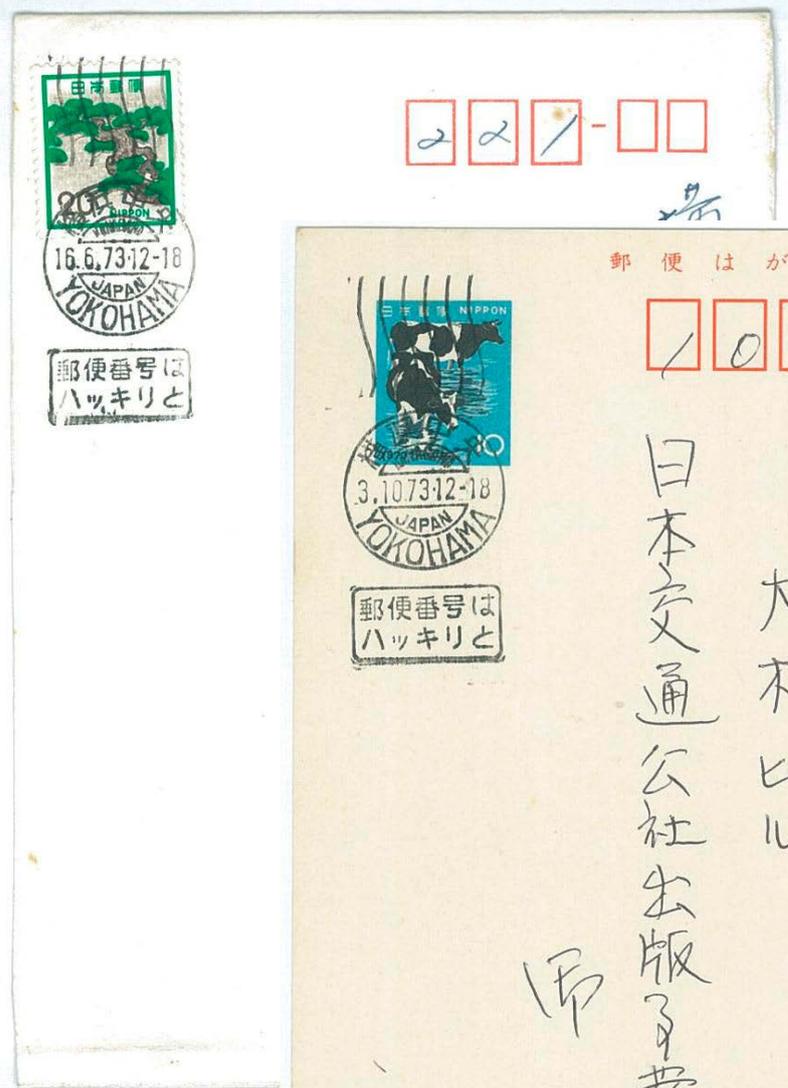


図3

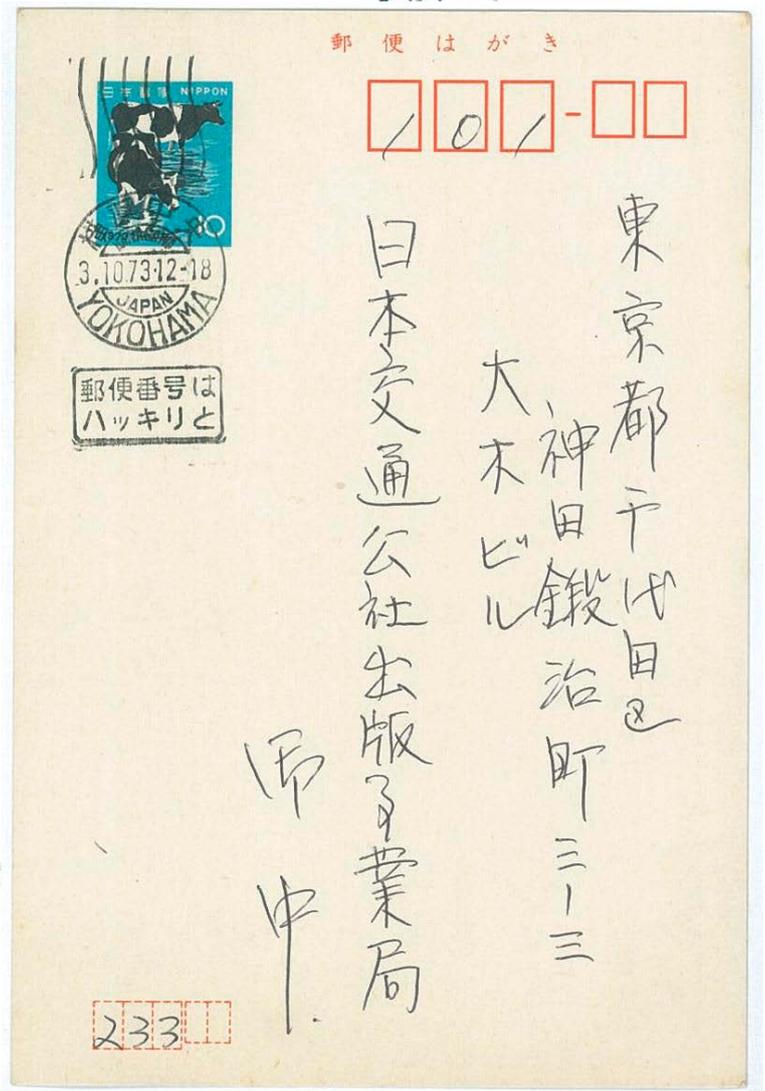


図4

しかし、この期間内の③標語を確認していないことと、確認している6点の印影を観察するとYの位置の微妙な違いやHの下部の形で2種類に分類出来るように見えることと、A(図5,6)は先端部B(図2,7,8)は末端部の特徴が見られることから、この期間は先端・末端の2カ所共②の標語になっていたと推測している。

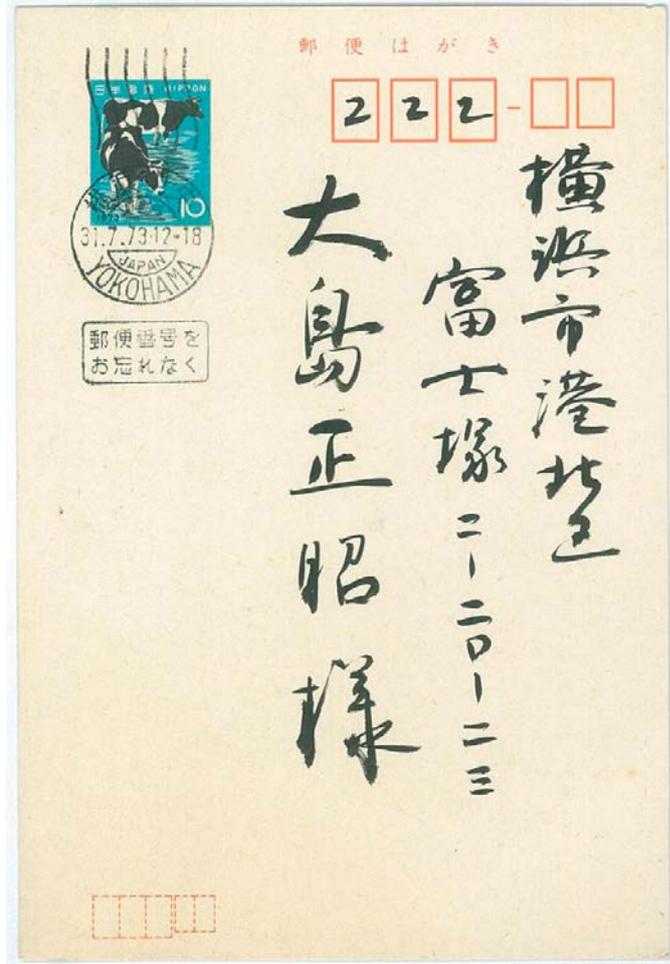
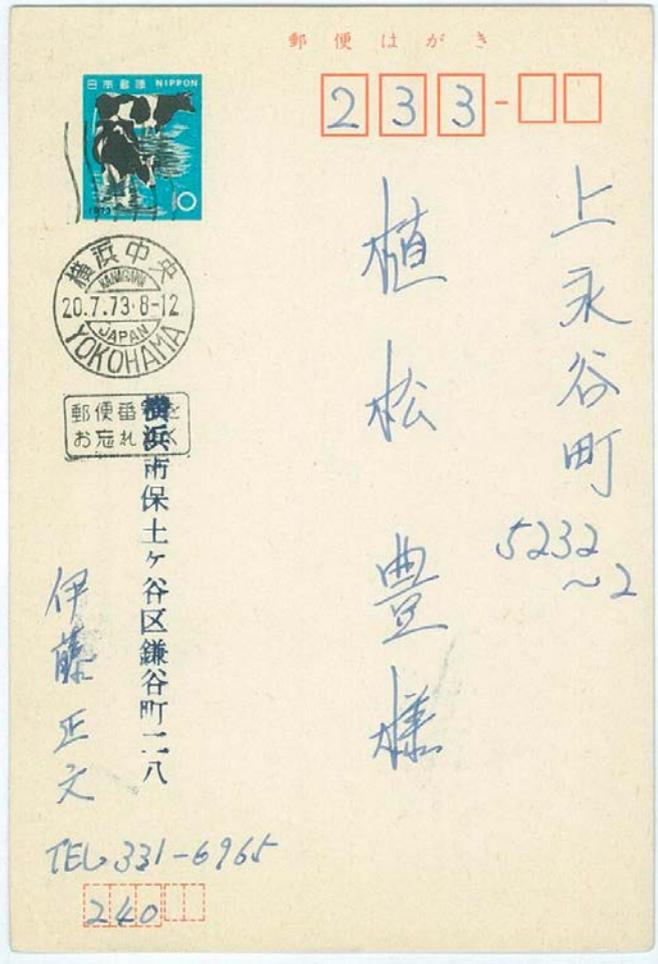
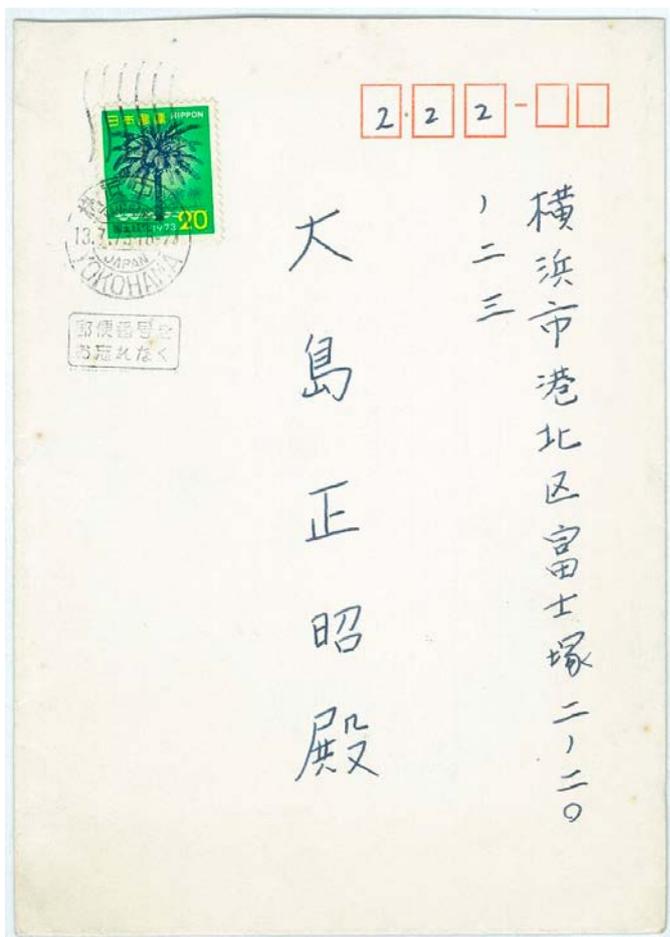
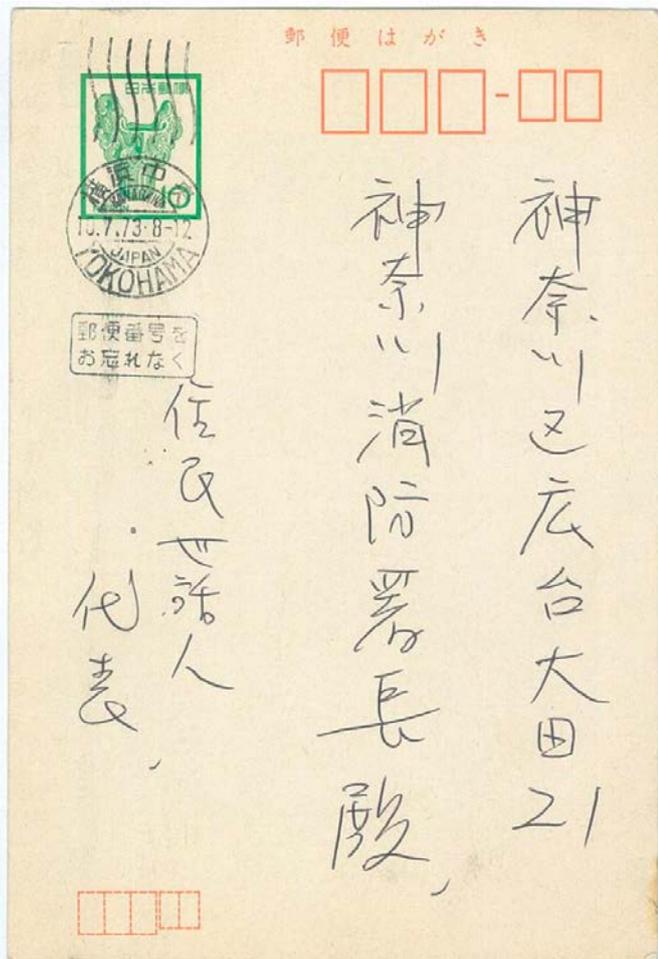
横浜中央というメジャーな局ではあるが、この局の「郵便番号をお忘れなく」は収集してみるとかなり稀少で1期の難関ベスト3に入る程少ないものと考えている。



タイプA (次ページ図5の拡大図)



タイプB (次ページ図7の拡大図)



左上から右に順に、図5、図6、図7、図8

# 農地委員会委員選挙郵便

行徳 国宏

## はじめに

日本の国政選挙郵便は作品として集大成され、出版されたものがある。切手展に出品され、上位入賞された作品もある。同じ公選選挙郵便である農地委員会委員選挙郵便は歴史が短い、まず現物選挙葉書が見つからない。選挙日付印もない。関心が向けられない最大の理由は、農地改革に関連した選挙郵便ということで、都市出身、都市在住の方には関心がなくても仕方がないだろう。どこかの会報に単発的に1、2通発表された事例はあろうかと思われる。

以下に4通を掲載するが、内2通はかれこれ30年くらい前に手に入れたもので、長年、会報原稿のネタにできなかった。最近2通（千葉県の例）を手に入れたので、投稿することにした次第である。

## 1. 戦後の農地改革

昭和20年12月、GHQ最高司令官マッカーサーは日本政府に対して、「農地改革に関する覚書」(SCAPN-411)を送り、「数世紀にわたる封建的圧政の下日本農民を奴隷化してきた経済的桎梏を打破すること」を指示した。日本政府はGHQの指示により農地改革案（第1次）を作成した。

改革案の内容は、

1. 市町村の農地委員会の構成を地主5、自作農5、小作農5とした、
2. 農地委員会の選挙は実施しない、
3. 農地の強制譲渡はしない、

など地主側に立つ議員の意向が色濃く出ていて、また農地委員会の構成は地主に利するというので、総司令部から強い不満が寄せられた。(以下、引用文献番号①、④)

『GHQは日本政府自身による具体的改革案の検討には無理があると判断し、この農地改革案（第1次）を全面的に否認した。米、英、中、ソ4カ国からなる対日理事会に付託して農地改革案を審議してもらうことにした。ソヴィエト案とイギリス案が出され、最終的には後者の案による妥協が成立した。GHQはこれを受けて、より徹底的な第2次農地改革案の実施を日本政府に勧告した(③)

第2次農地改革案は、GHQの勧告案に部分的修正と補充を加えられた後、21年7月15日に「農地制度改革の徹底に関する措置要綱」として閣議決定され、10月21日帝国議会で「自作農創設特別措置法」と「農地調整法改正案」が公布され、第2次の農地改革が実施されることになった。(②)

農地改革法の内容は、

1. 不在地主の全貸付地と、在村地主の貸付地で保有限度（北海道で4町歩、都府県で平均1町歩）を超える部分を国が強制買収し、それを小作農に売り渡す。
2. 自作農の農地最高保有限度を原則として都府県平均3町歩、北海道では12町歩とする。
3. 在村地主が残された小作地の小作をさせる場合の小作料は金納化とする。
4. 農地の買収・売渡は2カ年で完了させるものとし、その実務に当る市町村農地委員会の階層別委員の構成を、地主3、自作農2、小作農5とする。
5. 農地の移動には農地委員会の承認が必要とされた。(①、②)

20年11月現在で、516万町歩あった農地のうち小作地は237万町歩（46%）であった。その8割にあたる193万町歩の小作地が延べ237万人の地主から買収され、延べ475万人の小作人に譲渡された。この譲渡は22年から25年まで行われた。(②)

20～22年頃は、戦後の急激なインフレと相まって、農民（小作人）が買い取る土地代金と元地主に対して国が支払う買上金は、その価値が大幅に下落し、実質的にはタダ同然に近い値段で譲渡された。こうして農村を特徴付けていた地主制度は完全に崩壊した。(①～④)

さて、本題の農地委員会委員の選挙について言及するが、その前に農地委員会委員選挙に関する用語を明確にしておきたい。

(1) 農地委員会

選挙は公選制となった。農地改革の中心的機構として強化された。農業者の代表として公選により選出された農業委員を中心に組織された市町村の行政委員会となった。26年に農業委員会に統合された。

(2) 農地委員

選挙により選出された委員と議会及び農業関係団体の推薦により選出された委員とから構成された。選挙により農地委員に選出されるためには、選挙人名簿に登録されなければならない。

(3) 農業委員会

市町村に置かれる行政委員会。農地等の利用関係、農地の交換分譲他農地に関する職務を行う。

(4) 「農業委員会委員選挙」

公職選挙法を準用する「農業委員会等に関する法律」に基づき、市町村選挙管理委員会の管理のもとで行われる。

(5) 農地委員会立候補者の資格

- イ.10アール以上の農地について耕作の業務を営んでいる者、
- ロ.年間おおむね60日以上耕作の業務に従事している者 (④)

さて、前段は難しい内容になったが、以下主題の選挙郵便物を開示する。

図1は21年12月18日差出しの料金別納印押捺の桜図案5銭葉書である。裏面には農地委員候補者の推薦状で、推薦者の氏名が列記されている。21年12月20日施行とあることから、第1回農地委員会委員選挙郵便であることがわかる。

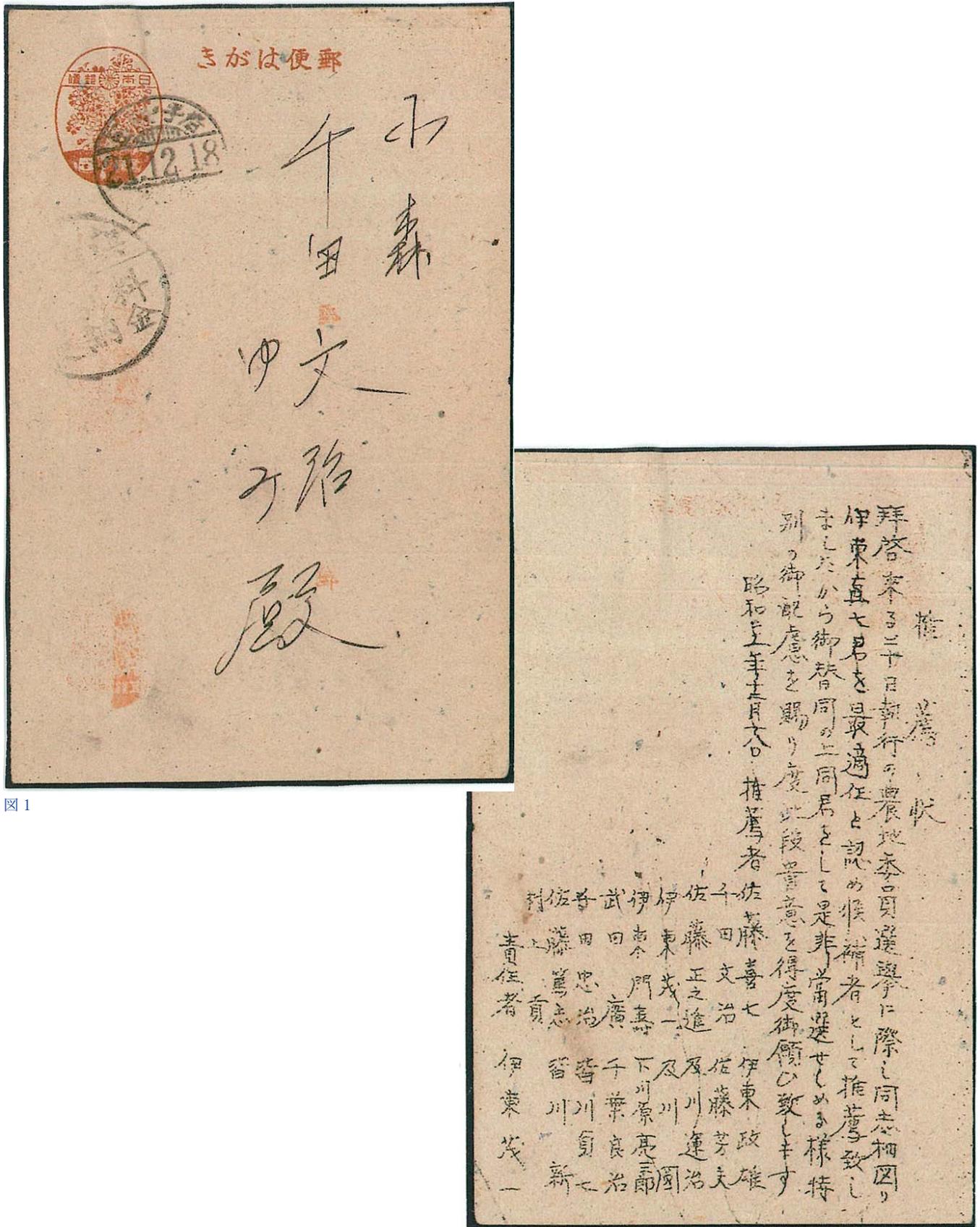


図1

図2は所蔵唯一の選挙封書である。長文の委員立候補の趣旨文と候補者の名刺が同封されている。静岡県農地委員会委員選挙郵便である。その趣旨によると、21年に農地改革が実施された後、有畜農業・農業への機械導入、農業環境の整備（灌漑排水施設の整備等）等、農業の生産性向上、自作農の農業経営をどのように向上させるか今後の課題を訴えている。

謹啓 時下初秋の候貴台益々御清榮の段お慶び申し上げます。  
 採九月二十日執行の静岡縣農地委員会委員選挙にあたり大方諸賢の御薦めも御座いましたので第二號階層から立候補致すことと相成りました。  
 御承知のように農地改革の大事業は昭和二十一年春から着手、爾來今日まで二年有余の間全農家の御協力と農地委員各位の絶大な御努力により農地の買収、賣渡しの仕事の大部分が圓滿に終了しましたことは御同慶に堪へません。然し乍らこのことのみによつて農業経営の前進、近代化は望むべくもありません。今日まで行つてきた農地改革の成果を維持し、新しい自作農家をも含めて全農家が恐慌の波にも堪へ得る農業経営が行はれるような農業政策が困難ではあるがうち樹てられなければならぬと存じます。農業経営の近代化のために或は有畜農業、或は機械化農業が唱導せられて居りますが、しかし簡単にこれらの経営へ移行することは出来ないかと考へて居ります。農業の生産力を高め又経営の合理化のためには基礎条件である農地の形態を整へ灌漑排水施設を完備し耕地の交換分合による集團化などが實施せられその上に立つて順次擴大再生産への方途が進められて始めて眞の有畜化、機械化も可能と考へます。  
 申上げるまでもなく今後の農地委員の任務は廣く農村における農地に關係した諸問題の解決には中心となり統制や調停や農地の買収賣渡又は交換分合などの事業を行うことになつて居ります。従ひまして今後生起するであらませう農地諸問題については、最も厳正に中庸であり、いやしくも保守にあらず、行き過ぎにあらず、中正を保持し又農業の生産力を高め農業経営を合理化し全農家の地位の向上のための土地改良が強力に行はれその後の交換分合、換地處分が適正に處理せられなければならぬと存じます。不肖極めて短い期間ではありましたが今日まで静岡縣農地委員として勤めさせて戴いた経験を幸ひ今後一層生かし得れば幸甚この上ないことと考へて居ります。  
 何卒来る二十日の選挙に當りましては貴台の絶大な御高配相仰ぎたく御願ひ申上げる次第でありまして、幸ひ當選の榮を得ますれば彼上の諸点につき渾身の努力を傾倒致す所存で御座います。甚だ要を得ませんが微意のある處を御汲みとり下さいまして御支援賜りたく重ねて懇願申し上げます。  
 昭和二十四年九月十四日 敬具

静岡縣農地委員会委員選挙  
 第二號階層候補者 大石信一  
 (志太郡高洲村兵太夫)

有権者各位殿

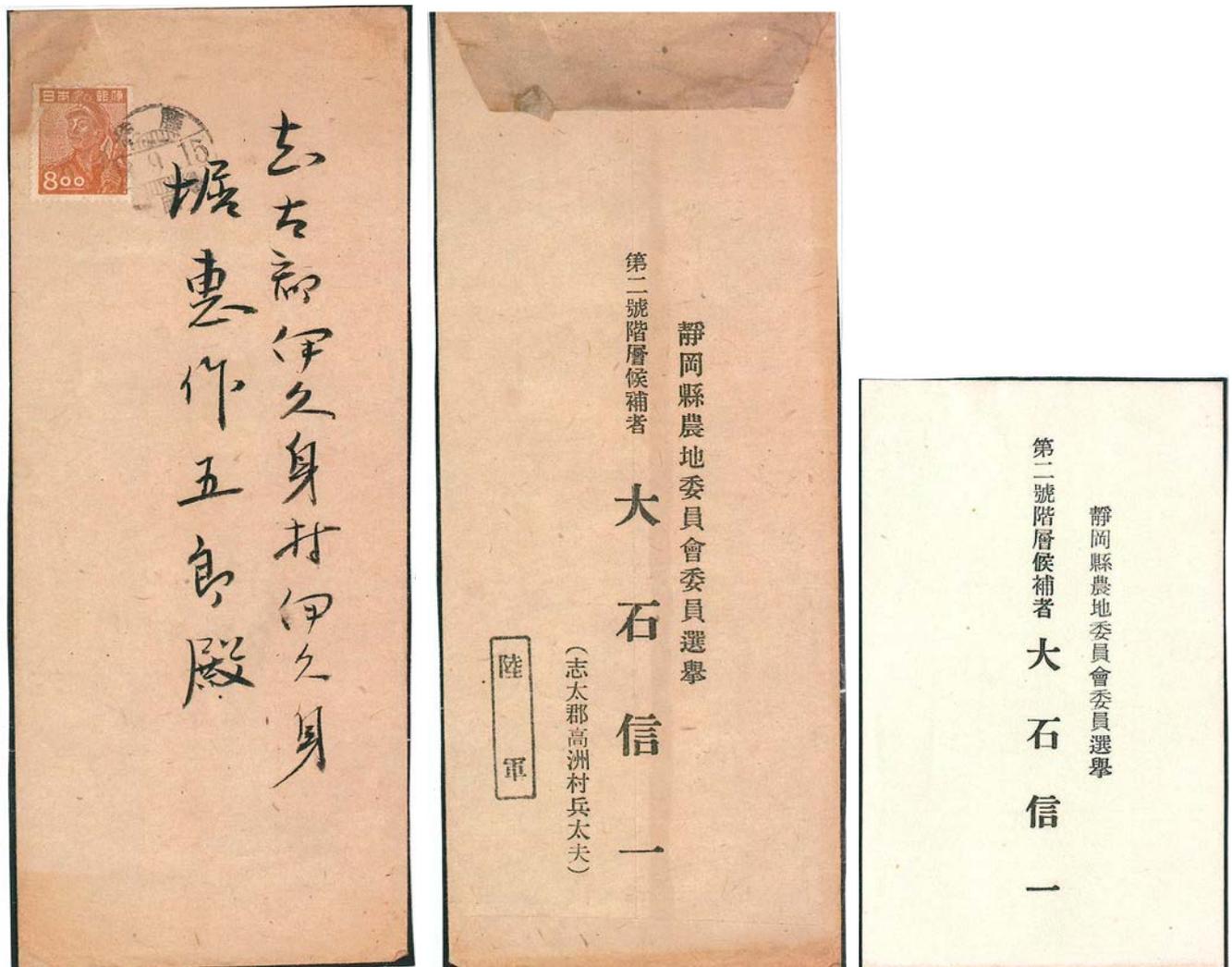


図2

図3は24年9月20日実施の千葉県農地委員会委員選挙で候補者を推薦した選挙葉書である。局名については、地元の郵趣家から「成田」と判読できると教えていただいた。

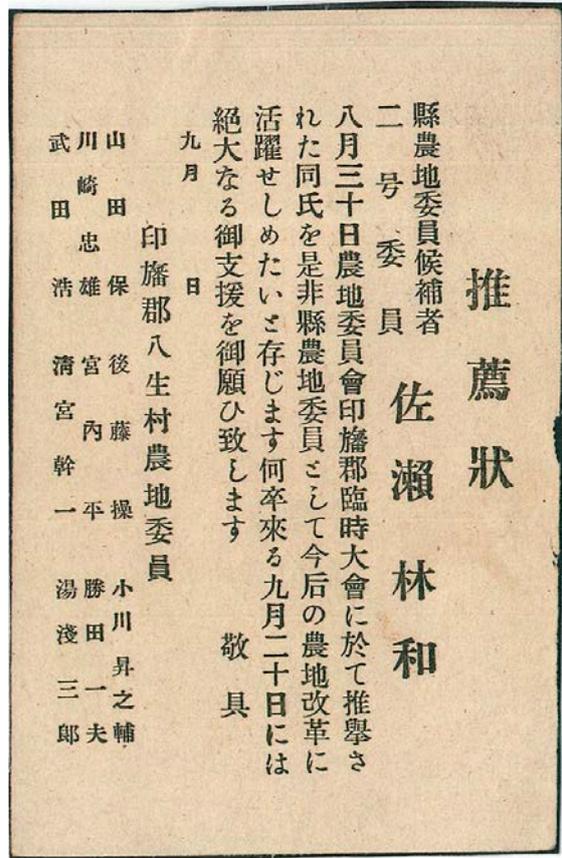
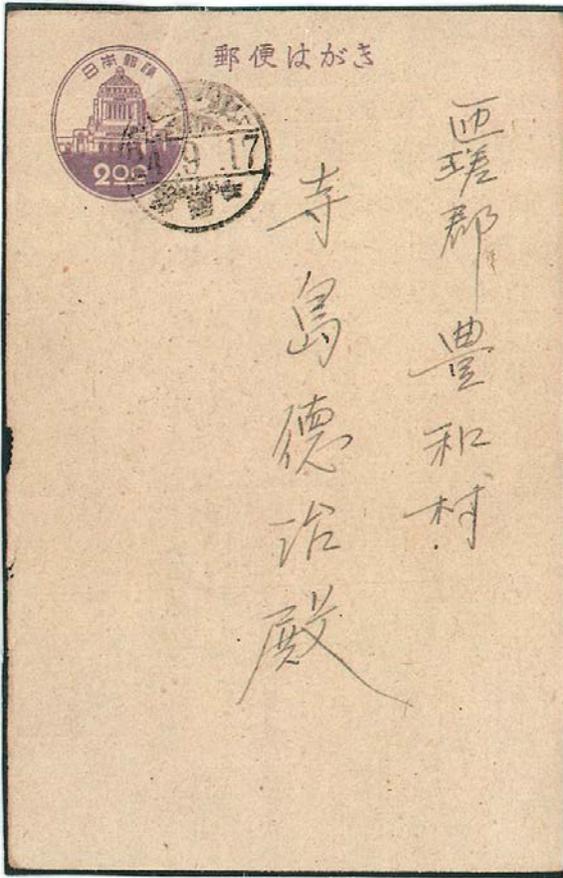


図3

図4は図3と同じ宛先に出された、別の候補者を推薦する選挙葉書である。

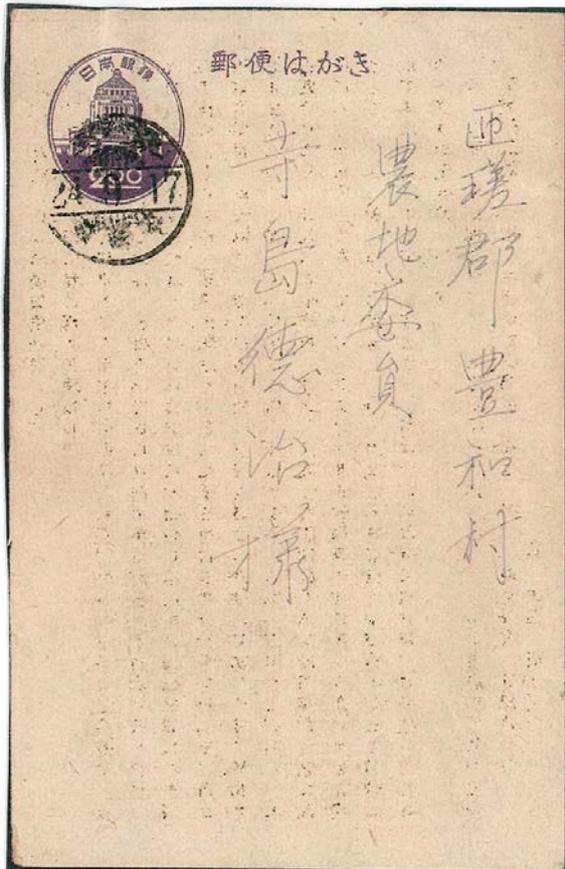


図4

前段の文が長くなってしまったが、農地委員会委員の選挙郵便を纏めてみた。主題について、地元の図書館で調べてみたが、分からない内容がまだ多く残されている。未解決な部分を以下に列記して、今後の調査課題としたい。併せて会員諸兄からの情報、他県の農地委員会委員選挙郵便物の投稿を期待したい。

## 2. 選挙当選者の任期

1に「公選制となった」とあることから、当選者の任期は4年であろうと考えられる。

### 2. 「第2号階層」候補者とは

2-1 第2号の意味が分からない。

入手した選挙郵便は第2号候補者とあるが、それなら第1号が存在することになる。

その第1号候補者の選挙郵便は見つけ出せていない。第1号と第2号の違いは何か。

「選挙により選出された委員」と「議会及び農業関係団体の推薦により選出された委員」という区別があり、「選挙により選出される委員」という意味に受取れば、第2号委員に該当するのではないか。他方、「議会及び農業関係団体の推薦により選出される」意味に解釈すれば、第1号委員に該当するのではないか。第1号議員なら選挙によらないことになるが。

2-2 「階層」の意味が分からない。

農地改革法の内容中の4.「市町村農地委員会の階層別委員の構成を、地主3、自作農2、小作農5」とあることから、階層とは「地主、自作農及び小作農」別と決めていたのか？

3、各県の当選者は何名だったのか。全県同一人数だったのか。

最後に、文献を発表された学者・研究者にとっては農地改革そのものが研究対象であるが、筆者郵趣家にとっては、農地委員会委員選挙そのものの内容、当選者数、委員の号別、委員の階層別の意味の他、他県の農地委員会委員選挙郵便物等が知りたい内容である。

### 参考文献

- ①木村茂光編『日本農業史』中の「VII 現代」（吉川弘文館、338～344ページ）
- ②増田萬孝著『現代農業政策論』（（財）農村統計協会、平成10年）
- ③大野徹著『アジアの農地制度と食料』中の「第1章 日本の農地制度」（晃洋書房2005年）
- ④ウィキペディアで検索

# 切手別納郵便制度への追記

行徳 国宏

本誌第 11 号に投稿した主題の制度に関して、追記すべき改正がもう一つあった。それは切手別納郵便の名称が「料金別納郵便」に改称後の年度である。

昭和 20 年 2 月 1 日

20 年 1 月 18 日付け運輸通信相令第 2 号の「戦時、事変又は非常災害時に於ける郵便業務運行に関する件」を報じた「通運第 36 号」より。

「今般省令第 2 号を以て戦時、事変又は非常災害時に於ける郵便業務運行に関する件改正せられ之に基き告示第 19 号を以て来る 2 月 1 日より郵便物の取扱に関する特定施行せらるることとなりたる…為、現行省令を補正強化すると共に之に基き現下の事態に於て緊急措置を要する事項を告示に依り実施せんとするもの…（以下略）」

その「第 2 告示を以て措置したる事項」の 2 と 3 から、主題の改正事項を以下に引用する。

## 2 書留又は価格表記郵便物の料金納付方法

郵便切手の使用を節減して切手の潤滑なる供給に資する為、書留又は価格表記と為す郵便物は…個数に拘らず料金別納と為さしむること。本料金別納郵便物は無集配郵便局に於ても引受くと共に料金別納印を押捺することとしたこと。

## 3 料金別納と為し得る郵便物

前号と同様の目的を以て、料金別納と為し得る郵便物は料金額同一の郵便物にして同時に 20 個以上差出すを以て足り個数の制限を緩和したる外種類及差出人の同一なることを要せざることにしたること。

省令第 2 号は「戦時特例」として理解され、引用されてきた。昭和 20 年に差出された書留郵便に切手が貼付されず「料金別納印」が押捺されたものを見かけるが、これは主題の「料金別納郵便」ではない。

主題の「料金別納郵便」は、昭和 14 年 11 月 1 日施行の「同一差出人より同時に 50 箇以上差出されるもの」から、昭和 20 年 2 月 1 日施行の「個数の制限を緩和し」「料金額同一の郵便物にして同時に 20 個以上差出す」もので「種類及差出人の同一なることを要せざる」ものになった。

この実例を示す郵便物には昭和 21 年 3～4 月の（葉書裏面の日付を持つ）国政選挙郵便葉書がある。図 1 は昭和 21 年 4 月の国政選挙郵便で、「料金別納郵便」の表示を印刷した私製葉書、図 2 は図 1 と同じ「料金別納郵便」表示の国政選挙葉書で、どちらも右書き表示になっている。

参考文献；行徳 国宏『戦後の郵政資料（第 1 巻）』平成 15 年 12 月刊、1～3 ページ。

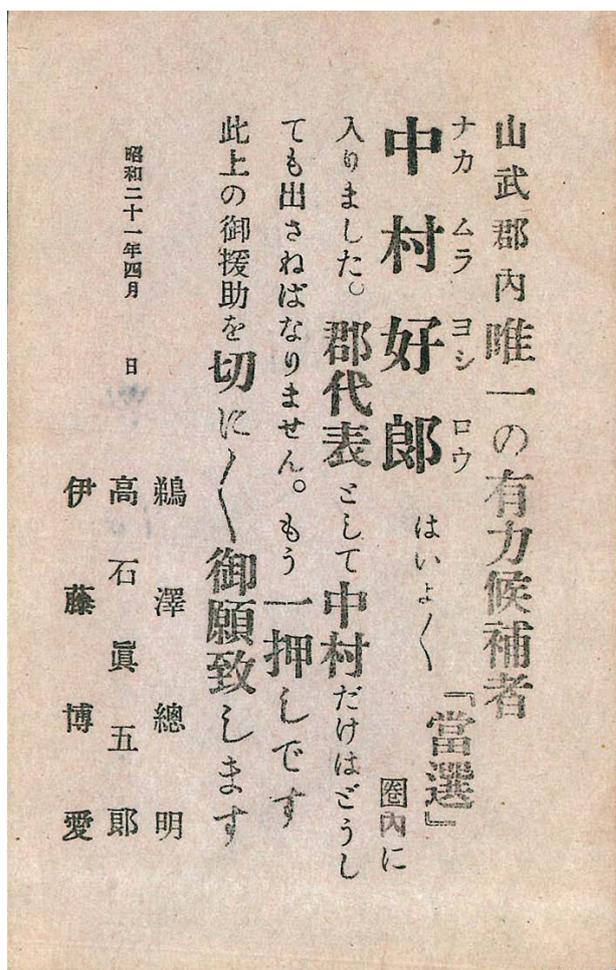
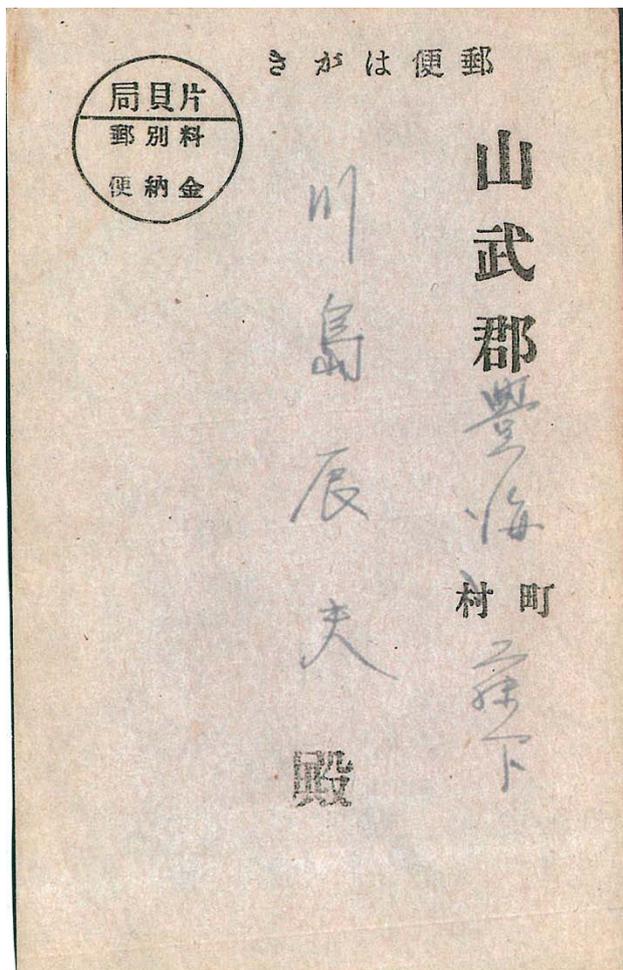


図1 昭和21年4月の国政選挙郵便で、「料金別納郵便」の表示を印刷した私製葉書

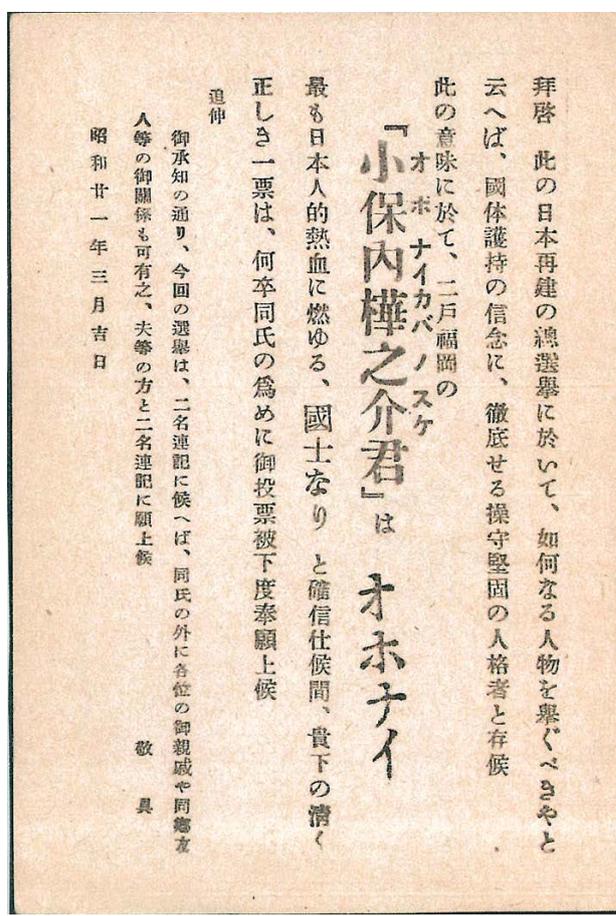
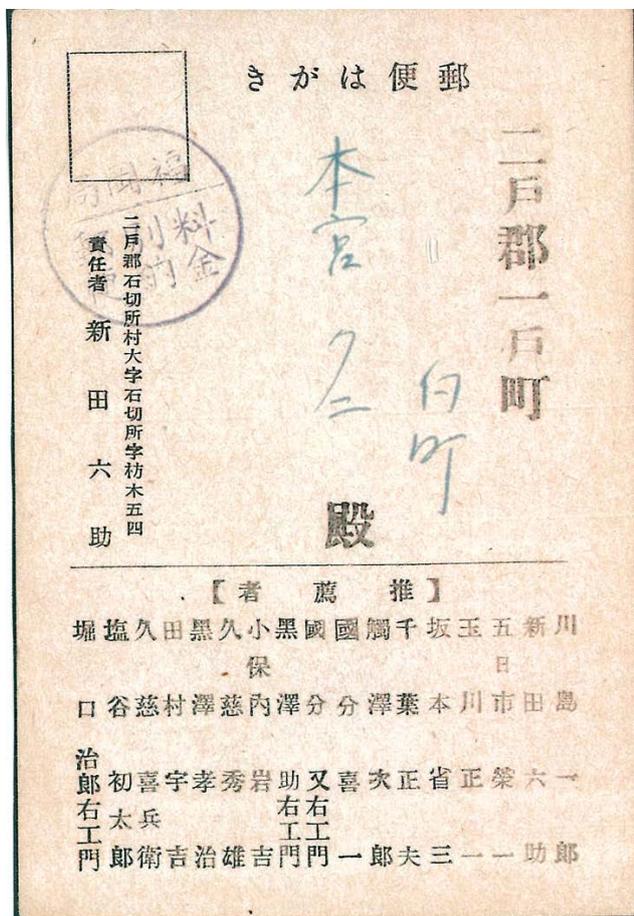


図2 「料金別納郵便」表示の国政選挙葉書

## コレクションの作り方

国内競争展で初めて 75 点以上を獲得したフィラテリストに贈る  
国際展初攻略大作戦

菊地 恵実

リーフの作り方

重山 優

## 国内競争展で初めて75点以上を獲得したフィラテリストに贈る 国際展初攻略大作戦

当誌編集スタッフの菊地恵実さんは、第1次昭和切手の収集を開始して約1年ですが、先日開催された全日本切手展2016で、76点を獲得しました。

国際郵趣連盟（以後、FIPと略す）やアジア郵趣連盟（以後、FIAPと略す）は、FIPルールに準拠して審査される国内展水準の競争展で、10年以内に75点以上相当を獲得した作品に対して、国際切手展（アジア切手展）への参加資格を与えています。（GreX 10.1）

現在のところ、日本で、全日本切手展及びJAPEXが該当する国内競争展ですので、同展覧会で76点を獲得した菊地さんの作品は、国際展（アジア展）への参加資格を獲得したことになります。

もっとも、それは単にエントリー資格をクリアしただけで、まだ始まりでしかありません。菊地さんの作品は、国際展出品作品の記述言語として認められていない、日本語で制作されているので、その全てを英訳しなければなりません。また各切手展の個別規則（その中には展示できるリーフサイズも個別に規定される）を理解した上で、エントリー申請をきちんとして、各切手展実行委員会に、出品を受諾してもらわなければ、現地で展示してもらうことはかないません。

これらの約束事は、国内展に出品した経験しかない人にとっては、予想のつかないことも多いので、今回、菊地さんをモルモット 良いサンプルに国内競争展で初めて75点以上を獲得されたフィラテリストに贈る「国際展初攻略大作戦」を、会話形式を中心にとりまとめました。

**某月某日、フィラテリスト・マガジン 編集会議にて。**

吉田（以下、吉と略す。）「えーと。そもそも国際競争切手展に出品したいのですか？」

菊地（以下、菊と略す。）「もちろんです。1年前から出す気満々でしたよ。」

吉「そうですか。菊地さんの作品は、僕から見て、構成の点からもマテリアルの点からも、十分国際展で通用するレベルに育っていると思いますよ。上位の賞を獲得るかどうかはまた別ですが。」

菊「アジア展も含めて国際展は初めてですし、1次昭和切手を収集されている諸先輩のコレクションと比べれば自分の展示しているマテリアルの貧弱さは理解しているつもりですので、いきなり上位の賞など難しいことは理解しています。無事に自分の作品が海外で展示されているのを確認できれば、もう本望です。」

吉 「いやいや。そこまで卑下しなくてもいいと思いますよ。そもそも1次昭和切手の重要性や希少マテリアルについては、日本の過去のフィラテリストが十分な英文による情報発信を行っていません。昭和切手の珍品について国際的に十分なコンセンサスが形成されているとは、とても言い難いと思います。

収集全体として希少なマテリアルを集めていくのは重要です。しかし競争展は規則に従い審査される競技なのですから、おかしくない構成と展開をすることにも気を使ったほうがいいですね。」

菊 「そうなんですか？お言葉ですが、これまでに昭和切手は何度も国際展やアジア展で展示されていると思うので、私などが展示をしても、外国人の審査員から、あれがないこれがないと言われてしまうと思うのですが・・・。」

吉 「国内展と勘違いしてますね。

インドネシアやオーストラリアの競争展審査員で、1次昭和を知ってる人がどれだけいると思いますか。アジア展の審査員はそういう人たちなんですよ。

国際展になったら、今度はスイス人やイタリア人の審査員が、菊地さんの作品を審査するんですよ。「昭和切手？What?」って言われるのが普通だと思います。

もちろん林国博さん、伊藤純英さんを中心に何名もの方が立派な作品をご出品しておられ、それぞれ高位の賞を受賞されている事は私も存じています。しかしながら国際競争展において、それぞれの審査員が見なければならぬ作品数の多さと、一作品の審査にかかる時間がわずかしかないことを考えると、世界の国際競争展審査員に昭和切手の理解が進むには、英文による情報発信はまだまだ足りていないと考えてよいと思います。

このような状況下で菊地さんがやるべきは、まず国際的に見ておかしくない構成と展開をして、減点を少しでも減らす事ではないかと思います。」

菊 「なるほど。マテリアル的にはシートを入れるとかですか？」

吉 「マテリアルの事はまず忘れましょう。フィラテリストとして、収集範囲で、良さそうなマテリアルが目の前に現れてきたら、欲しくなるのは理解できます。私もそうです。でも極端な話、菊地さんのコレクションは、現在の手持ちのマテリアルだけでも十分国際展にいけると思います。」

菊 「全日展に出したマテリアルだけでいいんですか？本当ですか？」

吉 「全日展の審査はきちんとしていっていると私は思います。特に国際展やアジア展への参加資格を与える75点を与えるか否かについては慎重に判断していると思います。もちろん取り替えなければならないマテリアルや買わなければならないマテリアルはたくさんありますし、菊地さんが得意なシェードについてはもっと研究をしてほしいなと思います。

しかし、それ以上に国際展、アジア展に出すのであれば、菊地さん、英語でリーフ作らないとダメなんですよ。どの切手展を目標にするのか知りませんが、もしオーストラリアを考えているの

であれば、今すぐ取り掛からないとダメですよ。」

菊「英語ですか。。。実は全然喋れないんです。。。でもオーストラリアはいきたいです。」

吉「でしょうね。NY2016 行った時にわかりましたよ。あ。でもパスポート忘れて一人で JFK から会場まで来ていませんでしたっけ？よく無事でこれましたね？」

菊「遅らせた便に奇跡的に知り合いのフィラテリストで英語堪能な K さんが搭乗されてたんです。その方に勇気付けられ、タクシーの運転手にスマホの地図を見せて連れてってもらったのです。」

吉「なるほど。そんな事があったのですね。当分、新潟に足を向けて寝れませんね。ところで菊地さん、喋れないことと、リーフの書き込みができないことって違うってことに気づきませんか？」

菊「え？どういう意味ですか？」

吉「要は、流暢に英語を喋れなくたって、リーフに英語の書き込みはできるってことですよ。例えば Google 翻訳だって使えるわけだし、メモや他人の作品を見て、言い回しだって利用できるんだから。」

菊「でもネットの翻訳は正確に翻訳できないからダメだった言われたことがあります。」

吉「文法の異なる日英翻訳で文章を翻訳すると、精度は下がるかもしれません。一方で単語の翻訳であれば十分使えます。道具も使いようと言うでしょ？ Google 翻訳は使う人のセンス次第で十分活用できるのです。実際、僕は使用してますよ。」

菊「そうなんですね。でも私の作品は、結構文章が多いんですよ。」

吉「そもそもそこに問題があります。2013 年のバンコク展で僕が国際展審査員資格を持つ米国人にもらったアドバイスなのですが、文法の過ちを犯しやすい文章はなるべく書くことを控えて、単語の羅列でリーフの書き込みを行うことが、審査員からの減点を食らわないコツなのだ。」

菊「そんなこと、できるんですかねー？」

吉「できるかどうかを机上で半日考えていても何も進みませんから、今から一時間でリーフどれか英語に直してくださいよ。そうだな。稲刈り好きみたいだからそれにしましょう。よーいどん。」

菊 「え??ちょっと待ってくださいよ。そんなすぐにできるわけじゃないじゃないですか。」

吉 「本当に一つも翻訳できないんですか?

じゃー下のリーフの左上に書いてある1銭って英語でなんて言いますか?」

菊 「1 Sen。でも稲刈りがわかりません。」

吉 「ほら。できるじゃないですか。分かる所だけでも直しましょうよ。わからない単語は Google 翻訳を使えばいいんですよ。このページは文章も少ないからそれで十分です。ちなみに伝統郵趣ですから、稲刈りという図案名書かなくても減点されませんよ。訳せないのなら省きましょう。」

1 銭稲刈り 第 1 次昭和切手

製造面 (平面版)

1937.12.11(昭和 12 年) 発行当初は平面版のみであった 未使用は輪転版よりも残存数が少ない

版欠点



pos.98



「壹」の字  
一部欠け

400%

シェードバラエティ



赤味茶 (初期印刷)

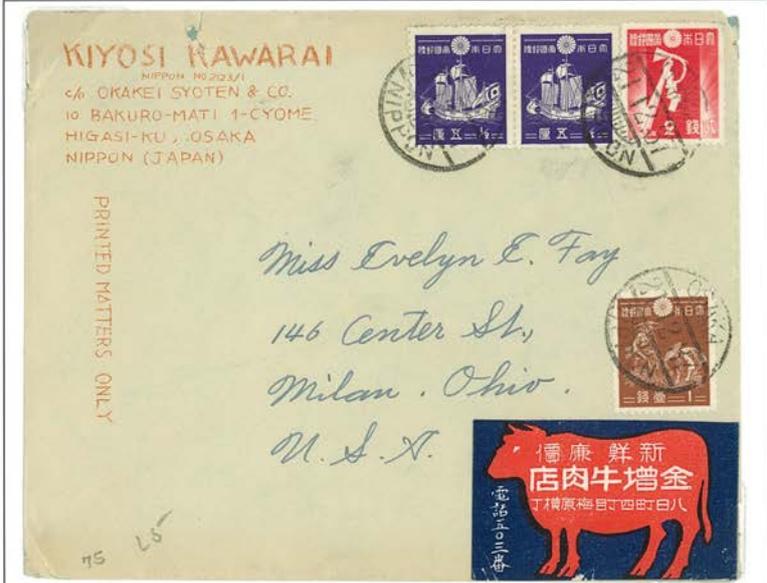


茶



黄味茶 (後期印刷)

初期使用



5 厘と年賀 2 銭との混貼り 欧文印 / OSAKA21.12.37 → オハイオ州 / 4 銭 外信印刷物 平面路 (50g まで)

(一時間経過)

吉「そろそろ一時間経ちますが、どうですか？あ。だいぶできているじゃないですか。」

菊「できた、といえば、できたんですが。。まだ日本語も混ざっているし、かなり適当です。。」

吉「いや。そんなことより一時間と決めた納期以内にアウトプットをまず出したのですから、大したものだと思いますよ。日常生活で使用しない言語です。最初から100%ネイティブと同様にやるなんて思わないことですよ。間違っていたって恥ずかしくないですよ。間違いを指摘される恥ずかしさを恐れて、先に進めないことの方が恥ずかしいですよ。」



菊 「そう言っていただくと安心します。じゃー添削お願いします。」

吉 「はい。赤入れしますね。」

菊 「うわー。単純なスペルの間違いもありますね。。。」

1 Flat Plate Printing 2

Dec.11 1937 Publication was only Flat plate at first. flat plate printing has few numbers residual than rotary printing.

Plate Flaw



pos.98



partly missing  
of the letter  
「壹」  
400%

Shade Variety 3 Varieties



赤味茶 (Early printing) 4



茶



黄味茶 (Late printing)

Early Usage

KIIYOSI KAWARAI  
NIPPON No.20371  
c/o OKAMEI SYOTEN & CO.  
10 BAKURO-MATI 1-CYOME  
HIGASHI-KU, OSAKA  
NIPPON (JAPAN)

PRINTED MATTERS ONLY

Miss Evelyn E. Fay  
146 Center St.,  
Milan, Ohio  
U. S. A.



Osaka Dec.21st,1937 to Ohio,USA./4Sen International printed matter (to 50g) 5

吉 「そうですね。でも、こんなのスペルチェック機能を ON にすれば、警告が出ますから、問題ありません。(前ページの 1 と 4。また 3 は複数形にする。) そもそも綴りの怪しい単語は google で毎回調べればいいんですよ。僕なんか、NY2016 のコミッショナーやりましたけど、未だに commissioner という正しい綴りわからなくて、毎回コピペしてますもん。」

菊 「そんなんでもいいんですね。確かにコミッショナーの仕事は完璧にやりましたもんね。」

吉 「あの欠陥フレームのネジまわしで汗だくなのに、コミッショナーの綴りが何が正しいかなんて、構ってられますかいな！

前ページの 5 については、僕ならば、下のように入きます。

Osaka to Ohio, USA, Dec. 21st, 1937 ( Showa 12 ),

伝統郵趣におけるカバーの説明については、常用パターンを覚えてしまうのが良いと思います。つまり、『どこどこ to どこどこカンマ月日カンマ年号』です。僕はこれにさらに元号表記も合わせて書いています。」

菊 「あ。そういう常用パターン、もう少し教えてもらえませんか？」

吉 「いいですよ。では、先ほど教えた部分に続く、郵便種別の説明もしますので、参考にしてください。

4 Sen correctly paid for surface printed mater up to 50g.

額面 (数字スペース大文字で始まる通貨単位) correctly paid for 郵便種別の説明がまず一つです。」

菊 「うーん。わからないところが何個か出てきました。correctly paid for ってなんですか？書かないとダメですか？」

吉 「郵便料金を過不足なく支払っている旨の記述です。伝統郵趣で重要性の低い過重貼り使用例の展示は減点要素の一つですので、それに該当しないことを明記することは大事です。それだけでなく、郵便料金の知識も持ち合わせていることを訴求し、Study ポイントを狙える表現です。」

菊 「次の surface の部分、International じゃダメですか？」

吉 「これは欧米の伝統郵趣の展示作品を見て良いと思ったフレーズをの利用なのですが、陸地続きのヨーロッパだと、ただ単に国際便、と書くよりもそれが航空便 (air mail) で運搬されたのか、それとも陸路や水路・海路で運搬されたのか、についての区別の方が大事なようで、後者は地球の表面上をまわるということで、surface mail と呼称されていたのです。

この書き方だと飛行機の発明以前の大半の郵便物は surface mail になりますが、この単語だけで国際便であると言うことは、国際点審査員にはすぐ伝わるようです。」

菊 「なるほど。最後の up to 50g. は 50 グラム以下という意味ですよ？」

吉 「そうです。まあこれも国際展で見た表現をパクっているだけです。日本人に比べると、英語をネイティブで話す人々はかっこをあまり使わないな、と感じたため、この表現に変えました。

ところで、菊地さん。ここに書いている表現が唯一絶対の正解とは限りませんからね。文法的に正しかったとしても、もっと良い流行のツボを抑えたベターな言い方が現れてくることもありますからね。

そのような表現を知るために、国際展 exhibitor は、広範な作品を見て勉強しなければならないんだと思います。例えば、菊切手で国際展大金賞を三度受賞された中川幸洋さんが、国際展で自分の出品部門外の伝統郵趣・ヨーロッパや伝統郵趣・アメリカをご覧になっている姿を拝見しました。

他の菊切手コレクターが中川さんの作品だけを見ておられる中で、中川さんだけが異なる行動を取られていたので、その理由をご本人に直接うかがうと、世界で闘う上で『より良い記述方法を見つけるためだ』とおっしゃっていました。

国際展に出品するとはいえ、日本で開催される国際展だけに出品するのであれば、審査員も日本人が多いので、そこまで英語表現に気を使う必要はないかもしれませんが、海外で競うとなると、ここまでされるのだな、と印象に残りました。

それ以来僕は、新動植物国宝切手のリーフを作るにあたって、原則としてスイス・カントンと同様の展開をまず第一にするようにしています。」

菊 「先ほどのページで赤丸2番がついているところは何が悪いですか？」

吉 「ここは文章なので翻訳がめちゃくちゃになっていますね。ただ現時点ではそこまで踏み込むのはやめましょう。これまでに教えた常用フレーズと単語の google 翻訳、それからスペルチェック機能の ON。これからはばらばら、それらを使い、全作品をできるところから翻訳していきましょう。

そして、それとは別にエントリーが大事ですよ。オーストラリア展に出すのであれば、10/15が締切です。今号の付録についている、展覧会の特別規則 (IREX) をよく読んだ上で、コミッショナーの長島さんの指定される書類を指定されたスケジュールに従い、提出してくださいね。」

菊 「あの一。英語ですよ？文章ですよ？あと英文のタイトルリーフを添えないとダメなんですよ？」

吉 「もちろんです。出品申込書に記載する英語は、タイトルリーフから抽出できますから、要は、英文タイトルリーフを作らなければならないということですね。菊地さんが全日展に出品した作品のタイトルリーフは、伝統郵趣のタイトルリーフとしては十分なものだと思います。だからそれを英訳してみたらどうですか？添削してあげますよ。」

菊 「いや。してみたらどうですかって言われても、私英語わからないんですよ。」

吉 「本当ですか？第一次ってなんですか？昭和は？切手は？」

菊 「First, Showa, Stamp(s) ですよ。」

吉 「そうですね。できるじゃないですか。同様に次の文章も単語で訳してみましようよ。ルー大柴みたいになっていいですよ。」

菊 「Japan で 1937year~ 1940year まで発行された First Showa Stamps と呼称される Regular Stamp を、基本的に Face Value 順に Manufacture 面と Use 面で示した Traditional Philately Collection である。  
こんなんでもいいんですかー？」

吉 「十分ですよ。今はまず単語を抑えていきましょう。

今日はこれで終わりますが、次回までにわからないものは Google 翻訳を使っていいので、タイトルリーフを全部ルー大柴のように訳して行ってください。できたら連絡くださいねー。」

菊 「そんなん、タイトルリーフはできるのだろうか。。。。。」(つづく)

今号から始まった「国際展初攻略大作戦」は、英語を中心とした、国際展に臨むマニュアル本となることを目指しています。つきましては以下を募集いたします。

#### 1.「翻訳して欲しい単語」募集

第1種郵便、書状、速達、書留、訴訟書類、引き受け時刻証明、楕型印は、それぞれなんと記述したら良いのか？みんなで単語帳を作りませんか？翻訳して欲しい単語を募集します。

#### 2.あなたの常用フレーズを教えてください

今号で紹介した吉田の常用フレーズを改善したフレーズを教えてください。

また、それ以外の分野で使える常用フレーズを是非ご紹介ください。

9/20より開始予定のオンラインアンケートに、記入欄をもうけますので、どしどしお寄せください。

# リーフの作り方

重山 優

私のメインの収集範囲は外国切手ですが、切手展等の他人に見せる事を意識せずに日本記念、特殊切手の使用済コレクションを進めています。使用済みコレクションと言っても、厳選された、こだわりの一品が並んでいるわけではなく、基本的にはカタログコレクションであり小学生の頃から少しずつ時間だけは掛けているものです。また、資金的に余裕があるときにしか入手しませんから、オークション等で高値を呼びそうなには見向きもせず、ただひたすらリーズナブルなお値段のものを入手するようにしています。そのため、アイテムの代金より送料の方が高いということもしばしばです。

なぜ、このような事をしているかということ、一つのテーマをずっと追いかけていると必ず壁にぶつかると思います。その時の気分転換の意味もありますし、複数のテーマを持つ事で物欲を満たすという効果もあります。

ただ、全く自由に集めていても途中で飽きてしまいますから、ある程度のこだわりを自分の中のルールとして作っています。厳格に決めているわけではありませんが、大体以下のようなものです。

1. 見た目優先。いわゆる満月印にはこだわらずに出来るだけ切手のデザインが損なわれておらず、切手の状態が良いとモノを選ぶ。また、1960年代以降の切手は最近使用された使用済みは避けて、発行日に近い日付あるいは近いと思われる消印を選ぶ。波消し（棒消し）はコレクションに加えないようにする。
2. 消印の種類にはこだわらない。例えば、鉄道郵便印や年賀印など、特殊な消印は入手できたらラッキーと考え、深追いしない。
3. カバーは全種類の切手について揃える事はせずに1つのシリーズ（1年分の記念切手）で1通から数通以内として希少な使用例にはこだわらずに見たと価格で決定する  
料金の合わない、セット全部を貼った記念カバーは、ルックスが良ければコレクションに加える事も検討する。
4. 使用済のコレクションではあるが、入手出来ない（またはまだ入手していない）切手については未使用を入れておいて出来るだけ空白を作らないようにする。

次ページ以降に、私の方法を順に説明して行きましょう。

## 所有する切手の情報管理方法

まず、切手を1種1枚ずつ揃える、いわゆるカタログコレクションではカタログをチェックしながら足りない(未入手の)切手をピックアップしてゆくことから始まります。その時に活躍してくれそうなのが(財)日本郵趣協会発行の「さくら日本切手カタログ」や日本郵便切手商協同組合編「日本切手カタログ」です。採録範囲もほぼ同じ、価格も手頃でどちらも毎年新版が発行されていますから、自分の収集スタイルに合わせ使って行けば良いでしょう。

一例として、私の使い方をご紹介します。

画像はふるさと切手のページですが、手書きで「田」の字が書き込まれているのがおわかりでしょうか?種明かしをすると、ふるさと切手にはペーンも同時発行されている切手がありますよね。それは別種としてカウントしているためこのような手書きのチェックボックスを書き込んでいるのです。

もちろん、1種1枚のカタログコレクションであれば、このようなこだわりをする必要はなくどのような収集をされるかはその人の自由なわけですから必ずしもこのようなチェックボックスが必要なわけではありません。私の場合は、チェックボックスは作ったものの、いつも後回しになっているので遅々として進んでおりません。私はこまめに即売会をチェックして入手しているわけではないので、とりあえずはこの方法で管理しています。



また、私は実行しておりませんが、一歩進んでパソコンを使用したチェックリストを作るのも一つの方法です。既定の枠に捉われずに自分なりのリストを作ってみるのもコレクションに対する愛着も湧いてきて楽しいかもしれませんね。

でも、その際に最初から壮大なスケールのリストを作らないことが肝心だと思います。後でいくらでも修正できるのがパソコンの良いところですから、まずはカタログ番号と入手している、していないの区別だけでも良いと思います。ある程度集まってきたら自分のこだわりに合わせてリストをグレードアップして行けば良いでしょう。

近年ではタブレットも安価で高性能になっていますから、パソコンでチェックリストを作っておけば、即売会等にはタブレットにデータを移して持ち歩き、実際に切手を眺めながらチェックリストと照合するという方法も可能です。

## お勧めしたい仮貼りリーフ

日本切手の使用済を入手する手段の1つとして紙付き切手を入手するという方法もあります。この方法は安価に大量の切手を入手する事が出来ますし、ひょっとしたら中々入手出来なかった切手に出会う可能性だってあります。ペアや大きなブロックが出てくる事があるかもしれません。そのため、入手の1つの方法として紙付き切手の入手をお勧めします。

切手が集まってきたら、最初はストックブックに収納すると思いますが、段々と数が増えて行くに従って收拾がつかなくなります。また、紙付き切手を入手すると同じ切手が大量に出てきたりするので、ストックブックに収納する事さえできなくなってしまって小袋へ分けて入れっぱなし、なんて事にもなってしまいます。そこでお勧めしたいのが仮貼りリーフへの整理です。

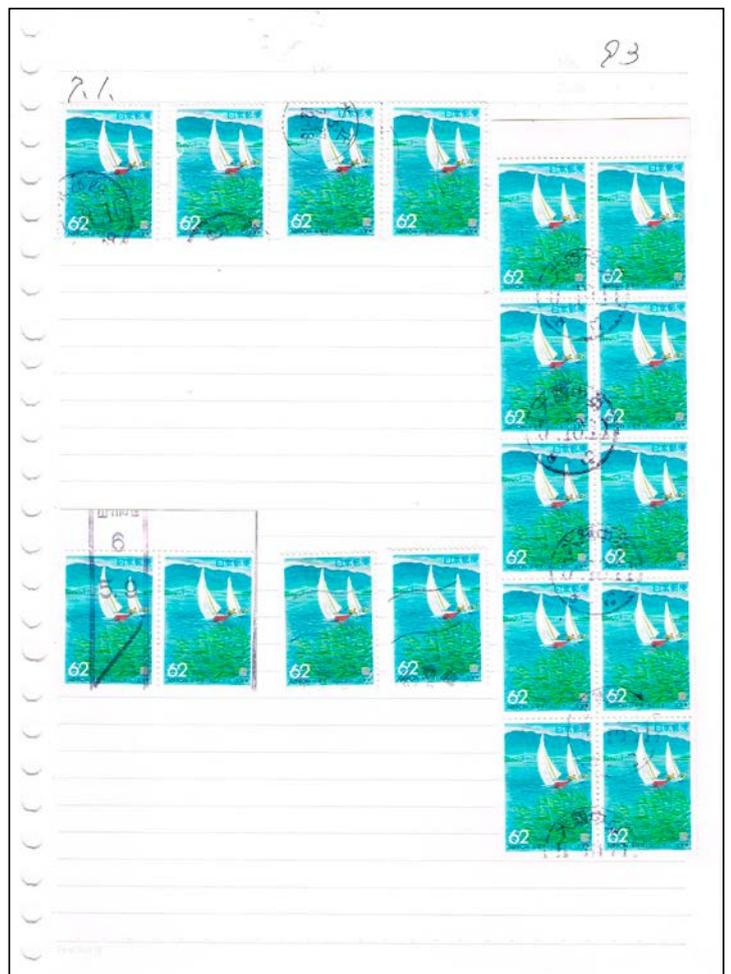


でも、仮貼りリーフなんて難しそうだなあ、なんて思っていないでしょうか？仮貼りリーフとは、その名前の通り「仮に貼っておく」リーフなので決まった様式なんてありません。自分に分かりやすいように作っておけばいいのです。

オーソドックスなやり方としては、特殊切手ならシリーズごと、記念切手ならば発行年ごとに分類しておいてから貼りこむのが無難でしょう。しかし、最近の記念・特殊切手は1セット10種という構成が定番となっているので発行された切手ごとにリーフを作る方が良くかも知れません。

実際の私の仮貼りリーフをお見せします。

私は、仮貼りリーフに市販のルーズリーフを使用しています。ルーズリーフを使用する理由は安価で入手が容易だからです。ルーズリーフの使用には賛否両論があるかもしれませんが、安くたくさんの切手を楽しむという私のスタイルにはピッタリです。



そして、もう一つ理由があって、それは日本切手の使用済に関して小学校の頃からこのスタイルで仮貼りを続けているからです。少々恥ずかしいのですが、私が小学校の頃に作ってそのままになっている仮貼リーフをお見せします。

ただ、バインダーは少々高めの物を使用しています。具体的には、コクヨのハ-110という製品を使用しています。このバインダーは市販のバインダーの中では比較的高い方だと思いますが、長い間デザインが大きく変わっていない事、丈夫に作られているので型崩れしにくい事、そして色も何色か用意されているので色によって切手の大まかな分類が出来るなどの理由で使用するようにしています。

バインダーが型崩れしにくいと中に収納している切手を与える影響が少ないという事になりますし、デザインが大きく変わっていないという事はバインダーが増えてきたときに統一の取れた書架となります。

仮貼りリーフは長いスパンで考えるべきものだと思いますので、長い間デザインを変えずに販売されていて入手も容易というのは私にとっては大きなポイントであると考えています。

仮貼りは、収集スタイルによっては必ずしも作る必要はないかもしれませんが、実際に入手している切手がどのような状態であるか、あるいはその枚数も把握できますし、何より仮貼りを行うことで頭の中をスッキリと整理することができます。また、あの切手はどこに行っちゃったかなあ～なんて行方不明になることもありません。折角入手

することができた切手ですから、自分のスタイルに合わせて仮貼リーフを作ることをお勧めします。仮貼りが終わって、完全ではないにせよある程度揃ってきたらアルバムリーフに整理してみましよう。



小学生の頃に作成したリーフ



愛用のバインダー コクヨのハ-110

## 図入りアルバムを使用した整理だって、立派なアルバム整理です

アルバムに整理する、と聞くと何だか敷居が高いなあと思う方がいらっしゃるかもしれませんが。アルバムリーフをいきなり自作するのではなく、まずは図入りリーフを使ってみることをお勧めします。

以前は図入りアルバムリーフを切手商等から購入するのが一般的でした。この方法ですと、一度に目的の国（あるいはテーマ）のものが入手できるのはいいのですが、そこそこの金額がかかりますし、マウント付きリーフの場合は結構な出費を覚悟しなければなりません。もちろん、やっとの思いで入手して切手をマウント付きのリーフに収納して保存するという方法は否定するつもりは全くありませんし、むしろその方が切手の保存にはメリットがあると思います。

しかし、ここでは、「安くたくさんの切手を楽しむ」事をテーマとしていますので、既製品であまり高価なものは使用しない方向で話を進めたいと思います。図入りリーフは既製品を入手するのも1つの方法ですが、近年ではネット上で日本切手の図入りリーフを公開しているサイトもありますからこれをプリンターで印刷して試してみるのもいいでしょう。スタンペディアでもリーフを公開(ただし、会員登録が必要です)しているので試してみてください。

**A4判・図入り日本切手リーフ2014**

ダウンロード版 ご利用上の注意

**ダウンロードデータの権利の範囲**  
マイ・スタンペディアを通じてダウンロードした図入りリーフデータは、会員個人が使用する場  
において、何度でも印刷してご利用いただくことができ、かつ印刷したリーフの一部ないし全部  
個人の責任のもと処分（有料、無料を問わず）されても構いません。  
しかしながらPDFデータ自体の譲渡・貸借・改変は禁止いたします。

**用紙への注意**  
今となっては製造量は減少し、新聞や雑誌などを中心に使用されている酸性紙は、劣化しやすいだけ  
なく、展示している郵便マテリアルを痛めるリスクがあるため、図入りリーフの用紙には不適切です。  
もっとも今日では大半の書籍や印刷用紙は中性紙に置き換えられています。したがってその入手に  
苦労することは少ないと思います。用紙の購入時に酸性紙でないことだけは個人の責任でご確認  
ください。

**プリントインクの問題**  
現在注意しなければならない最大の課題です。  
色々な印刷方法がある中、家庭用プリンターとして使用される機会が多いのは、「インクジェ  
ット方式のプリンター」と「レーザービーム方式のプリンター」の二種だと思えます。  
後者はコピーと同様で、トナーを定着させる方式ですので懸念の必要は少ないのですが、前者は水  
溶性のインクを使用していることが多く耐水性に懸念のある機種が少なくありません。  
これは郵便マテリアル格納にヒンジを使用するフィラテリーにとっては致命的で、裏側にインク  
が付着してしまう事故が起こります。それだけでなくインクが乾かぬ内に触ってしまうと、や  
はり郵便マテリアルの裏面とリーフの図や文字が接触して、汚してしまう結果になりかねません。  
マウントを使えばこのリスクは減らすことができるのですが、当リーフの使用目的はヒンジを使  
った使用済みの整理が一番の目的だろうと思われれます。インクジェット方式のプリンターを使っ  
ている方が多いことは存じ上げておりますが、新たに購入されるのであればお勧めはいたしません。  
なお最近ではレーザービームプリンターも一万円前後から購入できるようになりました。

最後に印刷は必ず、100%の縮尺で行うようにしてください。時々自動縮小をかけるプリンターが  
ありますが、その場合は、100%サイズでの印刷を行う指示をしてください。

無料世界切手カタログ・スタンペディア社のダウンロードして使用できる図入  
りリーフの使用についての頁

## 自作リーフ作りの勘所

図入りリーフでは物足りない、自分の入手品に合わせて整理したい、という方は自作のアルバムリーフを作ってみましょう。自分で作る、といっても難しく考える必要はありません。初めのうちは図入りリーフや他の方が作ったリーフを参考にして自分なりのリーフにしていればいいのです。切手の名称、発行日等のデータも全部書き込む必要はありません。自分流で構わないので、まずは作ってみる事が肝心です。アルバムリーフへの整理ですが、以下の2つの点を守っておけば誰でも見栄えの良いリーフが作れると思います。

### 1. 左右対称（シンメトリー）のレイアウトとする。

これは基本中の基本と思います。もちろん、例外はありますし、あえて左右対称としないレイアウトも存在しますが、それはある程度リーフ作りに慣れてからでも遅くはありません。

### 2. 1段に並べる切手の枚数に変化をつけて、空白を目立たないようにする。

これは、意外と見落とされがちかもしれません。文章だけでは分かりにくいかもしれませんが、実際のリーフ画像で見て行きましょう。

まずは単片のみでリーフを作ってみました。サンプルとしたのは2000年4月に発行されたふるさと切手です。同じ切手を使って1段目と2段目だけレイアウトを変えたリーフを作ってみました。左が切手の枚数に変化をつけたもの、右は変化をつけずに同じ枚数でレイアウトしたリーフです。



1段目と2段目の枚数に変化をつけたリーフ



1段目と2段目の枚数に変化をつけず、同数で配置したリーフ

パッと見た印象が違うのがおわかりでしょうか？左のリーフの方が同じ枚数を貼っているにもかかわらずぎっしり詰まっている印象を受けるはずですが、逆に言えば右側のリーフの方は空白が目立ってスカスカに見えるはずですが。ちなみに、切手と切手の間隔はどちらのリーフも同じ間隔でレイアウトしてあります。どうしてこのような違いが生まれるのでしょうか？

それは、人間の目の錯覚に関係してくることになります。難しい理論を展開できるほど私には知識がありませんが、要するに、人間の眼はリーフの上から下まで白い部分（つまり、切手が貼っていない部分）が一直線に出来てしまうと、その部分が強調されてしまい、空白部分が目立って見えてしまうようです。そのため、そのようなレイアウトを行わないで枚数に変化をつけることが重要です。

もし、リーフを構成して行く上で枚数が足りない、レイアウトが思ったように決まらないという場合にはペアやブロックを使うと効果的です。ペアやブロックを入れることによって、ほとんどの場合空白部分が目立ってしまうということは解消されるはずですが。また、ペアやブロックは当然単片よりも大きいのですから、単調になりがちなリーフに変化をつけることができます。

サンプルとして採り上げた切手から愛媛県の切手を外して、逆に東北6県と富山県のペアやブロックを追加して再構成してみました。ちょっとしつこいような感じになったかもしれませんがいかがでしょうか。単片だけのリーフとは雰囲気が大きく変わったと思います。



ペアやブロックを入れ構成したリーフ

今回は例示することができませんでしたが、カバーを配置するのも面白いでしょう。どのようなカバーを入手するかはあなた次第です。初日カバーでもいいし、自分宛に差し出したカバーでも構わないでしょう。ネットでも探すことは可能ですから自分の好みにあったカバーを探してみてください。

私の場合、カバーは殆どネット経由で外国から入手するので、外国宛の航空便が主体となります。日本記念・特殊切手の場合、その時の封書用料金の額面が多いので、国内便だと封書1枚貼のカバーが多くなり安さで勝負する私としては変化がつけにくくなります。そこで外国宛の使用例を探すわけです。外国便ですと、一部の切手を除いて1枚貼は存在しませんから必然的に多数貼りとなります。

できれば、同じ切手（同じセット）だけ貼ってあればいいのですが、なかなか難しいので見た目で見断する事にしています。特に消費税が初めて導入された封書62円時期のカバーについては、端数を無視して過貼りとなっているものも多いので気を付けて入手するようにしています。

以上、私なりのアルバムへの整理方法と手順を紹介させて頂きました。切手収集は趣味の世界ですからアルバムの作り方も十人十色、様々な方法があって良いと思っています。つまり、今回紹介させて頂いた方法は数あるやり方の中のほんの一例を紹介しただけに過ぎません。また、どの方法が正解であって、どの方法が間違っているというのも一概には言えないと思っています。

ぜひ皆さんもご自分のスタイルを見つけて頂き、オリジナルのリーフを作ってみてはいかがでしょうか？

## 郵趣活動の記録

Thailand2016 (受賞記録抜粋)	編集部
全日本切手展2016 受賞記録抜粋	編集部
全日展2016 参観記	長野 行洋
古今東西郵趣文献書評 最近の情報 150号記念 (小判振舞処)	木戸裕介
ジャパNSTAMP オークショニアレポート	鯛 道治

# Thailand2016

2016/8/10(水) - 15(月) に、タイ・バンコク市のモール・ガムウォンワン・コンベンションセンターで開催されたアジア切手展の受賞記録です。(抜粋)

## アジア展・グランプリ選考結果

### 1) アジア展・グランプリ・ド・ヌール (Grand Prix D'Honneur)

WWII Surcharges of the Chinese Republic (Chen Yu-An, Chinese Taipei)

同候補

Pre-adhesive Postal History of Macau 1797 - 1864 (Choi Cheong-too, Hong Kong)

### 2) アジア展・グランプリ・インターナショナル (Grand Prix International)

The 1897 Red Revenue Surcharges of China ( Ding Jinsong, China )

同候補

Postal History of Brazil 1795-1877 ( Shoda Yukihiro, Japan )

### 3) アジア展・グランプリ・ナショナル (Grand Prix National)

Siam until 1900 ( Krishnamara Ayuth, Thailand )

## 日本人の出品作品の受賞結果

部門	作品	出品者	結果
伝統郵趣 (タイ)	Siam Classic	Iwasaki Zenta	86 LV
伝統郵趣 (AO)	Japan: Showa Series, 1937-46	Itoh Sumihide	88 LV
郵便史 (AO)	Postal Marketing of Tokyo Tama County 1872-1909	Chikatsuji Kiichi	77 LS
郵便史 (AO)	Foreign Mail in Nagasaki, Japan 1875-1905	Itoh Sumihide	86 LV
郵便史 (その他)	Postal History of Brazil 1795-1877	Shoda Yukihiro	96 LG+SP
航空郵趣	Airmails Carried by Graf Zeppelin	Tatsukawa Kenichi	81 V
テーマティック (文化)	Czeslaw Slania -The World of Engraving stamps	Murayama Ryoji	75 LS
単行本	Pictorial records and unknown historical episodes: Stamps and Mail under Japanese Occupation of Southeast Asia	Tsuchiya Masayoshi	73 S
単行本	New Year's Mails and History of the Greeting Stamps	Japan Philatelic Society	77 LS
単行本	Visual Japanese Stamp Catalog Vo1.1. Vo1.2. Vol.3. Vol.4	Japan Philatelic Society	82 V
ワンフレーム	Japanese High -Value Definitive Issue "Fujiwara-no-Kamatari 5 Yen" 1939-1948	Ikeda Kenzaburo	84
現代郵趣	Ukrainian Inflation 1992-1996	Ito Fumihisa	85 LV+SP

# 全日本切手展 2016 受賞記録抜粋

2016/7/22(金)～24(日)に、東京、錦糸町のすみだ産業会館 8 階で開催された切手展の受賞記録

## 文献以外の競争部門の結果

部門	作品名称	F	出品者	結果
チャンピオン	手彫切手	8	祖父江 義信	LG(97)
	飛脚 1601-1873	8	山崎 好是	LG(93)
	手彫証券印紙 1873 -1874	8	長谷川 純	LG(96)
伝統日本	手彫切手	5	瀧川 忠	V(77)
	旧小判切手 (1876-1879)	3	村上 信和	V(78)
	菊切手時代の外地局加刷切手	4	太田 克己	V(76)
	田沢旧大正毛紙切手	5	丹羽 昭夫	G(85)
	第 1 次昭和切手	5	菊地 恵実	V(76)
	昭和切手と大東亜共栄圏	5	和田 輝洋	V(76)
	第 3 次昭和切手	3	濱谷 彰彦	SB(63)
	第 1 次新昭和切手	5	遠藤 浩二	V(76)
	新昭和切手	4	飯澤 達男	V(76)
	第 2 次動植物国宝切手	3	矢嶋 秀明	LS(71)
	第 3 次動植物国宝切手	5	吉田 敬	LV(83)
	新動植物国宝 10 円ニホンジカ・20 円マツ	3	北野 雅利	B(56)
	切手帳	5	加藤 秀夫	LV(81)
	戦前の記念切手 1894-1944	5	田邊 幹夫	V(78)
	第一次国立公園 (1949-1956)	5	宇佐見 比呂志	V(75)
	Ryukyus Currency Conversion Provisional Series 1958	5	石澤 司	LS(74)
	琉球 (1948～58)	5	太田 克己	LS(71)
	満州国、1 次 2 次 3 普通切手	3	川崎 徹夫	LV(80)
	南方占領地切手蘭領東インド ジャワ	5	増山 三郎	LV(83)
	国内はがきの外国宛使用	5	安藤 源成	LV(80)
手彫証券印紙	5	浅野 周夫	LS(73)	
伝統外国	アメリカ合衆国の黎明期から建国 200 年前夜まで (1935-1973)	3	瀬崎 直行	佳作 (53)
	アルゼンチン連合 (1858&1860)	5	佐藤 浩一	G(89)+SP
	Romania King Ferdinand Series 1920-1926	5	木戸 裕介	LV(83)
	IMPERIAL KOREA	5	岩崎 善太	G(85)+SP
	米国自動販売機及び自動貼付機用コイル切手 1906-1926	5	奥山 昭彦	G(86)+SP
	Napoléon non lauré - フランス 1852～1862 -	5	有吉 伸人	LG(90)+SP
郵便史日本	関東大震災直後の郵便	3	藤岡 靖朝	SB(63)
	日清戦争から日露戦争における日本の軍事郵便	5	志水 正明	LV(84)
	日本の軍事・俘虜郵便 (大正編)	5	森下 幹夫	S(66)
	名古屋局の郵便史	4	若園 泰三	LS(72)
	東京・多摩の郵便印	4	長野 行洋	SB(60)
	越後への鉄郵ルート	3	青木 章博	B(55)
	日本局を中心とした中国東北の郵便	5	小林 富士夫	LS(73)
郵便史外国	Postal History of the Cape of Good Hope	5	池田 健三郎	LV(84)
	スロベニア郵便史 1809 -1921	5	人見 敦	LV(84)
	ウクライナインフレ 1992-1996	5	伊藤 文久	V(78)

部門	作品名称	F	出品者	結果
テーマティク	浮世絵	3	近馬 啓之	SB(61)
	ヒトラーとナチス・ドイツの興亡	5	北村 定従	LV(82)
	橋が演じる役割と文化	5	岡田 三朗	LS(70)
	気球の歴史と気球郵便	3	今井 徹	S(68)
ユース	ふるさと兵庫県	1	千葉 郁美	V(76)
	鳥のい場所	1	村上 和穂	S(67)
	鉄道切手がいっぱい	1	津田 賢士郎	S(67)
	ハンガリー	1	石本 勇晴	S(73)
	SLの世界	1	上原 海斗	S(65)
現代郵趣	2000年メモリアル印・年賀印	3	伊祁 恵琳	選外(40)
ワンフレーム	小判5厘切手	1	長野 行洋	V(77)
	世界大戦平和記念	1	木下 朋英	S(67)
	小判往復はがき	1	石代 博之	LV(83)
	京都と伏見	1	近辻 喜一	LS(72)
	旧暦・年賀状	1	山田 克興	B(59)
	琉球榕樹葉書	1	石澤 司	LS(73)
	うなぎ	1	吉田 敬	S(68)
	ジョージ6世戴冠式記念	1	伊藤 淳	LS(73)
	Small OX stamps issued in Grand Duchy of MECKLENBURG-SCHWERIN	1	吉田 敬	G(88)
	ルーマニア初期航空郵便の発達	1	板橋 祐己	LS(73)

## 文献部門の結果

作品名称	賞 (pt)	出品者
通信事業周知機械印の記録	B(55)	林 久夫
世界の郵便ポスト	B(55)	酒井 正雄
第65回全日本切手展	LS(74)	小藤田 紘
肥後国熊本郵便局にみる明治前期の郵便	LV(80)	立山 一郎
山形局の消印 1872-1888	SB(64)	富樫 敏郎
飛脚と郵便	G(85)	山崎 好是
手彫切手	LV(80)	祖父江 義信
関東大震災と郵便	S(67)	岡藤 政人
風景印 2016	LS(72)	株式会社 鳴美
全国郵便局名録 2016	LS(73)	株式会社 鳴美
フィラ関西	LS(73)	藤田 卯三郎
Stampedia Philatelic Journal	G(88)+SP	無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社
会報「Izumi」	SB(64)	山田 克興

# 全日展2016参観記

長野 行洋

昨年より1週間遅い7/22、23 恒例となったJR錦糸町駅前丸井8F・すみだ産業館で、全日本切手展2016が開催された。昨年同様準備の前日と当日はまだ梅雨のなごり、土・日の午前中までの日差しは涼しかったが、さすがに日曜の午後は夏がやって来た。

今年の企画展示は、8月リオ五輪に向け、市村正生貴氏「第一回オリンピック・アテネ大会記念切手」ダイプルーフが確認の全種の眼福作品と国際展大金賞受賞の正田幸弘氏「ブラジル郵便史」プレスタンプから1番切手「牛の目」の初日使用2点はじめ、大河8フレーム。初日午前中には、首都圏ローカルながらNHKで「オリンピック・ブラジル切手」として紹介、放映された。

もうひとつの企画展示は小判切手発行140年を迎え、小判の至宝・設楽光弘氏の「旧小判切手」。国際展3度大金賞でチャンピオンクラス入りした8フレ作品に普段日の目をみない愛着の厳選カバー2フレと、こちらも国内で拝見できる喜びも一入。2日目午後ご本人の解説にも、小判ファンはじめ鈴なりの人であった。至宝のオマケの最終フレームにも、最近入手された手彫1銭・旧小判1銭黒・茶の3世代異種同額面外信カバーが、今も変わらぬ狩人魂に開いた口が。例によって、敬称略にて失礼。

## チャンピオンクラス

国際展金賞以上3作品、いずれも大金賞。

「手彫切手 1871-1876」(愛知・祖父江義信、右リーフ) 三度の国際展で金賞受賞。1876年の本格的な手彫収集時50枚からの、収集遍歴も含めた、ご本人作品解説が2日目に2回。20銭縞紙他の大珍品だけでなく、安い低額切手と高額切手のバランスを常に心がけ、手彫切手全般に変わらぬ愛情を注ぐ姿勢と、薄い和紙にグレーのザブトンは透けてしまうので、白い紙との二重ザブトンをと、素人にも判り易く好評だった。

昨年に引き続いて「飛脚 1601-1873」(東京・山崎好是) 武田信玄の書状はじめ古文書の時代から、飛脚まで毎度毎度歴史のお勉強。

以上2作品は、鳴美より作品集が出版。今回全日展文献部門でも、前者・大金銀賞、後者金賞。けっして、高く



ないので、ぜひご購入・ご一読をおすすめする。

「手彫証券印紙 1873-1879」(愛知・長谷川純、右リーフ) 国際展・大金賞。故人の大コレクションを取り込んで、まさに世界一の日本手彫印紙コレクションまでに上り詰めた。企画小判も含め冒頭に重量感。競争出品・日本部門は割を喰った形かも。

伝統郵趣・日本関連

「手彫切手」(北海道・瀧川忠)

昨年 JAPEX に続いて手彫作品ご出品。金銀賞は、昨年の4フレから5フレに増量。結果淋しいリーフ散見も大ベテランのあくなき執念に。会場で祖父江氏より目玉の見せ方などレクチャーを受け、来年以降にも期待。こういった出品者同志の交流も切手展の魅力。

「旧小判切手」(岡山・村上信和)

金銀賞、JAPEX 連続出品、出品ごとにリーフ作り変える努力、大ベテランながら脱帽。30 銭 11L は、1・2 を争うコンディション。

手彫から全世界ゼネラル大ベテラン「菊切手時代の外地局加刷切手」(香川・太田克己)

金銀賞は何と字入で4フレ。使用例の難しさもあり、結果未使用とのバランスが上手く取れて。カバー白眉揃い、さすが。

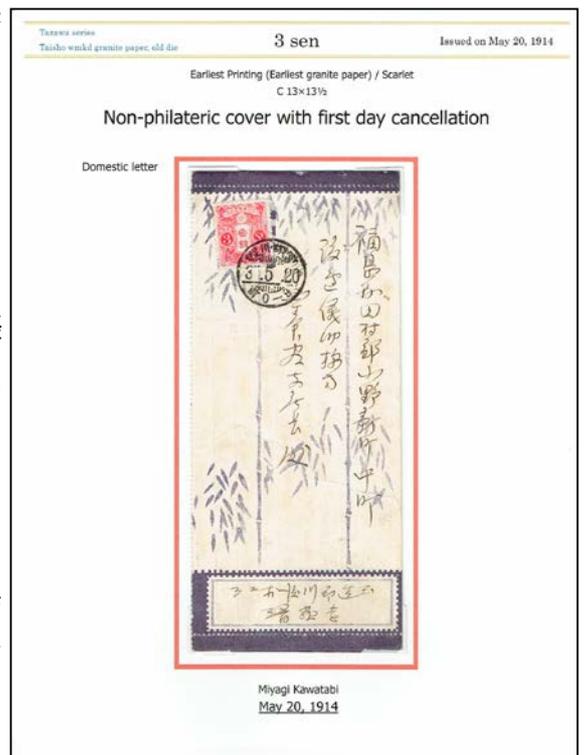
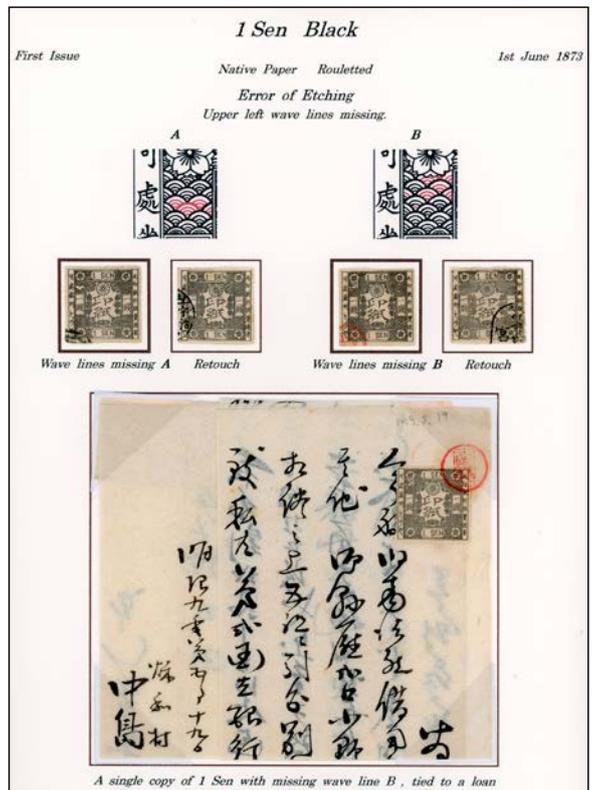
日本伝統唯一の金賞。

「田沢旧大正毛紙切手」(東京・丹羽昭夫、右リーフ)

今年はお本人こだわり冒頭3銭実遞初日便が話題に。国際展に向けては、大白含めた旧版での8フレ作品を期待したい。

「第1次昭和切手」(神奈川・菊地恵実)

金銀賞、昨年 JAPEX からさらに使用例他充実。図案が異なるシリーズだけに、各リーフだけでなく、フレーム・各段ごとの見た目にも配慮との審査員評とか。



「昭和切手と大東亜共栄圏」(東京・和田輝洋、右リーフ)  
 金銀賞は、昭和切手大ベテランならでは究極のテーマ。  
 セレクトしたアイテムに思わずニヤリ。このような作品  
 にも評価が全日展。

「第3次昭和切手」(東京・濱谷彰彦)  
 銀銅賞、いつもながらどのシリーズも一定水準は、狭  
 角収集の我々後輩には驚愕。

「第1次新昭和切手」(福島・遠藤浩二)  
 金銀賞なかなか見栄えしないシリーズを見ごたえ作品  
 に料理はさすが。

「新昭和切手」(山形・飯沢達男、右下リーフ)  
 金銀賞、きれいにまとめられた作品の1点1点の素材  
 が選りすぐり。まだお若いようなので、今後大いに期待。

現行はすでに現行にあらず。

「第2次動植物国宝切手」(兵庫・矢島秀明)  
 大銀賞、使用例カバーは見ごたえ、未使用無くランク  
 ダウン?

「第3次動植物国宝切手」(東京・吉田敬)  
 大金銀賞は40年前のジュニア現行コレクターには未  
 使用単片すら高根の花だった90円緑風神はじめフル  
 シート多数の重量感溢れた作品。国際展を視野にとの  
 こと楽しみ。

カムバック組の連続ご出品

「新動植物国宝10円ホヅカ・20円マツ」(大阪・北野雅利)  
 銅賞もまさに30年前のタイムスリップ作品。当時の  
 手元未整理品でリーフを作りたくなかったのは小生だけ  
 でないかも。

「切手帳」(静岡・加藤秀夫)

大金銀賞、大ベテランがここまで体系立てたご収集にびっくり。戦前の表紙の分類だけでなく、戦後  
 最近物まで充実。

大東亜共栄圏で使用した昭和切手

昭和12年5月10日に昭和切手の第一号として2銭乃木希典切手が発行されてから終戦までの間に、当時は外地と呼  
 ばれた。昭和16年12月8日に開戦した大東亜戦争の南方占領地で使用した昭和切手の使用例をまとめた作品である。  
 には被占領地域で使用した使用例を追加して昭和切手の全貌を示した。必要に応じて換された加刷についても分類して加  
 用紙の単片については、様々な使用例を示すことに心がけ、カバーについては特殊取扱などの郵便料金を示すように配慮

【コレクションの構成】		
縦長地 (フレーム1、2)	南方占領地 (フレーム3、4)	戦後の被占領地域 (フレーム5)
台湾	香港	朝鮮
朝鮮	ビルマ	台湾
南洋群島	マライ	旅大区 (旧関東州)
樺太	北ボルネオ	沖縄 奄美地区 沖縄地区
千島列島	スマトラ	宮古島 八重山
関東州	海軍占領地区	インドネシア
満鉄附屬地	フィリピン	

【コレクションの見どころ】

それぞれの側面で見どころを作るように心がけたが、力を注いだのは、次の通りである。  
 絶海の孤島、樺太の海馬島はカバーも揃えることができた。  
 千島列島の海印、樺太の同輪郵便は、電報取扱所だけが奇跡的に現存している。  
 南滿州鉄道の瀋陽国移譲に伴う使用例。  
 ビルマと北ボルネオは、ローウェル(著)のライフワークだった貴重なカバーを入手できた。  
 戦後になって朝鮮、台湾、関東州で使用された昭和切手のカバーは稀少である。

新昭和

第2次 法隆寺五重塔 1.20 Yen 1947(昭)225.15

印刷局製造 印刷局製造2枚掛 東京版小型シート

右書黒名 機軸右書戦後型 右書黒名 茶色印

ローラー紙書 歌文機型 灰白紙

右書3星 機軸左書乙型 右書為替印D機軸黒名 ローラー右書

ローラー紙書 黄色印

43

「戦前の記念切手 1894-1944」(岡山・田邊幹夫)  
 金銀賞。長い収歴での目玉カバー多数、見ごたえ。  
 奥様との仲睦まじいご参観も。

「第1次国立公園」(愛知・宇佐見比呂志、右リーフ)  
 金銀賞、いつもながら単片の消印違いは門外漢にも  
 理屈抜きで楽しい。以前も書いたが、カバーにもザ  
 ブトンで、作品全体締まるのでは。

「Ryukyus Currency Conversion Provisional Series 1958」(広島・石澤司)  
 大銀賞。ここ数年ライフワーク沖縄の未出品出展に  
 ご注力で楽しみ。見栄えしない暫定切手を上手に料  
 理も、4リーフ脱落が残念。2ランクは損？

ゼネラル大ベテラン2作品目

「琉球(1948-58)」(香川・太田克己)

大銀賞。百円加刷のリーフはブロック・カバーと眼福



「満州国、1次2次3次普通切手」(埼玉・川崎徹夫)

大金銀賞、オーソドックスな展開の3フレもその充実ぶり、多少でも満州をかじった者には驚くべき。

「南方占領地切手蘭領東インドジャワ」(静岡・増山三郎、右リーフ)  
 毎度楽しませて頂くも、南方切手は門外漢。今回の  
 展示の説明で、現地イスラム教の教えで貸借・利子  
 は許されないとのことで、郵便貯金切手を使用され  
 なかったとは、また一つお勉強。

「国内はがきの外国宛使用」(岡山・安藤源成)

大金銀賞、不死身のフィラテリックじいじのテーマ  
 選びも枯れて渋い。5フレ作品にするアイテムの  
 バックボーンに驚愕。各シリーズコレクター垂涎の  
 葉書が散見。

「手彫証券印紙」(秋田・浅野周夫)

大銀賞。連続出品で、日本にも印紙部門が根付くか  
 も。チャンピオンクラス長谷川純氏とも会場で交流。



伝統郵趣：外国

「アメリカ合衆国の黎明期から建国 200 年前夜まで (1935-1937)」(東京・瀬崎直行)  
 佳作、日本も含めこのような、ゼネラル作品の出品を期待。

「アルゼンチン連合 (1958&1960)」(神奈川・佐藤浩一)  
 金賞・全日本郵趣連合賞、6リーフ分のテートベッシュ大シート3シート含め、大ブロックはじめ重量感。太陽図案の南米クラシックの伝統作品が国内競争展で拝める時代が来るとは。

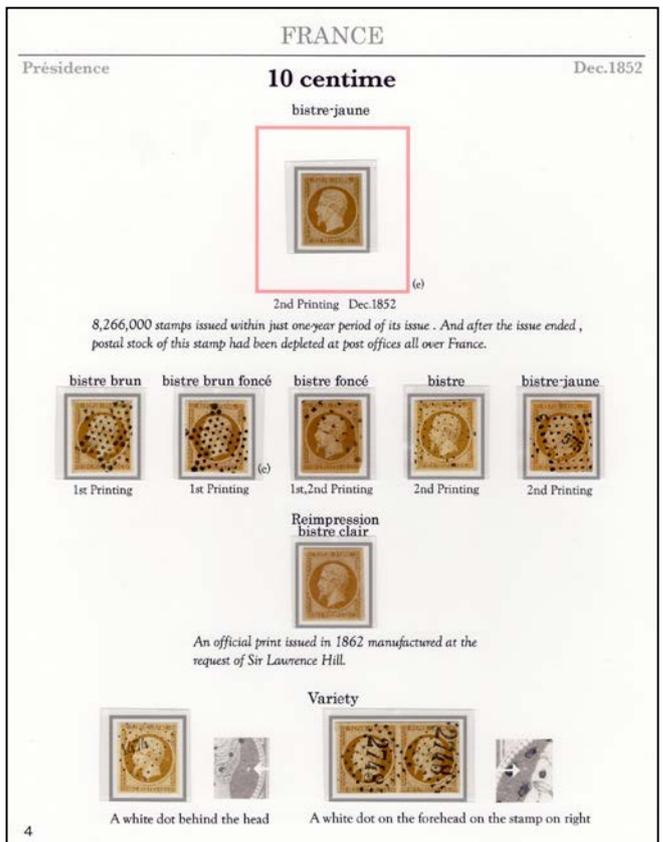
「Romania King Ferdinand Series 1920-1926」(東京・木戸裕介)  
 大金銀賞、先輩のベースを基に若手のホープがネットを駆使しての短期間での充実ぶりは、今更ながら驚かされる。毎回言うが、くれぐれもあしたのジョーにならないで。

「IMPERIALKOREA」(兵庫・岩崎善太)  
 金賞・切手文化博物館賞、国際展作品ながら日本人好みのレイアウト。

「米国自動販売機及び自動貼付機洋コイル切手 1906-1926」  
 (長野・奥山昭彦、右上リーフ)  
 金賞・日本郵便文化振興機構賞、プラハ城・日本震災他多岐に渡るご出品の中で、メインのアメリカでの本命受賞、おめでとうございます。

そして、最高賞  
 「Napole'onNonlaure'-France 1852-1862」  
 (神奈川・有吉伸人、右リーフ)  
 大金賞・通信文化協会賞、フランスクラシックの伝統作品、初出品以来、さらなる充実ぶり。我々の世代は、故別宮氏以来のフランス、国際展での活躍を祈念。

出品数は少なかったが、伝統・外国が席捲の今年だが、来年以降、日本含め中堅・新人の挑戦出品を臨みたい。



郵便史・日本関連

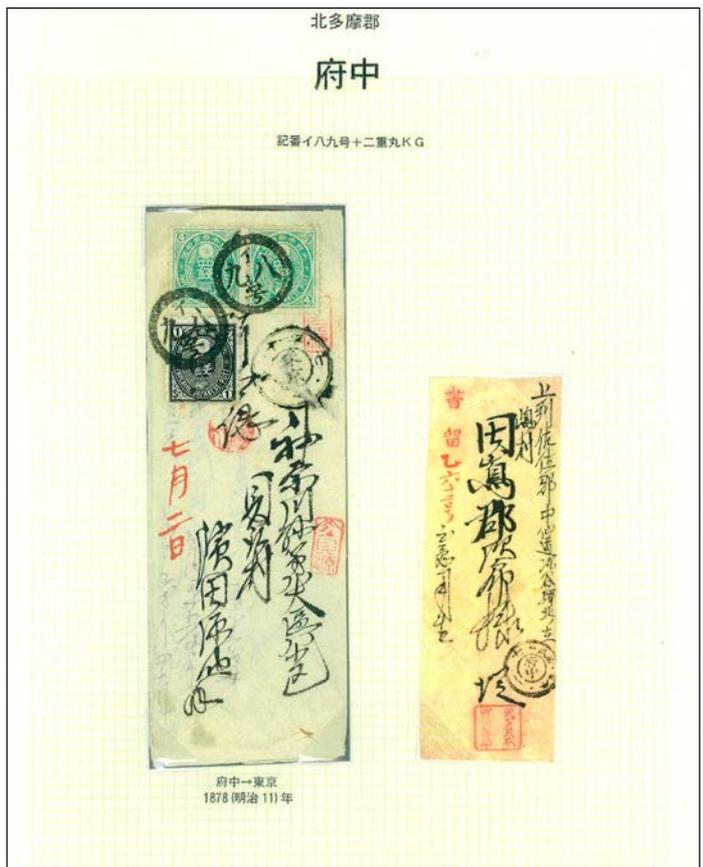
「関東大震災直後の郵便」(兵庫・藤岡靖朝)  
銀銅賞、1リーフ1通は淋しいが、魅力的な絵葉書が。

「日清戦争から日露戦争における日本の軍事郵便」  
(兵庫・志水正明、右リーフ)  
大金銀賞、以前のご出品よりさらにカバーに厚みが。

「日本の軍事郵便・俘虜郵便(大正編)」  
(群馬・森下幹夫、左下リーフ)  
銀賞、明治と昭和の難しい時期を5フレで構成はさすが。

マルコフィリー(郵便印郵趣)  
「名古屋局の郵便史」(愛知・若園泰三)  
大銀賞、他にメインテーマをお持ちの氏の地元名古屋局の初期からの力作。大局だけにインポートスも。

「東京・多摩の郵便印」(東京・長野行洋、右下リーフ)  
銀銅賞、すかさずの1リーフ1通多いも、リーフに整理できるのが出品の何よりの効用。



「越後への鉄郵ルート」(三重・青木章)

銅賞。ライフワーク鉄郵印テーマでの連続出品はありがたい。

「日本局を中心とした中国東北の郵便」(新潟・小林富士夫)

大銀賞。やはり幾多のテーマのひとつも、カバーの選び方に年季。

郵便史・外国

「Postal History of Cape of Good Hope」(東京・池田健三郎)

大金銀賞。ジュニアからのコレクションを30年かけて、郵便史作品に昇華は見事。

「スロベニア郵便史 1809-1921」(東京・人見敦)

大金銀賞、連続出品でますます充実。次は、国際展チャレンジへ。

「ウクライナインフレ 1992-1996」(東京・伊藤文久)

金銀、今回はモダンのインフレ。

テーマティック

昨年金賞に輝いた沖縄・安室芳樹氏、本年も「パストゥールの生涯」(5フレ)でご出品申し込み後、急逝。ご冥福をお祈り申し上げます。

「浮世絵」(千葉・近馬啓之)

銀銅賞。切手中心のテーマチック、審査員対話で次回レベルアップ必至では。

「ヒトラーとナチス・ドイツの興亡」(石川・北村定従、右リーフ)

大金銀賞。ストーリー骨太の年季コレクションも、国際展に向け、更なる要求が審査員対話で。

「橋が演じる役割と文化」(千葉・岡田三朗)

大銀賞、各章ごとに切手・カバーバランスとれた佳作も、旧作品リーフが一部混ざり、構成が重複が残念。

「気球の歴史と気球郵便」(福島・今井徹)

銀賞、今後クラシックマテリアル含め、いくらでも発展できる楽しみのテーマ。今年は、出品数が淋しかった。



ユース

金銀賞「ふるさと兵庫県」(兵庫・千葉郁実・10才)。銀賞4点、「鳥のい場所」(兵庫・村上和穂・8才)「鉄道切手がいっぱい」(兵庫・津田賢士郎・8才)「ハンガリー」(東京・石本勇晴)「S Lの世界」(東京・上原海斗)、いずれもユース奨励賞。

ワンフレイム

「小判5厘切手」(東京・長野行洋)

金銀賞。招待出品設楽氏は、旧小判だけで1フレも、一般庶民には新旧で精一杯。先輩からは、ワンフレ作品として不適と酷評されたが、そう多くの額面で小判としてはできない、来年は3銭でと設計図面引くも、意外に新小判が難しい。

「世界大戦平和記念」(長崎・木下朋英)

銀賞、おなじみの図案のワンフレイムは癒し。

「小判往復はがき」(愛知・石代博之、右下リーフ)

大金銀賞。ワンフレプロフェッショナル、今回は正統テーマで、しかも専門分野で小判屋も垂涎。

「京都と伏見」(東京・近辻喜一)

大銀賞、オリジナルスタディへの高位受賞。関西の人は興味無いようだからとぼやきながら。

「旧暦・年賀状」(東京・山田克與)

銅賞。葉書屋には気になる作品。ワンフレならでは。

「琉球榕樹葉書」(広島・石澤司)

大銀賞、特定葉書の基本分類、今回ワンフレイム部門は、正統作品が目立つ。



「うなぎ」(東京・吉田敬、右上リーフ)

大銀賞、今回展示前に一番内容がミステリアスだった話題の作品。テーマチックも有りだったが、漁獲量激減で高騰中のウナギ同様、戦後混乱期の収集家目当ての小型シートの最高根を、惜しげもなく。小生の図入アルバムもうなぎだけおらず、流行りのなまずで代用?

「ジョージ6世戴冠式記念」(神奈川・伊藤淳)

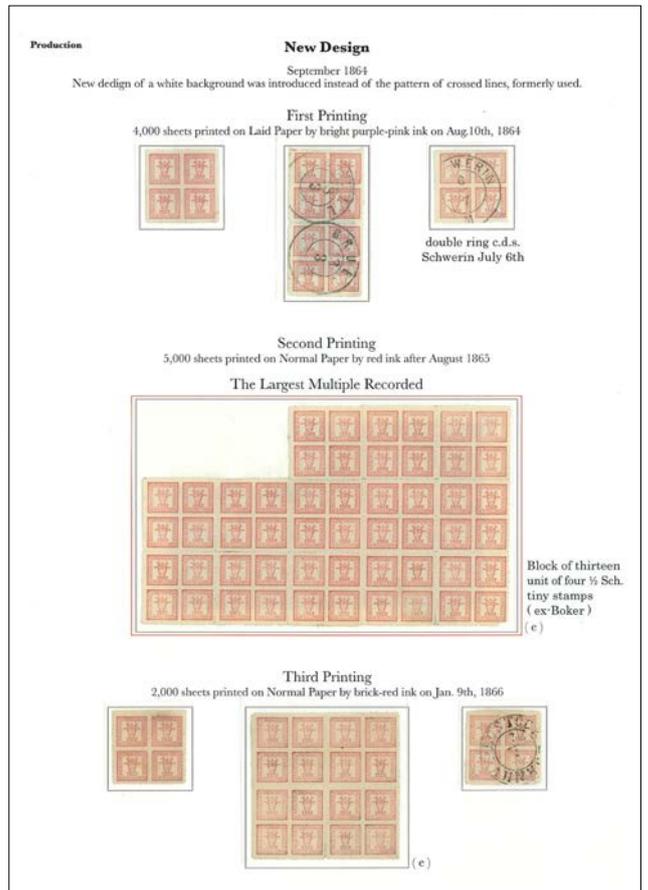
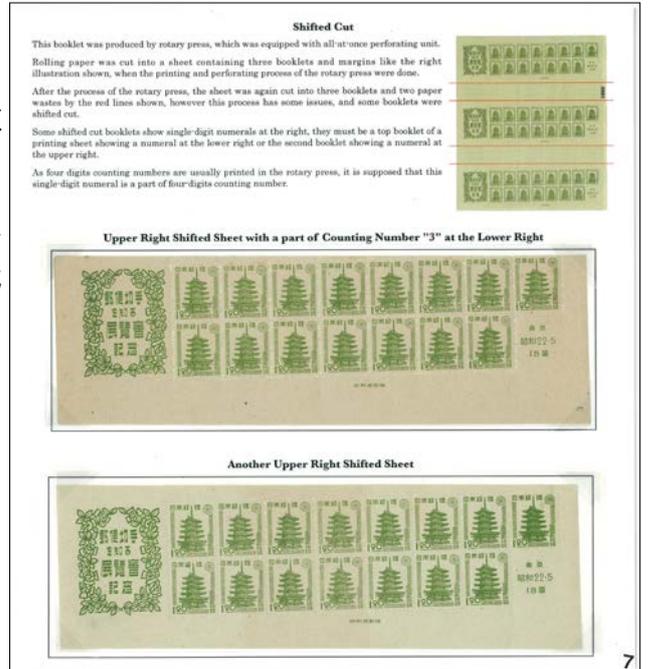
大銀賞、華やかなテーマの正統作品。

「Small OX stamps issued in Grand Duchy of MECKLENBURG-SCHWERIN」  
(東京・吉田敬、右下リーフ)

金賞、以前にも拝見させて頂くも、世界最少の貴重クラシックを拝見できる機会が眼福。

「ルーマニア初期航空郵便の発達」(神奈川・板橋祐己)

大銀賞、気鋭の若手が、日本手薄の航空郵趣に挑戦、心強い。  
  
今年も、全出品者・スタッフ・参観者に感謝。(三鷹郵趣会会報「フィラ・スリー・ホークス」と併載)



お次はどきどきペリクダ!

## 号外発行のお知らせ

これまでフィラテリストマガジンが勝手に応援してきた、3回の全日本切手展。非公式の参観ガイドは毎回、参観者・出品者そして審査員にまで好評を博しています。

「JAPEXの参観ガイドも発行してほしい!」そんな、ご要望は昨年までも多数いただきました。でもマンパワーの関係で昨年までは対応できませんでした。

今年はマンパワーを確保できましたので、満を持して号外(参観ガイド)を発行いたします。11月1日頃発行予定。無料ダウンロードも提供予定です。

stampedia  
スタンペディア日本語版 機関誌  
The Philatelist Magazine  
号外 全日本切手展 2015 参観ガイド

第65回  
全日本切手展2015  
前島密生誕180年記念

7月17日(全)~19日(日)  
午前10時~午後5時  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 郵便局ビル4F  
入場料:大人500円 小中学生200円

小型印の押印サービス  
第1会場:すみだ産業会館  
第2会場:郵政博物館  
第3会場:郵政博物館  
第4会場:郵政博物館

【全日本切手展2015実行委員会、公益財団法人集郵文化協会、日本郵政公社、日本郵便株式会社、郵便局ビル運営委員会、日本郵政大学 共同開催】

The Philatelist Magazine  
当該は、無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社が運営する「スタンペディア日本語版」の会員向け機関誌です。機関誌は年4回PDFで発行され、年会費(2,000円)を納めた会員には発行の都度登録Eメールに通知があり「マイ・スタンペディア」よりダウンロードできます。また印刷して読みたいという要望に応えコピーレシホキスで綴じた紙版をお送りするサービスも提供中です。

### JAPEX2016 出品者のみなさまへ

「JAPEX2016 参観ガイド」のメインコンテンツは、出品者による「私の作品の注目ポイント」です。紙幅に制限のある出品目録では語り尽くせない、展示作品を見るにあたり必要な事前知識の紹介や、作品の解説、そして展示マテリアルの紹介など、みなさんの本音をどうぞお寄せください。

### お送り頂きたいもの

1. 文章(テキスト): 作品参観に役立つならば内容は自由です。ページ数は、少ない方で1ページ、多い方で10ページ程度の割り当てが可能です。ページ数に制限のないPDF雑誌ですが冗長にならぬ様、編集についてはお任せ下さい。手書きの原稿も歓迎いたします。
2. リーフもしくは郵趣マテリアルの画像: カラーコピーの郵送、もしくは200DPIによるスキャン画像を添付ファイルとしてメールでお送りください。

### 原稿〆切と送付先

郵便の場合: 2016/10/24 到着分まで。102-0083 海事ビル内郵便局留置 吉田敬

メールの場合: 2016/10/26 到着分まで。tpm@stampedia.net

※短期間での編集になるため、10/14以降の到着分については、校正できません。

あらかじめご了解いただき、編集についてはお任せください。

※ご郵送頂いた原稿、コピーについては原則として返却しません。

販売: 無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

# 古今東西郵趣文献書評

## 最近の情報 150号記念

### 小判振舞処

木戸裕介

僭越ながら、入会しておそらく一番日が浅いであろう私が書評を書かせていただくことになりました。

小判切手の製造面データの共有に端を発し、小判時代の製造面、郵便史全般を対象とした研究誌「最近の情報」が、150号を迎えました。

先に発行された『最近の情報 100号記念』、『最近の情報発信 10周年記念』の2冊は、入会させていただき前より買っていました。興味はあるものの、その時代の知識には疎く、入門書やカタログには記載のない知識が得られることに魅力を感じ、大学の講義中に何度も何度も読みました。その150号が出たのですから、入手を楽しみにしていたところです。

日頃の情報発信の節目として発行された同記念誌は、小判時代、小判切手をあらゆる角度から扱い、その時代を収集するフィラテリストにとって、なくてはならないコンテンツとなっています。

今回の記念誌でも、製造面のデータ研究の足跡、小判切手に影響を与えた外国切手、記番、二重丸、ボタ等のマルコフィリー、未納還付郵便などの郵便条例に関わる郵便史など、会員の寄稿記事の扱う範囲は多岐に渡ります。

会員の方々の研究レベルは高く、寄稿を集めた体裁にもかかわらず、後世に残していくべきデータ、収集の原動力となる刺激的な知識にあふれています。

さらに、本記念誌では、全日本切手展 2016 に展示された『小判5厘切手』、『京都と伏見』、『小判往復はがき』が、オールカラーで全リーフ掲載されています。実際に切手展に出品された同時代の作品は、カタログや文献上での知識を超越した内容で、蓄積されたデータをベースとしたオリジナルスタディにあふれています。

本記念誌は、まだ発行されたばかりで、私の手元に来てからも日は浅く、繰り返し読みたい箇所がいくつもあります。通勤カバンの中から本棚へ移すのは、まだ先のことになりそうです。

最近の情報150号記念

平成28年8月

小判振舞処

# 最近の情報 150号記念

小判振舞処発行

目次		
伝統郵趣		
小判切手製造面の探究 12年半	長田 伊玖雄 (10)	2 ~ 11
田型実用素版のつなぎ合せ方について	田畑 裕司 (2)	12 ~ 13
新小判切手の版別収集の愉しみ	山田 廉一 (4)	14 ~ 17
15 銭の使用済 10 枚で 150 号記念	梅原 徹 (2)	18 ~ 19
オークションの思い出	城野 隆三 (2)	20 ~ 21
小判切手上的の偽消印	水口 公秀 (2)	22 ~ 23
新小判 15 銭 切手	渡辺 修 (4)	24 ~ 27
テーマチック小判切手その後	長野 行洋 (4)	28 ~ 31
小判切手より 10 年以上前にナウマン社が製造した切手	吉田 敬 (6)	32 ~ 37
郵便史、郵便印関連		
大型ボタ印使用局と官吏派遣局	立山 一郎 (8)	38 ~ 45
第 2 次拇太印使用局の二重丸印	平尾 勉 (2)	46 ~ 47
相模・藤澤の郵便印 事始め	鎌倉 達敏 (4)	48 ~ 51
小判 1 銭茶、2 銭紫の小型ボタ印	小寺 雅弘 (2)	52 ~ 53
外国郵便の国内料金使用例	五屋 邦保 (2)	54 ~ 55
未納還付郵便物について	今後の課題	古家 美和 (2) 56 ~ 57
京都府官民往復郵便葉書・封皮	佐々木義郎 (4)	58 ~ 61
品川局が東京市内局扱い時代の使用例	北川 丈二 (1)	62
悩ましき消印 静岡 KB2 型印	長田 伊玖雄 (1)	63
ある消印収集の話	滝井 春雄 (4)	64 ~ 67
元山局丸一型印の新小判 8 銭使用例	近藤 守雄 (2)	68 ~ 69
手彫、小判時代の郵便局の使用例 (消印)		
— 「新版・明治郵便局名録」のデータ集計—	高野 昇郎 (6)	70 ~ 75
和桜 2 銭貼り電報、切手つき封筒・小判 (大型) の KG 印	村岡 博 (2)	76 ~ 77
特別寄稿		
上野国の郵便史 渋川	設楽 光弘 (28)	78 ~ 105
全日本切手展 2016 出品作品		
小判 5 厘切手 (金銀賞)	長野 行洋 (16)	108 ~ 123
京都と伏見 (大銀賞)	近辻 喜一 (16)	124 ~ 139
小判往復葉書 (大金銀賞)	石代 博之 (16)	140 ~ 155
編集後記		156

A4 判 約 156 ページ・カラー 6,000 円 (送料別)

スタンペディア郵趣文献ショップで販売中

# ジャパンスタンブオークションニアレポート

鯛 道治

2016年8月27-28日の93回フロアセールレポートです。普段なら、セールが始まるまで、場で数字が動く前に書くべきテーマが決まるのですが、今回は正直予想外でした。結果が出て、初めてマテリアルを見つめなおして書いていきます。

**Lot1157 2新昭1.5円第2角田型逆櫛 NH 糊つや少 RC 気味**

最低値 15,000 応札 8 スタート 240,000 落札値 360,000



目打穿孔時の用紙のセットが、天地逆になったエラーです。同種の物で有名なのは、1次昭和の乃木2銭ですが、1シートだけの存在です。識者によれば、2次新昭和では他額面にもあるとの事ですが、手元の文献ではその記載を見つけることが出来ませんでした。今回のアイテム、ひょんなところからの出品でしたが、伝手を遡って、おおもとの所有者が確認出来ました。都の大御所です。手彫から菊まではご本人の蒐集分野なので、どんな珍品をお持ちでも不思議ではない方です。

2次昭和のシートを出品されたときに聞きました。糊付大日本が2種有ったので、何でこんなものかと思ったのです。答えは、白石智勇さんに、持っておけと勧められた・・・成る程と思いました。他の人では有り得ない知識をお持ちだった人です。1.5円の逆櫛も、そうかどうかは分かりませんが、所有者が知らずに買ったロットの中に混ざっていた可能性は無いでしょう。勧められて買ったのなら

銘版も有ったかも。もしそうならば、下の部分はどこへ行ったのでしょうか。

ご本人にすれば、100%アウトオブ眼中のマテリアル、実際にゴミの一部としての出品なので、私  
が気づかなければ、2次新昭和の銘付のロットで売ってしまっている可能性が有るのです。銘10な  
らば、目打形式を書く時に見つけるのですが、銘田ならば、スルーしてのロット売りでしょう。弊社  
でその手の物を最近買った方、是非チェックして見て下さい。

因みに、このエラーの場合は、下部分よりも上部分に価値が有るそうです。逆櫛なので、上の抜け無  
しは変造が出来ないけど、下の目打は正櫛の抜け無しに打つことが出来るとのこと。それは戯言  
と聞き流してください。

メールの1番札をフロアで撥ねた値段ですが、10万~20万のメールが複数ありました。キーにな  
るマテリアルということでしょう。探せば見つかるような気がするのですが。

**Lot1180 2次昭和1銭女工平台⑤銘付10B 小豆色 NH**

最低値 150,000 応札 2 スタート 270,000 落札 270,000



メールの一声で落ちました。昔から、真偽が疑われていたもので、今だに知ったかぶりで、このエラー  
は全部ダメ、お酢か何かの薬品で、幾らでも作れるという人もいます。でも、随分と古くから知  
られている物だし、出所からしても、未使用のコンディションのフレッシュさから見ても、悪意での  
手が加わっているとは思えません。

ビッドのお二人は、ご自分で判断が出来る人とだけ書いておきましょう。

## Lot1569 竜 100 文 2-26 頭髪加刻のポジション

最低値 250,000 応札 0 不落札

不落札は残念ですが、論文のネタとすれば最高のアイテムです。竜 100 文 2 版 Pos26 は有名なバラエティーです。古くから研究されていて、ウッドワード本にもその記事が載っています。その本と市田博士の英文 DRAGON の書き方では、ステータスとして、時系列で、完全な状態・右龍の頭破損・破損部分がリタッチの並びと読めるのです。



但し、市田氏の和文の竜切手では、論は転向していて、破損が最初期で、一見完全図案を次に置き、最後に所謂リタッチの並びにしています。現状では一般的にはこの説が通説になっています。破損状態がシートと単片数枚しかないという希少性に目が奪われていたし、マテリアルを並べて、市田説を検証する機会もなかったのです。

でも、7~8 年前に、それを覆す立派な資料が出たのです。図版でお見せするのは、山崎好是氏の「飛脚」の 139 ページ、Yigal Nathaniel 氏が弊社で落札してくれたカバーです。

100 文 2 版の 3 x 4 の 12 枚ブロック・Pos9~35 です。Pos18 が腕落ち・Pos25 が顎無・Pos26 が竜頭変種の夢の田型を含んでいて、消印は岡山の飛脚屋の物という、けたたましいカバーです。地元の古物のブローカーが掘り出した物が弊社に来たのですが、Pos26 をどう表現するかで迷いました。破損では有りません。正常その物と見たのです。

オンカバーの 100 文 2 版の時期を、分類する必要が有るか否かは微妙ですが、どう見ても色と彫線で、初期印刷に見えたのです。右竜頭は完全です。所謂破損との時期の比較を考えました。市田氏の日本語本では、容赦なく、破損が先で、完全は後です。

でも、それを覆す決定的な要素が見つかったのです。12 枚ブロックの右下、Pos35 の右にくっついている Pos36 の左の雷紋です。

どう見ても、完全なのです。Pos36 のそれは、程度の差が有っても軽彫が普通の状態であり、完全なものにはプラスの要素が無いのです。知らずに持っている人もいるし、私も軽彫よりも安い値段で売っていますから。

思い付いたのが、金井宏之コレクションのシートでした。Pos26 が所謂、龍頭破損の珍品、そして Pos36 は雷紋軽彫です。同一シート上の存在なので議論の余地はないのです。Pos36 は完全か

東海道 枝道の郵便取扱所 / 定飛脚取次所

### 飛脚屋が郵便取扱役

《岡山郵便取扱所(飛脚・田原屋)》



岡山 → 東京

(Yigal Nathaniel 氏蔵)

明治五年一月二十三日差出

139

「飛脚」(山崎好是氏) 139 ページより

刷りが不完全かの2タイプしかありません。だから、Pos36の雷紋が完全な状態のシート上では、Pos26は破損と同じかそれ以前のステータスなのです。Nathanielの12枚ブロックが正にそれ、Pos26の正常状態は、金井シートの破損状態より前で有ることが、明瞭に証明できたのです。

実は、此の視点で書かれた記事がありました。たまたま見つけたのですが、市田さんの日本語版の竜切手が出たのちの、1975年10月のJAPANESE PHILATELY Vol.30 No5、執筆者は、児玉譲次さん、Pos26を3枚並べて、正常・破損・リタッチの順で表現されています。10年ほど前は良くフロアオークションに来られていたのですが、最近は暫くご無沙汰、この記事のことを、議論をしたくても出来ません。

今回出品のマテリアル、実はちょっと自信が無いのです。オークションの記事を書く時に、迷いに迷ったのですが、左右の竜の頭の状態はイーブンです。だから、破損よりも早いだらうとのニュアンスにしたのですが、刷りで見れば、シャープさが無いのです。破損の後で、一見正常の可能性も有るのです。Nathanielブロックは、絶対に破損の前だと言い切る自信はあるのですが、初期正常・破損で不完全・修正後の一見正常・滲んで濃い色に並ぶ可能性が有るのです。

ならば、今回の物は修正後の一見正常に当たります。その意味で、オークションでは売れなくて良かったと思っています。このPos26のステータス、マテリアルを元にして表現できる人が、世界に一人だけおいでです。

勿論、手嶋康さん、私家本の竜切手の55ページにPos26のリタッチを11枚並べておられます。リコンストラクションを入れれば2枚プラスです。時期を分類されていて、最初期・初期・中期・後期・最後期の5区分ですが、刷りの印象を基準にしての区別なのでしょう。

私の希望は、所謂、「破損」をこのリーフに入れて、時期を示して欲しいのです。リコンの抜け位置は別の物で埋まります。竜切手の世界一のコレクターとして、それはある意味、義務だと思います。

ここまで書いて来たことで、私が一番言いたいのは、Pos26の竜頭は、後期にリタッチされたのではなく、別の印刷技術の措置が為されたバラエティーでなかろうかという事です。最初は、正常であって、ある時期にインキが詰まって印刷不完全になり、(それを取り除いて元に近く戻り)、それでも原版に悪しき影響が有り、滲んで印刷されたという流れです。

リタッチ = 改めての加刻というよりは、出来映えは元よりは落ちるけど、新たな刷線が加わったのではなく、当初の図案が復活したと見えるのです。そしてこの考えは、200文のPos22・26・30の、所謂、正常・破損・リタッチにも完全に共通なのです。

私は、正常・インク詰まり・洗浄での一部復活と見ています。リタッチされて、元には無かった刷りの線は1本も見いだせないのです。最初の状態に寸分たがわずに加刻して、復活させるのは、技術

的には無理でしょう。100文は勿論、200文の3位置の郵趣的な評価は変えなくても良いと思います。でも、科学の議論としては、検証が必要なテーマでしょう。

吉田さんの製造面勉強会のネタとして取り上げてくれませんか。どなたが講師でも、私も是非出席して、議論を拝聴したいと思います。

**Lot2387 満州3次普通1分ペア、1次通郵4分ペア貼スウェーデン宛 櫛 特化3.3.27 蒙疆内満州切手使用**  
最低値 15,000 応札 9 スタート 260,000 落札 330,000



20万以上が5人でした。蒙疆内に満州の客郵局が有って、満州切手が通用していたということでしょうか。識者に聞いたら、特化局は少ない方に入るとか、どこかにきっちり書かれた記事が出ているのでしょうか。

日本人の郵便史コレクターの評価が30万ならば、中国人のそれは100万でも普通なのです。でも今回は、中国からのビッドが無かったのです。満州切手の20面小型シートや、国防献金不発行、2次普通の15分、絵葉書のセットなどは、香港のオークションで、本土のディラーが滅茶高な値段で買うのですが、それは単純な切手や葉書だからでしょうか。

郵便史的な物の需要は、切手展のコレクションに使うことが前提です。でも満州のそれは、中国本土では展示に制限が掛かるとか聞いています。だから、一般的には収集対象からは外れています。でもこの条件の下でも、かつては特異な人がいたのです。噂では鄧小平の遠いご親戚、満州の郵便史に矢鱈と強く、ヤフーでも在日の代理人を使っていたし、弊社のセールでも一徳一心の葉書は、軒並み100万円でビッドとか、相場の10倍で買っていた中国人のお兄さん。今どうしているのでしょうか。3年前の落札品、其のまま引き取られずに残っているのですよ。

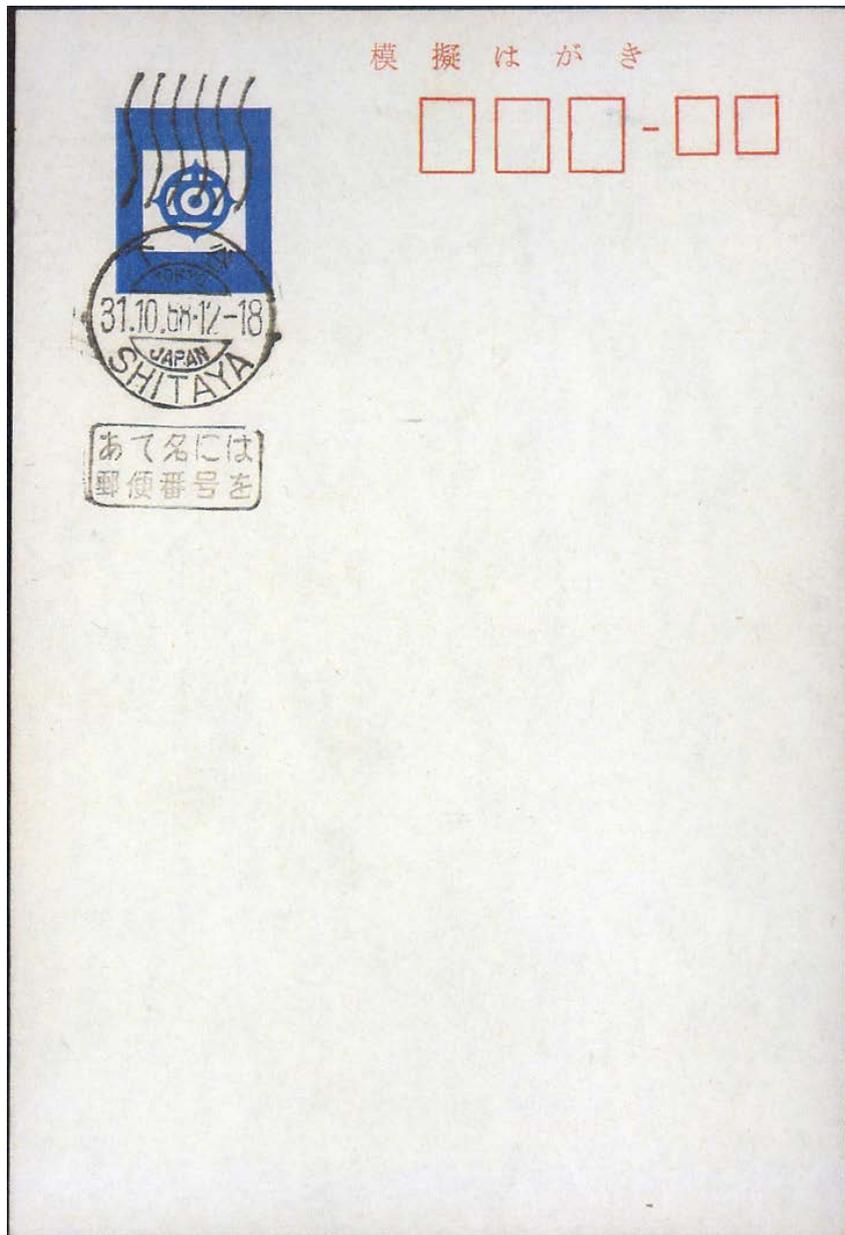
Lot2980 郵便自動化模擬葉書 日立マーク 和欧機械下谷 31.10.68 +標語

最低値 5,000 応札 11 スタート 220,000 落札 220,000

私では評価できない値段です。1番値が22万、2番値が21万、数名が10万以上、皆さん判っているのビッドでしょう。

郵便自動化では、日立は先行したものの、則撤退、日電（NEC）と東芝が営業的に勝利したのでしょうか。文献上のデータでは、和欧文機械の実用化は昭和43年12月1日から、日立の機械は下谷局の1台で1年限りという事です。フォアランナーでも、和欧文機械の絶対的な最初期使用を評価したのか、単純に正規使用でも少ないのかは、私の知識では分かりません。

落とした人は自動化のマテリアルとしての評価、競って負けた人は、モダンの消印の希少性を踏んだと読んでいます。知っている人は知っていて、オークションでは見落としは絶対はないという事を改めて認識した次第です。



**Lot2983 郵便自動化シール 東芝エスパー・科学館・葉書 2種**

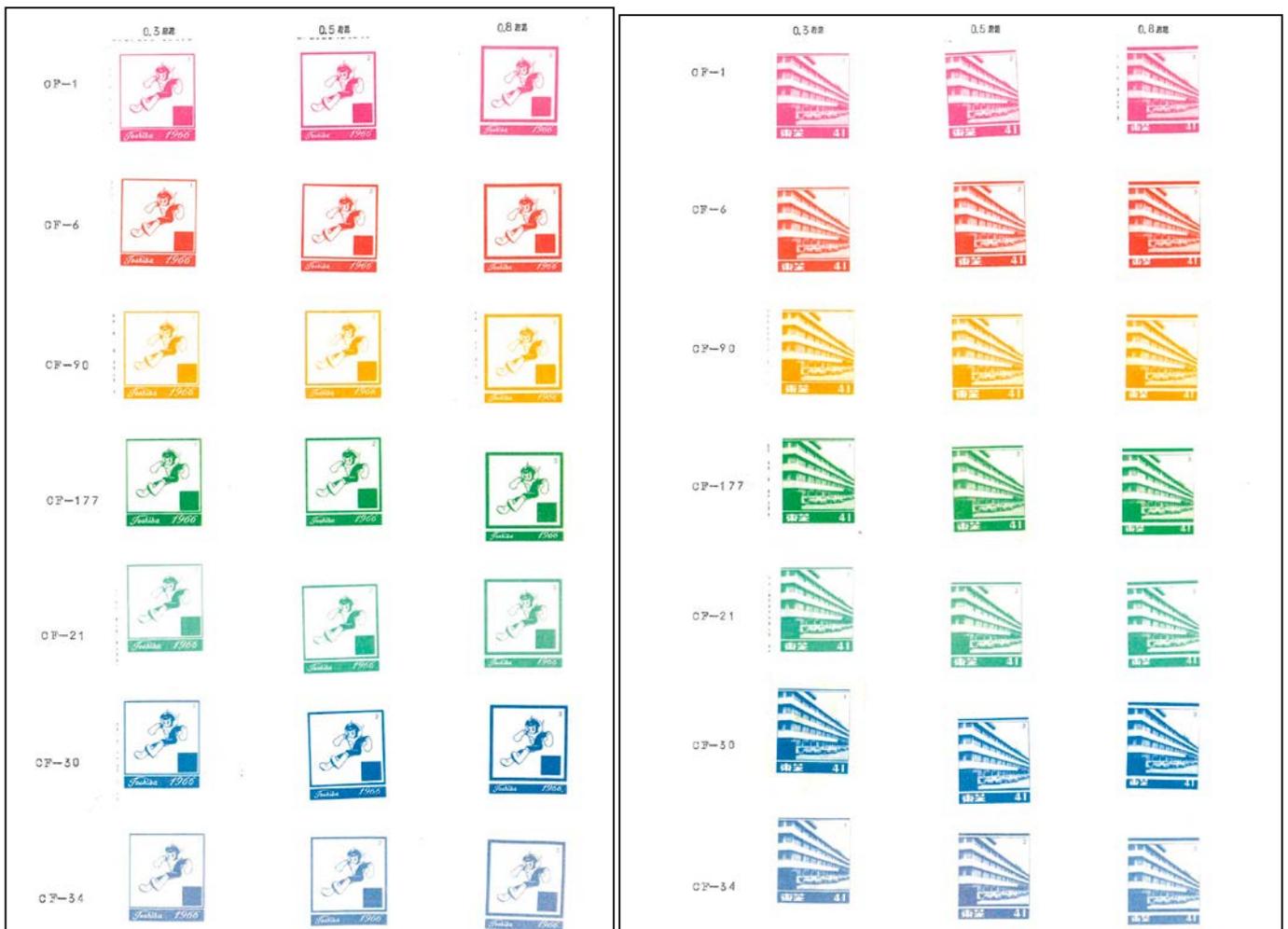
最低値 1,000,000 応札 0 不落札

このマテリアルが文献上に出ているのは、私の知る限りでは、日本印紙類図鑑 = 2010 年の下邑政弥氏著のみです。郵便機械化実用試験模造切手証紙類の項目にアトム 1966 葉書用・東芝科学館 41 の青 (葉書用)・赤 (速達用) になっています。でも、全くの出鱈目データです。

現物をご覧になる機会が無かったことが分かります。それ程に特殊で珍しい物なのでしょう。東芝ゼ口円の金魚と弥勒と、日電・東芝の 2 本バーは、印刷局が郵政省の依頼を受けてやった仕事なので、ちょっと性質が違います。

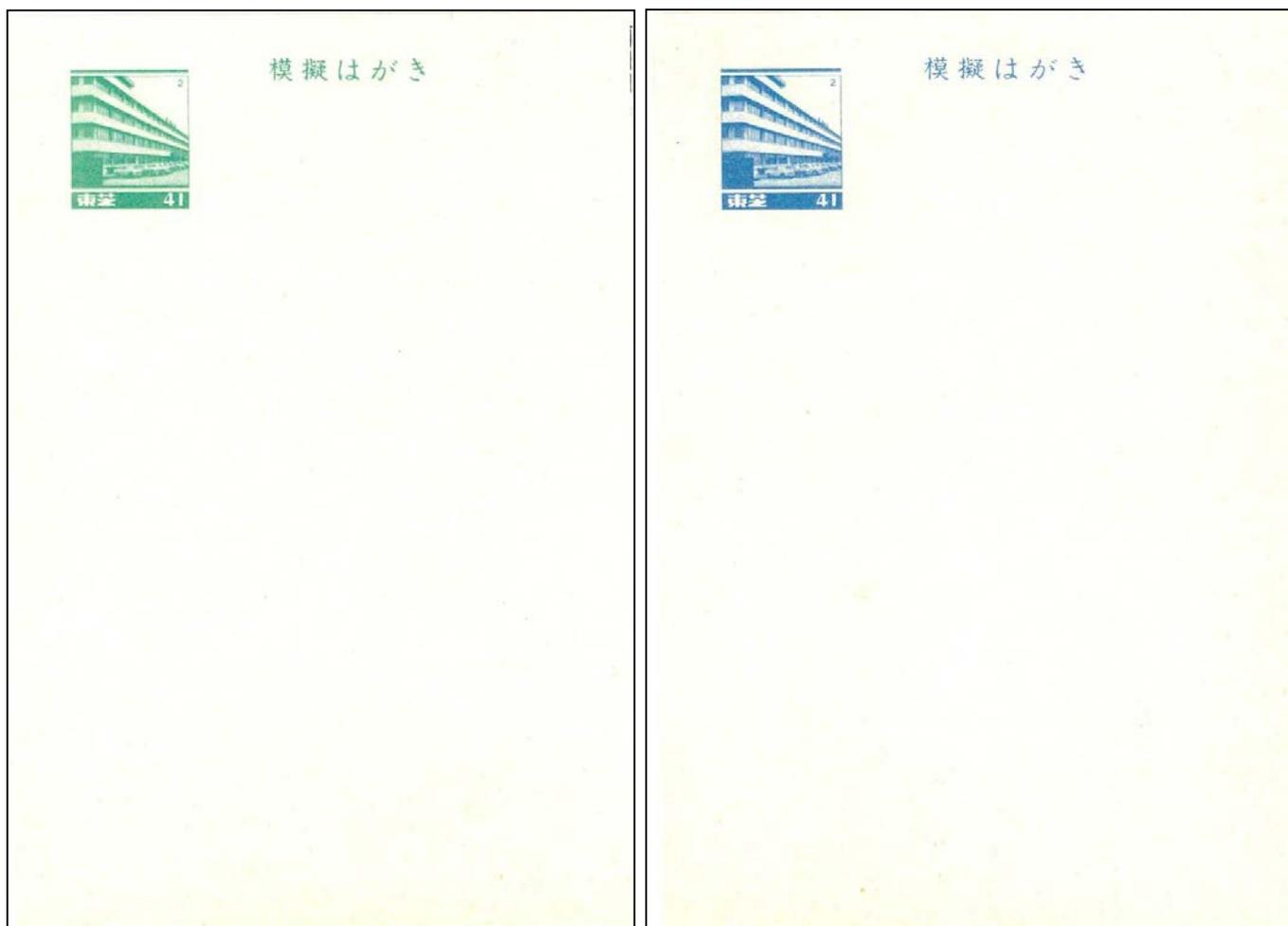
今回の物は、東芝エンゼルのフォアランナーとしての位置づけになるのです。郵趣に広告を出すときに、『アトム』と書いたら、郵趣出版から連絡が有りました。『エスパーの東ヒカル』 = サザエさんの前の東芝日曜劇場のキャラクターなのです。

今回のロットの葉書は、一度だけ扱った覚えが有るのですが、高かったと思います。切手 (正しくはシール) は完全な初見品です。東芝の自動取り揃え押印機関係資料の分厚い本の最終ページに綴じられていました。



A形がエスパーで、B形が科学館、赤・黄・緑・青系の7色、周囲の線の太さが0.3mm・0.5mm・0.8mmの3タイプ、 $2 \times 7 \times 3 = 42$ 種類です。ベタ貼だし、1ロットで使うしかないので。ゼロ円やエンゼルよりも少ないことは、誰もが判っています。欲しい人も多いでしょう。でも、ワンアイテムとしての100万には飛び込みにくいのでしょうか。@2.5万なら、バランス的に安いし、売れると思ったのですが、所詮はもろにシールという評価なののでしょうか。

最低値が30万か50万、極論すれば10万でも良かったのですが、私のオークションニアとしての感覚で、100万の評価にしたのです。出した数字は戻らないのですが、ご出品者に売れませんでした、で戻してもどうにもならないので、何とか丸く収めたいと思います。この程度のディールはそれ程難しくは無いのです。落としどころがありますから。



## あとがき

前号で、今年の夏は時間にポッカリ余裕ができるので、何か新しい仕掛けを考えようかな、と書きましたが、おかげさまで充実した夏を過ごすことができ、とあるプロジェクトを近日発表できるところまでできました。残念ながらフィラテリストマガジン第12号では発表できませんでしたが、来月には大々に発表することができると思います。日本の郵趣振興にとって大きな役割を果たすものになると思います。

個人的にもメインコレクションの収集が進捗するとともに、魅力的なサブ収集範囲が新たに二つ見つかりました。その二つは、数年前の自分であれば「何故そんなところを集めているの?」と問いただしてしまうような収集分野なので、人間の興味・関心の度合いなど揺らぐものだな、と感じます。

残念なのは書籍執筆の遅延で、特に再三にわたり発行を延期している「競争切手展に出品するリーフの作り方」につきましてはお詫び申し上げます。第12号、スタンペディアフィラテリックジャーナル、フランス切手カタログの優先順位をあげている関係で、まだ発行日が見えませんが、年内には何としても発行したいと考えております。

ところでフィラテリストマガジン第11号で委託販売広告の掲載を始めましたが、おかげさまで成約商品が登場し、媒体としての価値を改めて感じるとともに、一過性の企画とせず、今後、同企画を継続的に実施してまいりたいと考えております。今月は一商品二点のみですが、来月は質・量ともにさらに充実させて提供いたしますのでご期待ください。また委託販売商品は広く取り扱いますので、ご関心ある方はお問い合わせください。

書名：ザ・フィラテリストマガジン  
 号数：第12号（2016年秋号）  
 発行日：2016年9月15日  
 発行者：無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社  
 発行人：吉田敬  
 編集部：北川朋美、山田はるか、菊地恵実  
 \* 当誌は「スタンペディア日本版」の機関誌です。

Name of the magazine: The Philatelist Magazine  
 Number: 12th (2016 Autumn issue)  
 Date of issue: Sept. 15th 2016  
 Publisher: Stampedia, inc.  
 Editor: T. Kitagawa, H. Yamada,  
 E. Kikuchi

<広告>

日本のフィラテリーを世界にバイリンガル・フルカラーで発信する雑誌  
2011年の創刊から今年で6年目を迎えます  
現在編集集中の最新号は11月に発行予定です



お求めは、下記の切手商、オークションハウスまでどうぞ。  
郵趣サービス社、切手の博物館ミュージアムショップ、川口スタンプ社  
ユキオスタンプ、ジャパNSTAMP商会、エージェントスタンプ

無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社